

史料目録 第107集

信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録  
(その10)

平成30年3月

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国文学研究資料館  
学術資料事業部



史料目録 第107集

信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録  
(その10)

The catalogue of historical collections

Vol. 107

The catalogue of papers of the Hatta Family, Merchants and Town Officers  
in the Early Modern Japan at Ise-cho, Matsushiro Castle Town, Hanishina County, Shinano Province

No. 10

National Institute of Japanese Literature, 2018

ISBN 978-4-87592-187-5

ISSN 2189-9010



写真1 泰全院一代一卷綴 (え 4178)

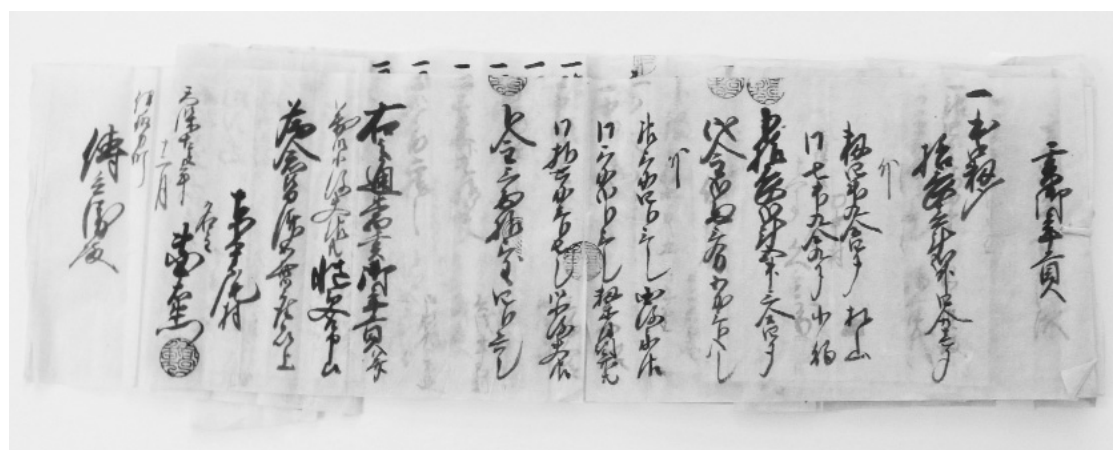


写真2 役代への天保10年年貢皆済明細勘定書関係綴 (え 4068)



写真3 嘉永7年八田家御勝手向改革の請書(え 4054-1)

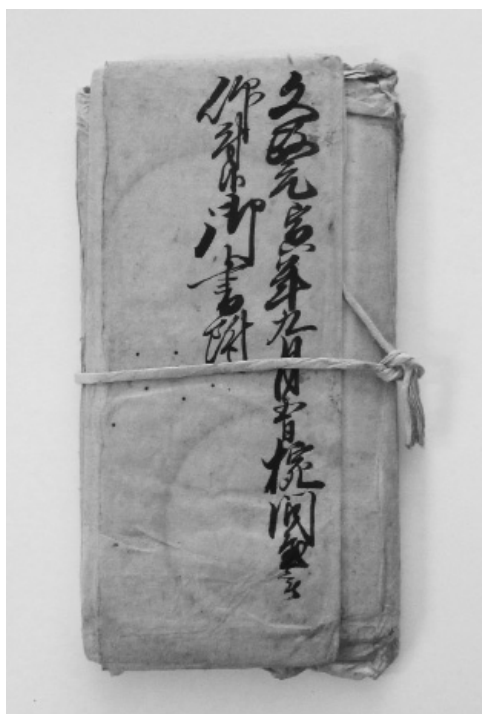


写真4 梶問屋被仰付候御書附 鑑札共(え 4071)

## 凡 例

- 1 本目録は、『史料目録』第 107 集として「信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録(その 10)」(文書記号 :28 B) を収めた。信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書(以下、八田家文書と略)に関しては『史料目録』第 41 集(1985 年)・第 48 集(1989 年)・第 50 集(1990 年)・第 94 集(2012 年)・第 96 集(2013 年)・第 97 集(2013 年)・第 99 集(2014 年)・第 101 集(2015 年)・第 102 集(2016 年)にも収録しており、合わせて参照頂きたい。
- 2 目録編成にあたっては、ISAD (G) (国際標準・記録記述の一般原則) の考え方も参考にしつつ、文書群を発生させた組織・集団の役割や活動に留意し、文書群の持つ内的構造を復元することに努めるとともに、上記既刊八田家文書目録の階層構造を生かすように心掛けた。
- 3 袋・包紙などによる一括文書や、袋・包紙を含めた綴り一括文書が非常に多く、当館へ譲渡後の仮整理時に一括されたと推定されるものも含め、その纏まりを尊重し最も適切と考えられる項目に一括掲載した。
- 4 本文記載は、(1) 表題、(2) 作成者または差出人、(3) 宛名、(4) 作成年月日、(5) 形態・数量、(6) 整理番号の順である。一括状況などの情報は、(5) 史料形態に続けて / (半角スラッシュ) で区切った上で、これを明記した。また紙質や保存状態などの情報も同様に適宜注記した。原文書の判読不能箇所などは、[ ] をもって字数を埋めた。
- 5 表題は原表題のあるものはそれを探り、ないものについては ( ) を付して仮表題を与えた。また、表題のみでは内容が判別できないものについても、簡単な内容摘記を行い、同様に ( ) を付した。
- 6 作成年は和年号で示し、干支だけの場合はそれを採録した。推定年月日については、( ) を付した。
- 7 史料の形態は、本目録の大半を占める書付文書の場合、縦紙、折紙、縦切紙、横切紙、縦継紙、横切継紙、小切紙、小紙、札などと表記することで、料紙の使用法の違いを示した。冊子型史料では、半(半紙縦折判)、美(美濃縦折判)、横長半(半紙横折判)、横長美(美濃横折判)、横半半折(半紙横折紙半折判)などの略称によって原書の大概を示した。また絵図類や定形外の印刷物は、縦横の寸法をセンチ・メートル単位で示し、紙継があるものは鋪、ないもの(1 枚もの)は枚とした。
- 8 整理番号は、仮整理時に付与されたものを踏まえ、一部に関しては今回新たにこれを付与した。
- 9 本目録は研究部荒木仁朗がこれを担当し、調査収集事業部の武子裕美がこれを補佐した。文書の目録データの作成にあたっては、上條静香、島崎依子、菅原一、高尾善希、種村威史、古畑侑亮、丸山康文、山田真理子の各氏の協力を得た。





---

## 総 目 次

---

口 絵

凡 例

総目次

信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録 (その 10) 本文細目次 .....	1
解 題 .....	7
伊勢町八田家文書の伝来と整理方法 .....	7
八田家の歴史 .....	8
文書群の階層構造と内容 .....	9
木町八田家家系図 .....	18
目録本文 .....	21
内方 .....	21
店方 .....	157
町方 / 町年寄 .....	159
松代藩御用 .....	163
産物会所 .....	168
松代商法社 .....	178
既刊目録に見られる八田家文書群の階層構造一覧 .....	179



---

## 信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録（その10）本文細目次

---

1. 内方	21
1.1. 系図・親類書	21
1.1.1. 由緒	21
1.2. 家族・奉公人	22
1.2.1. 奉公人勤向	22
1.2.2. 八田鉄之助前髪剃	22
1.3. 藩への上納金・才覚金	23
1.4. 土地経営	23
1.4.1. 持地	23
1.4.2. 借家	23
1.4.3. 年貢諸役上納	23
1.4.4. 家屋敷建築	24
1.4.5. 下屋敷	24
1.4.6. 矢代村小作	26
1.4.7. 小作	27
1.4.8. 赤倉温泉	27
1.4.9. 皆神山	28
1.4.10. 西条村	28
1.4.11. 荒町	29
1.4.12. 所持地年貢皆済明細勘定書綴	29
1.4.13. その他	32
1.5. 金融	32
1.5.1. 預り金・借入金	32
1.5.2. 貸付金	33
1.5.3. 無尽	36
1.5.4. 預り金利払	38
1.5.5. 貸借金	38
1.5.6. 高遠へ御貸金取立方一件	39

1.6. 飯山領 .....	41
1.6.1. 本多豊後守婚礼 .....	41
1.6.2. 本多豊後守松代城下止宿関係綴 .....	42
1.6.3. 芝津村斧右衛門借財片付方一件 .....	42
1.7. 岩村田領 .....	43
1.7.1. 無尽 .....	43
1.7.2. 訴訟 .....	44
1.7.3. 岩村田差引方調書類綴 .....	48
1.7.4. 岩村田村法華堂差引勘定一件 .....	49
1.8. 田野口領 .....	50
1.9. 金銭・穀物請払 .....	50
1.9.1. 金銭差引 .....	50
1.9.2. 穀物・諸品請払 .....	66
1.10. 勝手向 .....	71
1.10.1. 勝手向立て直し .....	71
1.11. 儀礼 .....	74
1.11.1. 婚姻・離縁 .....	74
1.11.2. 葬儀・法事 .....	80
1.11.3. 年中行事帳 .....	81
1.11.4. 宴会 .....	81
1.11.5. 書状 .....	82
1.12. 旅 .....	82
1.12.1. 社寺参詣 .....	82
1.12.2. 入湯 .....	82
1.13. 寺社 .....	82
1.13.1. 浄福寺借財関係 .....	82
1.13.2. 菩提寺浄福寺 .....	84
1.13.3. 埴科郡倉科村福昌寺 .....	84
1.13.4. その他 .....	85
1.14. 見聞・風説書 .....	85
1.15. 諸芸 .....	85

1.15.1. 文芸	85
1.15.2. 泰全様御在命中山口専始齊先生より御伝達書類綴	85
1.16. 書状類	87
1.17. 諸書類	91
1.17.1. 天保8年正月中よりの来簡綴	91
1.17.2. 天保11子年切手関係綴	93
1.17.3. 嘉永5子年10月取調要用書状綴	94
1.17.4. 嘉永7年入用の書類綴	97
1.17.5. 安政3丙辰年12月晦日より到来書状綴	97
1.17.6. 安政4年正月下旬よりの到来要用書状綴	99
1.17.7. 安政4年3月中よりの到来要用書簡綴	101
1.17.8. 安政6年4月よりの来簡綴	103
1.17.9. 安政7年正月よりの来簡綴	104
1.17.10. 文久元年5月～10月までの来簡綴	104
1.17.11. 文久元年10月～12月の来簡綴	105
1.17.12. 慶応2年9月中よりの書簡綴	106
1.17.13. 慶応2年11月中よりの来簡綴	108
1.17.14. 慶応3年正月よりの来書簡綴	111
1.17.15. 慶応3年4月中よりの来状綴	114
1.17.16. 慶応3年8月よりの来簡綴	117
1.17.17. 慶応4年2月～9月まで来簡一綴	121
1.17.18. 明治2年3月より10月までの来簡綴	123
1.17.19. 明治4年正月中よりの来簡綴	126
1.17.20. 明治5年5月よりの来簡綴	128
1.17.21. 明治5年10月よりの来簡綴	129
1.17.22. 明治5年10月中よりの書状綴	130
1.17.23. 西2月中来簡関係綴	131
1.17.24. 西3月中諸方御到来状并諸向差出書類綴	134
1.17.25. 西4月中諸方より到来状并申立書類綴	137
1.17.26. 西5月中諸方御到来書帖及び書取類の綴	140
1.17.27. 西6月中諸方よりの到来状・雑書等綴	144

1.17.28. 西極月中諸方到来状綴	146
1.17.29. 10月中入用書類綴	148
1.17.30. 松代表より到来書状及び入用書状の綴	149
1.18. 吹直金銀引替	152
1.19. 泰全院一代一卷綴	153
1.20. その他	156
2. 店方	157
2.1. 酒造方（酒蔵・酒店）	157
2.1.1. 酒蔵・酒店勘定	157
2.1.2. 酒造高	157
2.1.3. 酒造関係綴	157
3. 町方／町年寄	159
3.1. 控留	159
3.1.1. 高札・条目写控	159
3.2. 宗門改	159
3.3. 殿様御用	159
3.3.1. 殿様御入接待	159
3.4. 町政	161
4. 松代藩御用	163
4.1. 年貢諸役取立請負・御用米金調達	163
4.2. 川船会所	163
4.2.1. 通船免許	163
4.3. 融通米世話	163
4.4. 椀類挽物問屋	167
5. 産物会所	168
5.1. 産業統制	168
5.1.1. 杏仁	168
5.1.1.1. 諸書類綴	168
5.2. 大坂交易	169
5.2.1. 嘉永期甘草・杏仁等大坂売捌仕法	169
5.2.2. 北国への荷物運送駄賃・取引	169

5.2.3. 炭屋孫七関係書状など綴	171
5.3. 江戸での取引	173
5.3.1. 取引	173
5.4. 諸書類綴	173
6. 松代商法社	178
6.1. 諸書類綴	178





---

## 信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録（その 10）解題

---

文書群記号 28B

文書群名 信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書

年代 延宝 5 年（1677）～明治 20 年（1887）

数量 3,184 点

### 伊勢町八田家文書の伝来と整理方法

伊勢町八田家文書は信濃国埴科郡松代伊勢町（現在の長野県長野市松代町）に宝永 6 年（1709）に居住して以来、今日に至っている八田家に伝来した文書群である。昭和 28 年（1953）、9 代目当主八田恭平氏（明治 33 年、1900 年生まれ。昭和 36 年、1961 年死去）によって文部省史料館（現在の国文学研究資料館）に譲渡された。

譲渡当時の整理の様相については不明だが、受け入れ当初、カード目録が作成され、その後、昭和 56 年（1981）頃から本格的な整理作業が再開された。再開された整理作業に基づいて、『史料館所蔵史料目録 第 41 集 信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録（その 1）』（以下、『八田家文書目録』と略す）が昭和 60 年（1985）に刊行された。その解題には「総点数は書付類を含めると数万点にのぼり、一度に目録化することは不可能であるため、逐次分冊で刊行していくことにした。今回は＜その一＞として、冊子型史料の大半と、伝存形態の上で冊子と密接に関連している書付型史料若干」を収録するという整理・刊行方法が提示されている。以後、『史料館所蔵史料目録』としてその 1 からその 9 の 9 冊が刊行された。

その 1（第 41 集、1985 年）	請求番号あ 1 ～ 3411（中性紙箱 74 箱分）
その 2（第 48 集、1989 年）	請求番号い 1 ～ 1046（中性紙箱 10 箱分）
その 3（第 50 集、1990 年）	請求番号う 1 ～ 937（中性紙箱 7 箱分）
その 4（第 94 集、2012 年）	請求番号え 1 ～ 870
その 5（第 96 集、2013 年）	請求番号え 871 ～ 1342、2289 ～ 2295
その 6（第 97 集、2013 年）	請求番号え 1343 ～ 1751
その 7（第 99 集、2014 年）	請求番号え 1752 ～ 2053
その 8（第 101 集、2015 年）	請求番号え 2054 ～ 3435
その 9（第 102 集、2016 年）	請求番号え 3436 ～ 4023

以上の通り、八田家文書は当初『八田家文書目録』ごとにあ～うの整理番号が冠され、『八田家文書目録』その 4 以降については煩雑となるため、すべて「え」で統一することにした。

『八田家文書目録』その4でも述べたように、整理作業開始段階において、八田家文書の未整理分は衣装箱と目される黒塗りの箱9箱、段ボール箱3箱、AFハードボード製（中性紙）箱23箱であった。衣装箱と目される黒塗りの箱は縦36.7cm×横69.4cm×高さ33.5cmで、前面に2つ鍵、後ろに2つの蝶番が付いたものである。どのような経緯で、この箱の中に文書が収納されたか不明だが、他の文書群でも使用されている場合もあり、文部省史料館へ譲渡された後に収納されたと考えられる。箱はそれぞれ番号が付与されており、これらは以前の整理段階の様相を反映している可能性があるため、『八田家文書目録』その4以降の整理では箱1・2から始めた。今回は、『八田家文書目録』その9が収録した箱14の途中以後から箱15の途中まで掲載する。

未整理文書のはほとんどが文部省史料館の酸性紙封筒に納められていた。しかし、番号が付与されておらず、また、ひとつの封筒に複数の文書が入っていた。そこで、現状を生かしながら箱に納められている状態から取り出し、それぞれの文書に新しい番号を付与して、中性紙封筒に納めた。ただし、虫損甚大である文書が多く、保存処置に多くの時間を費やす必要があるため、閲覧請求に十分に応じられない場合がある。

## 八田家の歴史

松代城下町は、馬喰町・紙屋町・紺屋町（以上、「上三町」）、伊勢町・中町・荒神町（以上、「本三町」）、肴町・鍛冶町（以上、「脇二町」）が存在し、「町八町」と称された。この他には、伊勢町の枝町として木町・鏡町が存在した。これらの町には町年寄が4名と検断1名が置かれていた。伊勢町八田家は、この木町に居住していた八田家より分家した家である。この分家に伴い、本家を木町八田家、分家を伊勢町八田家と呼び分けている。

伊勢町八田家（系譜は後掲）の初代孫左衛門重以は、本家の木町八田家長左衛門庸重の二男であり、宝永4年（1707）6月に分家し、同6年6月より伊勢町に居を構え、商売として呉服屋と酒造を経営したようであり、同時に町年寄にも就任している。享保11年（1726）4月に金60両2分を才覚金として上納し、同月中に御目見を許可されている。財力を背景にして藩権力との結び付きを強めていった。

2代目嘉助芳茲は元禄10年（1697）生まれである。初代孫左衛門の弟に当たり、兄の養子となった。寛保3年（1743）7月に町年寄に就任し、初代孫左衛門の死後、養父同様に藩より30人扶持を拝領している。さらに、同年12月1日には御用金切り捨ての代わりに20人扶持が加増され、合計50人扶持が給付されることとなった。宝暦6年（1756）7月9日に病気のため、町年寄を退役するも、同月15日死去する。死去以前に養子嘉右衛門（増田徳左衛門三男。妻は嘉助女）による本家の木町八田家再興も遺言している。実際、寛保3年には、本家の財政再建について考え意見書を提出している（え3604）。養子嘉右衛門は本家である木町八田家を相続し、その後、木町八田家は嘉助の四男喜右衛門が相続することとなった。

3代目孫左衛門以親は寛保2年（1742）に生まれた。幼名鉄治郎。父嘉助が死去以前に、息子鉄治郎への家督相続と50人扶持の給付を藩に願い出ていたが、嘉助死去の宝暦6年（1756）に家督と藩より30人扶持のみ与えられている。前代による加増分20人扶持が召し上げられたのは当時、松代藩財政

が悪化したためと思われる。元服後、同 11 年に町年寄役に就任。寛政 4 年（1792）までの間、30 年以上町年寄役を勤めた。その間、息子の 4 代目嘉右衛門知義も寛政 3 年から町年寄を勤めており、同時期に親子で城下町の差配を行うこともあった。寛政 4 年に病気で町年寄を退役したため、実際の家の経営などは 4 代目嘉右衛門に移ったものと推測される。その後、300 両を藩に上納し、享和 2 年（1802）には初代孫左衛門以来の出精が評価されて給人格御勝手御用役に取り立てられた。

4 代目嘉右衛門知義は明和 8 年（1771）に生まれ、寛政 3 年（1791）3 月 22 日に町年寄に就任している。享和 3 年（1803）に父孫左衛門が死去すると家督を相続し、藩からは 30 人扶持が与えられ、父同様給人格御勝手御用役に取り立てられた。さらに、城下町町人の人別からは除かれ、別帳扱いとなっている。文化年間には御用金および白鳥宮普請の才覚金上納の功績により、5 人扶持が加増され、加えて、この 5 人扶持をもって養弟喜兵衛の分家許可が実現した。

なお、喜兵衛は、この後、生糸所惣元方、産物会所元方など要職を歴任する。

4 代目の時期には、文化 13 年（1816）には産物御用掛、翌 14 年には川船運送方御用、文政 7 年（1824）には社倉調役、同 9 年には糸会所取締役、天保 4 年（1833）には産物会所取締役などで藩の役職に多く任命されている。藩の商品流通政策に深く関わっていくこととなった。これらの功績により、文政 7 年には給人永格となっている。また、天保 7 年大凶作の際には、松代藩士に対して融通米御世話を行っている。そして、松代藩家中との親戚関係の形成にも積極的であり、実娘 2 名を小山田六郎兵衛の悴藤四郎と諸岡七郎右衛門の悴治助へ嫁がせたほか、増田徳左衛門と八田辰三郎の娘を養女にした上で、大瀬登と岡野弥右衛門の悴陽之助に嫁がせている。

5 代目嘉助知則は文化 4 年（1807）に生まれた。幼名鉄之助。嘉永元年（1848）12 月に 4 代目嘉右衛門が死去すると、家督を相続した。30 人扶持給付と御勝手御用役取り立ては父と同様である。しかし、同 4 年に 45 歳の若さで死去している。

6 代目慎蔵知道は文政 12 年（1829）生まれ。嘉助が亡くなると、家督を相続し、父祖同様に 30 人扶持が給付され、御勝手御用役に取り立てられた。産物会所の役職を勤めたものと推測される。明治維新後、領内の商人資本を統括し、それを元手に横浜交易を展開させた、明治 2 年（1869）に松代商法社が設立されると、慎蔵は商法掌に任命された。その後、慎蔵は士族に列し、明治 12 年（1879）には第六十三銀行（明治 11 年設立。本店は稲荷山村。昭和 6 年（1931）に第十九銀行と合併し、現在の第八十二銀行に至る）頭取に就任している。

## 文書群の階層構造と内容

『八田家文書目録』その 10 では、文書群の階層構造を追求するように努めた。八田家の内部組織や当主の役職などを基準にして、大項目（サブファンド）とし、それぞれの組織体や役職の機能に応じて中項目（シリーズ）・小項目（サブシリーズ）を設定した。本目録に収録した文書は八田家の内部組織・機能に由来するもの（「内方」「店方」と、八田家当主の役職と深く関連するもの（「町年寄」「松代藩御用」「産物会所」「松代商法社」）から構成されている。ただし、紙縫紐などで書類を一括した「綴」の形をとるもの

や、袋入りのものが多く占めていた。編成作業では、この保存形態が目録上で内部組織を復元する上での大きな制限となった。すなわち、紙縫紐などで一括した文書は、内容・発信者・年次・不要のものなど、様々な基準でまとめられているため、機能・内容を異にするものが混在している。本来は「綴」形態を無視して、個々の文書レベルでの編成が必要であった。しかし、近世・近代での八田家によって整理されたことが明らかなのも多く、この八田家による整理基準を尊重することが、同家の文書群の存在意味を考える上では重要であると判断した。

したがって、編成作業では、サブフォンドレベルでは、文書内容から、内部組織の大枠を判断し、目録に反映することには成功している。しかし、シリーズレベルでは、先述の通り保存形態による制約があり、そのような場合でも、一括の形態を崩すことは、できる限り避けたため、シリーズレベルでは、内部組織の管理様相を十分に反映していない。この点を了解されたい。なお一括の形態を崩さなかったのは、文書の現状を保持することも、保存・管理の観点から重要な処置であるとの理解に基づいている。

以上の作業の結果、本目録に収録したシリーズレベルでの構成と件数は、1. 内方 2,798 件、2. 店方 34 件、3. 町年寄 66 件、4. 松代藩御用 97 件、5. 産物会所 176 件、6. 松代商法社 13 件、となった。

以下、大項目（サブフォンド）ごとに階層構造と内容を示すとともに、特記すべき中項目（シリーズ）について記述する。なお、あらかじめ指摘すれば、本目録は、1. 内方のうちの、特に諸書類に編成された文書が 1,281 件、と約 4 割を占めている。この点は、これまでの目録と異なる特徴であり、同家の私文書としての書状が多く存在し、八田家の多様な人間関係を考察する上で欠かせない重要な文書が多数、本目録に収録されているといえるだろう。既刊分の『八田家文書目録』9 冊の編成も含め、全体的な編成については、本目録巻末に示した。各分冊によって階層構造認識には若干の差異も見られるが、閲覧利用の利便性も考えて掲載したので、既刊分の解題とともに参照されたい。

### サブフォンド「内方」

「内方」は、八田家の家政機関であるとともに、店方の統轄をした機関でもある。今回の『八田家目録』その 10 においては 2,798 件。本目録収録の文書からは、部局・掛といった組織が判別できるものはほとんどなかった。そのため、以下では各シリーズとも断片的に把握できる機能を生かして編成した。本書収録の約 9 割を占めるので、まずシリーズの編成概要を示しておく。系図・親類書 15 件、家族・奉公人 18 件、藩への上納金・才覚金 2 件、土地経営 169 件、金融 162 件、飯山領 43 件、岩村田領 115 件、田野口領 1 件、金銭・穀物請払 472 件、勝手向 78 件、儀礼 168 件、旅 12 件、寺社 39 件、見聞・風説書 1 件、諸芸 36 件、書状類 106 件、諸書類 1281 件、吹直金銀引替 8 件、泰全院一代一卷綴 61 件、その他 11 件。内方に占める割合としては、諸書類約 46%、金銭・穀物請払約 17%、以下、土地経営、儀礼、金融に関わる文書で多くを占める。

### シリーズ「系図・親類書」

15 件。本家である松代木町八田家の出自に関係して、伊勢町八田家 4 代嘉右衛門が文政 7 年（1824）、

戦国期西上野の土豪国峰小幡氏および上野国甘楽郡宝積寺の由緒を調査している。その家系調査書類が大半を占める。

### シリーズ「家族・奉公人」

18 件。文政 8 年 (1825) 11 月 4 代目八田嘉右衛門の忤 19 才鉄之助 (のち 5 代目嘉助) が前髪剃を行っている。その過程に関する文書が綴られており、それらをシリーズとして新たに「八田鉄之助前髪剃」を設定した。

### シリーズ「藩への上納金・才覚金」

2 件。藩の江戸屋敷焼失のため八田家より御用金を上納した際の証書類を編成した。

### シリーズ「土地経営」

169 件。ここでは、サブシリーズとして「持地」、「借家」、「年貢諸役上納」、「家屋敷建築」、「下屋敷」、「矢作村小作」、「小作」、「赤倉温泉」、「皆神山」、「西条村」、「荒町」、「所持地年貢皆済明細勘定書綴」、「その他」を設定した。

まず、今まで未確認の下屋敷経営に関わる文書 55 件が 1 綴りになっている。未解明であった下屋敷経営の内実を解明できると考えられる。

また、年貢目録綴りは、『八田家文書目録』その 9 では年貢目録が綴じられるなどまとまった形で、しかも一定規模、存在していることから、サブシリーズ「所持地年貢目録綴」を設定し、ここに編入していた。しかし、所持地年貢目録とされたものが、今回の整理過程で八田家所持地の年貢皆済に関わってその明細を勘定した書類を、村役人が遠隔地の土地からの年貢米や作徳米徴収を担う役代の伝兵衛に提出したものと判明した。そのため、新たにサブシリーズ「所持地年貢皆済明細勘定書綴」を設定した (口絵 2 参照)。これらを参照すると八田家役代伝兵衛が天保期に年貢徴収に関わった村々は、東寺尾村・田中村・東条村北組・東条村南組・平林村・荒町村・伊勢町・東福寺村・牧内村・矢代村、大琳寺、町方、町分であると確認できた (え 4031・え 4068)。これらを詳細に検討すれば、役代による八田家所持地年貢徴収の実態が明らかになるであろう。

そして、「西条村」「荒町」に関しては、『八田家文書目録』(その 8)・(その 9) の方針を継承して、城下町以外に所在する村々のため村ごとに編成し、「持地」「借家」も同様に継承して城下町に所在する土地のため機能ごとに編成した。

### シリーズ「金融」

162 件。ここでは、サブシリーズとして「借入金・預り金」、「貸付金」、「無尽」、「預り金利払」、「貸借金」、「高遠へ御貸金取立方一件」を設定した。

「高遠へ御貸金取立方一件」は、高遠金の取立に関するものである。高遠金とは八幡宮 (武水別神社、

旧称「八幡宮」、現千曲市八幡）修理金を嘉右衛門の仲介で高遠藩領内の祖助等へ貸し付けたものであった。この八幡宮には神宮寺がおかれ、住職は八幡宮の寺務を支配する別当も代々兼ねていた。八幡宮社領も別当神宮寺 100 石、神主 100 石と折半して所持していた。そのため、別当神宮寺の発言力は大きく、八幡宮修理金の運用も神宮寺が行っていた。実際に祖助らが借用し始めたのは安永 3 年（1774）12 月、借用額 300 両であったが、その借用証文の宛先には、更級郡八幡村神宮寺様御役僧宗眼寺様・御口入八田嘉右衛門殿とあり、八幡宮の記載はない（え 1685-2）。この高遠金返済が滞り返済取立てに関する文書 32 件が綴られており、このまとまりを生かして、「高遠へ御貸金取立方一件」を新たに設定した。また、「無尽」は地域金融の一環と判断して、サブシリーズ「無尽」として編成した。

### シリーズ「飯山領」「岩村田領」「田野口領」

総数 159 件。『八田家文書目録』（その 7）・（その 8）・（その 9）の方針を継承して同家の松代藩領外における諸経営・活動を領内のそれとは別に編成し、上記各シリーズを設定した。

飯山（現在の長野県飯山市飯山）は信濃国水内郡の地で、皆川・堀・佐久間・桜井松平・永井・青山家、そして、享保 2 年（1717）以降は譜代大名の本多家の領地であった。シリーズ「飯山領」は、内容に応じて「本多豊後守婚礼」「本多豊後守城下宿関係綴」「芝津村斧右衛門借財片付方一件」のサブシリーズを設定し編成した。「本多豊後守婚礼」は文化 12 年（1815）飯山藩主本多助賢の婚姻への献上品等に関する文書であり、「本多豊後守城下宿関係綴」は、文政 5 年 5 月（1822）飯山藩主本多助賢の松代城下宿泊に関する文書である。

シリーズ「岩村田領」は、「無尽」、「訴訟」、「岩村田差引方調書類綴」、「岩村田村法華堂差引勘定一件」を設定し編成した。岩村田（現在の長野県佐久市岩村田）藩は、内藤家 15,000 石の領地である。『八田家文書目録』その 5 でも触れられている通り、八田家は文政 5 年（1822）より 10 ヶ年季で岩村田藩に 2,000 両を貸し付けていた。これに対して領内の村々が抵当として質地となり、毎年、作徳米を八田家に納めることとなった。しかし、滞納により訴訟が八田家から起こされている。この一件から、土地経営・訴訟・金融などに関わる文書が作成された。本目録では、訴訟関係の文書 79 件と多くを占めている。岩村田差引方調書類綴、岩村田村法華堂差引勘定一件は、訴訟に編成することも考えられたが、一まとまりとして綴られているため、それを生かして、サブシリーズをそれぞれ設定した。

### シリーズ「金銭・穀物請払」

472 件。同家の日常生活における、家作普請や食料・日常生活品、あるいは諸芸に関わり購入した書籍類などの代金の支払いに伴って発生した諸書類を編成した。本目録には、これまでの目録より多数収録している。

### シリーズ「勝手向」

78 件。嘉永 7 年（1854）2 月八田家は、奉公人らに御勝手向立て直しに関する御家法御改革の旨に

対する請書を提出させている（え 4054-1、口絵 3 参照）。ここでは 5 代目嘉助が初代から 4 代目までの藩御用勤めの実態を整理し、勝手方改革案を作成し、また藩に対して八田家の永続願いを提出するなど八田家の勝手方立て直しに関する文書を編成し、サブシリーズとして「勝手向立て直し」を設定した。

### シリーズ「儀礼」

168 件。同家の人生儀礼や通過儀礼に関わる諸文書で、サブシリーズとして「婚姻・離縁」、「葬儀・法事」、「年中行事帳」、「宴会」、「書状」を設定した。

「婚姻・離縁」は 123 件と多くを占め、享和 3 年藤田伝左衛門殿嫡女お千代との堀内五十次殿御縁談など全てが婚姻・結納に関連する文書である。「葬儀・法事」は、特に精心院（2 代喜助）、悟達院（4 代知義）、玉樹院（5 代知則の娘ハル）を初めとする、歴代の回忌儀礼関係の史料が多く残されている。

### シリーズ「旅」

12 件。天保 11 年（1840）5 月の入湯関係の文書が多く、1 点のみ町奉行宛の伊勢参宮及び石清水八幡社への御参り願書が存在する。

### シリーズ「寺社」

39 件。ここでは、同家と寺社との関わりから発生した文書を編成し、サブシリーズとして、「浄福寺借財関係」、「菩提寺浄福寺」、「埴科郡倉科村福昌寺」、「その他」を設定した。

特に同家の菩提寺である浄福寺関係の史料が多い。また、倉科村福昌寺の大般若料寄附関連文書もまとまって存在する。

### シリーズ「諸芸」

36 件。ここでは、同家の文化活動から発生する文書を編成し、サブシリーズとして「文芸」、「泰全様御在命中山口専始斉先生より御伝達書類綴」を設定した。特に後者は、泰全院こと木町八田家の 3 代目孫左衛門が山口専始斉先生より秘伝として受け継いだ文書で、その内容は野くす粉等の飲用方法、瘡における糸瓜の水服用方法などである。これら 27 件を一綴りにしている。

### シリーズ「諸書類」

30 綴 1281 件。八田家では書類を仮整理段階する際、袋へ一括していた書状・書付を一度取り出し、袋とともに綴じて再整理している。内容については時代毎なり同一案件なり、一定程度関連するものをまとめている。特に、時代毎であれば、内容が多様な場合があり、他の項目にそれぞれ編成することも考えられた。しかし、『八田家文書目録』（その 8）・（その 9）の方針を継承して本目録では、八田家の整理による秩序を尊重し、まとまりを崩すことなく編成した。標題も「慶応三卯年八月中よりの来簡入」「西三月中諸方御到来状并諸向差出書類」など袋の上書の記述を尊重して付与した。既述したように、本シリーズ 30 綴 1281

件と本目録所収の約 4 割を占めている。同家の私文書としての書状が多く存在し、これにより八田家の組織・機能・役職などを通じた多様なネットワークが明らかになるであろう。

### シリーズ「吹直金銀引替」

1 綴 8 件。4 代目嘉右衛門は、文政 7 年（1824）文政期の貨幣改鑄のため、江戸まで出府して古金銀を引き換えている。この一件に関わる文書が綴っており、それらをシリーズとして新たに「吹直金銀引替」を設定した。文政期の金銀引替御用は、一国単位で数名のものへ請け負わせていたが、管見では八田家が信濃国の金銀引替御用を請け負っていた事実は確認できない。なお、実際に、最寄の引替所または江戸の金銀座へ引替に行く際には、道法 5 里以上ある場合は、費用を支給するとの文政 7 年閏 8 月幕府からの触れ（『御触書天保集成』5983）に従い、八田家は江戸までの路銀を頂戴する件で、江戸の引替所殿村佐五平の店支配人と平次と書状を取り交わしている（え 4146）。

### シリーズ「泰全院一代一巻綴」

泰全院とは木町八田家の 3 代目孫左衛門以親のことであり、その 1 代に関する事績つまり、宝暦 6 年（1756）9 月 21 日家督相続以後の、町年寄拝命・30 人扶持・御用金賦課など、そして享和 2 年（1802）2 月の給人格を与えられるまでに関し書き留められた史料を綴ったものである（口絵 1 参照）。ここでは、一綴りになっている「袋上書」を生かして新たにシリーズとして「泰全院一代一巻綴」を設定した。

### サブフォンド「店方」

「店方」は、八田家の営業部門であり、酒造方（酒蔵・酒店）・呉服店・油店・醬油店（松井店）・質店の存在が明らかとなっている。それら店ごとの組織をシリーズとして設定している。総数 34 件は総て酒造方である。ここには天明 7 年酒造高減少の請書、酒造方金銭書上、など酒造方の職務として作成した文書として判断し、編成した。

### サブフォンド「町方／町年寄」

八田家では、初代孫左衛門を初めとして代々伊勢町の町年寄を務め、享和 3 年（1803）に嘉右衛門が町方の人別から離れるまでその任務を遂行した。その後の町方に関する文書も存在するため、ここには、町年寄の職務として、また、町方の構成員として作成ないし受理して八田家に伝来した文書総数 66 件を収録し、シリーズとして、「控留」、「宗門改」、「殿様御用」、「町政」を設定した。ここでは、「殿様御用」は 39 件と量的にも多く大半は文政 9 年（1826）殿様が恣水園、湧泉亭での野掛けに来た際の接待に関するものであり、内容的にサブシリーズとして「殿様御入接待」を設定している。

### サブフォンド「松代藩御用」

八田家当主は、藩士として藩に出仕する一方、城下商人として役代の伝兵衛とともに年貢諸役取立の請



負、御用米金の調達・運用、産物御用掛、川船運送方御用など松代藩のさまざまな御用を勤めた。ここでは、サブフォンドとして松代藩の御用に関する文書 97 件を編成し、シリーズとして、「年貢諸役取立請負・御用米金調達」、「川船会所」、「融通米世話」、「椀類挽物問屋」を設定した。

特に今回新たに設定した「融通米世話」、「椀類挽物問屋」について触れておく。

天保 7 年（1836）大凶作に際して、八田家は、松代藩士へ融通米の取計を行っている（あ 2719、い 783）。その際に各々の藩士から融通米の取計に関する書状が 1 綴 94 件になっている。この家中へ融通米世話は、松代藩御用の一環として捉えて、シリーズ「融通米世話」を設定した。

文政元年（1818）9 月 5 日、伝兵衛は、松代での椀類その他挽物細工の売り捌き許可および城下町での問屋世話方勤めを命じられ、椀類挽物問屋に就任した。この時、当時町奉行の片岡主計から椀類挽物問屋の鑑札を拝領している（え 4071、口絵 4 参照）。この伝兵衛の椀類挽物問屋への就任も松代藩御用の一環として捉えて、1 件ではあるが、シリーズ「椀類挽物問屋」を設定した。

### サブフォンド「産物会所」

産物会所は天保 4（1833）に製糸業育成と統制のために設置された糸会所が拡充されて設立したものである。取締役に 4 代目当主嘉右衛門知義が、元方には別家の八田喜兵衛・同辰三郎が就任している。ここでは、産物会所の運営に関わる文書 176 件を編成し、シリーズとして、「産業統制」、「大坂交易」、「江戸での取引」、「諸書類綴」を設定した。

「大坂交易」は、嘉永 2 年（1849）、同 3 年には松代藩領内の特産物の甘草・杏仁の専売制が実施されている。この甘草・杏仁を藩が産物会所を通じて統制し、それを北廻り航路で大坂商人炭屋彦五郎に送り、その代わりに炭屋が西国の塩・砂糖などを松代藩領内へ運送して売りさばくものであった。ただ、甘草・杏仁を引当にした炭屋からの御用金借入が第一義的目的であった。本目録では、この大坂交易に関わり、サブシリーズとして「嘉永期甘草・杏仁等大坂売捌仕法」、「北国への荷物運送駄賃・取引」、「炭屋孫七関係書状など綴」を設定した。

「炭屋孫七関係書状など綴」は、在坂時、伝兵衛の手代菊屋栄八が炭屋に対して甘草・杏仁など仕切り代金の立替金返済が遅延したためから発生した文書 1 綴 11 件と、善光寺領寺役人との文通関係 1 綴 40 件である。後者は、善光寺の惣普請（大坂の末寺である和光寺なども含めて）に関わり、藩士松本嘉十郎が炭屋彦五郎の仲介にして大坂在住の竹屋喜六を紹介し、便宜を図っている。その際に、善光寺領寺役人である柄沢孝左衛門や吉村隼人が善光寺の窓口となり、大坂へも出張している。既に善光寺領寺役人である柄沢孝左衛門や吉村隼人は、『八田家文書目録』（その 1）から（その 9）でも頻出している。今まで八田家が善光寺との関係で発生した文書は、無尽や参詣として編成されることが多いが、八田家を通じた大坂との関係や、産物会所の問題として捉えなおすことが場合によって必要になると思われる。なお、この綴りの袋上書には「他見無用」とも記載されていた。

## サブフォンド「松代商法社」

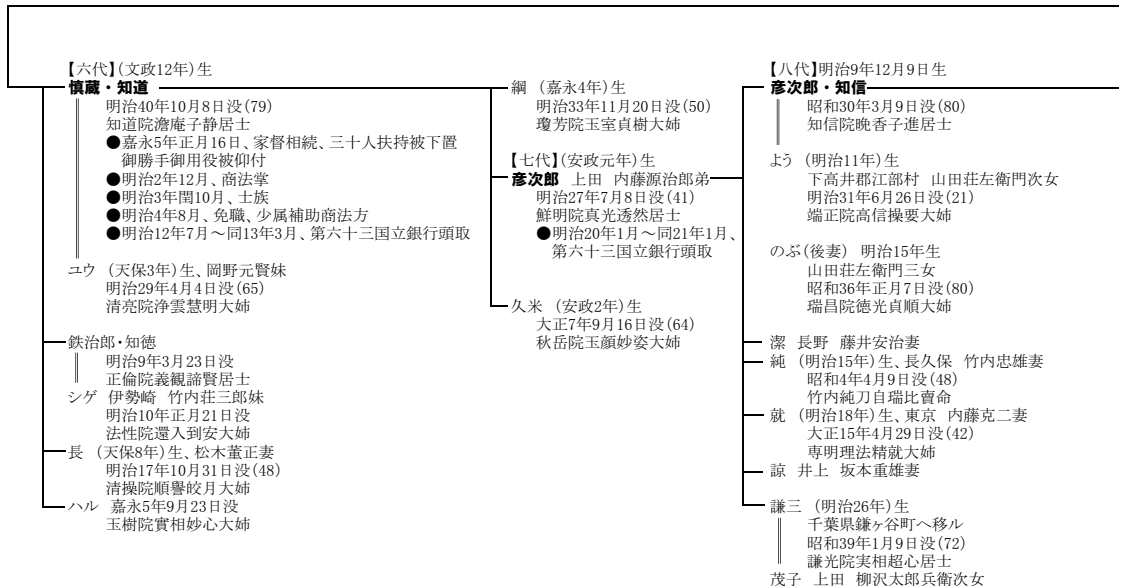
松代商法社は、明治2年(1869)に、松代藩領内の商人を結集して横浜交易を進めるために、大谷幸蔵を中心に、松代城下と羽尾村に設置された。6代八田慎蔵は明治2年12月に商法掌に就任している。本目録では1綴13件、内容的には松代商法社に関する明治5年3月中よりの来簡綴であり、シリーズとして「諸書類綴」として設定した。

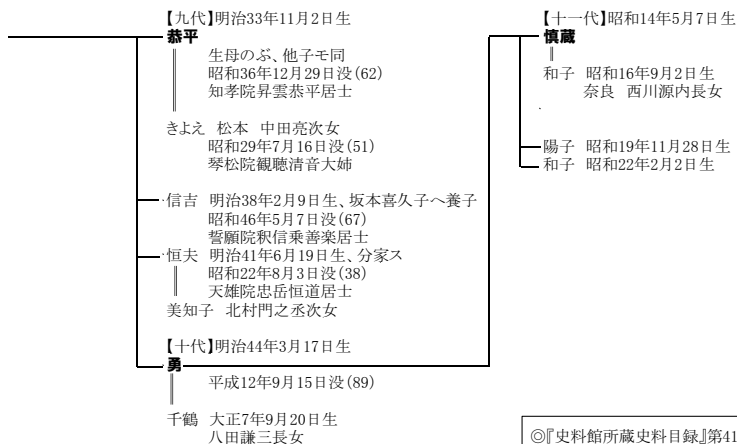
## 参考文献

- 荒武賢一朗「松代真田家の大坂交易と御用場」(渡辺尚志・小関悠一郎編『藩地域の政策主体と藩政 信濃国松代藩地域の研究Ⅱ』岩田書院、2008年)
- 荒武賢一朗「在坂役人の活動と蔵屋敷問題 -幕末維新期の混乱とその特質-」(荒武賢一朗・渡辺尚志編『近世後期大名の領政機構 信濃国松代藩地域の研究Ⅲ』岩田書院、2011年)
- 『更埴市史』第二巻近世編(更埴市、1988年)
- 大藤修「信濃国松代八田家文書の整理を担当して」(『史料館報』第53号、1990年)
- 大橋毅顕「松代藩御用商人八田家の金融 -文化・文政期を中心に-」(荒武賢一朗・渡辺尚志編『近世後期大名の領政機構 信濃国松代藩地域の研究Ⅲ』岩田書院、2011年)
- 大橋毅顕「松代藩八田家の産物会所運営-天保期を中心に-」(渡辺尚志編『藩地域の村社会と藩政 信濃国松代藩地域の研究Ⅴ』岩田書院、2017年)
- 小葉田淳『日本の貨幣』(至文堂、1958年)
- 小林計一郎『長野市史考』(吉川弘文館、1969年)
- 藤田雅子「天保期松代藩における国産紬の販売」(吉田伸之編『流通と幕藩権力』山川出版社、2004年)
- 古川貞雄「松代藩における非常出費時の御用金・借入金政策」(『市誌研究ながの』第5号、1998年)
- 望月良親「近世後期における松代八田家と松代藩財政」(渡辺尚志・小関悠一郎編『藩地域の政策主体と藩政 信濃国松代藩地域の研究Ⅱ』岩田書院、2008年)
- 吉永昭「松代商法会社の研究」(『社会経済史学』第23巻3号、1957年)
- 吉永昭「専売制度についての一考察」(『史学研究』第65号、1957年)
- 吉永昭「紬市の構造と産物会所の機能 -信州松代藩の場合-」(『歴史学研究』204号、1957年)
- 吉永昭「幕末期における専売制度の性格とその機能 -信州松代藩の場合-」(『歴史学研究』218号、1958年)
- 吉永昭「製糸業の発展と糸会所の機能 -信州松代藩の場合-」(『史学雑誌』第68編2号、1959年)



## 伊勢町八田家系図





◎『史料館所蔵史料目録』第41集154頁～157頁に基づいて、加筆の上、作成した。  
◎点線は養子・養女・養弟を示す。二重線は夫婦を示す。  
◎出典:既刊『史料目録』96・97集所収に補訂した。



表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

## 1. 内方

### 1.1. 系図・親類書

#### 1.1.1. 由緒

御実名御居判(八田嘉右衛門御居判・実名知義の由来書上) * (包紙上書)「御実名御居判」 興津湖山方副(花押)[印]→八田嘉助殿	天明6(年)丙午	折紙・1通	え4091
(八田嘉右衛門御家名義に付小幡村宝積寺由緒関係綴)		綴/(え4193-1~13は一綴)・1綴	え4193
(袋) * (袋上書)「文政七甲申歳五月廿日夜、小幡村於宝積寺古書相見暁天迄ニ写留候、文字誤字等有之、夜陰之義温山老入相頼申候、藤田実名應朝○此書類別冊調不残写取相済候事」		袋・1点	え4193-1
(①菊女出所尋ねの書付、②前仏禅定門他過去帳戒名書拔、③花翁栄中居士他戒名書拔) * (端裏書)「写済」		切継紙・1通	え4193-2
(文政7年5月八田嘉右衛門妙義山・一宮参詣、神主へ八田家御家名義尋ね一件書付写) * (端裏書)「写済反古」		横切継紙・1通	え4193-3
(文政7年5月八田嘉右衛門妙義山・一宮参詣、神主へ八田家御家名義尋ね一件書付写下書) * (端裏書)「写済反古」/え4193-3の下書カ		横切継紙・1通	え4193-4
三十六主願宗代開基小幡孫市郎殿入披見候写し(小幡家過去帳・棟札他由緒書拔)		横切継紙・1通	え4193-5
(小幡家当国御在城記) * (端裏書)「写済」		横切継紙・1通	え4193-6
(小幡因幡守など小幡家歴代当主書上)		横長半・1冊	え4193-7
鷲翎山宝積寺創開因由 * (端裏書)「写済反古也」	文政7(年)申5月20日	横切継紙/(下札あり)・1通	え4193-8
寄附一札(1斗2升宛寄附年々永々主人知行差上に付御回向頼上の一札) * (端裏書)「写済」 小幡孫市郎内神成仙右衛門印→宝積寺様	延享2(年)乙丑極月29日	横切継紙・1通	え4193-9
(亡主寶恭院追福成道の施料として買取の轟村神木圃地上下3ヶ所合2段9畝21歩の永代寄附証文) * (端裏貼紙上書)「写済、是者不用之事ニ相聞候へ共、三十石御朱印ニ相成候本来之所相分候義ニ付写置申度義ニ奉存候」 天野氏は誰一漚(花押)→宝積寺希雲和尚参侍者御中	延宝5(年)丁巳歳8月2日	横切継紙・1通	え4193-10
(書状、大酩酊失敬に付) 重松拝→書鳩様差置	3月19日	横切継紙・1通	え4193-11
(傑大院宗三大居士・今山源通居士他命日・戒名書上)		横切継紙・1通	え4193-12
(宝積寺由緒書上) * (端裏書)「写済反古」 宝積十四世石室梁(花押)		横切継紙・1通	え4193-13

## 1.2. 家族・奉公人

## 1.2.1. 奉公人勤向

(「御家中御仕着物」の札)		札・4点	え4084
一札之御事(庄七行方知れずのため借入金10両の内半金返済引請に付) 勢州たまかき村請人新四良・請人久兵衛・請人善左(印)→甚兵衛殿	宝暦14歳申4月	堅紙/(え4066-1~3は一綴)・1通	え4066-3
一札之御事(庄七、午極月中紙屋町儀兵衛殿よりの借入金10両返済引請に付) 勢州玉垣村請人新四良・請人久兵衛・請人善左(印)→菊屋吉兵衛殿・菊屋平助殿	宝暦14年申4月	堅紙・1通	え4067

## 1.2.2. 八田鉄之助前髪剃

(袋、鉄之助前髪剃りの件に付)	文政8乙酉10月5日	袋/(え4032-1~8は袋一括)・1点	え4032-1
(書状、その御許様への召し出し不可の旨取繕い願に付) 小幡外記内相原彦右衛門→八田嘉右衛門様御取次中様	(文政8年)11月8日	切紙・1通	え4032-2
(倅鉄之助前髪剃り許可状) 金井左源太→八田嘉右衛門殿	(文政8年)11月4日	横切継紙・1通	え4032-3
(倅鉄之助前髪剃りなど元服の次第書)	(文政8年)11月8日	横切継紙・1通	え4032-4
(倅鉄之助元服御祝儀における小幡外記様来客時の献立書)		横切継紙・1通	え4032-5
(書状、御咄の趣申し遣わすに付)		横切継紙・1通	え4032-6
(書状、風邪のため舎弟共に代わり貴君へ厚き御礼の旨宜しく御頼み申したきに付)	11月1日	横切継紙・1通	え4032-7
(書状、嘉右衛門より下さった珍しき品々への御礼申し上げに付) 市正→久馬様	11月8日	横切継紙・1通	え4032-8
(鉄之助前髪剃一件綴)		綴/(え4033-1~3は一綴)・1点	え4033
(鉄之助前髪剃一括)		貼り継ぎ一括/(え4033-1-1と1-2は貼り継ぎ一括)・1点	え4033-1
(倅鉄之助前髪剃の願書差出に付口上覚)		堅紙・1通	え4033-1-1
(倅鉄之助前髪剃の式次第)		横切継紙・1通	え4033-1-2
口上覚(倅鉄之助前髪剃願) 八田嘉右衛門→金井左源太殿・岡嶋莊藏殿・望月権之進殿	月日	堅紙・1通	え4033-2
口上覚(倅鉄之助前髪剃願) 八田嘉右衛門→金井左源太殿・岡嶋莊藏殿・望月権之進殿	10月	堅紙・1通	え4033-3



## 1.3. 藩への上納金・才覚金

(江戸御蔵屋敷御類焼に付御用達金25両請取書) 土野倉惣之進(印)・菊地孝助(印)・(奥付)岡莊蔵(印)・与権右衛門(印)・竹権左衛門(印)・金丈助(印)	文政12丑年7月	縦紙・1通	え4090
(勝手向以後御世話謝儀に付奉書) (内藤)正縄(花押) →八田嘉右衛門殿	文政5午年12月	縦紙・1通	え4105

## 1.4. 土地経営

## 1.4.1. 持地

覚(荒神町抱屋敷他代金、220両受取書) *下書/後欠		縦紙/(え4064-1~2は巻込一括)・1通	え4064-1
-----------------------------	--	------------------------	---------

## 1.4.2. 借家

借家証文之事(西木町東通面詰建家1棟借家証文、家賃年3両、借家年限3年) *雛型/(端裏書)「屋敷証文下案」借家人たれ・親類受人たれ・同断たれ→豊田傳兵衛殿	安政2卯年2月	縦紙/(え4064-1~2は巻込一括)・1通	え4064-2
--	---------	------------------------	---------

## 1.4.3. 年貢諸役上納

(天保10年年貢受取関係綴)		綴/(え4069-1~7は一綴)・1綴	え4069
(明屋敷御年貢初8升2合4勺として銀2匁6分7厘ほか請取書) 西沢軍治(印)→八田嘉右衛門殿役代傳兵衛	天保10亥年12月	切紙・1通	え4069-1
(当亥年貢および小役受け取り皆済に付) *前欠 □役又左衛門(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保10年12月	切紙/(え4069-1に折り込まれていた)・1通	え4069-2
(明屋敷御年貢銀10匁2分6厘ほか請取書) 西沢軍治(印)→伊勢町傳兵衛	天保10亥年12月	切紙・1通	え4069-3
(明屋敷御年貢金2分13匁9分6厘ほか請取書) 西沢軍治(印)→伊勢町傳兵衛	天保10亥年12月	切紙・1通	え4069-4
(明屋敷地御年貢金1両3分4匁5分2厘ほか請取書) 西沢軍治(印)→八田嘉右衛門殿役代惣兵衛	天保10亥年12月	切紙・1通	え4069-5
(河原新田御年貢金2分13匁4分3厘ほか請取書) 西沢軍治(印)→伊勢町傳兵衛	天保10亥年12月	切紙・1通	え4069-6
(小作地代年貢金2分5匁9分4厘請取書) 西沢軍治(印)→伊勢町傳兵衛	天保10亥年12月	切紙・1通	え4069-7
(伊勢町年貢関係綴)		綴・1綴	え4070
覚(亥9月分632文ほか亥年9月~11月分町割書付) →松井和七殿		切紙・1通	え4070-1
(いせ町傳兵衛囲碁4表1斗9升7合1勺他書付)		切紙・1通	え4070-2

1.内方/4.土地経営/3.年貢諸役上納

覚(高懸御用金として8匁3分2厘受取に付) 東寺尾村 出作惣代荒神町三平(印)→伊勢町傳兵衛殿	亥11月	切紙・1通	え4070-3
覚(亥御冥加米金1分上納通知書) 町會所→和七殿	月日	切紙・1通	え4070-4

1.4.4. 家屋敷建築

乍恐以書付奉歎願候(御屋敷様にて当春より御普請の 大工忠兵衛・鹿蔵立替材木代金4兩1分723文遲滞に 付、兩人へ早速済方致し候様歎願書) *下書		縦紙・1通	え4112
--	--	-------	-------

1.4.5. 下屋敷

(下屋敷差引書類関係綴)		綴/(え4024-1~54は一綴)・1綴	え4024
(袋) *(袋上書)「下屋敷差引書類」		袋・1点	え4024-1
覚(戌年金52兩2分486文他戌年から辰年7ヶ年差引ノ 残金20兩6匁8分1厘金銭書上)		横切継紙・1通	え4024-2
(この度質店の方上より譲られる場所の取り計らい についての不足金差引2分14匁1分7厘勘弁願) *え 4024-7と関連 (八田)辰三郎→(松木)源八様	2月	横切継紙(灰色宿紙)・1通	え4024-3
口上覚(質方有物600兩拝領借財片付に付万端質素儉 約の旨申上書) (八田)辰三郎→御父上様	亥2月	横切継紙・1通	え4024-4
覚(亥7月元金464兩1分2朱ト273文他差引ノ金1兩2分2 朱ト51文金銭書上)		横切紙(灰色宿紙)・1通	え4024-5
覚(金41兩3分ト1貫215文他2口ノ金56兩1分3朱ト2貫 759文、差引金49兩1貫25文金銭書上)		横切継紙(灰色宿紙)・1通	え4024-6
(この度質店の方上より譲られる場所の取り計らい についての不足金差引2分14匁1分7厘勘弁願) *え 4024-3と関連 (八田)辰三郎→(松木)源八様	4月	横切継紙・1通	え4024-7
卯年下屋敷御渡金覚		横切継紙・1通	え4024-8
辰年下屋敷御渡金覚		横切紙・1通	え4024-9
覚(寅10月元金16兩利金1分9厘他差引ノ金19兩2分14匁 金銭書上)		切紙/(え4024-9とえ4024-11の間に差し込み)・1通	え4024-10
覚(寅年10月元金16兩、寅年3ヶ月利金1分9厘他金銭 書上)		横切紙・1通	え4024-11
(金3分など卯12月下屋敷御渡シ金銭書上) *(端表書) 「下屋敷御渡シ分」		横切継紙・1通	え4024-12
(衤井金1兩3朱48文他ノ金7兩2分338文金銭書上)		切紙・1通	え4024-13
覚(卯年分酒店質店辰正月渡金42兩2朱292文他ノ金 111兩2朱ト588文金銭書上)		横切紙・1通	え4024-14
(5月29日金3兩他2口ノ金93兩406文差引金32兩3分2朱 476文他、戌3月残2口合金61兩52文金銭書上)		横切継紙(灰色宿紙)・1通	え4024-15
覚(松屋5貫170文他ノ金59兩2分669文金銭書上)		横切継紙・1通	え4024-16

(書状、先日御内話申上候年切帳面は昨夜持参勘考願候に付) 竹山丁→伊勢町様用事	12月5日	横切紙・1通	え4024-17
(書状、辰三郎方暮方心得申し上げの趣意、昨年と齟齬仕るべきやと存じ、熟覧の上当人心得方の儀御尋ね下さるようお願いに付) *え4024-19、20と関連 (八田)嘉右衛門	2月	横切継紙・1通	え4024-18
(書状、辰三郎方暮方心得申し上げの趣意昨年と齟齬仕るべきやと存じ、熟覧の上当人心得方の儀御尋ね下さるようお願いに付) *(端裏書)「天保六未二月竹山丁へ懸御目候下案」/え4024-18、20と関連 (八田)嘉右衛門→(松木)源八様	2月6日	横切継紙・1通	え4024-19
(書状、私勝手向取計の始末並心得方等の儀御詫びの旨、嘉右衛門へ御詫び成し下され勘弁仕るようお願いに付) *え4024-18、19と関連 (八田)辰三郎→(松木)源八様	11月	横切継紙・1通	え4024-20
(書状、来る15日源太郎殿御祝いの御礼参り・同役引込め当番引請などの旨申上に) 竹山丁→伊勢町様当用	11月13日	横切継紙・1通	え4024-21
(書状、下屋敷助成の儀、内々取り調べの場合1割の割合を以て金60両程にしたき旨内々伺) *(端裏書)「下屋敷之義ニ付御内々伺」	12月	横切継紙・1通	え4024-22
覚(金2分請取に付) 八田義三郎(印)	4月3日	横切紙(灰色宿紙)・1通	え4024-23
覚(金1両請取に付) 八田義三郎(印)→八田嘉助殿	3月朔日	横切紙(灰色宿紙)・1通	え4024-24
覚(金1分請取に付) 八田義三郎(印)	5月3日	横切紙(灰色宿紙)・1通	え4024-25
覚(金2分1朱請取に付) 八田義三郎(印)	5月10日	横切紙(灰色宿紙)・1通	え4024-26
覚(金2分請取に付) 八田義三郎(印)	5月	横切紙(灰色宿紙)・1通	え4024-27
覚(金2両請取に付) 八田義三郎(印)	6月13日	横切継紙(灰色宿紙)・1通	え4024-28
覚(金2両2分請取に付) 八田義三郎(印)	6月20日	横切紙(灰色宿紙)・1通	え4024-29
覚(金5両請取、追々正金を以て返済致すに付) 八田義三郎(印)	6月朔日	横切継紙・1通	え4024-30
覚(銀1朱請取に付) 八田義三郎(印)	5月22日	横切紙(灰色宿紙)・1通	え4024-31
覚(金2分請取に付) 八田義三郎(印)	5月22日	横切紙・1通	え4024-32
覚(金3両請取に付) 八田義三郎(印)	5月27日	横切継紙・1通	え4024-33
覚(金1分請取に付) 八田義三郎(印)	5月15日	横切紙(灰色宿紙)・1通	え4024-34
覚(金1両請取に付) 八田辰三郎(印)	4月27日	横切紙(灰色宿紙)・1通	え4024-35
覚(金1両1分請取に付) 八田辰三郎(印)→八田嘉助殿	天保10亥年2月	横切継紙(灰色宿紙)・1通	え4024-36
覚(金3両2分2朱請取に付) 八田義三郎(印)	4月26日	横切紙・1通	え4024-37
覚(金3両3分請取に付) 八田義三郎(印)	5月12日	横切継紙(灰色宿紙)・1通	え4024-38

1.内方/4.土地経営/5.下屋敷

覚(金1両3分請取に付) 八田義三郎(印)→八田嘉助殿	天保10亥年正月17日	横切紙・1通	え4024-39
覚(金1両2分請取に付) 八田義三郎(印)	4月7日	横切紙(灰色宿紙)・1通	え4024-40
覚(金3分請取に付) 八田辰三郎(印)	5月3日	横切継紙(灰色宿紙)・1通	え4024-41
覚(金3両請取に付) 八田義三郎(印)	8月21日	横切紙(灰色宿紙)・1通	え4024-42
覚(金3両請取に付) 八田義三郎(印)	8月19日	横切継紙(灰色宿紙)・1通	え4024-43
覚(金7両請取に付) 八田義三郎(印)	7月12日	横切継紙・1通	え4024-44
覚(金5両請取に付) 八田義三郎(印)	7月9日	横切継紙(灰色宿紙)・1通	え4024-45
覚(金1両請取に付) 八田義三郎(印)	7月7日	横切紙(灰色宿紙)・1通	え4024-46
覚(金2両1分請取に付) 八田義三郎(印)	6月26日	横切紙・1通	え4024-47
覚(金1両2分請取に付) 八田義三郎(印)	4月21日	横切紙(灰色宿紙)・1通	え4024-48
覚(金2分2朱請取に付) 八田辰三郎(印)→八田嘉助殿	2月26日	横切紙(灰色宿紙)・1通	え4024-49
覚(金5両請取に付) 八田義三郎(印)	6月29日	横切紙・1通	え4024-50
覚(金1両1分請取に付) 八田義三郎(印)	5月	横切紙(灰色宿紙)・1通	え4024-51
覚(金5両請取に付) 八田義三郎(印)	8月11日	横切紙・1通	え4024-52
覚(金5両請取に付) 八田義三郎(印)	7月20日	横切紙・1通	え4024-53
覚(金1分2朱請取に付) 八田義三郎(印)	7月18日	横切紙・1通	え4024-54

1.4.6. 矢代村小作

(矢代村田地売り渡し関連文書綴)		綴/(え4175-1~4は一綴)・1綴	え4175
水入絵図面御書上帳 矢代本町組勘右衛門	享和2年戌12月	横長半・1冊	え4175-1
(「元金貳拾貳両矢代村未より貳両拾貳匁ツ、利分滞金貳両丑十二月廿九日入」書付)		横切紙・1通	え4175-2
売渡申田地証文之御事(当戌年貢御上納金差詰まり代金25両にて売渡に付) 矢代村売主勘右衛門・御役代兵右衛門・合地善十郎・名主幸八・組頭金十郎・同断(組頭)八左衛門・長百姓宗作、(奥書)北沢平蔵(印)→北沢平蔵様・宮沢富右衛門様	享和2年戌12月	堅切紙・1通	え4175-3
田地御請合証文之御事(八田家所持田畑6石9斗5升4合7勺の役代請負証文) 矢代村売主勘右衛門・御役代兵右衛門・合地善十郎・請合佐源太・名主幸八・組頭金十郎・同断(組頭)八左衛門・長百姓宗作→北沢平蔵様・宮沢富右衛門様	享和2年戌12月	堅切紙・1通	え4175-4

## 1.4.7. 小作

(初50表湯田中村ほか内37表2斗6升8合7勺5才受け取り残32表2斗3升1合2勺5才ほか村別差引書上) 八田孫左衛門		横長美/(帳外れ)/(紙縫破損)/(鼠損)/(虫損)・1冊	え4072
---	--	-------------------------------	-------

## 1.4.8. 赤倉温泉

(赤倉温泉普請金返済など赤倉一件関係書類綴)		綴/(え4134-1~6は一綴)・1綴	え4134
(袋) * (袋上書)「天保十三年寅年二月赤倉一件二付出府引〔 〕向懸合雑用調書其外御返し書類入置」		袋/(虫損)・1点	え4134-1
赤倉表一件存付奉申上候(繁八上屋敷明地破損のため長屋普請に付内々申上書) 市兵衛	7月	横切継紙・1通	え4134-2
(書状、場所掛の者より印証差出し落手及び7・8・9の3ヶ月に年々返済の約定の旨了解などに付) 上田志摩→松井和七様	5月9日	横切継紙/(虫損)・1通	え4134-3
(書状、拝借金不行届による先年温泉場普請金120両返納一件敬承に付) 上田志摩尚登(花押)→八田嘉右衛門様参人々御中	5月9日	横切継紙・1通	え4134-4
(書状、温泉場掛の者より印証差し上げ落掌の事及び差し上げに年月経過の旨承知などに付) 上田志摩→八田嘉右衛門様	5月9日	横切継紙・1通	え4134-5
覚(卯年普請長屋壁塗入用金1両1分2朱他差引ノ金1両3分346文上納分金銭書上)	辰10月28日調	横長半/(綴じ穴あり)・1冊	え4134-6
(赤倉御湯治関連書類綴)		綴/(え4172-1~19は一綴)・1綴	え4172
(袋) * (袋上書)「赤倉御湯治諸帳面入寅十一月」		袋・1点	え4172-1
覚(松本斧次郎様不在のため御封紙2通・御紙包3つ御宅預りに付書上) 越後高田横町徳之助→信州松代惣助様	寅10月11日	横切継紙・1通	え4172-2
(書状、私罷出明朝御見舞として伺言及び八田公此節御出張願ひ等に付) 上田中司→岡左十郎様	11月11日	横切継紙・1通	え4172-3
(書状、赤倉温泉一宿忝き仕合のため籠菓1折進上に付) 堀内千吾→八田嘉右衛門様参人々御中	11月9日	横切継紙・1通	え4172-4
(書状、御普請方出精のため明日棟梁等への御料理振舞に付) 吐愚癡→書鳩様		横切継紙・1通	え4172-5
(書状、赤倉温泉にて痛所養生のため、上田稿1疋進上にて御厚礼申し上げに付)		横切紙・1通	え4172-6
(池田覚右衛門他6人名書付)		横切紙・1通	え4172-7
口上(以前赤倉温泉にて痛所養生拝顔不能も、此度持参の品進上にて御礼申し上げに付) 八田嘉右衛門→上田仲司様玉榻下	霜月11日	横切紙・1通	え4172-8
覚(土瓶代金100文他ノ250文金銭書上) 永野や店→松井様	11月12日	横切紙・1通	え4172-9

## 1.内方/4.土地経営/8.赤倉温泉

覚(7日5升などノ酒4斗1升代金5貫464文金銭書上) 大石祐一郎→松井様		横切継紙・1通	え4172-10
(書状下案、赤倉温泉にて痛所養生のため、上田縞1疋進上にて御厚礼申し上げたきに付) * (端書)「戊寅十一月高田表差遣候下案」/え4172-6の下書 八田嘉右衛門→松井斧次郎人々御中	霜月11日	横切継紙/(虫損甚大)・1通	え4172-11
覚(11月7日豆腐5丁86文他ノ豆腐代金301文金銭書上) とうふ屋五右衛門→松木様	11月13日	横切紙・1通	え4172-12
覚(酢3合代金21文他ノ418文金銭書上) 高田屋富三郎→松井様	11月12日	横切継紙・1通	え4172-13
覚(ぶり1本半身代金1貫100文他ノ12貫457文受取書) 柏や五兵衛→松井様御店	11月12日	横切継紙・1通	え4172-14
覚(5升6合代金700文金銭書上) 村越仁兵衛→松井唯四郎様	11月12日	横切紙・1通	え4172-15
覚(木綿代金52文他ノ銀42匁3分銭11貫669文金銭書上) 松井店→宮蔵様	寅11月14日	横切継紙・1通	え4172-16
(「たんへ」とつもる病も…」の赤倉温泉に関する短歌)		横切紙・1通	え4172-17
(「湯津の白風の…」の赤倉の山に関する短歌)		横切紙・1通	え4172-18
覚(たら10本代金248文他ノ1貫748文金銭書上) 柏や五兵衛→松井様御店		横切紙・1通	え4172-19

## 1.4.9. 皆神山

御預申上候一札(金500両御貸附証文預りに付証文) 八田嘉右衛門内笠井和七(印)、(奥書)松代皆神山和合院→三橋新五右衛門様・吉松四郎右衛門様	文政2卯年5月	縦継紙・1通	え4104
---	---------	--------	-------

## 1.4.10. 西条村

(除地一件関係願書綴)		綴/(え4029-1~3は一綴)・1綴	え4029
(袋)* (袋上書)「押田村坂原兵左衛門御公儀より福岡兵左衛門相手取中野条願出候付候へ共福岡新田由来彼是申候、新田御除地内罷在候葉蔵院双方取極内済相成候、此方不用之書類も有之候付為後來残置候事」		袋・1点	え4029-1
乍恐以書付奉願上候(葉蔵院飯縄社并宮免の件坂原兵左衛門年々上納取り計らい願) * (裏書)「去十月中又々葉蔵院願上候」 水内郡西条村西之内福岡新田願人葉蔵院印、(奥書)西条村西組名主治太夫印→男谷彦四郎様御役所	文政2卯年10月	横切継紙・1通	え4029-2

奉差上内済證文之事(薬蔵院飯繩社・除地の件引き上げなきよう坂原兵右衛門と内済熟談願) * (裏書)「去卯年内済證文」 水内郡西条村之内福岡新田訴訟人薬蔵院・同断西条村西組治太夫、同郡同村西組相手坂本吉左衛門・同断百姓代茂左衛門・同郡伺云真光寺村扱入金左衛門・同上駒沢村同断吉左衛門・中之条郷宿同断嘉十郎・同断宇兵衛→男谷彦四郎様中之条御役所	文政2卯年6月	横切継紙・1通	え4029-3
(書状綴)		綴/(え4030-1~5は一綴)・1綴	え4030
(書状、押田一件出訴の件坂井要右衛門へ内意伺いのお頼みに付) (八田)嘉右衛門→宗準様尊報	3月6日	横切継紙・1通	え4030-1
(書状、兵左衛門御法衣の件に付役所にて吟味一件)	今日	折紙・1通	え4030-2
(書状、坂中新田名主節句御祝儀帰村の書状差し上げの件など世話方への感謝に付)	3月6日	横切継紙・1通	え4030-3
(書状、薬蔵院と拙院地所一件、薬蔵院へいましめ願等に付) *後欠カ		折紙・1通	え4030-4
(書状、福岡一件吟味方六ヶ敷出訴の様子に付) *端裏書「三月六日中之条出向先へ遣候下案」 (八田)嘉右衛門→兵左衛門様	3月6日	横切継紙・1通	え4030-5
預り證文之事(高2石1斗4升4合の本田預りに付) 鹿島組又左衛門(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保12丑年閏正月	堅切紙・1通	え4124
御預ケ申一札之事(高2石1斗4升4合譲りに付) * (端裏書)「西条村又左衛門江遣し置候一札之扣」 伊勢町傳兵衛→西条鹿島組又左衛門殿	天保12丑年閏正月	堅切紙・1通	え4125

## 1.4.11. 荒町

売渡申家證文之事(建家1棟・物置代金1両3分2朱の売渡証文) 荒町村富三(印)、(奥書)荒町村五人組代仲左衛門(印)→嘉兵衛殿	天明4辰年2月	堅継紙・1通	え4101
---	---------	--------	-------

## 1.4.12. 所持地年貢皆済明細勘定書綴

(年貢皆済目録旧封筒一括)		旧封筒一括/(え4031-1~4は旧封筒一括)・1点	え4031
(年貢皆済明細勘定書綴)		綴/(え4031-1-1~23は一綴)・1綴	え4031-1
(2両2朱余受取書) 中島渡浪(印)→八田竹兵衛御役代惣兵衛	天保15辰年	小切紙・1通	え4031-1-1
(金2朱余受取書) 中嶋渡浪(印)→伊勢町傳兵衛	天保15辰年12月	小切紙・1通	え4031-1-2
(銀3匁余受取書) 中嶋渡浪(印)→八田嘉右衛門殿役代傳兵衛	天保15辰年12月	小切紙・1通	え4031-1-3
(金1分余受取書) 中嶋渡浪(印)→八田嘉右衛門殿役代傳兵衛	天保15辰年12月	小切紙・1通	え4031-1-4
(国役金1分銀7分9厘30文受取書) 中嶋渡浪(印)→いせ町傳兵衛殿	天保15辰年12月	小切紙・1通	え4031-1-5

1.内方/4.土地経営/12.所持地年貢皆済明細勘定書綴

辰御小役分入料配符(御借高1石分夫銀9分余受取に付年貢皆済明細勘定書) 東福寺村御蔵本左兵衛(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保15辰年11月	小切紙・1通	え 4031-1-6
覚(初年貢代金2両143文受取に付年貢皆済明細勘定書、牧内村分) 牧内村名主清三郎(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保15年12月	小切紙・1通	え 4031-1-7
(御借高1石分年貢銀1匁5分4厘受取に付年貢皆済明細勘定書) * (奥書)「此分当辰年払」 御蔵本吉左衛門(印)→伊勢町傳兵衛殿	(辰)	小切紙・1通	え 4031-1-8
辰配府(矢嶋源左衛門知行所の天保14・15年夫銀・掛物4匁2分7厘受取に付年貢皆済明細勘定書) 東福寺村御蔵本名左衛門(印)→いせ町傳兵衛殿	天保15年12月	小切紙・1通	え 4031-1-9
辰御年貢目録(初8俵・小役夫銀などメ銀129匁8分2厘年貢皆済明細勘定書) 町方名主大五郎(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保15辰年12月	横切継紙・1通	え 4031-1-10
辰配府(草山御年貢初代銀9匁3分7厘皆済明細勘定書) 名主民平(印)→八田嘉右衛門役代傳兵衛殿	天保15(年)辰12月	横切継紙・1通	え 4031-1-11
辰御年貢配府(本口初13俵・飯米代ほかメ銀266匁2分年貢皆済明細勘定書、東福寺村分) 東福寺村名主八郎兵衛(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保15辰年12月	横切継紙・1通	え 4031-1-12
辰御年貢(初代金・万小役・夫銀などメ銀3匁8分4厘年貢皆済明細勘定書、東寺尾村分) 東寺尾村名主惣助(印)→伊せ町傳兵衛殿	天保15辰年12月	横切継紙・1通	え 4031-1-13
覚(矢代村分年貢金1両余受取に付年貢皆済明細勘定書) 矢代村名主弥兵左衛門(印)→木町傳兵衛殿	天保15辰年3月	小切紙・1通	え 4031-1-14
辰御年貢目録(高4石余の年貢・小役・夫銀など差引メ金3兩1分銀9匁1分1厘年貢明細受取勘定書、荒町村分) 荒町村名主友右衛門(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保15辰年12月	横切継紙・1通	え 4031-1-15
辰御年貢目録(高1石余年貢初・小役・夫銀などメ金1兩2分銀7匁8分9厘受取に付年貢明細受取勘定書) 田中村名主忠三郎(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保15辰年12月	横切継紙・1通	え 4031-1-16
辰御年貢目録(初7俵余・諸夫銀などメ金2兩1分2朱銭463文年貢皆済明細勘定書) 東条村南組名主永助(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保15辰年12月	横切継紙・1通	え 4031-1-17
辰御年貢目録(年貢2俵余・諸小役などメ金3分2朱銭745文年貢皆済明細勘定書) 東条村北組名主要左衛門(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保15辰年12月	横切継紙・1通	え 4031-1-18
辰配符(年貢3石余・小役などメ金1分銀2匁3分4厘年貢皆済明細勘定書) 大林寺蔵本愛吉(印)→八田様御役代傳兵衛殿	天保15(年)12月	横切紙・1通	え 4031-1-19
覚(御年貢代など差引メ金2分3匁2分9厘上納願) (大林寺蔵本)愛吉(印)→八田様傳兵衛様	(天保15年)辰12月	小切継紙・1通	え 4031-1-20
覚(西木町役銭58両余り受取書) 伊勢町岡田伴助(印)→(八田)傳兵衛殿	(天保15年)辰12月晦日	小切紙・1通	え 4031-1-21
覚(軍用金の内3分余拝借証文) 海沼龍助・渡辺丞ノ助・小野左金太・宮沢彦左衛門→師岡敬次郎殿	天保14卯年12月28日	小切紙・1通	え 4031-1-22
覚(軍用金の内2分余拝借証文) 海沼龍助・渡辺丞ノ助(印)・小野左金太・宮沢彦左衛門→師岡敬次郎殿	天保14卯年12月28日	小切紙・1通	え 4031-1-23
(年賦金受取書等綴)		綴/(え 4031-2-1~9は貼継一括)・1綴	え 4031-2



覚(元利2両2分無利足10年賦に付返済の旨約定) 八田嘉右衛門内浦野忠七(印)→瀬原田村長右衛門殿	文政13寅年3月	小切紙・1通	え4031-2-1
覚(寅年賦金割合1分受取書) 八田嘉右衛門内浦野忠七(印)→瀬原田村長右衛門殿	文政13寅年11月24日	小切紙・1通	え4031-2-2
覚(卯年賦割合1分受取書) 八田嘉右衛門内浦野忠七(印)→瀬原田村長右衛門殿	天保2卯年11月21日	小切紙・1通	え4031-2-3
覚(年賦割合1分受取書) 長崎源郎(印)→瀬原田村長右衛門殿	天保9戌年11月15日	小切紙・1通	え4031-2-4
覚(年賦割合1分受取書) 八田嘉右衛門内役人源吾→瀬原田村長右衛門殿	11月25日	小切紙・1通	え4031-2-5
覚(去る未年賦金1分受取書) 長崎源吾(印)→瀬原田村長右衛門殿	天保11子年12月20日	小切紙・1通	え4031-2-6
覚(年賦金1分受取書) 八田嘉右衛門内役人源吾(印)→瀬原田村長右衛門殿	天保12丑年12月	小切紙・1通	え4031-2-7
覚(寅割合金1分受取書) 長崎源吾(印)→瀬原田村長右衛門殿	天保13寅年12月14日	小切紙・1通	え4031-2-8
覚(戌年割合金1分受取書) 長崎源吾(印)→瀬原田村長右衛門殿	天保14卯年12月16日	小切紙・1通	え4031-2-9
(瀬原田村辰年金2両2分受取書遣わす旨書付)		横切紙・1通	え4031-3
覚(金2両2分の年賦金返済覚)	戊12月15日	横切紙・1通	え4031-4
(天保10年年貢皆済明細勘定書関係綴)		綴/(え4068-1~11は一綴)・1綴	え4068
亥御年貢(本初10俵1斗2升4合当亥御年貢並びに万御小役夫銀とも受取年貢皆済明細勘定書) 東寺尾村名主団右衛門(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保10亥年12月	横切紙・1通	え4068-1
亥御年貢目録(2口×金2両2分6匁2分2厘当亥御年貢並びに万御小役夫銀受取皆済明細勘定書) 田中村名主久兵衛(印)→伊世町傳兵衛殿	天保10亥年12月	横切紙・1通	え4068-2
亥御年貢目録(惣金2歩3朱400文当亥御年貢並びに諸御役夫銀請取皆済明細勘定書) 東条村南組名主新吉→伊勢町傳兵衛殿	天保10亥年12月	横切紙・1通 (継目が取れ別に綴られている)・1通	え4068-3
(書状、山御年貢の義古役傳右衛門殿へも相談の所兩年万配府差し上げ落手申し上げに付) 清野村名主喜右衛門→八田嘉右衛門様御役代傳兵衛様切[□](綴紐で読めず)一枚入	2月晦日	横切紙・1通	え4068-4
亥御年貢目録(惣金1両2分92文差引残り金2分1朱259文当亥御年貢諸小役夫銀共皆済明細勘定書) 東条村北組名主仙蔵(印)→いせ町傳兵衛殿	天保10亥年12月	横切紙・1通	え4068-5
覚(金2分2朱1匁3分当亥御上納に付) 平林村名主健左衛門(印)→(八田)傳兵衛殿	亥12月	小切紙・1通	え4068-6
亥御年貢目録(高4石2斗4合取米・高掛御用金など差引2分2朱1匁8歩9厘年貢皆済明細勘定書) 町分名主平右衛門(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保10亥年12月	横切紙・1通	え4068-7
亥御年貢目録(高11石7斗7升3合他年貢皆済明細勘定書) 荒町村名主友右衛門(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保10亥年12月	横切紙・1通	え4068-8

1.内方/4.土地経営/12.所持地年貢皆済明細勘定書綴

覚(高2石2斗6升4合の内取米1石1斗9升9合9勺ほか亥年御年貢皆済明細勘定書) 名主藤五郎(印)→いせ町傳兵衛殿	天保(10)年12月	横切継紙・1通	え4068-9
覚(利銀1匁2分8厘他ノ27匁6分7厘賃金など金銭書上)		横切継紙・1通	え4068-10
亥皆済(本初4斗2升3合2勺ほか年貢品々分銀受取に付年貢等皆済明細勘定書) 牧内村名主孝右衛門(印)→いせ町傳兵衛殿	天保10年12月	横切継紙/(継目が取れ別に綴られている)・1通	え4068-11

1.4.13. その他

(「村々上納上納金」の札)		札・1点	え4208
---------------	--	------	-------

1.5. 金融

1.5.1. 借入金・預り金

覚(御嫁子様御里方より金7両受取御預りに付) 八田鉄之助(印)→関田守之丞殿	文政12丑年正月	堅紙・1通	え4085
(堀内家より借用金関連綴)		綴/(え4100-1~4は一綴)・1綴	え4100
覚(金20両借用証文、但し金1両に付1ヶ月7分5厘の利付、返済は当12月中) 八田嘉助(印墨消)→堀内与一右衛門殿	天保10亥年2月22日	横切継紙・1通	え4100-1
覚(金11両3朱余受取書) 八田嘉助(印)→壕(堀)内樹一郎殿御使惣右衛門殿	天保11子年12月25日	横切継紙・1通	え4100-2
覚(水井忠蔵様へ御返済元金50両受取書) 八田嘉助内傳兵衛(印)→堀内樹一郎様御内惣右衛門殿	天保11子年3月21日	横切継紙・1通	え4100-3
覚(金50両借用証文、元利返済は天保11年正月中) 八田嘉助(印墨消)・八田嘉右衛門(印墨消)→堀内与一右衛門殿	天保10亥年12月28日	横切継紙・1通	え4100-4
日延書之事(八田辰三郎下小島田村量吉口合による借用金50両7月中まで返済日延願) 八田嘉助(印墨消)、(奥書)八田嘉助(印墨消)→牧野大右衛門殿、(奥書)三俣藤吉殿	嘉永元年申4月	堅紙・1通	え4111
(一割御繰廻金関係綴)		綴/(え4189-1~14は一綴)・1綴	え4189
(袋) * (袋表上書)「封書を以て申し上げ一割繰廻の有り体御内談の由書付」/(袋裏上書)「御直書拝見の上存念の有無封書に致し御受けの由書付」		袋・1点	え4189-1
御勝手向御差支ニ付今般被仰出之趣冥加至極之御儀依之乍恐謹而言上(御勝手向御差支のため今般仰せ出さる御直諭に付日光御用懸り御入料無尽企て取り計らいの旨請書下案) * (端裏書)「文政七甲申九月十四日御直諭御請書下案」 八田嘉右衛門(印)		横切継紙・1通	え4189-2
覚(一割繰廻金初会3回懸出金450両他ノ5回合金5000両の利足500両勘定書上) 八田嘉右衛門(印)	9月	横切継紙/(下札あり)/(貼紙あり)・1通	え4189-3

(一割繰廻初会3口分懸金借入金450両他ノ5回差引金4995両の利足495両勘定書上)		横切継紙・1通	え4189-4
(一割繰廻金初会3口分懸金450両より12会目差引ノ残金720両3分6匁5分4厘12会目掛金書上)		横長半・1冊	え4189-5
(一割繰廻金3回目取金1500両より5回目ノ残金3994両2分7匁勘定書上)		横切継紙・1通	え4189-6
(一割繰廻金初会1650両より12会目ノ差引金1800両内訳書上)		横切継紙・1通	え4189-7
御勝手向御差支ニ付今般被仰出之趣冥加至極之御儀依之乍恐謹而言上(御勝手向御差支のため今般仰せ出さる御直論に付日光御用懸り御入料無尽企て取り計らいの旨請書下案) *え4168-2と同内容 八田嘉右衛門	9月	横切継紙・1通	え4189-8
飯山表ニ而当申暮発起千五百両無尽江加入之割合		横切継紙・1通	え4189-9
(御勝手向御差支のため今般仰せ出さる御直論に付日光御用懸り御入料無尽企て取り計らいの旨請書下書) *え4189-2の下書		横切継紙・1通	え4189-10
(御勝手向御差支のため今般仰せ出さる御直論に付日光御用懸り御入料無尽企て取り計らいの旨請書下書) *え4189-2の下書		横切継紙・1通	え4189-11
奉謹言上(御勝手向御差支の御直論にて御家中一統存念の御尋に付、無役長病相勤候迄の間御宛行差上方割合仰出さるべき旨申上書下案) * (端裏書)「文政七申九月廿八日御書付を以被仰出候付封書を以同廿九日申上下案」 八田嘉右衛門	9月29日	横切紙・1通	え4189-12
(文政7壬申(マ)9月28日月並登城の処、役頭望月権之進殿より仰出さる書附拜見に付封書認め同29日に権之進殿へ差出の旨書付)		札・1点	え4189-13
(御勝手向御差支の御直論にて御家中一統存念の御尋に付、幼少無役長病の面々御用勤め迄其品に応じ差し上げ方割合仰出さるべき旨申上書) *下書	9月28日	横切継紙・1通	え4189-14

## 1.5.2. 貸付金

(金子借用証文関連綴)		綴/(え4066-1~3は一綴)・1綴	え4066
覚(金10両年中2割の利足にて午10月より未春まで借用に付) 菊屋庄七[印]・庄兵衛[印]→中山甚兵衛殿	午之10月22日	横切紙・1通	え4066-1
借用申金子之事(金10両年中2割の利足にて当暮大晦日まで恩借りに付) 菊屋庄七[印[菊屋]]→大沢佐左衛門殿	宝暦12年午12月	堅切紙・1通	え4066-2
(澤住三郎金子借用関係綴)		綴/(え4073-1~3は一綴)・1綴	え4073
覚(金7両2分時借証文、4・5月中返済) 住三郎(花押)→(八田)嘉助様	未11月29日	横切紙・1通	え4073-1
(書状、御縄り申し上げ候ところ御聞き済み成し下され、時の書付差し上げ申すに付)	11月29日	横切紙・1通	え4073-2

1.内方/5.金融/2.貸付金

覚(金2両・金5両御恩借証文、返上は5ヶ月限)＊(端裏貼紙)「天保六未年四月 金七両也 但老割月賦也 澤住三郎殿」 澤住三郎(花押)→八田嘉助殿	天保6年未4月	縦紙・1通	え4073-3
覚(金65両預りに付) 鎌兵庫(印)→八田嘉助殿	宝暦3酉4月	縦紙/(虫損甚大)・1通	え4074
覚(金20両借用証文、但し金1両に付1ヶ月7分5厘の利付、返済は当3月中) 八田辰三郎(印)→八田嘉助殿	天保10亥年2月22日	縦紙・1通	え4076
覚(平林縫殿進口合金5両借用証文) 善甚五右衛門(印)→三井寿一郎殿・矢野源八殿・与良弥門殿	寛政10年午12月	横切紙・1通	え4097
(中村原民他借用金受取書一括)		綴/(え4102-1~20は一綴)・1綴	え4102
覚(金2両取替借用証文、返却は当12月中)＊(端裏朱印)「丙申」 中村原民(印)→八田嘉右衛門殿	卯5月	横切紙・1通	え4102-1
借用金子印證之事(金10両借用証文、返済は当暮28・29日)＊(端裏朱印)「丙申」/(端裏貼紙)「文政十一子十二月廿四日金拾両浄福寺様江貸附印書」 浄福寺[印]→八田嘉右衛門様	12月24日	横切紙・1通	え4102-2
覚(金2両取替内借証文、返済は当12月中)＊(端裏貼紙)「(朱印「丙申」)文政十三寅年三月廿九日金貳両時貸」 中村原民(印)→八田嘉右衛門殿	文政13寅年3月29日	横切紙・1通	え4102-3
覚(金10両時借証文、返上は当暮)＊(端裏貼紙)「(朱印「丙申」)天保五午年十一月金十五両也 松本源八殿」 松本源八(印)→八田嘉助殿	天保5午年11月	横切紙・1通	え4102-4
(書状、先達て願いの金子10両拝借願に付) (松木)源八→(八田)嘉助様	11月7日	横切紙・1通	え4102-5
覚(金11両深美甚十郎へ内貸金内借証文) 中島三右衛門→八田嘉助様	寅10月28日	横切紙・1通	え4102-6
覚(金1両2分時借証文、返済は当暮)＊(端裏朱印)「丙申」/(端裏貼紙)「天保四巳年十一月金壹両貳分 四ッや茂右衛門」 茂右衛門(印)→八田嘉助様御取次中	天保4巳年11月	横切紙・1通	え4102-7
覚(金2両取替借用証文、返却は当12月中)＊(端裏貼紙)「(朱印「丙申」)天保五午年二月金貳両也 中村原民との」 中村原民(印)→八田嘉右衛門殿	(天保5年)午年2月	横切紙・1通	え4102-8
覚(金2両恩借証文、返却は当12月中)＊(端裏朱印)「丙申」/(端裏貼紙)「天保四年巳七月金貳両 中村原民との」 中村原民(印)→八田嘉右衛門殿	巳7月	横切紙・1通	え4102-9
覚(恩借金5両落手に付)＊(端裏貼紙)「(朱印「丙申」)文政八酉年六月金五両 小山田重大夫殿借印書」 小山田重大夫(印)→八田嘉右衛門殿	文政8年酉6月	横切紙・1通	え4102-10
覚(金2両取替借用証文、返却は当12月中)＊(端裏貼紙)「(朱印「丙申」)天保五午年金貳両也 中村原民との」 中村原民(印)→八田嘉右衛門殿	午9月	横切紙・1通	え4102-11
覚(金3両時借証文、返上は来る3月上旬)＊(端裏朱印)「丙申」 中島三右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	寅12月	横切紙・1通	え4102-12
覚(八田嘉助へ内指引のため私御扶持方の内一人御扶持差出置くに付)＊え4102-14と関連 八田慶助(印)、(奥書)八田嘉助(印)→御賄所御役人中	天保5午年12月	横切紙・1通	え4102-13
覚(借用金3両落手に付)＊え4102-13と関連 八田慶助(印)→八田嘉助殿	天保5午年12月	横切紙・1通	え4102-14

(書状、金子受取の方法及び受取金子前貸し含め2両3分の拝借内訳に付) 三右衛門→忠七様	11月11日	横切継紙・1通	え4102-15
覚(金2両取替借用證文、返却は当12月中) 中村原民(印)→八田嘉右衛門殿	辰3月	横切紙・1通	え4102-16
覚(金3両内借證文) * (端裏貼紙)「(朱印「丙申」)金三両麻場和仲太殿時貸」 麻場和仲太(印)→八田嘉右衛門殿	亥年正月24日	横切紙・1通	え4102-17
覚(江戸表大塚氏より借入金2両返済内訳書付)		横切紙・1通	え4102-18
覚(入院の御払方金2両2分寄附に付) 浄福寺(印)→八田嘉右衛門殿	天保10亥年3月	横切紙・1通	え4102-19
覚(元金6両利足2分6匁他メ差引残金2両3分377文ほか金銭書上)	3月23日	横切紙・1通	え4102-20
覚(金15両御預り証文、利息年1割5分) * 本文墨消 八田孫左衛門(印墨消)→山越六郎右衛門様	明和8年卯3月	堅切紙・1通	え4122
(樋口民衛時借関係綴)		綴/(え4135-1~5は一綴)・1綴	え4135
(包紙) * (包紙上書)「金五両樋口民衛様切手一枚入」	寛政8(年)辰9月8日	包紙・1点	え4135-1
覚(金5両時借証文) 樋口民衛(印)→八田孫左衛門殿	寛政7卯年4月26日	横切紙・1通	え4135-2
覚(金5両時借証文) 樋口民衛(印)→八田嘉右衛門殿	寛政8辰年9月8日	横切紙・1通	え4135-3
(書状、時借金5両入手他忝き次第などに付) * (端裏貼紙)「辰金5両 樋口民衛様」 (樋口)民衛→(八田)嘉右衛門様	9月8日	横切継紙・1通	え4135-4
(書状、時借金5両間に合い大慶の旨及び清治郎一件頼みなどに付) (樋口)民衛→(八田)嘉右衛門様	9月8日	折紙/(虫損)・1通	え4135-5
(文化7午年12月内山健治方表通門口塀柵木居宅屋根葺替神具不足の分内談用意の入用調書関係綴)		綴/(え4198-1~8は一綴)・1綴	え4198
(包紙) * (包紙上書)「文化七午年十二月内山健治方表通門口塀柵木居宅屋根葺替神具不足の分内談用意旁ニ付入用調書外式両式分内山氏入用付多左衛門喜十郎へ取替印書あり」	文化7午年12月	包紙・1点	え4198-1
覚(御普請金5両2朱の内3両御中借り残り2両2朱請取に付) 御安口弥惣治(印)→太左衛門様・喜十郎様	12月朔日	横切紙・1通	え4198-2
覚(内山健治殿表并門口塀新規普請入用の内中借り金3両2分請取に付) 伊勢町太左衛門(印)→嶺村吉兵衛様	午12月16日	横切継紙・1通	え4198-3
覚(内山健治殿居宅屋根普請入用中借り金3両請取に付) イセ町太左衛門(印)→嶺村吉兵衛様	11月15日	横切紙・1通	え4198-4
覚(再建金の内御時借り金2両2分請取に付) 紺屋町元右衛門(印)・伊勢町太左衛門(印)→八田嘉右衛門様御内峯村吉兵衛様	文化8未年3月	横切紙・1通	え4198-5
覚(金1両3分銀5分錢580文請取に付) イセ町太左衛門(印)→嶺村吉兵衛様	12月19日	横切継紙・1通	え4198-6
覚(鏡屋町御普請のため金1両請取に付) 補屋太左衛門(印)→嶺村吉兵衛様	午12月	横切紙・1通	え4198-7
覚(鏡屋町御普請の内払い方御中借り金1両請取に付) 補屋太左衛門(印)→嶺村吉兵衛様	午12月	横切紙・1通	え4198-8

## 1.5.3. 無尽

預金證文之事(貴殿発起頼母鋪当未年圖当りに付圖金500兩受取証文、申年より1ヶ年金60兩宛5ヶ年懸け戻し) * (端裏書)「右者無尽無滞懸戻相済證文被戻致消印候得共為後來残置」 預主八田嘉右衛門(印墨消)・請人後藤傳兵衛(印墨消)・同断甲田勝太郎(印墨消)→藤田市太夫殿	文化8未年11月	堅紙・1通	え4075
覚(紙屋町儀兵衛無尽寄金10兩受取証文、来卯年より終会まで年々金1兩12匁宛掛け戻し) * (端裏書)「済切印書」 八田嘉右衛門(印墨消)→長谷川善兵衛殿	文政元年寅12月18日	堅紙/ (え4079～4080は巻込一括)・1通	え4079-1
覚(梅林茂兵衛無尽当卯5会目寄金10兩受取証文、来辰年より割合の通り1兩12匁ずつ掛け戻し) * (端裏書)「済切印書」 八田嘉右衛門(印墨消)→長谷川善兵衛殿	文政2卯年12月	堅紙/ (え4079～4080は巻込一括)・1通	え4079-2
覚(紙屋町儀兵衛発起無尽当丑3会目寄金10兩受取証文、来寅年より割合の通り年々金1兩12匁宛掛け戻し) * (端裏書)「済切印書」 八田嘉右衛門(印墨消)→長谷川善兵衛殿	文化14年丑12月	堅紙/ (え4079～4080は巻込一括)・1通	え4080
(天保6未年極月無尽関係書類綴)		綴/(え4138-1～20は一綴)・1綴	え4138
(袋) * (袋上書)「天保六未年極月 諸方無尽差引書入 外二未年掛合金請払帳入」		袋・1点	え4138-1
覚(壺泉伊平治より取立金3兩ほか差引1分2匁去巳年不足分受払書) * (端裏書)「巳年分受払書」(堀内)与一右衛門	天保5午年3月	横切継紙・1通	え4138-2
(巳年分御掛金2兩2分銀4匁1分ほか富岡安左衛門殿無尽掛金銭書上)		横切紙・1通	え4138-3
覚(御元金70兩小幡外記殿への貸金利分の内金5兩2分など金銭書上) * (端裏書)「午年受払覚」(堀内)与一右衛門	午12月	横切継紙・1通	え4138-4
(割取1口分6兩2分13匁1分3厘金銭内訳書上)		横切紙・1通	え4138-5
(「八田辰三郎 壹兩貳分壹朱」の金銭書付) * 後欠		切紙/(挟み込み)・1通	え4138-6
(卯圖当寅金預かり人近藤外一他6名書上)		横切紙・1通	え4138-7
(大鳥礒右衛門殿無尽初会掛金10兩ほか金銭書上)		横切紙・1通	え4138-8
覚(相林寺無尽1口分掛戻し金3兩2分銀6匁ほか差引4兩3匁3分6厘金銭書上)		横切紙・1通	え4138-9
(80兩無尽方金2兩1分銀3匁1分6厘ほか金銭書上)		横切紙・1通	え4138-10
未年掛金(伊勢町様分1口分金2兩2分2朱銀6分9厘ほか、7兩3分2朱2分9厘封金10兩受け取り差引2兩余御返しの金銭書上)		横切紙・1通	え4138-11
(札、「忒会目 3分1朱ト1厘 八田慶助様五兩無尽忒口分」)		札・1点	え4138-12
(八田辰三郎様分金3兩2分銀6匁他、30兩金銭書上)	未極月19日	横切紙・1通	え4138-13

覚(家作無尽取入金10両ほか差引残金1両1分3朱3分9厘差上金銭書上)	辰12月12日	横切継紙・1通	え4138-14
(松木50両2口分8両2分2匁7分余ほか無尽金銭書上)		横切継紙・1通	え4138-15
覚(御元金70両小幡外記殿方去午利金の内滞りの分受取金5両1分銀6匁ほか差引残金1両3分銀4分1厘差し上げ金銭書上) * (端裏書)「未年分受払覚」(堀内)与一右衛門	未12月	横切継紙・1通	え4138-16
覚(畑栄作発起無尽半口分御掛金1両2分受取書) 友野正左衛門(印)→八田嘉助殿	天保6年未12月	横切紙・1通	え4138-17
覚(七分取掛分金1両銀9匁3分他3筆差引金5両3朱2匁4分7厘神戸殿無尽懸金書上)		横切継紙・1通	え4138-18
覚(河原理助発起無尽当未の大木様御掛金1両2分銀9匁請取書) 宮沢丹下(印「吉狂」)→大木才治殿	天保6年乙未12月23日	横切紙・1通	え4138-19
覚(嘉助様未5会目1口分3分1朱2匁9分他差引差3朱2匁6厘不足金銭書上)	未12月	横切紙・1通	え4138-20
(成沢縫殿右衛門無尽関係綴)		綴/(え4140-1~6は一綴)・1綴	え4140
(包紙) * (包紙上書)「覚」/(包紙貼紙)「成沢縫殿右衛門殿より無尽調書入 寅三月」		包紙/(虫損)・1点	え4140-1
工藤證文掛指引(戌7月工藤證文金60両他差引丑元金29両1分銀1分5厘金銭書上)		折紙・1通	え4140-2
(金55両戌7月返済他金125両元利返済金銭書上)		折紙・1通	え4140-3
初会切払(金150両より返済金他差引差戌暮八田氏へ別段御預け金42両1分5厘金銭書上)		折紙・1通	え4140-4
二会切払(金150両より返済金他差引差残11両3分余り金銭書上)		折紙・1通	え4140-5
(掛捨拾之差引覚及び発当掛戻預ヶ金差引覚)		横長半・1冊	え4140-6
(成沢縫殿右衛門無尽関係綴)		綴/(え4141-1~18は一綴)・1綴	え4141
(袋) * (袋上書)「文化十一戌年七月 成沢縫殿右衛門殿無尽書類」	文化11戌年7月	袋・1点	え4141-1
(書状、成沢氏無尽金へ別段2両出金も差引書引き合わせる旨などに付) 岡右衛門→(八田)辰三郎様御内様	12月15日	横切継紙・1通	え4141-2
覚(金39両2分2朱当戌暮預かり来る亥年より1割2分の利足9か年賦無尽懸け出し算用他2口差引戌亥両年御預ヶ金113両2朱金銭書上)		折紙・1通	え4141-3
覚(成沢縫殿右衛門無尽戌暮1割2分御預金42両銀1分5厘差引差残金34両銀6匁2分4厘金銭書上) (成沢)縫殿右衛門	丑12月	折紙・1通	え4141-4
覚(存寄書2綴など無尽関係書類の有無、亥年22両2分3匁7分5厘など無尽金支払の穿鑿に付申上書)	5月	横切継紙・1通	え4141-5
(書状、今般金15両掛の発起頼母敷講人数不足のため岩村田領丸山村(マ)工藤傳兵衛口入れ3口加入などに付) 成沢縫殿右衛門→関田庄助様	6月28日	横切継紙・1通	え4141-6

1.内方/5.金融/3.無尽

覚(金150両の内金60両工藤傳兵衛證文懸け他無尽掛金差引書) * (端裏書)「戊七月成沢縫殿右衛門殿差引書」/(端裏貼紙)「写取書入仕候寅五月」	7月	横切継紙・1通	え4141-7
(戊12月金26両3分銀8匁8分5毛無尽金利足および出金差引書)		横切紙・1通	え4141-8
覚(岩村田領丸子村工藤傳兵衛発起無尽へ口入れも掛金不調達に付60両借用證文) 関田庄助、(奥書)八田嘉右衛門→成沢縫殿右衛門殿	文化11戊年7月	横切継紙・1通	え4141-9
口演(戊年御預かり金不足のため5両時借元利返済、無尽寄合の会日認めなどに付) (成沢)縫殿右衛門	12月13日	折紙・1通	え4141-10
覚(嘉右衛門親類岩村田領丸子村工藤傳兵衛無尽懸け金4口60両不調達に付借用證文へ嘉右衛門加判の上圖当たりにて返済一札) 八田嘉右衛門(印)→関田庄助殿	文化11戊年7月	横切継紙・1通	え4141-11
縫殿右衛門殿紙面写 工藤證文掛差引(庄助存じ寄りによる工藤證文金60両不分明など書付)		横長半・1冊	え4141-12
(無尽諸方様へ返金2548両2分など無尽金総額5173両の内訳書付)		折紙・1通	え4141-13
縫殿右衛門殿戊七月被差出候紙面之写		横長半・1冊	え4141-14
覚(当暮預り金高残金26両3分銀8匁8分5毛借用證文、利足1割2分、来る7月中元利返済) 八田嘉右衛門(印)・関田庄助印→成沢縫殿右衛門殿	文化11戊年12月	横切紙・1通	え4141-15
(「戊十二月廿日 一金貳拾六両三分 八匁八分五毛」の書付)	戊年12月20日	横切紙・1通	え4141-16
十二朔(亥12月金2両ほか4筆間違ひ次第仰せ下しの書付)	亥12月朔日	横切紙・1通	え4141-17
文化十一戊年七月 成沢縫殿右衛門殿百五拾両無尽八田嘉右衛門殿頼ニ付丸子村工藤傳兵衛名面差出手前口入肩書四口加入差引帳	文化11戊年7月	横長半・1冊	え4141-18

1.5.4. 預り金利払

覚(御預け金利足金52両3分6匁6分他ノ御利足金58両1分銀12匁6分受取に付) * (端裏書)「引替ニ付済切印書」 八田鉄之助(印墨消)→八田喜兵衛殿・八田辰三郎殿	文政12年丑12月29日	横切継紙・1通	え4087
---	--------------	---------	-------

1.5.5. 貸借金

(伊勢町水野清右衛門殿金銭昀差引書上綴)		綴/(え4139-1~8は一綴)・1綴	え4139
(袋) * (袋上書)「伊勢町水清差引書」		袋・1点	え4139-1
覚(水野清右衛門殿借用元金230両の嘉永4年~安政5年元利差引金銭書上) * (端裏朱書)「水野清右衛門殿差引安政五午年十月廿八日」	安政5午年10月28日	横切継紙・1通	え4139-2
(嘉永6年正月16日金5両他金銭書上)		横切継紙・1通	え4139-3
覚(金200両利20両米代金など差引きノ金30両1分2朱6分8厘請取に付) 水野清右衛門→八田嘉助殿	弘化4未年12月晦日	横切継紙・1通	え4139-4



覚(金200兩利20兩他玄米代金など差引き金銭書上)		横切継紙・1通	え4139-5
覚(天保11年9月7日初34俵差引初書上)		横切紙・1通	え4139-6
覚(来已3月中御返済極分金200兩他御取替金など差引きノ残金109兩2朱銀3匁3分4厘銭359文金銭書上)		横切継紙・1通	え4139-7
覚(金印600兩の6分利子金36兩他ノ返済金225兩及び当已御扶持拝借渡調べの金銭米書上) * (端裏書)「弘化二已暮調書嘉助及御内々一紙之事」		横切継紙・1通	え4139-8

## 1.5.6. 高遠へ御貸金取立方一件

(御代高遠へ御借附金取立方懸合一件関連綴)		綴/(え4026-1~31は一綴)・1綴	え4026
(袋) * (袋上書)「吉明様御代高遠江御借附金取立方早川嘉十郎方伊勢屋甚兵衛被成御頼候一儀懸合一件誠入用過分ニ相懸用立不申候付以来右様取立方等得と致勤弁取計可申義不用之書類ニ候得共為心得残置候 知義」/(袋裏書)「御拝借并借入金帳入 土口村助左衛門」/裏書墨消あり		袋・1点	え4026-1
(書状、高遠一件段々取り掛かり候心得の趣、御拝書にて承知するに付) 八田孫左衛門→矢田嘉兵衛様	8月13日	横切継紙・1通	え4026-2
(書状、よんどころなき義にて御頼み遣わした手代条助、店支配勘定など取計い方宜しからず、その上25日より行方知れずに付) 八田孫左衛門→早川嘉十郎様・渡部六左衛門様人々御中	2月29日	横切継紙・1通	え4026-3
覚(戸ひじ迄200文他普請入用ノ1貫100文金銭書上) かしや町喜平治	10月	横切紙・1通	え4026-4
(書状、祐右衛門・嘉兵衛差し越された御紙面の趣承知の旨並びに高遠一件に関わる割合金授受承知の印書取り計らいなどに付) 神宮寺→高橋頼母様	11月27日	折紙・1通	え4026-5
(書状、拙寺修復金の趣は八田嘉右衛門口入による高遠祖助方へ金300兩用立置き、内250兩は元利済、残り金50兩は元利滞るに付) 神宮寺→高橋頼母様	11月25日	横長半・1冊	え4026-6
乍憚口上覚(嘉十郎方へ筋合い相立ち申さず、使御兩人へ筋合い分かる様御取計願い上げ奉るなどに付) よしの屋卯右衛門→神宮寺様御側中様	11月26日	折紙・1通	え4026-7
(書状、高遠一件に付初発嘉十郎義、孫左衛門へ申し遣わし候割合金6分金主4分懸け候者へ遣わすべき旨他に付)		横長半・1冊	え4026-8
(和合院式分金5兩等ノ金7兩3分3厘金銭書上) * (端裏書)「皆神差引 木町分」		切紙・1通	え4026-9
覚(志川村借入金14兩差引元利ノ2兩3分銀6分金銭書上)		切紙/(一部破損あり)・1通	え4026-10
(卯より辰迄の金5兩など2口ノ15兩他金銭書上)		横切継紙・1通	え4026-11
(書状、御同国八田喜右衛門の口入を以て高遠祖助方へ御寺修復金の趣にて金300兩用立、50兩返済滞りに付) 高橋頼母秀旨→神宮寺様人々御中	11月朔日	折紙・1通	え4026-12
(書状、松坂屋善五郎方迄書状による高遠駈合の一件の事御承知下さるべきに付) 早川嘉十郎→八田孫左衛門様	9月27日	横切継紙・1通	え4026-13

1.内方/5.金融/6.高遠へ御貸金取立方一件

(書状、高遠一件について、その節の御文通と嘉兵衛殿参られ、仰せ聞かせ候趣相違に付) 八田孫左衛門→早川嘉十郎様	10月9日	横長半・1冊	え4026-14
(書状、八田喜右衛門高遠表祖助殿へ金子用立置き、返済残金50両元利滞るに付) 八田孫左衛門代鼠村卯右衛門・神宮寺役僧宗眼寺→後藤伊十郎様・遠州屋平助様・矢田嘉兵衛様	11月28日	折紙/(2枚組)・1通	え4026-15
(書状、本文の趣御承知下さるならば、此の方より差遣わした別紙の通りに認め、御印書下されたきに付) *下書		横切紙・1通	え4026-16
(赤坂新町2丁目伊勢屋甚兵衛他2名、住所氏名書上)		切紙・1通	え4026-17
口上覚(高遠懸合にて拙寺と貴殿御名前にて江戸表へ懸合飛脚遣わさるべきに付) 宗眼寺(印)→よしの屋宇右衛門殿	11月27日	縦紙・1通	え4026-18
覚(高遠祖助殿へ八田喜右衛門殿口入金済、残り元金50両早川嘉十郎殿、矢田嘉兵衛取立の儀、相済む上は元利金祐右衛門、嘉兵衛へ御渡し下さるべきに付) *写 矢田嘉兵衛印・遠州屋平助・後藤伊十郎印→信州八幡神宮寺様御役僧宗眼寺様・八田孫左衛門代峯村卯右衛門殿	已12月	折紙・1通	え4026-19
(書状、先達て御頼の条助一件について、大分引き賃のため貴様にて宜しく御取り計う様頼み奉る並びに高遠一件に付) 八田孫左衛門→早川嘉十郎様	2月2日	折紙・1通	え4026-20
(書状、条助の事、眼病快気次第京・大坂へ奉公仕り、毎年給金を済金に差下され申したき並びに高遠一件に付) 早川嘉十郎→八田孫左衛門様	正月14日	横切継紙・1通	え4026-21
(書状、兼ねて御咄合いの高遠表について、今般江府御山より御飛脚の由、私伺公仕り候様仰せ下され、委細差し遣わしの吉野屋卯右衛門へ仰せ聞き下される様に付) *下書 八田孫左衛門→宗眼寺様貴答	11月16日	折紙・1通	え4026-22
(書状、諏訪高遠の事について昨晚東叡山御殿より嘉兵衛・祐右衛門と申す飛脚参上仕り、御相談申したき事があるため、明日未明に御出待ち奉るに付)		横切継紙・1通	え4026-23
(書状、高遠一件に関わる金子と証文との御引替方法や諸入用仕立て方などについて指示する旨他に付) 早川嘉十郎→八田孫左衛門様	7月29日	横切継紙・1通	え4026-24
(書状、御飛脚金八の揚路銭について、御用が多く、揚路銭成り難き旨仰せ付けられ、差遣わし御勘弁下さるべきに付) 大瀬登→小野重左衛門様	9月6日	横切継紙・1通	え4026-25
(書状、此書状長蔵に開封仕らせたき由甚兵衛申し聞くに付、上封など致さず委細金八へ申付遣わす旨他) 重左衛門→(八田)孫左衛門様	9月8日	切紙・1通	え4026-26
(書状、御上の義御立ちも見合わせにて、何卒一刻もはやく罷り帰り、貴意を得たき並びに銭相場について貴様へ一刻もはやく御知らせ申したきに付) 重左衛門→(八田)孫左衛門様	9月8日	横切継紙・1通	え4026-27
(書状、麦語方へ高遠掛合の書状を申し遣わし、そのことについて八幡へ早く御内遷申上度、着き次第連絡を請う旨他)	8月4日夜認	横切継紙・1通	え4026-28

(書状、銭相場高値になるも、当7月出水のため小梅村 銭吹場御用立申さず、御普請伺いをするも未だ沙汰 なき旨他極御内々申上に付) * (端裏書)「極御内々申 上候」	菊月7日	横切紙・1通	え4026-29
(書状、尊公様夏中より御眼病の由、油断なく明薬など 服用なされるべき旨の助言並びに7月中の満水被害 状況経過報告他に付) 矢田嘉兵衛→八田孫左衛門様 尊下	9月8日夜認	横切継紙・1通	え4026-30
(書状、高遠一件にてこの度割合金出し申さざること 承知致すも恥ずかしく、御為にならずかえって御不 益に相成り、気の毒に存じ奉る他に付) 早川嘉十郎 →松坂屋善五郎様	8月29日	横切継紙・1通	え4026-31

## 1.6. 飯山領

### 1.6.1. 本多豊後守婚礼

(本多豊後守婚礼献上関係書状綴)		綴/(え4118- 1~16は一綴)・ 1綴	え4118
(袋) * (袋上書)「本田豊後守様御婚礼被成御整候節献上物 并鳥銃献上一巻入 文化十二年八月日 知義」 知義	文化12年8月	袋・1点	え4118-1
(書状、先達て所持の品献上により御紋付き麻上下1巻 并料紙硯箱1組拝領に付) * (端裏書)「草稿」/え4118-3 の草稿 →三門(三橋新五右衛門)様		横切紙・1通	え4118-2
(書状、御紋付き御上下并料紙御硯箱拝領執り成し願 及び御用達金子の件三四郎方から委細承諾などに 付 八(八田)嘉右衛門→三(橋)新五右衛門様貴報	10月3日	横切継紙・1通	え4118-3
(書状、御前様逝去に御窺いもせず何分にも御執り成 し下されたきに付) (八田)嘉右衛門→三(橋)新五右衛 門様	3日	横切紙・1通	え4118-4
(書状、御持伝の品献上により麻上下1巻并料紙硯箱1 組拝領に付) 深井傳之丞重連(花押)・吉松四郎左衛門 集美(花押)・三橋新五右衛門當榮(花押)→八田嘉右衛門様	10月朔日	折紙・1通	え4118-5
(書状、先達て御持伝の品献上により紋付き麻上下・料 紙1組拝領及び三四郎差出の件浄福和尚并三四郎よ り承知に付) 三橋新五右衛門→八田嘉右衛門様	10月朔日	横切継紙・1通	え4118-6
鯛箱寸法(長さ1尺5寸・横9寸1分・高さ5寸4分・足高さ4 寸5分等寸法書付)		横切紙・1通	え4118-7
(書状、殿様27日御城着のため御上げ物は御日柄勝手 次第御上げに付) 大和屋三四郎→八田嘉右衛門様	6月28日	横切継紙・1通	え4118-8
①(書状、先般豊後守婚姻祝儀として献上いたし拝領 物有難きに付)、②(書状、豊後守婚姻祝儀として献 上物仕り拝領物有難きに付)、③(書状、召し使いの 者へも品下さり受け取りに付) ①八田嘉右衛門→① ②③三門(三橋新五右衛門)様	①8月①17日	横切継紙・1通	え4118-9
(書状、婚礼恐悦申し上げ拝領物御受け、且つ持ち伝え の鳥銃献上に付) 八(八田)嘉右衛門→三(三橋)新五右 衛門様貴報	8月17日	横切継紙・1通	え4118-10
(書状、御持伝の品目録通り差出したところ殊の外悦 ばれ候趣などに付) 三(三橋)新五左衛門→八(八田)嘉 右衛門様	8月17日	横切継紙・1通	え4118-11

1.内方/6.飯山領/1.本多豊後守婚礼

(書状、旦那義婚姻整い干し鯛1箱并持伝の50目玉鉄砲別段御献じに付) 三橋新五右衛門→八田嘉右衛門様貴答	7月27日	横切継紙・1通	え4118-12
(書状、旦那御婚姻整い干し鯛御目録の通り献上に付) 深井傳之丞重連(花押)・吉松四郎左衛門集美(花押)・三橋新五右衛門當榮(花押)→八田嘉右衛門様	8月16日	折紙・1通	え4118-13
(書状、御持伝の50目玉鉄砲1挺御目録の通り献上に付) 深井傳之丞重連(花押)・吉松四郎左衛門集美(花押)・三橋新五右衛門當榮(花押)→八田嘉右衛門様	8月16日	折紙・1通	え4118-14
(書状、佐々木金次方御使いとして遠方御越し大義により金100疋送るよう年寄共申し付けに付)		折紙・1通	え4118-15
(書状、旦那義婚姻整い干し鯛1箱献上により白銀1枚拝領に付) 深井傳之丞重連(花押)・吉松四郎左衛門集美(花押)・三橋新五右衛門當榮(花押)→八田嘉右衛門様	8月16日	折紙・1通	え4118-16

1.6.2. 本多豊後守松代城下止宿関係綴

(本多豊後守城下止宿関係綴)		綴/(え4151-1~8は一綴)・1綴	え4151
(袋) * (袋上書)「文政五壬午年五月廿一日飯山 本多豊後守様御城下御止宿御用地亭主増田徳左衛門 右ニ付飯山三橋新五右衛門殿及懸合書帖其外献上物取調書類入 八田知義」 八田知義	文政5壬午年5月21日	袋・1点	え4151-1
(書状、豊後守止宿の際菓子1箱と縞縮1反の贈答に付) 松田忠太夫→八田嘉右衛門様	5月21日	横切紙・1通	え4151-2
(書状、旦那発駕について御城下通行止宿の様子承知に付) 三橋新五右衛門→八田嘉右衛門様貴下	5月20日	横切継紙・1通	え4151-3
(書状、御羽織1・御花活1拝領御礼に付) 八田嘉右衛門知義(花押)→田野村半助様・田中弥一右衛門様	8月2日	横切紙・1通	え4151-4
(書状、天龍和尚病死のため香燭白銀1枚献備に付) 八田嘉右衛門知義(花押)→喜福寺様	9月12日	横切紙・1通	え4151-5
(書状、太守様御勝手方御用弁のため御紋付き縮緬羽織拝領に付)		横切紙・1通	え4151-6
寸忱(忠孝・忠臣・夫孝など家訓書)	文政6年癸未冬11月	折紙・1通	え4151-7
覚(西瓜香半箱代銀10匁ほか菓子類6品代金書上) こめや柳吉→八田様御役人様	5月	横切紙・1通	え4151-8

1.6.3. 芝津村斧右衛門借財片付方一件

(芝津村斧右衛門借財片付方一件綴)		綴/(え4130-1~16は一綴)・1綴	え4130
(包紙) * (包紙上書)「文政三辰三月三日改 芝津村斧右衛門殿借財片付二付 大和屋三四郎 高井傳右衛門へ懸合紙面 当時不用二候得共仕舞置申候」		包紙・1点	え4130-1
(書状、御内話一条委細御内願ひ申し上げも片附かず、迷惑も何分御勘弁願ひに付) 八(八田)嘉右衛門→三(橋)新五右衛門様御下	10月12日	横切継紙・1通	え4130-2

(書状、幾之助病氣強く難儀に付大人様へ取次願) 三四郎・栄助	3月24日	折紙・1通	え4130-3
(書状、御海容無尽の儀取決め・柴津一条和七へ御内談の上決定などに付) 浄福寺→三橋新五右衛門様	11月12日	横切継紙・1通	え4130-4
覚(無利足12年賦返済の拝借金396両2分の積金差引残りメ金130両銀6匁金銭書上)	子5月調	横切継紙・1通	え4130-5
覚(戌年無利足12年賦の拝借金396両2分他メ490両2分より子5月受取金他差引残金301両2分の返済書上)	丑8月	横切継紙・1通	え4130-6
(金673両2分返済滞りに付寅年利分滞り子年まで金27両2分他メ元利滞り金187両金銭書上)		横切継紙・1通	え4130-7
(幾之助殿発起の無尽掛金150両子年より亥年利足差引メ金178両1分借入書上)		横切継紙・1通	え4130-8
覚(戌年無利足12年賦の拝借金396両2分他メ金490両2分差引金301両の返済書上)	丑8月調	横切継紙・1通	え4130-9
覚(無利足12年賦返済の拝借金396両2分の積金差引残りメ2口金150両2分金銭書上)	子5月調	横切継紙・1通	え4130-10
(書状、幾之助殿腫物やぶれのため、11日の芝津一件にて参上覚束なく八田大人様へ御取成願いに付) 栄助・三四郎→三月七日到着浄福寺様	3月7日	横切継紙・1通	え4130-11
覚(戌御物成1006俵代金432両1分ト銀10匁9分4厘差引メ金19両分ト10匁9分4厘の内訳書上)		横切継紙・1通	え4130-12
(「向辰年取延の275両」の金銭書付断簡)		横切継紙・1通	え4130-13
(亥暮下り金15両1分ト81貫270文他メ金42両1分ト203文金銭書上)		横切継紙・1通	え4130-14
(上納方より戌年拝借粉代残り金150両他金銭書上) *(端裏貼紙)「芝津村幾之助 差引入用帳面 子四月」		折紙・1通	え4130-15
(書状、柴津一条の儀去る11日一同引き合わせも、幾之助病氣により日延の上その後等閑に付) 三橋→厄かさり殿	4月朔日	切継紙・1通	え4130-16

## 1.7. 岩村田領

### 1.7.1. 無尽

(岩村田無尽関係綴)	(文化3年)	綴/(え4088-1~5は一綴)・1綴	え4088
(書状、昨日大八様遠路参会御苦勞の旨及び五明珍器2品受贈に付) 斎藤佐五兵衛→八田嘉右衛門様	11月27日	横切継紙・1通	え4088-1
(書状、昨26日頼母敷首尾良く発起相整い厚情申し尽くし難きに付) 藤田傳左衛門→八田嘉右衛門様	11月27日	横切継紙・1通	え4088-2
無尽懸金割(金50両口、辰11月懸金高金38両3分2朱御覧に入れるに付)	3月22日	横切紙・1通	え4088-3
無尽御連名(寅年発記岩村田宿篠沢佐五右衛門・出沢由次郎ほか子11番まで延べ41名無尽当番人など書付)	11月27日	横切継紙・1通	え4088-4

覚(早田清右衛門・藤田傳左衛門・出澤由次郎・篠沢佐五右衛門無尽会金50両受取証文)* (端裏貼紙)「藤田傳左衛門殿発起千両半口加入懸出金受取追而本證文請取候筈 寅十一月廿六日」早田清右衛門(印)・藤田傳左衛門(印)・出澤由次郎(印)・篠沢佐五右衛門(印)	文化3寅年霜月26日	横切継紙・1通	え4088-5
---	------------	---------	---------

## 1.7.2. 訴訟

乍恐以書付奉申上候(岩村田領野沢村ほか作徳米滞出入一件済まし方御利解に付願書) 真田信濃守領分信州埴科郡松代町傳兵衛百姓傳兵衛代同人弟沖八→御奉行所様	子10月	横切継紙/(虫損)・1通	え4098
書附を以届申上候(小縣郡飯沼村源吉他より松代町傳兵衛への質地10件質流れに付届書) 埴科郡松代町傳兵衛・代和七・半兵衛、(奥書)出澤喜右衛門・若林武太夫・小泉嘉助・神澤定蔵→内藤豊後守様岩村田御役所	天保3辰年3月	横切継紙/(貼紙あり)・1通	え4099
(佐久郡岩村田所々来状一括)		紙綴一括/(え4095-1~44は紙綴一括)・1点	え4095
(包紙) * (包紙上書)「佐久郡岩村田所[ ] (虫損) 来状入」		包紙・1点	え4095-1
(書状) 萩原[ ] (虫損)・池田[ ] (虫損) 助→八田嘉右衛門様用事		横切紙/(虫損甚大開披不能)・1通	え4095-2
(書状) 岩村田渡辺武左衛門→松代八田嘉右衛門様要用		横切紙/(虫損甚大開披不能)・1通	え4095-3
(書状、要用のため寛蔵より恩借り願ひ承知の礼に付) 篠沢佐五右衛門(印)→八田嘉右衛門様	12月20日	横切継紙/(虫損甚大)・1通	え4095-4
(書状、年始の御祝詞に付) * (包紙上書)「春田彦太夫 八田嘉右衛門様」/(封書貼紙)「御用人」 春田彦太夫□(虫損) 善(花押)→八田嘉右衛門様参人々御中	正月15日	折紙/(虫損)・1通	え4095-5
(書状、年始の御祝詞に付) * (包紙上書)「伊藤重蔵 八田嘉右衛門様」/(封書貼紙)「御家老」 伊藤重蔵弘貞(花押)→八田嘉右衛門様参人々御中	正月15日	折紙/(虫損)・1通	え4095-6
(書状、この度印証開帳面認め相改め差し上げるに付) * ((封書裏書)「佐久郡杓沢村ヨリ」 丸山徳五郎→松代伊勢町八田嘉右衛門様貴下	10月25日	横切継紙/(虫損)・1通	え4095-7
(書状、本證文1通開帳面1冊差遣わし印證文2通引き替え飛脚の者へ御渡しなどに付) * (包紙上書)「瀬下七兵衛 松代町ニ而印證御返済被下」/(封書裏書)「自三塚村」 瀬下七兵衛→八田嘉右衛門様	10月24日	横切継紙/(虫損)・1通	え4095-8
(包紙) 後閑藤右衛門・藤田百助→八田嘉右衛門様用事		包紙/(え4095-9~11は包紙一括)・1点	え4095-9
(書状、当年不作旁々のため返金のうち金300両寛蔵へ相渡し遣わし請取下さるに付) 藤田百助・後閑元吾・後閑藤右衛門→八田嘉右衛門様	12月20日	横切継紙/・1通	え4095-10
(書状、当年不作のため皆済遅れ金子支払御免及び諏訪無尽手取り金800両の内金250両御許様へ御預けなどに付) 後閑元吾→八田嘉右衛門様	12月20日	横切継紙・1通	え4095-11

(書状、来月雑用金請取のため残金150両御渡し及び勝手向相談のため来る21・22日頃貴地へ罷り越しに付) * (包紙上書)「後閑藤右衛門・後閑元吾・後閑又衛 八田嘉右衛門」 後閑又衛・後閑元吾・後閑藤右衛門→八田嘉右衛門様用事	3月16日	横切継紙・1通	え4095-12
(書状、年始の御祝詞に付) * (包紙上書)「後閑藤右衛門・藤田百助 八田嘉右衛門様」/(封書貼紙)「御郡方位成就」藤田百助久重(花押)・後閑又衛信潮(花押)・後閑元吾信近(花押)・後閑藤右衛門信(花押)→八田嘉右衛門様	正月15日	折紙/(虫損甚大)・1通	え4095-13
(書状、150円拝借證文認め代わりの者へ御渡し下さるに付) 手塚山極八郎右衛門→松代御家中八田嘉右衛門様証文一通相添	12月20日夜認	横切継紙/(虫損甚大)・1通	え4095-14
(書状、工藤御隠居様貴所へ発駕のため利金子差し上げる他に付) * (封書裏書)「中丸子村発」 長福寺→松代御家中八田嘉右衛門様要事	5月17日	横切継紙・1通	え4095-15
(包紙) 後閑元吾・藤田百助→八田嘉右衛門様		包紙/(え4095-16~18は包紙一括)/(虫損)・1点	え4095-16
(書状、上田荒屋方200両借り戻し及び1000両無尽2口分野沢御役所不納留まり入れなどに付) 藤田百助・後閑元吾→八田嘉右衛門様	12月24日	横切継紙/(虫損)・1通	え4095-17
(書状、南原一件両目録飛脚を以て戻し金1000両当暮勘定致すように付) 百口(助)(虫損)・元吾→(八田)嘉右衛門様	12月24日	横切紙/(虫損)・1通	え4095-18
(書状、旧冬ご息女婚姻の祝儀として御肴1折遣覧致すに付) * (包紙上書)「後閑藤右衛門・藤田百助」/(包紙貼紙)「御郡方」 藤田百助久重(花押)・後閑又衛信潮(花押)・後閑元吾信近(花押)・後閑藤右衛門信(花押)→八田嘉右衛門様	正月17日	折紙/(虫損)・1通	え4095-19
(書状、無尽当冬会合2月分差支え、相談として21・22日役人同道にて罷り越しなどに付) 後閑元吾→八田嘉右衛門様用事	3月13日	横切継紙・1通	え4095-20
(書状、去冬中恩借りの金子来月まで延引も、この度願ひ上げ御聞き済み下さるべきに付) 後閑彦三→八田嘉右衛門様	5月13日	横切継紙/(虫損)・1通	え4095-21
(書状、寛藏分知一件御礼申し上げ及び無尽加入頼みのため海野まで出張に付) 後閑元吾→八田嘉右衛門様	4月6日	横切継紙・1通	え4095-22
(書状、旧冬差懸かりの金子間違いあり金100両出金下され忝く仕合などに付) * (包紙上書)「後閑藤右衛門・後閑[ ](虫損)・後閑[ ](虫損)・[ ](虫損) 八田嘉右衛門様[ ](虫損)」 藤田百助・後閑又衛・後閑元吾・後閑藤右衛門→八田嘉右衛門様	正月17日	横切継紙/(包紙虫損甚大)・1通	え4095-23
(書状)		横切紙/(虫損甚大開披不能)・1通	え4095-24
(書状)		横切紙/(虫損甚大開披不能)・1通	え4095-25
(書状、御馳走の節願ひ上げの金子早速御聞き済み下され御厚志の程愚筆に尽くし難きに付) * (包紙上書)「岩村田法華堂 松城御家中八田嘉右衛門様」 法華堂源海→八田嘉右衛門様参人々御中	7月6日	横切継紙/(え4095-26~27は紙縫一括)・1通	え4095-26

1.内方/7.岩村田領/2.訴訟

(書状、金子の儀委細松三郎様より承諾下さるべきに付) 八田嘉右衛門→法華堂源海様賞酬	7月11日	横切継紙・1通	え 4095-27
(書状) 岩村田渡辺武左衛門→松代御家中八田嘉右衛門様		横切継紙/(虫損甚大開披不能)・1通	え 4095-28
(包紙) 後閑藤右衛門・後閑元吾→八田嘉右衛門様		包紙/(え4095-29-1~3は包紙一括)・1点	え 4095-29-1
(書状、證文一通・裏印受取證文受け取り及び小俣大和氏との文通などに付) 後閑元吾・後閑藤右衛門→八田嘉右衛門様	5月17日	横切継紙・1通	え 4095-29-2
(書状、来月分雑用金800両お渡し下され、證文は左一兵衛持参に付) 元吾・藤右衛門→(八田)嘉右衛門様	5月17日	横切紙・1通	え 4095-29-3
(書状、御返金延引の件御高免及び甲田方へ金200両掛け合い御落手などに付) 元吾→(八田)嘉右衛門様	12月29日	横切継紙・1通	え 4095-30
(書状)		(虫損甚大開披不能)・1通	え 4095-31
(書状、金50両と金150両證文差し上げ、200金この者へ御渡し下されたきに付) 後閑又兵衛・後閑元吾・後閑藤右衛門→八田嘉右衛門様證文二通添	6月6日	横切継紙/(虫損甚大)・1通	え 4095-32
(書状、当暮不足金の儀承知下され仕合わせなどに付) 後閑元吾→八田嘉右衛門様用事	12月12日	横切継紙/(虫損甚大)・1通	え 4095-33
(書状、左一兵衛を以金子の儀相願ひ早速承引下され厚情の儀仕合わせに存じ奉るに付) 後閑彦三→八田嘉右衛門様	11月9日	横切継紙/(虫損甚大)・1通	え 4095-34
(包紙) 池田寛蔵→八田嘉右衛門様御取次中様		包紙/(え4095-35~38は紙縫一括)/(え4095-35~37は包紙一括)/(虫損甚大)・1点	え 4095-35
(書状、松代へは当暮間に合うため罷り出でないに付) 三塚村ニ而瀬下七兵衛→塚原村ニ而池田寛蔵様用事	12月22日	横切紙・1通	え 4095-36
(書状、三ツ塚村拝借の儀は間に合い、領主役所にて江戸表送金は間に合い兼るに付) * (包紙上書)「池田寛蔵 八田嘉右衛門様尾取次中様」 池田寛蔵→八田嘉右衛門様侍史	極月23日	横切継紙/(虫損甚大)・1通	え 4095-37
(書状、当冬領内差し詰まり年貢金皆納残り、江戸表差送り金100両拝借に付) * (包紙上書)「後閑藤右衛門・後閑元吾・藤田百助」 藤田百助・後閑元吾・後閑藤右衛門→八田嘉右衛門様	12月23日	横切継紙・1通	え 4095-38
(書状、来月出金の分兩人へ御渡し下されたきなどに付) 後閑元吾→八田嘉右衛門様用事	4月15日	横切継紙・1通	え 4095-39
(書状) * (封書裏書)「小縣郡中丸対発」 長福寺→松代御家中八田嘉右衛門様要書		(虫損甚大開披不能)・1通	え 4095-40
(書状)		(虫損甚大開披不能)・1通	え 4095-41
(書状) 上丸子工藤佐一兵衛 →松代御家中八田嘉右衛門様要用		(虫損甚大開披不能)・1通	え 4095-42



(書状、金子の儀委細承知使僧へ御渡しに付) (八田) 嘉右衛門→左一兵衛様貴酬	3月24日	(虫損甚大)・1通	え4095-43
覚(金200両利分24両他2口ノ60両岩村田様御仕送り分 戌11月から亥11月までの利分受取書) 甲田十左衛門・倉沢愛之助・山極八郎右衛門・代判甲田清右衛門(印)→松代町傳兵衛殿	文化13子年4月晦日	横長半・1冊	え4095-44
(岩村田出訴一件綴)		綴/(え4202-1~29は一綴)・1綴	え4202
(袋) *(袋上書)「岩村田一件子正月中より出訴ニ付江府表より書通之一巻入」		袋/(虫損)・1点	え4202-1
(書状、岩村田出訴一件済方の儀相違なく帰国仕り貴地へ罷り出で御実談申し上げるに付来る2月迄御猶予願ひ他) 池田源助→八田嘉右衛門様尊座下	11月11日	横切継紙・1通	え4202-2
(書状、源吾罷り出で然るべく申し合いの取り計らいに付) 菊屋傳兵衛→花井沖八様・丸沢栄八様	3月21日	横切継紙・1通	え4202-3
(書状、川上挽拔蕎麦2呎進上に付) 小泉八右衛門重光(花押)・牧野林平矩行(花押)・犬井条左衛門篤蒙(花押)→八田嘉右衛門様	12月21日	横切紙・1通	え4202-4
(書状、江府出立一条御厚志を掛けられ忝き旨他) 福嶋宿花井沖八→伊勢町菊屋和七様	7月29日	横切紙・1通	え4202-5
(書状、去る22日頃其表到着も、何の御沙汰も御座なく心配罷り有りに付) 傳兵衛・和七→一様・一様	3月27日	横切継紙・1通	え4202-6
(書状、江戸表御尊判頂戴の儀申し上げるに付) 花井沖八・丸沢栄八→松代菊屋傳兵衛様当用	3月25日夜認	横切継紙・1通	え4202-7
(書状、尊判頂戴にて明日岩村田宿へ罷り越し掛け合いに及び申し談じに付) 源吾→和七様・市兵衛様	3月24日認	横切継紙・1通	え4202-8
(書状、御府内出火の氣遣いに付御留守居役座間百人様へ願ひ、御預りの佐久郡村々印証類御土蔵に入れ置く旨) 沖八・栄八→笠井和七様		横切紙・1通	え4202-9
(書状、源助殿2月5日まで日延相頼み、当節殊に御台様御他界御精進にて諸出願相頼みに付) 花井沖八・丸沢栄八→笠井和七様用書	2月3日	横切継紙・1通	え4202-10
覚(御門主御用に付明後日21日宰相花井沖八にて高井郡福島村勝楽寺まで人足2人輕尻1疋先触れ) 六條御殿築地御留守居方役所印		横切継紙・1通	え4202-11
(書状、江戸逗留中御供の喜三郎29日勢州代参に出立、御下屋敷へ元之進様江戸へ着の旨他) 山本豫兵衛→長崎源吾様	11月2日	横切継紙・1通	え4202-12
(書状、右金子の儀御上御身上向き不融通にて取り続き成り難きに付) 深美寿一郎→八田嘉右衛門様玉机下	11月20日	横切継紙・1通	え4202-13
(この度平兵衛殿御用に付此の表へ先月23日着の旨書付)		小切紙・1通	え4202-14
(書状、当3日岩村田より5人出向、何分出張の仁御引き戻し下され候様に付) *(端裏書)「二月四日江戸表両所へ差遣候下案」 →一様・一様	2月4日認	横切継紙・1通	え4202-15
(書状、先日7日の夜銀町材木小屋より出火、7日晚尾張町より出火など江戸滞在近況に付) 伊東太助→笠井和七様	9月14日	横切継紙・1通	え4202-16

1.内方/7.岩村田領/2.訴訟

(書状、岩村田一件来月5日迄出訴見合わせに付) * (端裏書)「二月七日到来仕候、御覽後御下ヶ被成下、御消仕度奉存候、尤正月廿九日出ニ御座候 嘉助」		横切継紙・1通	え4202-17
(書状、産物方役所へ伺い松沢様へ御状御届け・栄八案内にて八丁堀中野へ罷り越しなど岩村田一件近況報告) 市兵衛→和七様	5月16日夜	横切継紙・1通	え4202-18
(書状、岩村田一件内済に致すところ、当日異変いたし日延相頼みも破談に相成る旨) * (端裏書)「三月十九日夕刻着」 紀伊国屋より花井沖八・丸沢栄八→伊勢町菊屋傳兵衛様平安当用	3月10日	横切継紙・1通	え4202-19
覚(出訴のため寺社奉行宛訴状下案1通ほか岩村田一件関係書類16件渡しに付) 伊勢町傳兵衛→御出府沖八殿・栄八殿	天保11子年正月16日	横切継紙/(虫損)・1通	え4202-20
(書状、御指日も御姫様御逝去にて諸御役所向き延引・出府の中込村又兵衛他惣代4人による内済熟談の懸け合いに付) 市兵衛→和七様	5月13日朝認	横切継紙・1通	え4202-21
(書状、岩村田一件出立府着以後の近況報告) 從江府より出ス花井沖八→菊屋内市兵衛様平安用書	8月29日	横切継紙/(虫損甚大)・1通	え4202-22
(書状、借用の金子延年の儀明春帰国まで御猶予願いに付) 池田源助→有賀平兵衛様・御苗良右衛門様	10月25日	横切継紙・1通	え4202-23
(書状、中野様より御添書成し下され候扣御請けの儀他に付) 菊屋傳兵衛→花井沖八様・丸沢栄八様	3月2日	横切継紙・1通	え4202-24
覚(寺社奉行宛訴状下案1通ほか15件天保11年岩村田一件出訴関係書類受取書) 福嶋村預り主沖八(印)・同断栄八(印)→伊勢町傳兵衛殿		横切継紙・1通	え4202-25
覚(岩村田一件出訴に付金20両借用証文、帰国時明細勘定仕立て返上) 預り人沖八(印)・右同断栄八(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保11子年正月16日	横切継紙/(虫損)・1通	え4202-26
(書状、池田源助立入相頼み、幾重にも岩村田一件内済致しくれ候様頼みに付) 江戸八丁堀より出ス花井沖八・丸沢栄八→松代伊勢町傳兵衛様平安用書	2月11日8ツ時認	横切継紙・1通	え4202-27
(書状、岩村田一件立入人源助不都合の儀申し出で、余儀なく破談となる旨に付) * (端裏書)「子三月朔日到来」 文右衛門→(八田)嘉助様	2月26日	横切継紙・1通	え4202-28
覚(御用達金の内献金仕り当午年分米100俵受取書) 八田嘉右衛門→御内書前田宗右衛門様・犬井丈左衛門様	文政5午年12月	横切紙・1通	え4202-29

1.7.3. 岩村田差引方調書類綴

(岩村田差引方調書類綴)		綴/(え4156-1~11は一綴)・1綴	え4156
(袋) * (袋上書)「岩村田差引方之調書類」		袋・1点	え4156-1
(質地受取代金1ヶ年100両20ヶ年及び粃1ヶ年100俵10ヶ年の10年季質地小作規定書) * (端裏書)「○是ハ今朝申上候趣之訳再勘仕候処、是よりハ△印方可然哉奉存候間、△印方得と御勘弁可被成下候」		横切継紙・1通	え4156-2
覚(先年太守様御入用向へ御用達金賦課も不繰合のため、御領内の者へ差引向15年の間に相済み次第2000両御入料筋へ献金に付一札) 一内 → 一の内一殿	文政6未年2月	横切継紙・1通	え4156-3

①(1ヶ年金100両100俵借用証文認め方の書付)、②(地代金2000両にて役代傳兵衛へ質入に付一札の雛形)、③(質地の方絵図面や無利息20ヶ年賦に付2ヶ条書付) * (端裏書)「△是ハ再勘弁之方此方可然奉存候、猶御賢慮可被成下候」 ②八田嘉右衛門印→一様御内一殿	年号	横切継紙・1通	え4156-4
(先年太守様御入用向へ御用達金賦課も不繰合のため、御領内の者へ差引向15年の間にて相済み次第2000両御入料筋へ献金に付一札) * え4156-3の下書カ		横切継紙・1通	え4156-5
(書状、表辻2000両質地の取極や篠沢方残金年賦に付) 書鳩→学道様尊座下	12月3日	横切継紙・1通	え4156-6
覚(金1250両他ノ元金3500両請け取金差引に付余り金34両金銭書付)		横切継紙・1通	え4156-7
(中島氏最初見込質地代金2000両他内々御請承知に付御勘弁の書付)		横切継紙/(貼紙あり)・1通	え4156-8
覚(玄米100俵代金50両他ノ183両1分20ヶ年賦の所申し出の処5ヶ年賦過ぎにて勘弁の書付)		横切継紙/(下札あり)・1通	え4156-9
為取替印書之事(金2000両にて質地御預り年々入上粉差出など取極めに付取替一札) * 雛形 松代伊勢町傳兵衛→一殿		横切継紙・1通	え4156-10
(地代金2000両にて役代傳兵衛へ質入の御極に付存寄7ヶ条申上書)		横切継紙/(貼紙あり)・1通	え4156-11

## 1.7.4. 岩村田村法華堂差引勘定一件

(岩村田法華堂差引勘定御間違い一件関係綴)		綴/(え4115-1~17は一綴)・1綴	え4115
(袋) * (袋上書)「文政七甲申六月[ ](虫損)差引間違之趣法華堂源[ ](虫損)入」		袋/(虫損甚大)・1点	え4115-1
覚(金500両3分割金166両2分2朱永37文他2口差引御渡金の内訳書上)		横切継紙/(虫損)・1通	え4115-2
(書状、八田氏差引の儀、別紙当院差引のみ相認め差し上げる上熟読下されるに付) 法華堂→開田庄助様机下	12月11日	横切継紙・1通	え4115-3
(新年の挨拶断簡) * え4115-5の時候の挨拶部分/(端裏書)「岩村田申正月懸合案文」	申正月	切紙・1通	え4115-4
(書状、別紙差引書の件、当方差引書御承知の上は貴報次第取計い申すべきに付) * 下書		横切継紙・1通	え4115-5
覚(元利金550両他ノ金690両差引残金106両2朱銀192匁御渡しに付) 会主→笠井様	申11月	横切継紙・1通	え4115-6
口上(御印書及び御預り切手の取り置きなど御細書の委細申し上げに付)	11月17日	横切継紙・1通	え4115-7
法華堂の方(古借取分金125両他ノ183両1分7匁5分差引166両2分7匁5分金銭書上及び同所利息勘定)		横切継紙/(虫損)・1通	え4115-8
並木渡辺兩人分差引(古取替金350両他ノ金935両此方取分内訳書付)	申正月調	横切継紙/(虫損)・1通	え4115-9

1.内方/7.岩村田領/4.岩村田村法華堂差引勘定一件

覚(渡辺氏御借入金500両他ノ金1191両1分差引残金19両3分7匁5分金銭書上)	11月	横切継紙/(虫損)・1通	え4115-10
覚(金50両他金銭書上)		横切継紙/(虫損)・1通	え4115-11
(佐久郡上塚原村政五郎午年・未年分返済額並びに佐久郡田野口村瀬左衛門・又右衛門未年分返済額書上)		折紙/(虫損)・1通	え4115-12
岩村田差引覚(金子差引勘定、取替に付)	未11月	横切継紙/(虫損甚大)・1通	え4115-13
岩村田三人へ懸り[ ](虫損)(法華堂借付金300両他ノ金1150両ほか差引17両2分5文並びに此方受取分金銭書上) * 本文墨消	未11月13日	横切継紙/(虫損甚大)・1通	え4115-14
法華堂内差引(先達て貸付金300両残金184両2分ほか金銭書上)		横切継紙/(虫損甚大)・1通	え4115-15
(金310両他ノ935両ほか差引3両12匁5分金銭書上)		横切継紙/(虫損甚大)・1通	え4115-16
法華堂差引表向之方(表向高金330両貸金元利ほか差引ノ金208両金銭書上)		横切紙/(虫損)・1通	え4115-17

## 1.8. 田野口領

乍恐以書付奉歎願候(諸色高値困窮の御救に付金500両及び粉100俵拝借願) * (端裏書)「追分宿問屋」中山道追分宿御出入問屋兼帶土屋市左衛門(印)→松代様御奉行所様	慶応3卯年正月	縦継紙・1通	え4093
---	---------	--------	-------

## 1.9. 金銭・穀物請払

### 1.9.1. 金銭差引

(八田廣助差引書類綴)		綴/(え4039-1~6は一綴)・1綴	え4039
(袋) * (袋上書)「八田廣助殿差引書類入 卯二月」		袋・1点	え4039-1
払方取調覚(ノ金13両3分銀14匁3分8厘錢33貫38文)馬場丁	戌3月	横切継紙・1通	え4039-2
覚(白米5斗代金3分3朱38文金銭書上) * (貼紙)「[綴紐にて不読]」増田弥兵衛→八田廣助様	2月20日	切紙・1通	え4039-3
(書状、金子不調達のため出金御日延願に付) 貞蔵→馬場丁様	12月18日	横切継紙・1通	え4039-4
(御内借長井請申西利滞金3両2分6匁ほかノ27両2分8匁3分3厘金銭書上)		折紙・1通	え4039-5
覚(1割3分利付八田嘉助借用金5両ほか元利ノ25両3分13匁5分金銭書上)		横長半・1冊	え4039-6
(勘定向差引書類綴)		綴/(え4129-1~62は一綴)・1綴	え4129

(袋) * (袋上書)「拝借方より御預ヶ金の御積金上納請取并 本金之内江返済請取印書 未年御趣意差上金之小切手 預 り金利足渡請取切手 勘定向指引書類 紙屋町より預り金 積立勘定帳并書取等三本 無印指引書類通 天保十亥十月 調」/(袋裏書)「酒勘定仕立方調書類(墨消)」	天保10(年)亥10月	袋・1点	え4129-1
覚(卯年半利滞分金2分他メ金4両2分金銭書上) 中町 五兵衛		切紙・1通	え4129-2
(書状、西条村清蔵金子相願う所、同人居屋敷御買入の 趣に御取り計らい成され度に付) 徳寫恒吉→中嶋三 右衛門様	12月24日	横切継紙・1通	え4129-3
覚(大嶋磯右衛門殿庄所証文分金13両3分請取に付) 水野友作(印)→八田嘉助様	未12月25日	横切継紙・1通	え4129-4
(上八丁村文左衛門年賦卯年分金1両1分銀3匁8分9厘 他メ1両2分3朱余差し上げるに付金銭書上) (矢野 倉)惣之進→(八田)嘉右衛門様金子入	12月26日	横切紙・1通	え4129-5
覚(1口御懸戻しの分金10両ほか元利メ11両3朱錢126 文請け取りに付) 山越嘉膳(印)→八田嘉助殿	天保12丑年7月	横切継紙・1通	え4129-6
覚(御時借金2両2分請取書) 中澤孫右衛門(印)→長崎源 吾殿	天保6年未12月10日	横切継紙・1通	え4129-7
覚(御元金375両分8分利金30両ほか当子御礼金請取 書) 池田良右衛門・吉沢十助・大嶋磯右衛門(印)→八田 嘉右衛門殿	天保11子年12月	横切継紙・1通	え4129-8
覚(御預かり金30両分当卯年御利足金2両1分2朱と銀1 匁5分請取書) 中町相之助(印)→糸方御会所	天保2卯年12月29日	横切紙・1通	え4129-9
覚(御祭礼金13両ほかメ金18両3分2朱銀6匁2分5厘請 取書) 惣八郎(印)→忠七様	辰12月20日	横切紙・1通	え4129-10
覚(拙者発起無尽佐竹周蔵殿加入分金の内差引メ金11 両1朱銀7分5厘請取書) 依田多吉(印)→八田嘉助殿	天保12丑年5月5日	横切継紙・1通	え4129-11
覚(当丑年始御礼錢青銅5疋請取書) 佐藤左金吾(印)→ 八田嘉助殿	天保12丑年正月	切紙・1通	え4129-12
覚(当丑年始御礼錢青銅10疋請取書) 佐藤左金吾(印) →八田嘉右衛門殿	天保12丑年正月	切紙・1通	え4129-13
覚(宿方割増御預ヶ金当午年利潤御下ヶ金5両2分請取 書) 伴栄作(印)・増田徳左衛門(印)→八田嘉右衛門殿	天保5午年12月	横切紙・1通	え4129-14
覚(去る丑4月証文替えの分金2両ほか利足メ金2両1分 余金銭書上) (関田)守之丞	6月29日	切紙・1通	え4129-15
覚(鹿野茂手木殿御頼母当初会掛金の内金5両借用証 文) 八田嘉助(印)、(奥書)山越嘉膳(印)→山越嘉膳殿、 (奥書)鹿野茂手木殿	天保5午年12月25日	横切紙・1通	え4129-16
覚(池田宮への御奉納金2両預り証文) いせ丁せわ人惣 代源左衛門[印]→茶屋傳兵衛様	5月12日	横切継紙・1通	え4129-17
覚(中島様御普請金4両1分2朱錢240文請取書) 大工忠 左衛門(印)→八田嘉右衛門様御内御役人中様	卯12月29日	横切紙・1通	え4129-18
覚(金2両3分銀10匁請取書) 池田良右衛門・吉沢十助・大 嶋磯右衛門(印)→八田嘉右衛門	天保12丑年7月9日	横切紙・1通	え4129-19
覚(元金30両の去巳年御利足金2両1分2朱銀1匁5分請 取書) 中町相之助(印)	天保5年正月17日	横切紙・1通	え4129-20
覚(初代金13両他請取書) 忠八郎(印)→瀬野忠七様	卯12月	横切紙・1通	え4129-21

## 1.内方/9.金銭・穀物請払/1.金銭差引

覚(金10両請取書) 岡野弥太郎(印)→八田嘉助殿	7月12日	横切継紙・1通	え4129-22
覚(実父御頼み申す金子年利分金2両銀24匁請取書) 土浦右近(印)→八田辰三郎殿	天保5(年)午12月	横切紙・1通	え4129-23
覚(金3両2分銀10匁8分請取書) 土浦右近(印)→八田辰三郎殿	天保5午年12月	横切紙・1通	え4129-24
①(卯6月11日中野陣屋へ頼みに参候節入料ほか、8両2朱余請取書)、②覚(大和柿代金72匁請取書)、③覚(糸掛縞1反代銀60匁請取書) ①与一右衛門→中野陣造用、②③坂屋加兵衛→堀内与一右衛門様御内	①卯12月29日、②卯6月10日、③卯11月	横切継紙・1通	え4129-25
(書状、少々御無心申上げ金子1分借用願に付) 坂原啓十郎→八田嘉助様内用	正月17日	堅紙・1通	え4129-26
覚(御下屋敷御不足代金2分請取書) 質方清之助(印)→上	寅正月28日	横切紙・1通	え4129-27
覚(当正月まで御下屋敷様御分金12両1分銭385文の内差引銭2貫385文頂戴願) 酒店	卯3月	横切継紙・1通	え4129-28
覚(当正月中まで御下屋敷様御分御酒代御油代御取替物、金12両1分銭385文金銭書上)		切紙・1通	え4129-29
(書状、御借入金本証文差し上げ御引替に付) 磯右衛門→(八田)嘉右衛門様	正月16日	横切継紙・1通	え4129-30
以口上書奉願候御事(高1斗6升8合他清蔵所持の明屋敷私方へ譲請願) *写 八田嘉右衛門役代傳兵衛印→御代官所		横切紙・1通	え4129-31
(給金口金12両3分他、83両2分2朱金銭書上)		横切紙・1通	え4129-32
(札、「閏十月 拾四両貳朱十匁」)	8月15日	札・1点	え4129-33
(書状、柴町より度々御書付成し下される様申し来たるに付) 祝福→伊勢町様	10月16日	横切紙・1通	え4129-34
(元金3両の寅卯兩年分利2分余他、差引3両余金銭書上)		横切継紙・1通	え4129-35
(書状、一昨日御内談の毛縄一件昨日善左衛門へ掛け合い、仰せの通り22日迄に御挨拶の予定も善左衛門承服致さずに付) 唱→(八田)嘉右衛門様内様	7月25日	横切継紙・1通	え4129-36
(書状、この品御預かり置き、2分2朱20日頃まで御時借願いに付) 忠兵衛→(八田)嘉助様	5月4日	横切紙・1通	え4129-37
覚(小幡外記殿への御取替預金70両の卯年利金7両他差引、2両3分3朱銀2匁5厘金銭差し上げに付) (堀内)与一右衛門	卯12月29日	横切継紙・1通	え4129-38
覚(元金124両1ヶ月利62匁他、元金601両余り、利金24両余り金銭書上)		横切継紙・1通	え4129-39
覚(宿方御預ヶ金当卯利分金5両2分請取書) 伴栄作(印)・増田徳左衛門(印)→八田嘉右衛門様	天保2卯年12月	横切紙・1通	え4129-40
覚(当年元金120両の割御渡し金5両2分銀6匁請取書) 森村和七(印)→糸方御会所	天保5午年12月	横切紙・1通	え4129-41
覚(御預け金120両の内御下ヶ金50両請取書) 森村和七(印)→糸方御会所	天保5午年12月	横切継紙・1通	え4129-42
覚(元金120両の利金9両2分銀6匁請取書) 森村和七(印)→糸方御会所	天保4巳年12月	横切継紙・1通	え4129-43

覚(御預かり金当寅年御割合金7兩2分請取書) 和七(印)→傳兵衛様	文政13寅年12月	横切継紙・1通	え4129-44
覚(当卯元金135兩の利金10兩3分銀3匁請取書) 森村和七(印)→糸方御会所	天保2卯年12月	横切紙・1通	え4129-45
覚(当辰元金135兩の利金10兩3分銀3匁請取書) 森村和七(印)→糸方御会所	天保3辰年12月	横切継紙・1通	え4129-46
覚(当未御割合金5兩2分銀6匁請取書) 森村和七(印)→糸方御会所	天保6未年12月	横切紙・1通	え4129-47
御借用金証文之事(文化8年8月より天保4年12月迄の元利金87兩1分ほか差引ノ25兩金銭書上)		横切継紙・1通	え4129-48
覚(御勝手御逼迫の御時節に付差上金75兩請取書) 宮原繁之助(印)・片桐惣右衛門(印)→八田嘉右衛門殿・八田喜兵衛殿・八田辰三郎殿	12月	横切継紙・1通	え4129-49
覚(去辰年分御病気金1兩銀9匁7分請取書) 矢野倉惣之進(印)→八田嘉右衛門殿	天保4(年)巳12月	切紙・1通	え4129-50
覚(小諸町利兵衛預け金100兩と利金5兩3分5匁請取書) 八田喜兵衛→八田嘉助殿	天保6未年9月4日	横切紙・1通	え4129-51
(頼みの糸会所引当金の印へ差し出しに付一札) *前欠/下書 八田嘉助印→森村和七	文政14卯年正月	横切紙・1通	え4129-52
(書状、御下書の通り認め差し上げ宜しき様御願ひも、御心配御かけ何分御宥怒願ひに付) 認入申上→松山町様内用	正月29日	横切継紙・1通	え4129-53
(書状、暮らし方差し困りのため金子お送り願ひ並びに婚嫁2月4日の御知らせなどに付) 兵左衛門→嘉右衛門様	極月17日	横切継紙・1通	え4129-54
一札之事(町内尾祭礼助成金並びに名主役給金今般返金御断りのため、当1ヶ年御預かり頼みに付) 伊勢町惣代源左衛門・惣蔵・介添周兵衛・名主伴之助→当町傳兵衛殿	天保12丑年2月	横切紙・1通	え4129-55
預申金子証文之事(当町御祭礼入料元立金130兩当1ヶ年預かりに付) *下書 八田嘉右衛門役代傳兵衛印→御役元伴之助殿・御介添周平殿		横切紙・1通	え4129-56
預申金子証文之事(町内名主給備えとして取り立ての無尽金50兩預かりに付) 八田嘉右衛門役代傳兵衛印→御役元伴之助殿・御介添周兵衛殿		横切紙・1通	え4129-57
覚(この度年季切替願の際、持参仕らず古証文との御引替御差延ばし一札) 石渡村三左衛門(印)→松代町傳兵衛様	天保4巳年12月	横切紙・1通	え4129-58
一札之事(去る巳年拝借金20兩の内上納切手紛失に付、この書面をもって本証文御下ヶ願ひ) 鏡屋町伊兵衛(印)→城内茂市郎様御内	天保6未年7月8日	横切紙・1通	え4129-59
(文化7年御預け元利13兩による倉田当助殿50兩発起無尽へ1口御加入後の無尽願末書付) 紙屋町		横切継紙・1通	え4129-60
覚(元金300兩卯12月より辰7月迄利銀1貫200匁他差引ノ金24兩2分1朱銀5匁2厘金銭書上)		折紙・1通	え4129-61
通帳上書(家賃金請取通) 松代町傳兵衛→海野宿六左衛門殿	天保3辰年4月	折紙・1通	え4129-62

1.内方/9.金銭・穀物請払/1.金銭差引

(安政6未年正月の中よりの金銭差引書類綴)		綴/(え4131-1~76は一綴)・1綴	え4131
(袋) * (袋上書)「安政六未年正月の中よりの金銭差引書類 同申歳文久元辛酉歳酉歳同壬戌同癸亥歳 澹庵」		袋・1点	え4131-1
覚(御年貢粉2表俵1斗5升代金3分4匁2分900文他ノ金1両4匁2分9厘上納に付) 莊助	戊正月15日	横切紙・1通	え4131-2
(嘉永6丑年より文久元酉年まで金銭書上)		横切紙・1通	え4131-3
(金25両並び金16両2分2朱金銭内訳書上) * (端裏書)「文久二壬戌年四月松本源八殿差引書」	文久2壬戌年4月	横切紙・1通	え4131-4
(札、「戌年十二月日金壹両一分 返済」)		札・1点	え4131-5
(内2間為替にて返済の札)		札・1点	え4131-6
(金25両元利等内訳書付) * (端裏書)「文久二壬戌年十二月受納也、習堂ニ而差引書」		横切紙・1通	え4131-7
覚(綿帽子代6匁5分他ノ27匁5分金銭書上) 三井熊三郎→八田様	酉12月	横切紙・1通	え4131-8
覚(唐傘2本代金22匁他ノ73匁8分6厘100文金銭書上) きくや九蔵→伊勢町様		横切紙・1通	え4131-9
(茶代650文他金銭書上)		折紙・1通	え4131-10
(安政7申正月利1割の元金15両差引残金元利ノ5両2分6匁当暮返済金銭書上) * (端裏書)「松本源八殿15両差引書」	文久元酉年12月調	横切紙・1通	え4131-11
(重蔵より粉買上4俵代金1両400文他ノ金7両1朱2匁9分より差引1分2朱7分8厘金銭書上) * (端裏書)「重蔵より粉買上代金過渡残金請取可申事差引書」		横切紙・1通	え4131-12
覚(名宗手翰代金36匁金銭書上) 和泉屋吉兵衛→小林様	9月22日	横切紙・1通	え4131-13
①覚(黒砂糖代3匁他ノ金26両2朱106文金銭書上)、②覚(辰年御勘定引き残り金2両1分164文他ノ金8両520文金銭書上)、③覚(岡埜様御貸分金1両3分112文金銭書上) ①きく屋傳兵衛・角店→岡野陽之助様御内御役人中様、②菊屋傳兵衛→岡野陽之助様御内御役人中様、③油店	①②巳①2月、②正月	横切紙・1通	え4131-14
覚(かつのこ2匁など品差上に付) 三木村佐助→岡野様御内様	12月25日	横切紙・1通	え4131-15
(師岡御袋様より預金2朱ほか嘉永6丑年より巳年金銭書上)		横切紙・1通	え4131-16
(安政5年211両2分6厘他金銭書上) →師岡御袋様		横切紙・1通	え4131-17
①(差引残金1両3匁9分8厘他戊12月調べノ6両3分3匁9分8毛より差引4両3分3匁9分8毛頂戴分金銭書上)、②覚(金28両3分2匁7分1厘より差引金1両3匁9分8厘差し上げ金書上) ②吉原傳蔵→八田嘉助様・八田喜兵衛様	②戊12月21日	横切紙・1通	え4131-18
(八田慎蔵才覚金500両辰8月晦日預ケ9月より12月迄4ヶ月分利足金16両2分10文他ノ金66両2分10文金銭書上)		切紙・1通	え4131-19
覚(菊屋傳兵衛分巳年利金3匁4分3毛他ノ巳年から子年の利金1分3朱5分7毛)		横切紙・1通	え4131-20



覚(元40両にて33ヶ月分辰12月晦日より未年利足金銭書上)		横切紙・1通	え4131-21
覚(御革飛大1本代銀20匁金銭書上) 平野屋万蔵(印「宇田川町平野屋万蔵武具師」)→上	2月	横切紙・1通	え4131-22
覚(残200正の内にて別紙の通り取計り、残金2朱ト270文上納に付御落手下さる旨他) とめ→いせ町様	11日	横切継紙・1通	え4131-23
覚(東福寺村御持地御払代金206両の残金103両2分金銭書上) 豊治→(八田)慎蔵様	子2月26日	横切継紙・1通	え4131-24
覚(小印代20匁他金銭書上) 彫物師三吉→上	11月21日	横切紙・1通	え4131-25
(書状、文政5年御内借金無尽御手元へ繰り出しの件小林方等閑のため、御元帳へ御見出しに付)		横切継紙・1通	え4131-26
(札、文久元年12月19日別紙差引書取調)		切紙・1通	え4131-27
覚(金100両預り証文) 八田嘉助→松木束殿		切紙・1通	え4131-28
覚(御割羽織仕立代2匁他ノ27匁3分6厘金銭書上)		横切紙・1通	え4131-29
(金10両2朱ト1匁7分6厘の内4両水井遣金請取など金銭書上) *朱筆		切紙・1通	え4131-30
覚(酉年利足金5両2分1匁2分請取書) 片桐庫之助(印)→八田慎蔵様御取次中様	文久2戌年12月	横切紙・1通	え4131-31
(安政2卯年より万延元申年まで元利ノ80両金銭書付)→八田慎蔵様		横切紙・1通	え4131-32
(数子代1分他2口ノ2分3朱281文金銭書上) *(端裏書)「松山町様差引書」	万延元庚申年12月	横切紙・1通	え4131-33
(寅12月元金73両の元利返済内訳書上) *(端裏書)「佐久間之差引」		横切継紙・1通	え4131-34
(無尽懸金1朱銀7分9厘他ノ金1両1分3朱銀2分1厘金銭書上)		横切継紙・1通	え4131-35
(書状、かずのこ等昨年代金勘定完了のため上納に付) 松山		横切継紙・1通	え4131-36
覚(広帯1本代73匁他差引ノ24匁4分5厘金銭書上) →師岡様	嘉永6丑年	横切紙・1通	え4131-37
覚(紬嶋1反代金54両他ノ82両2匁5分金銭書上) 角店→師岡様御内	寅年12月	横切紙/(貼紙あり)・1通	え4131-38
覚(白紬1疋63匁他ノ102匁6分差引5匁4分差上分金銭書上) 菊屋角店→御茶之間	卯年9月24日	横切継紙/(貼紙あり)・1通	え4131-39
覚(紬縞半反代28匁5分他ノ81両辰6月角店通帳書抜)→師岡様		横切紙・1通	え4131-40
覚(3月9日より12月26日まで131匁3分2厘他2口ノ211匁2分6厘金銭書上) 菊屋傳兵衛角店→師岡様御袋様	午12月	横切継紙・1通	え4131-41
(1両掛之分2会目無尽金3分3匁1分6厘他ノ1両1分3朱2分1厘金銭書上) *(端裏書)「万延二酉年正月松山町差引」	万延2酉年正月	横切紙・1通	え4131-42
(18匁5分他ノ53匁7分1厘ほか金銭書付)		切紙・1通	え4131-43
覚(御刀柄巻直代1分之内草治取替金1朱他ノ頂戴金1分の内訳書上) 莊助	12月4日	横切紙・1通	え4131-44

## 1.内方/9.金銭・穀物請払/1.金銭差引

覚(金2分1朱受取書) ほふらいや定右衛門(印「芝神明表 門前寶來屋」)→上	3月6日	横切紙・1通	え4131-45
覚(亥5月預り金1両他ノ金1両1分2朱より差引残上納 分1分2朱ト370文金銭書上)		横切継紙・1通	え4131-46
(安政6未年産物方冥加銀預高ノ金32両2分2朱他より 差引残金12両3分2朱3匁7分1匁7分金銭書上) * (端 裏書)「安政六未年産物方冥加銀之差引」	安政6未年	横切継紙・1通	え4131-47
(3月29日迄冥加惣預ノ高金37両1分3匁2分3匁2分5厘 の内上納分他差引ノ残高4両2分1匁3分1厘金銭書 上)		横切紙・1通	え4131-48
(嘉永6丑年より万延元申年まで利1割元金10両の元利 ノ書上) * (端裏書)「万延元庚申年十二月調師岡御袋様 差引」	万延元庚申年12月調	横切紙/(貼紙 あり)・1通	え4131-49
覚(嘉永6丑年より万延元申年まで引残り高書上)		横切継紙・1通	え4131-50
(戌2月2日差し上げ金5両他ノ差引残1両1分2匁9分2厘 頂戴願い) 莊助→伊勢町様	戌12月	横切継紙・1通	え4131-51
覚(亥2回目鬺金50両より掛金他差引ノ残36両1分8分2 厘193文差し上げ分金銭書上)		横切継紙・1通	え4131-52
覚(屋敷115坪代金1両他ノ金1両3分6匁2分6毛上納書 上) 莊助	子正月16日	横切継紙・1通	え4131-53
①覚(無利息11ヶ年賦の金55両借用証文、引当扶持方 玄米15俵、年々5両返済)、②覚(玄米15俵差出しに 付) ①八田慎蔵・加判→閔田莊助殿、②八田慎蔵→御 賄所、(奥書)莊助	①②文久3亥年12月	横切継紙・1通	え4131-54
覚(若宮村弥平治亥年3回目無尽預り金30両より懸合 金他差引ノ残25両2朱6分9厘渡し金銭書上)	亥12月27日	横切継紙・1通	え4131-55
(拝借地御年貢金1両1分他ノ差引金銭書上) * (端裏 書)「伊勢町様御差引」/下書		横切紙・1通	え4131-56
覚(玄米6俵志川村より受取書) 稲荷山村甚左衛門→八 田慎蔵様	子正月23日	切紙・1通	え4131-57
覚(元金7両2分巳年利分金3分他ノ金3両差引金2分6厘 上納金銭書上) 莊助	酉正月21日	横切紙/(貼紙 あり)・1通	え4131-58
(嘉永6丑年元金14両他差引残金17両2分2朱金銭書上)		横切継紙・1通	え4131-59
(11月18日忠作殿より請取金15両他ノ金123両の残金 83両金銭書上)		横切紙・1通	え4131-60
(辰年入高金26両2朱106文他4口ノ金82両246文松山丁 郷分金銭書上)		横切紙・1通	え4131-61
(膳・茶碗・中皿・吸もの椀40人前代金7両1分3朱84文他 ノ61両84文金銭書上)		横切継紙・1通	え4131-62
(水井忠治殿より金15両他卯年6月18日より午年6月9 日まで金銭書上)		横切紙・1通	え4131-63
覚(安政3年辰12月30日頂戴御切手金7両2分および安 政4巳12月30日音八様へ差し上げ金3両3朱1匁6分4 厘内訳の金銭書上) 莊助	申正月	横切継紙・1通	え4131-64
覚(7月ノ31匁1貫108文金銭書上) かし屋万吉→八田慎 蔵様	未極月	横切継紙/(え 4131-65~67は 一綴)・1通	え4131-65

覚(午年分7月ノ高2匁6分金銭書上) 中港健治→八田慎蔵様御内	未極月	横切継紙・1通	え4131-66
覚(7月分1匁75文金銭書上) 長崎や手代蔵→八田慎蔵様御内	未極月	横切継紙・1通	え4131-67
覚(8月中金1両1分1朱253文他金銭書上) かきや伊助→八田慎蔵様御内	未12月	横切紙・1通	え4131-68
覚(7月ノ2両2分2朱他2口ノ7両2分2朱402文受取書) 三む村中村屋治助→岡野様御内様		横長半・1冊	え4131-69
覚(御刀身硯13匁他5口ノ1分2朱178匁金銭書上)		横切紙・1通	え4131-70
覚(大小切羽下地鋤下地共手間代5匁ノ14匁金銭書上) 白銀師清次郎→上	西9月8日	横切紙・1通	え4131-71
覚(御刀鮫着直し付代銀3匁5分他ノ御刀手入れ銀50匁の注文書) (深美)寿一郎→中村様	9月	横切継紙・1通	え4131-72
(大小硯上37匁他金銭書上) 硯師市兵衛→中村佐兵衛様御役人所中様	西12月	横切紙・1通	え4131-73
覚(刀新鞘帶留他代金17匁他ノ45匁受取書) 和泉屋末吉→中村様御内	7月	横切継紙・1通	え4131-74
(上島田村小嶋田村紋右衛門・孝右衛門拝借の嘉永5年元金15両他返済状況書上)		横長半・1冊	え4131-75
(万延元年から文久元年までの御取替金59両1分9朱4厘元利金銭書上) 忠治→(八田)慎蔵様	戌12月	横長半・1冊	え4131-76
(天保6未年11月御歳暮御挨拶状及び金銭書上他綴)		綴/(え4136-1~71は一綴)・1綴	え4136
(袋) * (袋上書)「天保六未十一月御歳暮御挨拶状入并請取切手 外御諸方向来状」		袋・1点	え4136-1
覚(御酒代5両3分6匁2分5厘他ノ金23両2分ト403文御下ケ金願い) 酒蔵	午正月	横切継紙・1通	え4136-2
覚(増田徳左衛門殿金200両等ノ下金375両、利分19両他金銭書上)		折紙・1通	え4136-3
覚(御酒代懸ノ高595匁6分2厘他ノ金13両1分ト772匁7厘3貫201文、差引ノ金2両2分3朱ト76文上納金銭書上) 酒蔵	午正月	横切継紙・1通	え4136-4
(元金50両他ノ元利差引3両2分4匁1分2厘金銭書上)		横切継紙・1通	え4136-5
(7月3日より12月28日まで金銭書上)		横切紙・1通	え4136-6
覚(中町上納金1両3分50文金銭書上)		切紙・1通	え4136-7
覚(和七へ御下ケ金過の分上納金1両2分1匁5分他ノ1両1分1匁5分上納分金銭書上)	未2月	横切紙・1通	え4136-8
覚(上納金20両金銭書上)		切紙・1通	え4136-9
覚(和七善光寺行雑用1朱他ノ金7両1分2朱301文金銭書上) 酒蔵	午正月	横切継紙・1通	え4136-10
覚(上納金40両金銭書上) 酒蔵	9月11日	横切継紙・1通	え4136-11
覚(上納金15両70貫及び4月中御時借金2両上納金銭書上) 酒蔵	6月6日	横切紙・1通	え4136-12

1.内方/9.金銭・穀物請払/1.金銭差引

(飛脚一夜御留め願書)	正月吉日	横切紙・1通	え4136-13
(辰三郎様不足金1両3分4分6厘他ノ2両2分2朱6分9厘金銭書上) *前欠		切紙・1通	え4136-15
(書状、本日持参延引のため金3両御肴代300疋差上などに付) 祝福拜書→書鳩様	12月29日	横切継紙・1通	え4136-16
(書状、去午の取入不足金御調べ御渡し金願いなどに付) (八田)嘉助→正左衛門様	12月29日	横切継紙・1通	え4136-28
(願い置きの子金御持参願い) (八田)辰三郎→(八田)嘉助様	12月28日	横切紙・1通	え4136-29
覚(細切代580文他ノ1両784文金銭書上) 重郎次→八田嘉助様	未12月	横切継紙/(帳外れ)・1通	え4136-30
覚(御産物方閏7月4日太織縞1反代14匁金銭書上) 中まおふや善兵衛→八田嘉助様御内	未12月	横切紙・1通	え4136-31
覚(8月御恩借金3両他ノ金3両2分13匁5分の内残2両3分2朱差上金銭書上) (関田)守之丞		横切紙・1通	え4136-32
覚(神前へ備えの御年越1袋他鎮守御両社へ御奉納の品書上) 諏訪宮神主→八田嘉助様御使中	12月29日	横切紙・1通	え4136-33
①覚(金2両2朱650匁他ノ2両1分62文金銭書上)、②(書状、御手作の蕎麦拝受も御礼申し上げ延引に付) ②(八田)嘉右衛門→(小林)唯蔵様		折紙・1通	え4136-34
(書状、御願の金子拝受に付) 友三→(八田)嘉右衛門様	12月29日	横切紙・1通	え4136-35
(書状、当暮返済の取替金4両来る暮まで御借継願いに付) 芝下→八田様金子入	12月29日	横切継紙・1通	え4136-40
覚(当未7回目北村氏無尽金7両1分9匁他差引ノ金2両2分1朱2匁2分5厘上納金銭書上) *(端裏書)「留済(印「合」)」	未5月8日	横切紙・1通	え4136-41
覚(上納金25両銭25貫文上納金銭書上) *(端裏書)「留済(印「合」)」 酒蔵	未8月朔日	横切紙・1通	え4136-42
覚(金60両銭70貫文上納金銭書上) *(端裏書)「留済(印「合」)」 酒蔵	4月朔日	横切紙・1通	え4136-43
覚(金40両銭32貫文上納金銭書上) *(端裏書)「留済(印「合」)」 酒蔵	未9月朔日	横切継紙・1通	え4136-44
覚(金8両1銭70貫文上納金銭書上) *(端裏書)「留済(印「合」)」 酒蔵	閏7月18日	横切継紙・1通	え4136-45
覚(金30両・銭70貫文上納金銭書上) *(端裏書)「留済(印「合」)」 酒蔵	8月18日	横切紙・1通	え4136-46
覚(上納金80両他金銭書上) *(端裏書)「留済(印「合」)」 酒蔵	7月15日	横切継紙・1通	え4136-47
覚(金15両銭14貫文上納金銭書上) *(端裏書)「留済(印「合」)」 酒蔵	閏7月朔日	横切継紙・1通	え4136-48
覚(午2月朔日より未15日まで職人抱人2150人賄代17両3分2朱3匁他ノ金30両3分2朱6匁差引金10両3分1朱10貫文上納金銭書上) *(端裏書)「留済(印「合」)」	未2月	横切継紙・1通	え4136-49
覚(上納金40両70貫文内訳金銭書上) *(端裏書)「留済(印「合」)」 酒蔵	未2月28日	横切紙・1通	え4136-50

覚(大笹より蕎麦送りのため払方入用に付時借り銭5貫文請取書) * (端裏書)「留済(印「合」)」 会所数右衛門(印)→酒店衆中	未7月26日	横切紙・1通	え4136-51
覚(上納金12両銭35貫文より差引メ金12兩ト30貫文上納金銭書上) * (端裏書)「留済(印「合」)」	4月1日	横切紙・1通	え4136-52
覚(するめ1包代金116文他メ1貫576文金銭書上) * (端裏書)「留済(印「合」)」		横切紙・1通	え4136-53
覚(御手紙1通・御目録30疋受取書) * (端裏書)「留済(印「合」)」 北山村翁内→八田様御使中	未12月28日	切紙・1通	え4136-54
覚(甲子御初穂30疋拝納に付) * (端裏書)「留済(印「合」)」 練光寺納所→八田嘉右衛門御使中	12月17日	横切紙・1通	え4136-55
覚(酒造方上納の内銭35貫文御替拝借願い) * (端裏書)「留済(印「合」)」 質方(印「松代伊勢町菊屋質店」)	未5月2日	横切紙・1通	え4136-56
覚(金15兩上納金銭書上) * (端裏書)「留済(印「合」)」 酒蔵	5月6日	横切紙・1通	え4136-57
(銭15貫文為替拝借書付) * (端裏書)「留済(印「合」)」 質方(印「松代伊勢町菊屋質店」)	閏7月朔日	札・1点	え4136-58
(4月中上納の内金10兩拝借願い) * (端裏書)「留済(印「合」)」 質方(印)	5月朔日	札・1点	え4136-59
覚(8月24日中借錢5貫文他請取書) * (端裏書)「留済(印「合」)」 会所源吾→酒蔵和七様	9月3日	横切紙・1通	え4136-60
覚(御時借金3兩2分請取書) * (端裏書)「留済(印「合」)」 会所源吾(印)→酒蔵和七様	9月5日	横切紙・1通	え4136-61
覚(2月拝借金30兩差引金50兩上納金銭書上) * (端裏書)「留済(印「合」)」	未4月4日	横切紙・1通	え4136-62
覚(金30兩ト35貫文上納金銭書上) * (端裏書)「留済(印「合」)」 酒蔵	5月朔日	横切紙・1通	え4136-63
覚(午正月元金4兩12匁差引金3兩3分177文新五右衛門分上納金銭書上) * (端裏書)「留済(印「合」)」	未2月28日	横切紙・1通	え4136-64
(先日拝借金の内10兩為替拝借願い) * (端裏書)「留済(印「合」)」	4月7日	札・1点	え4136-65
覚(2月19日銭5貫文他酒蔵より中借金請取書) * (端裏書)「留済(印「合」)」 源吾(印)→酒蔵和七殿	2月27日	横切紙・1通	え4136-66
(5月晦日酒蔵上納為替拝借金35貫文金銭書付) * (端裏書)「留済(印「合」)」 質方		札・1点	え4136-67
覚(正金32兩他メ金40兩上納金銭書上) * (端裏朱印「割合」) 酒蔵	3月16日	横切紙・1通	え4136-68
覚(上下1具代金24匁1分他メ金1兩1分2朱225貫文金銭書上) 平兵衛→和七様	午正月29日	横切紙・1通	え4136-69
覚(9匁1厘絹真田1寸柳8尺5寸の代金3朱245文請取書) 山形屋三郎左衛門→上		横切紙・1通	え4136-70
覚(横麻上下代金1兩2朱1匁7厘金銭書上) □□や藤五郎・利七[印]→平兵衛様	9月7日	横切紙・1通	え4136-71
(文久2年4月調種々差引書類綴)		綴/(え4173-1~63は一綴)・1綴	え4173
(袋) * (袋上書)「文久二壬戌年四月調種々差引書類」		袋・1点	え4173-1

1.内方/9.金銭・穀物請払/1.金銭差引

覚(為替證文渡り金200兩他金銭書上)		横切紙・1通	え4173-2
覚(堀内様より御送り金15兩他ノ差引金16兩3分勘定書上)		横切継紙・1通	え4173-3
覚(出訴一件ニ付追々御預り過ニ相成候分返上金1兩2分銀12匁7分2厘他ノ差引残金4兩2分12匁7分2厘勘定書上) 与一右衛門	丑7月	横切継紙・1通	え4173-4
(辰4月金31兩3分の元利返済金差引ノ残金13兩3分6匁7分5厘勘定書上)		横切継紙・1通	え4173-5
(堀内与一右衛門殿より借入金150兩他金銭書上)		横切紙・1通	え4173-6
覚(御下金720兩捌方の儀郡方と御面会し取斗致したき旨書上) * (端裏書)「寅十二月廿二日御下ノ金千二拾兩内去十二月中三百兩御御下ノ金残七百貳拾兩を以捌方一紙切手共兼嘉助様印書五通添友作 友作→(八田)嘉助様	寅12月23日	横切継紙・1通	え4173-7
(御時借金1兩2分他ノ4兩勘定書上)		横切紙・1通	え4173-8
覚(源吾分元利金38兩2分他ノ去丑暮品々御差引8兩1分10匁9分1厘勘定書上) * (端裏書)「酉午暮差引書」忠藏→嘉助様	未2月	横切継紙・1通	え4173-9
(片桐重之助殿早々差引ニ而遣ス金54兩他金銭書上)		折紙・1通	え4173-10
(徳左衛門殿金26兩他ノ差引残14兩1分ほか勘定書上)		横切継紙・1通	え4173-11
覚(卯4月納屋御貸金300兩利足差引勘定残金御内借差し出し願)	3月28日	横切継紙・1通	え4173-12
(借入金利足払出元金410兩他金銭書上)		横切継紙・1通	え4173-13
覚(申2月2日上納金10兩他ノ金41兩勘定書上) しち店	申6月21日	横切継紙・1通	え4173-14
覚(店方兵吉拝借辻金15兩1分2朱錢186文他ノ金16兩1分2朱錢186文金銭書上) 酒店	申7月	横切紙・1通	え4173-15
覚(河原新田御上納払金2兩3分錢205文他ノ差引1兩574文など勘定書上)		横切継紙・1通	え4173-16
覚(寅年残分金2兩2朱銀6匁7分7厘他ノ11兩1分2朱14匁4厘など勘定書上) 酒店	申	横切継紙・1通	え4173-17
(御元金1276兩1分錢663文他差引ノ1300兩勘定書上)		横切紙・1通	え4173-18
(利足8分の御借入金150兩など出入金銭書上)		折紙・1通	え4173-19
(水野氏へ貸し金3分2朱他ノ13兩2分2朱金銭書上)		横切紙・1通	え4173-20
(喜兵衛大坂入料凡積り金30兩他ノ40兩傳兵衛引受の事など金銭書上)		横切紙・1通	え4173-21
覚(9月23日嘉助持出し金14兩3分400文他金銭書上)	9月23日	横切紙・1通	え4173-22
覚(油方利潤上納金19兩銀3匁5厘他ノ差引金18兩2朱銀4匁7分3厘上納書上)	未2月23日	横切継紙・1通	え4173-23
(配下の者店方商方にて出精に付銀・盃など報賞の口達他)		横切継紙・1通	え4173-24
覚(打釘1匁5分他ノ金16兩金銭書上) 周藏→(八田)嘉助様	11月	横切継紙・1通	え4173-25

覚(130兩利足13兩他ノ差引34兩1分2朱余り勘定書上)		横切継紙・1通	え4173-26
覚(11月23日金100兩他ノ御下金290兩領収書) 酒店→上	□□□	横切継紙・1通	え4173-27
覚(大坂為替金御蔵永井様よりの分金100兩他ノ240兩勘定書上)		横切継紙・1通	え4173-28
覚(金10兩他ノ差引8兩1分2朱3匁6分勘定書上)		横切紙・1通	え4173-29
覚(下ヶ金願金4兩2分銀2匁2分5厘など金銭書上)		横切紙・1通	え4173-30
(酒店より借金5兩など1・2月の金銭書上)		折紙・1通	え4173-31
(金20兩他ノ差引1兩3分9匁不足分御廻しの勘定書上)		横切紙・1通	え4173-32
(天保13年寅12月28日受取金27兩錢394文などの金銭内訳書上)		横切紙・1通	え4173-33
(辰11月19日莊蔵御中借受取金25兩の書付)		横切紙・1通	え4173-34
覚(鉛代金8兩受取書) 菊屋傳兵衛[(印「信州菊伝幾久」)→上	11月	横切紙・1通	え4173-35
覚(鉛代金17兩受取書) 菊屋清八郎代栄介[(印「信州松代木町」)→八田様御役人中様	辰10月8日	横切継紙・1通	え4173-36
覚(長岡茂市取計金の内去暮取立金ノ1兩3分差上書) 喜左衛門・慶左衛門	戌2月8日	横切紙・1通	え4173-37
(3月26日義三郎殿貸し金2分他金銭書上)		横切紙・1通	え4173-38
(書状、差引の上相違ならば可否伺いの上残金差し上げ奉りたきに付) 芳三郎→(八田)嘉助様	7月4日	横切紙・1通	え4173-39
覚(水井公より年々相廻りの金40兩の内差引5兩3分3匁勘定書上)		横切紙・1通	え4173-40
覚(御通帳ノ金12兩1分2朱他差引44兩3分187文金銭書上) 角店→上	3月2日	横切継紙・1通	え4173-41
覚(雛代3兩1分他ノ差引3兩3分21文金銭書上)	戌3月	横切継紙・1通	え4173-42
覚(縄むしろ代148文他受取書) 才領組宮本嘉右衛門→佐竹周蔵様	2月23日	横切継紙・1通	え4173-43
覚(惣銅灰ふるい代金4匁他受取書) 木町屋重兵衛(印)→佐竹周蔵様	戌3月15日	横切紙・1通	え4173-44
覚(真鍮1枚代金2分受取書) 銅屋十郎兵衛[(印「大門通岡銅屋十郎兵衛」)→佐竹周蔵様	3月朔日	横切紙・1通	え4173-45
覚(亀甲紙代金15匁受取書) 田むらや里助→上	3月20日	横切紙・1通	え4173-46
覚(金1644兩1分銀3匁2分8厘他ノ差引此程御廻し分11兩3分勘定書上) 忠蔵→(八田)嘉助様	寅2月24日	横切継紙・1通	え4173-47
(書状、中年分御勘定向取調のため御手元御内借250兩書入願に付) 忠蔵→嘉助様	3月17日	横切継紙・1通	え4173-48
覚(御内借200兩他ノ差引4兩2分御預りなど勘定書上) 忠蔵→(八田)嘉助様	午正月	横切継紙・1通	え4173-49
(「文政四年正月金貳拾四兩年中八分長岡助右衛門殿」の書付)		小切紙・1通	え4173-50

1.内方/9.金銭・穀物請払/1.金銭差引

覚(金200両8分御礼金16両他ノ酉年御礼分32両受取書) 水井忠蔵(印)→八田嘉助殿	嘉永3戌年2月朔日	横切紙・1通	え4173-51
(書状、金200両8分御礼金の内150両引替仕りたく申し上げに付) (水井)忠蔵→(八田)嘉助様才後印書添	2月朔日	横切継紙・1通	え4173-52
覚(去12月中御内借返上分150両受取書) 水井忠蔵(印)→八田嘉助殿	弘化5申年正月13日	横切紙・1通	え4173-53
覚(古金1両借用証文、返済差支の節当通用金2両にて返済の約定) 水井忠蔵(印)→八田嘉助殿	嘉永4亥年7月27日	横切紙・1通	え4173-54
覚(大坂炭屋吉五郎方より御借入金利分栄八於大坂表7月初旬取替ニ而遣候分此度御下金69両2朱の内訳書上) 忠蔵→八田嘉助殿	亥年8月15日	横切紙・1通	え4173-55
覚(去暮御内借金350両の内御上納金44両預り書) 水井忠蔵(印)→八田嘉助殿	嘉永4亥年8月15日	横切紙・1通	え4173-56
覚(取替金35両請取書) 水井忠蔵(印)→八田嘉助殿	嘉永2酉年12月晦日	横切紙・1通	え4173-57
覚(亥11月より子4月迄利分金3両2分請取書) 飯島彦兵衛(印)→菊屋傳兵衛殿	嘉永5年子5月	横切紙・1通	え4173-58
覚(御父嘉助殿戌年分御病気金1両1分銀5匁5分4厘請取書) 菊地孝助→八田慎蔵殿	嘉永5子年正月21日	横切紙・1通	え4173-59
覚(去亥御利足金7両2分請取書) 堀内太一郎(印)→八田慎蔵殿	嘉永5子年2月	横切紙・1通	え4173-60
(書状、御利足金落手の旨申し上げに付) 太一郎→御請	2月5日	横切継紙・1通	え4173-61
覚(拝借去亥御利金上納分2両3分請取書) 池田良右衛門(印)→いせ町傳兵衛	嘉永5子年2月7日	横切紙・1通	え4173-62
(書状、私方拝借金2両3分落手の旨など申し上げに付) 良右衛門→(八田)慎蔵殿貴酬	2月7日	横切紙・1通	え4173-63
(天保7年申2月よりの晦日勘定入綴)		綴/(え4177-1~53は一綴)・1綴	え4177
(袋) * (袋上書)「天保七年申二月より晦日勘定入」		袋・1点	え4177-1
覚(15両2朱346文油代金など収支勘定書)		横切継紙・1通	え4177-2
覚(申8月中油代貸34貫252文など油代金支払勘定書)		横切継紙・1通	え4177-3
覚(種油1斗9升など種油・胡麻油員数勘定書) * 後欠		横切継紙・1通	え4177-4
覚(申10月晦日改め味噌代金36貫292文他支払勘定書)	申10月晦日改	横切継紙・1通	え4177-5
覚(申4月中油代貸22貫240文など油代金勘定書)		横切継紙・1通	え4177-6
覚(申5月晦日残り油代金6両1匁349文勘定書)	申5月晦日	横切紙・1通	え4177-7
覚(54貫620文味噌代金など支払勘定書)		横切継紙・1通	え4177-8
覚(酒代・油代・塩代・焚灰代など収入金28両余の内上納金20両等勘定書) 酒店	申2月23日	横切継紙・1通	え4177-9
覚(申2月晦日改め51貫469文など油・酒代金収支勘定書)	申2月晦日	横切紙・1通	え4177-10
覚(申2月晦日改5貫784文味噌代など勘定書)	申2月晦日	横切継紙・1通	え4177-11



覚(申3月晦日改め51貫27文ほか油代・酒代収支勘定書)	申3月晦日	横切継紙・1通	え4177-12
(現金掛取り分から渡し方分差引2両1分1朱3貫15文4月中送り分勘定書)		横切継紙・1通	え4177-13
覚(申3月晦日改め32貫124文味噌代など勘定書)	申3月晦日	横切継紙・1通	え4177-14
覚(申9月晦日改め63貫928文など油代・酒代勘定書)	申9月晦日	横切継紙・1通	え4177-15
覚(申9月晦日改め味噌代8匁372文など勘定書)	申9月晦日	横切継紙・1通	え4177-16
覚(西正月20日改め酒油勘定書) 赤沼性	西正月20日	横切継紙・1通	え4177-17
覚(西3月晦日まで改59貫576文味噌代など収支勘定書)	西3月晦日	横切継紙・1通	え4177-18
覚(西3月晦日改め75匁2分40貫832文大帳など油代酒代収支勘定書)	西3月晦日	横切継紙・1通	え4177-19
覚(西5月晦日改め132貫328文味噌代など勘定書)	西5月晦日	横切継紙・1通	え4177-20
覚(西10月晦日油代貸100貫23文など油代収支勘定書ほか)	西10月晦日	横切継紙・1通	え4177-21
覚(16両1分90匁余り大帳他差引勘定書)		横切継紙・1通	え4177-22
覚(申4月晦日71貫318文大帳など油代酒代勘定書)	西4月晦日	横切継紙・1通	え4177-23
覚(申4月晦日改め32貫648文味噌代他勘定書)	申4月晦日	横切継紙・1通	え4177-24
覚(申2月中油代貸27貫157文など申2月3月改め油代勘定書)		横切継紙・1通	え4177-25
覚(申3月中迄残り油代金勘定書)	申3月調	横切紙・1通	え4177-26
覚(酒2升此者へ御遣わしに付) 佐竹周蔵→伊セ町酒御店	4月13日	横切紙・1通	え4177-27
覚(水油1德利此者へ御遣わしに付) 宮川長太夫	4月13日	横切紙・1通	え4177-28
覚(酒1升此人へ御遣わしの頼みに付) 岩沢治兵衛→伊勢町菊屋傳兵衛様	4月12日	横切紙・1通	え4177-29
(酒3升代金4匁5分の書付)		小切紙・1通	え4177-30
(味噌代金2分銭292文金銭書上) 綿内町七九郎[印「信州高井郡綿内町菊田屋」]→松代伊勢町菊屋和作様	4月9日	横切紙・1通	え4177-31
口上(味噌酒3合上酒1升遣わさるに付) 高橋式介→菊屋傳兵衛殿	4月10日	横切紙・1通	え4177-32
(酒2升此人へ御遣わしの旨書付) 両角勇左衛門→菊屋傳兵衛様	4月9日	横切紙・1通	え4177-33
覚(酒1升此人へ御遣わしの頼みに付) 東条村治兵衛→いせ町菊屋傳兵衛様	4月晦日	横切紙・1通	え4177-34
口上(諸白1德利・諸白樽1荷など樽御貸し下さるに付) 善平→和助様	4月21日	横切紙・1通	え4177-35
(酒1德利御遣わしの旨書付) 高橋善平→和助様	4月19日	横切紙・1通	え4177-36
(酒4升此人へ御遣わし頼みの旨書付) いせ屋治兵衛→いせ町菊屋傳兵衛様	4月18日	横切紙・1通	え4177-37
(酒1德利御遣わしの旨書付) 高橋善平→菊屋和平様	4月晦日	横切紙・1通	え4177-38
(酒1德利御遣わしの旨書付) 高橋善平→和平様	4月19日	横切紙・1通	え4177-39

1.内方/9.金銭・穀物請払/1.金銭差引

(此陶何程入れ極めの旨書付)		小切紙・1通	え4177-40
口上(酒5升入1樽御遣わし頼みなどに付) 小升や→伊勢町菊屋様	3月12日	横切紙・1通	え4177-41
(並酒1升此者へ御遣わし頼みの旨書付) 仁科[印「壽」]→和作殿	3月2日	横切紙・1通	え4177-42
(先頃中の越州上りよりも呑口宜しく二日の口を頼み入れの旨他書付) 池田隠居の方より		小切紙・1通	え4177-43
口上(上々片白1升2合樽にて御遣わしに付) 瓦屋甚左衛門→菊屋傳兵衛様	3月8日	小切紙・1通	え4177-44
覚(代2匁5分の酒1升および先頃借り口2匁酒1升御遣わしの頼みに付) 小川多次屋鋪→菊や傳兵衛殿		小切紙・1通	え4177-45
覚(水油1徳利此者へ御遣わしに付) 宮川長太夫	3月18日	小切紙・1通	え4177-46
覚(酒1升5合此者へ御遣わし頼みに付) 東条村治兵衛→いせ町菊屋傳兵衛様	3月6日	横切紙・1通	え4177-47
覚(戊2月23日夕改めの種油・胡麻油・荳油勘定書)	戊2月23日	横切紙・1通	え4177-48
覚(申8月晦日改め97貫533文など油代・酒代勘定書)	申8月晦日	横切紙・1通	え4177-49
覚(申8月晦日改め7貫424文味噌代など勘定書)	申8月晦日	横切紙・1通	え4177-50
覚(申5月晦日改め50貫446文など油酒代勘定書)	申5月晦日	横切紙・1通	え4177-51
覚(申5月晦日改め42貫224文味噌代など勘定書)	申5月晦日	横切紙・1通	え4177-52
覚(48貫900文味噌代など勘定書)		折紙・1通	え4177-53
(天保11年以前領収書・書簡関係一括)		綴/(え4192-1~43は一綴)・1綴	え4192
(袋) * (袋上書)「天保十一子年前之分品々用書入」		袋・1点	え4192-1
覚(神領夫物として金3兩御預かりに付) 入山村清水組助十郎(印)→中嶋三右衛門様	9月14日	横切紙・1通	え4192-2
(書状、金3分御借り申し上げたき旨) 繁→(八田)嘉助[ ](綴込み判読不能)		横切紙/(虫損甚大)・1通	え4192-3
(高野山蓮花泉院再建寄附金1兩受取に付) 高野山蓮花泉院役僧(印)→八田嘉右衛門様御使中	8月27日	横切紙・1通	え4192-4
(巳の1ヶ所6兩1分8匁9分8厘他、8兩1分4匁余金銭書上)		切紙/(虫損)・1通	え4192-5
覚(吉村より受取り申すべき金子74兩他、金90兩金銭書上) * (端裏朱筆)「御手元下ヶ金」		切紙/(虫損)・1通	え4192-6
(書状、高川泰順よりの金子入書状1封御届けに付) 飯嶋楠左衛門→八田嘉右衛門様	8月21日	横切紙/(虫損)・1通	え4192-7
新井先生ノ書(澤天夫の名の易卦)		横切紙/(虫損)・1通	え4192-8
覚(白米415石の代500兩他代金、650兩金銭書上)		横切紙/(虫損)・1通	え4192-9
覚(金30兩預り、證文、年中1割の利分) 八田嘉右衛門(印)→片山弥友殿	文化8未年12月	横切紙/(虫損)・1通	え4192-10
覚(御取替物金3兩1分2朱21文他、金5兩3分2朱259文上納分金銭書上)	巳年正月	横切紙/(虫損)・1通	え4192-11

(書状、柏屋藤吉より京都下村喜七へ麻代為替金11兩1分銭22文上納に付例の通り宜しく取り計らいの旨) 江府懸り→御立所御懸様	6月7日	折紙・1通	え4192-12
(書状、亥の11月借入金23兩5分利足下ケ願いに付) 横 (田)甚五左右衛門→八嘉助(八田嘉助)様	5月26日	横切継紙・1通	え4192-13
(安房守昌幸より大暁院まで戒名・命日書付)		折紙・1通	え4192-14
(書状、当年米価高値にて酒も高値水増し半分水の様に て、30日は受け合い申さざること誠に珍しき旨 他) 泰順拝→(八田)嘉右衛門様尊酬	9月20日	横切継紙・1通	え4192-15
(書状、大瀬引船譲受けの旨小嶋様より承りし、趣の委 細水井より承り承知などに付) (座間)百人→中嶋様	10月7日	横切継紙・1通	え4192-16
(書状、千曲川通船の儀御懸り物金御遣わし金委細畏 まりに付) 忠蔵→三右衛門様御受	9月16日	横切継紙・1通	え4192-17
覚(正見規代金2兩他金銭書上)	5月23日	横切継紙・1通	え4192-18
(天保3辰年9月玉屋吉治郎へ金5兩貸出の旨書付)		札・1点	え4192-19
おほへ(御茶杓筒袋代12匁2分受取書) [印]「伏見芝神 明前出店井上常久深草焼」撫牛→上	12月	横切紙・1通	え4192-20
覚(辰御預ケ元金30兩御利足金2兩2分6匁受取書) 中 町松三助(印)→糸方御会所	天保3辰年12月	横切紙・1通	え4192-21
覚(巳正月6日190文他、393文受取書) つたや新蔵[印] 「信州松代木町喜黒屋→八田嘉助御内	巳正月	横切継紙・1通	え4192-22
(書状、一腰引当の儀御附け可否様子窺いに付) 傳兵 衛拝→伊勢町様	6月2日	横切継紙・1通	え4192-23
(書状、御恩借返上に付別紙御差引書御覧願いの旨) (関田)守之丞→(八田)嘉助様	6月9日	横切紙・1通	え4192-24
(御恩借金2兩2分の内1兩3分6匁御引取残金2分2朱1匁 5分御渡しなさるべきに付金銭書上)		横切紙・1通	え4192-25
覚(去午年分金2兩6匁他、2兩2分12匁の残金1兩3分6 匁返上に付金銭書上) (関田)守之丞	未正月	横切紙・1通	え4192-26
御差引願(御恩借金23兩2分他、差引金3兩2分発起 無尽懸戻し金引当御預かりに付金銭書上) (関田) 守之丞→(八田)嘉助様	未6月	横切継紙/(貼 紙あり)・1通	え4192-27
覚(拝借金3兩差引金1兩2分上納に付金銭書上)	辰8月24日	横切継紙・1通	え4192-28
(書状、金100兩此者に御渡しくださるべき旨他) 孫兵 衛→(八田)嘉助様申上	9月6日	横切継紙・1通	え4192-29
覚(金2兩2分請取書) 佐々木友三→八田嘉右衛門様	7月13日	横切紙・1通	え4192-30
覚(染絹1疋53匁他2口、御産物方支払4兩1分2朱4匁5 文受取書) 中まなや善吉[印]「信州松代木町買次間屋中 麻奈」→八田嘉助様御内		横切継紙・1通	え4192-31
(書状、御時借仕りたきに付) 長岡助右衛門→八田嘉助 様要用		横切紙/(虫 損)・1通	え4192-32
(書状、明後日までに御都合次第御時借金25兩拝借仕 りたきに付) 喜兵衛→(八田)嘉助様		横切紙/(虫 損)・1通	え4192-33
(書状、御薬3包金1兩2分2朱御送り、今御薬1包み頂戴 仕りたき旨他) 喜兵衛→(八田)嘉右衛門様御側迄申上	9月6日	横切継紙・1通	え4192-34

1.内方/9.金銭・穀物請払/1.金銭差引

覚(金子5両請取書) 玉屋吉次郎(印)「横山町三丁目玉屋」→八田様御内浦野忠七様	8月4日	横切紙・1通	え4192-35
覚(廣白縮1疋126匁他ノ255匁5分請取書) 増田店→伊勢町様御茶之間	巳9月	横切継紙・1通	え4192-36
覚(銀1朱受取書) 願行寺納処(印)→八田嘉右衛門様御使	9月28日	横切継紙・1通	え4192-37
覚(1貫500文金銭書上) 十松屋藤左衛門[印]→きく屋傳兵衛様	3月15日	横切紙・1通	え4192-38
(御目付より来ル19日四宮大明神御祭礼に付殿中熨斗目麻上下着用の旨御申し通りに付御廻状)* (端書)「御廻状十一日入相時分到来」 岡郡八十喜	9月11日	横切継紙・1通	え4192-39
(書状、分見道具差上げ御高覧願いたく並びに時計の具合御尋ね他に付) 玉屋吉次郎→八田旦那様尊下	5月23日	横切継紙・1通	え4192-40
覚(赤銅小柄升代金1両2分請取書) 伊勢町忠左衛門[印]「信州松代 町小升屋」→八田辰三郎様・御取次衆様	午3月	横切紙・1通	え4192-41
覚(借用証文御切替、これまで差し上げの書類受取、取調べに付一札) 伊勢町惣八印→八田嘉右衛門様御内浦野忠七様	天保3辰年3月	横切継紙・1通	え4192-42
(書状、賢兄様御引き籠もり快方如何か、小生罷出たく心がけしも時を得ざる事他) 南場→山長舎様□(綴込み判読不能)下		横切継紙・1通	え4192-43

1.9.2. 穀物・諸品請払

(代金受取書関係綴)		綴/(え4062-1~11は一綴)・1綴	え4062
覚(姫様御簾代金20匁他ノ金1両2朱3匁受取書) 森田屋惣兵衛(印)→渡辺喜六様二而	戌5月23日	堅切紙・1通	え4062-1
覚(竹つり駕籠新規1挺代金2両2分10匁他ノ金2両3分と13匁請取書) 乗物屋新右衛門(印)→松本源八様	戌4月	横切継紙・1通	え4062-2
覚(ふとり煤竹代15匁受取書) 赤泉伊平次(印)「赤□田町泉屋」→松本源八様前次中様	5月29日	堅切紙・1通	え4062-3
覚(鍋御中次代銀3匁5歩受取書) * (端裏書)「いせ丁」すずや角左衛門	3月25日	堅切紙・1通	え4062-4
覚(掛物1帳代金2両2分受取書) * (端裏書上書)「いせ町」溝しま屋五郎兵衛(印)→大澤宗壽様	戌3月26日	堅切紙・1通	え4062-5
覚(諸品代金ノ錢246文受取書) 菊屋藤七(印)「江戸芝神明前菊岡」→松本源八様	2月18日	横切継紙・1通	え4062-6
覚(御箱1ッ代金150文請取書) さし物や十右衛門(印)		横切継紙・1通	え4062-7
覚(御目釘代銀5匁他ノ45匁受取書) 紀伊国屋勘右衛門(印)→松木様御取次衆中	4月	横切継紙・1通	え4062-8
覚(御定人足2人分代3貫590文他ノ4貫182文勘定金銭書上) 定才領左傳二(印)→松本源八様御役人中様	5月	横切継紙・1通	え4062-9
覚(2足代金4匁受取書) 鈴木源助(印)→上	6月19日	横切紙・1通	え4062-10
覚(本天緒5枚代銀10匁他ノ金1分受取書) 越後や徳兵衛(印)	6月9日	横切紙・1通	え4062-11

(代金請取書綴)		綴/(え4077-1~6は一綴)・1綴	え4077
覚(28匁受取に付) かさのや善蔵(印)→市八殿		堅切紙・1通	え4077-1
覚(銀兩天1本19匁他ノ108匁7分惣引ノ金1兩3分と3匁7分受取に付) 雁嶋や弥介→小間物成御用	6月18日	横切継紙・1通	え4077-2
覚(はし入4本代金2朱165文受取り付) 芳屋新助[印]→上		堅継紙・1通	え4077-3
覚(たはこ入1組6匁5分他ノ代金1兩1歩と164文受取に付) 芳屋新助[印]→上	6月朔日	横切継紙・1通	え4077-4
覚(本国残楊枝入代としてノ金2朱55文受取に付) 白崎屋長七(印)→伊勢市様	5月29日	横切紙/(え4077-6に貼付)・1通	え4077-5
覚(隅田川形1丁上焼附3匁8分ほか此代金3兩と330文受取に付) 村田屋重兵衛(印)→家主市郎兵衛様	6月7日	横切継紙・1通	え4077-6
(明治19年5月勝手方諸金銭書上綴)		綴/(え4120-1~25は一綴)・1綴	え4120
(袋) * (袋上書)「明治十九年五月 切手証券入 勝手方」 勝手方	明治19年5月	袋・1点	え4120-1
記(石26間手間代1円56銭他ノ金10円82銭8文他2口ノ金12円7銭8文金銭書上) 金物店→御茶之間	10月29日	横切継紙・1通	え4120-2
御茶之間御立替(コヲモリ傘2本金1円35銭他ノ金1円53銭金銭書上)		切紙・1通	え4120-3
(松角木7銭他ノ77銭金銭書上)		切紙・1通	え4120-4
(きなこ8厘ほか金銭書上)		切紙・1通	え4120-5
(茶37銭5厘他ノ金50銭金銭書上)		小切紙・1通	え4120-6
(金銭書上綴)		綴/(え4120-7-1~4は一綴)・1綴	え4120-7
(6月5日より8月4日まで石油4合入り6本代24銭他ノ80銭金銭書上)		切紙・1通	え4120-7-1
石油覚(2月27日より5月27日まで石油4合入り14本他ノ8升此代80銭金銭書上)		横切継紙・1通	え4120-7-2
(11人52銭5厘他ノ6円62銭5厘人足書上)		切紙・1通	え4120-7-3
(於嶋寺より金30銭時借に付)		小切紙・1通	え4120-7-4
記(パン代金10銭受取に付) 石町高久→八田様御内	第5月22日	切紙・1通	え4120-8
記(挽そば1升5銭受取に付) 小島や忠兵衛[印]→上	亥5月19日	横切紙・1通	え4120-9
記(挽そば8升40銭受取に付) 小島や忠兵衛(印)→上	亥5月21日	小切紙・1通	え4120-10
(金銭書上綴)		綴/(え4120-11-1~5は一綴)・1綴	え4120-11
(慎蔵様水菜3本金36銭他ノ金7円42銭5厘金銭書上) * (端裏書)「明治廿年八月調」/(端裏朱筆)「八月十三日相済」→右八田様	明治20年8月13日	横切継紙・1通	え4120-11-1

1.内方/9.金銭・穀物請払/2.穀物・諸品請払

記(2月17日手桶代金2銭5厘他ノ2円67銭受取書) 越後屋和吉→伊勢町八田様	亥8月	横切継紙・1通	え4120-11-2
記(3月16日油さし通し代1銭6厘他ノ金1円42銭4厘金銭書上) 金物頭→御茶之間	7月30日	横切継紙・1通	え4120-11-3
記(つけ薬1瓶金3銭ほかノ29銭金銭書上) 渋谷薬局→いせ町八田様	4月12日	横切継紙・1通	え4120-11-4
(1月17日手本1本他ノ22銭3厘、手本・習筆・小筆金銭書上) * (端裏朱筆)「八月十三日相済」 →八田様	8月13日相済	横切紙・1通	え4120-11-5
記(かまず10口19銭他ノ3円34銭受取に付) 現金屋平作→上	11月23日	横切紙・1通	え4120-12
記(茶箱8銭他ノ22銭に付) 戸かくしや甚兵衛→八田様	(明治)19年8月	横切紙・1通	え4120-13
記(5月3日1足2銭8厘他ノ10銭8厘金銭書上) ますや伊兵衛→八田様御内	戌8月	横切紙・1通	え4120-14
記(3月14日平桶6銭他ノ1円受取に付) 越後や和吉→いせ町八田様御内	戌ノ8月	横切継紙・1通	え4120-15
(薬関係金銭書上綴)		綴/(え4120-16-1~6は一綴)・1綴	え4120-16
証(金2円60銭領収に付) 渋谷薬局[印]→清水玄次郎殿	8月15日	切紙・1通	え4120-16-1
証(金1円ほか領収に付) 渋谷薬局[印]→八田様	8月15日	横切継紙・1通	え4120-16-2
証(慎蔵様分薬代金30銭領収に付) [印(若村薬局)]→八田慎蔵様	(明治)19年8月15日	切紙・1通	え4120-16-3
証(慎蔵様分薬代金28銭他ノ82銭金銭書上) 若村薬局[印(若村薬局)]→八田様		切紙・1通	え4120-16-4
記(飲薬代金3円78銭他ノ4円53銭5厘金銭書上) 渋谷薬局→八田様	8月12日	横切継紙・1通	え4120-16-5
記(慎蔵殿水薬2日分5本金60銭他ノ2円9銭5厘金銭書上) 吉原薬局→八田様		横切継紙・1通	え4120-16-6
(酒造税領収書綴)		綴/(え4120-17-1~2は一綴)・1綴	え4120-17
(明治19年度第1期分酒造税及び醸造酒税ノ263円66銭領収書) 更科郡長中嶋精一[印]→(松代町納人八田知道)	明治20年3月29日	印刷物(木版)・1通	え4120-17-1
(明治19年度第1期分醤油税及び造石税ノ6円7銭9厘領収書) 更科郡長中嶋精一[印]→(松代町納人八田知道)	明治20年5月7日	印刷物(木版)・1通	え4120-17-2
記(小町水2本代金13銭受取に付) 藤屋和兵衛[印]→上	12月2日	横切継紙・1通	え4120-18
送り状(じだいこん500本代金1円50銭請求に付) 長野現金屋平作→八田様御内	12月2日	横切紙・1通	え4120-19
記(大根100本代25銭他ノ金1円78銭金銭書上)		切紙・1通	え4120-20
記(消炭代金2円30銭受取に付) 二工社(印)→徳田様	(明治)19年8月	切紙・1通	え4120-21
(63銭7厘5毛ほか金銭書上) * 本文墨消		小切紙・1通	え4120-22
(27銭5厘茶ほかノ55銭金銭書上) * 本文墨消		小切紙・1通	え4120-23

(27銭5厘茶ほかノ77銭5厘金銭書上) *本文墨消		小切紙・1通	え4120-24
(7月26日25銭茶ほかノ48銭7厘5毛金銭書上) *本文墨消		小切紙・1通	え4120-25
(種々差引勘定及び領収書等綴)		綴/(え4184-1~26は一綴)・1綴	え4184
覚(御祭礼箔代10匁5分他ノ金1朱銀10匁5分177文金銭書上) * (奥書)「卯正月早々相渡」 升屋伊兵衛→八田様上	寅12月	横切紙・1通	え4184-1
覚(見せ品々ノ金380文他ノ代金3兩1分銀5匁の内差引金銭勘定書)		横切紙・1通	え4184-2
(高懸り御用錢43文請取書) * (朱書)「い」 →伊勢町傳兵衛	来ル8日	札・1点	え4184-3
(高懸り御用錢288文請取書) * (朱書)「は」 →八田喜兵衛殿内田村久藏殿	来ル8日	札・1点	え4184-4
(明屋敷御年貢金1兩3分銀7匁5分6厘請取書) 中嶋渡浪(印)→八田喜兵衛殿内田村久藏殿	安政2卯年12月	横切紙・1通	え4184-5
(明屋敷御年貢金2兩2分銀12匁9厘請取書) 中嶋渡浪(印)→八田喜兵衛殿内田村久藏殿	文久元酉年12月	横切紙・1通	え4184-6
(明屋敷御年貢金2兩3分銀12匁1分8厘請取書) 中嶋渡浪(印)→八田喜兵衛殿内田村久藏殿	文久2戌年12月	横切紙・1通	え4184-7
(明屋敷御年貢銀3匁9分6厘請取書) 中嶋渡浪(印)→八田慎藏殿役代傳兵衛(印)	文久元酉年12月	横切紙・1通	え4184-8
(囲穀一条年来積入奇特の事に付箱入盃1つ下賜の旨褒状) →伊勢町傳兵衛	12月22日	横切紙・1通	え4184-9
覚(年賦割合金5兩受取書) 中町和泉屋忠兵衛(印)→菊屋傳兵衛殿	嘉永5子年12月	横切紙・1通	え4184-10
覚(丑年賦割合金5兩受取書) 中町忠兵衛(印)→伊勢町傳兵衛殿	嘉永6丑年12月	横切紙・1通	え4184-11
覚(寅暮年賦割合金5兩受取書) 和泉屋忠兵衛(印)→菊屋傳兵衛殿	安政元寅年12月	横切紙・1通	え4184-12
覚(御石入御出金11兩の内差引勘定金6兩6分8厘受取書) 中澤村護肥廉之助→きくや傳兵衛殿	安政元寅年12月26日	横切紙・1通	え4184-13
覚(金6兩1分2朱錢160文受取書) 杭瀬下村(色部)儀太夫[印]→松代傳兵衛殿	嘉永7寅年12月15日	横切紙・1通	え4184-14
(高懸り銀5匁4分7厘請取書) →伊勢町傳兵衛	9日	札・1点	え4184-15
(丑10月6日100兩他ノ200兩内訳及びノ礼金11兩銀5匁5分金銭書上)		横切紙・1通	え4184-16
覚(荒町金4兩他ノ7兩1分銀5厘錢876文金銭書上)	12月17日	横切紙・1通	え4184-17
覚(伊惣太殿為替金1兩3分2朱錢187文他ノ金8兩1分2朱銀401文金銭書上)		横切紙・1通	え4184-18
(当西御年貢金6兩1分銀11匁4分3厘支払請求書) 荒町役元→伊せ町傳兵衛殿	12月	横切紙・1通	え4184-19
覚(御用達金割合1兩1分他ノ差引金1兩1分2朱157文受取)	寅12月22日	横切紙・1通	え4184-20

1.内方/9.金銭・穀物請払/2.穀物・諸品請払

覚(金50両及び礼金2分請取書) 高野覚之進(印)→八田嘉助殿	嘉永3戌年7月28日	横切紙・1通	え4184-21
(書状、11月4～5日の大地震諸々家潰死人夥敷も私共無事の旨及び御地御様子伺い等に付) 炭屋孫七→菊傳兵衛様・金兵衛様・佐助様	11月28日	横切紙・1通	え4184-22
覚(和宮御下向による長窪宿助郷入料2匁2分9厘受取書) 東寺尾村名主関治(印)→いせ町傳兵衛殿	文久元酉年12月	横切紙・1通	え4184-23
(御壹代名氏御免仰せ付けの段御受申上書) * (奥裏書)「式両壹朱三貫百文」 豊田傳兵衛		横切紙・1通	え4184-24
(国役30文など金1分82文他ノ金2両3分1貫76文金銭書上)		横切紙・1通	え4184-25
当時相返(場カ)(燈油・筑前米など諸品物価書き出し)		横切紙・1通	え4184-26
(種々差引勘定及び書状類綴)		綴/(え4185-1～17は一綴)・1綴	え4185
覚(駄賃銀2匁5分他ノ銀18匁3分金銭書上)		横切紙・1通	え4185-1
覚(5月17日8両他ノ34両の内差引勘定残金21両受取書)		横切紙・1通	え4185-2
(書状、大小直段の義大体御内話下され、損徳など御任せ何分宜しき様願いに付) 守之丞→(八田)嘉助様御内覧奉希候	5月6日	横切紙・1通	え4185-3
(刀の身など見極次第直段引き上げ無き旨書付)		横切紙・1通	え4185-4
(書状、大嶋村久兵衛頼母子講懸残金14両御印紙と引替致し度承知に付) 中野左膳→八田嘉助様	12月15日	横切紙・1通	え4185-5
覚(七月中月掛金1朱他ノ金2分3朱3貫134文銀14匁金銭書上)		横切紙・1通	え4185-6
覚(真木450駄代金11両1分の内訳書上)	丑9月	横切紙・1通	え4185-7
(書状、役宅窺い寒気のため御免願並びに例の御内借の儀などに付) 藤左衛門→嘉助様奉[ ](綴じ判読不能)内用	12月24日	横切紙・1通	え4185-8
(書状、岩村田一件長々御厄介有り難くも御礼延引御高免など申し上げに付) (八田)嘉右衛門→周蔵様	11月26日	横切紙・1通	え4185-9
覚(金26両1分2朱の内差引勘定書)		横切紙・1通	え4185-10
(栄八より受取金8両他ノ金34両の内差引勘定書)		横切紙・1通	え4185-11
(書状、無尽崩れのため懸戻金1ヶ年2両3分宛上納引当証文差し出し御聞き済み願いに付) 周蔵→(八田)嘉助様	11月12日	横切紙・1通	え4185-12
(書状、本之進一条御約定の金子帰村次第支払いの件催促申し上げなどに付) 中野静摩・中野左膳→八田嘉右衛門様・八田嘉助様	9月3日	横切紙・1通	え4185-13
(遵燕・枯木尾長などの詳細書付)		横切紙・1通	え4185-14
覚(金子入御添箱1つなど受取書) 殿村洗生便弥平治→八田嘉助様御使	丑12月2日	横切紙・1通	え4185-15
(書状、本之進離別の詳細承知及び御娘子御縁談御勝手次第の旨申し上げに付) 八田嘉助→中野左膳様	11月26日	横切紙・1通	え4185-16



(書状、本之進様子柄承知の上、本人離別及び御娘子御縁談御承知申し述べに付) 中野静摩・中野左膳→八田嘉右衛門様・八田嘉助様・八田辰三郎様	11月15日	横切継紙・1通	え4185-17
--	--------	---------	----------

## 1.10. 勝手向

### 1.10.1. 勝手向立て直し

(御勝手向御取復請書関係綴)		綴/(え4054-1~4は一綴)・1綴	え4054
御請書之事(御勝手向御取復御手段の義、御家法御改革の旨仰渡され候に付) *4054-2、4と同内容 長助・金兵衛・佐蔵・茂伯・喜作	嘉永7(年)寅2月	堅紙・1通	え4054-1
御請書之事(御勝手向御取復御手段の義、御家法御改革の旨仰渡され候に付) *4054-1、4と同内容 佐助・庄助・藤兵衛・喜助・儀助・藤吉・藤治郎・清太郎・栄治郎	嘉永7寅年2月	堅継紙・1通	え4054-2
(長助・金兵衛・佐蔵・茂作・喜作人名書上)		切紙・1通	え4054-3
御請書之事(御勝手向御取復御手段の義、御家法御改革の旨仰渡され候に付) *4054-1、2と同内容	嘉永7寅年2月	堅紙・1通	え4054-4
(歎願取調不用ニ相成候書類綴)		綴/(え4148-1~44は一綴)・1綴	え4148-0
(袋) * (袋貼紙)「歎願取調不用ニ相成候書類」		袋・1点	え4148-1
(書状、当暮上納方家賃并酒造取集金を以て来早春まで30両上納の願書御執成の御頼みに付) (八田)慎蔵→(水井)忠蔵様・(春日)儀左衛門様	12月	横切継紙・1通	え4148-2
(書状、八田慎蔵家先代より多分の借財も家名相続御執成の御願ひ御紐りに付)		横切継紙・1通	え4148-3
(文化年間～安政4年頃までの御礼金上納滞り状況書付)		横長半・1冊	え4148-4
(享保11年～延享元年金額及び初数の書き出し)		横切継紙・1通	え4148-5
(文化3年～文化14年才覚金差し出しなど書き出し)		横切紙・1通	え4148-6
(伊勢町八田家取続のため借財金など支払勘弁に付御内密歎願書) * (端裏書)「御内密奉願候」	3月	横切紙・1通	え4148-7
(八田孫左衛門以下4代の勤方書抜き)		横切継紙・1通	え4148-8
(享保12年～宝暦6年初代八田孫左衛門以下3代までの勤方書抜き)		横切紙・1通	え4148-9
(享和2年～文化12年4代八田嘉右衛門の勤方書抜き)		横切紙・1通	え4148-10
(「元利都合二十一万六千六百両一分十一匁二分一厘初四十七万八千四百十八表五升六合九勺」書付)		横切紙・1通	え4148-11
口上覚(今般空殿御帰城までに600兩才覚差し上げのお頼みに付) 池村与兵衛→八田孫左衛門	2月25日	横切継紙・1通	え4148-12
(享保13年11月～延享元年9月一人別金額及び初数の書き出し)		横切紙・1通	え4148-13

1.内方/10.勝手向/1.勝手向立て直し

御金掛ニ而子年取調候分写(八田慎蔵子御礼金259両1分銀5匁2分9厘他ノ金4140両5分7厘2分7厘取調金銭書上)		横切継紙・1通	え4148-14
(書状、伊勢町八田家相続御歎願の御執成水井氏及び大蔵氏へ御内談にて御申しなどに付)		横切継紙・1通	え4148-15
(書状、伊勢町八田家相続のため所持の酒造蔵貸蔵仕り年々借金返済上納願いに付)		横切継紙・1通	え4148-16
(八田家他向より御借入の分水井及び春日両家のご返済に付御内々申上書) 八田喜兵衛・八田慎蔵→水井忠蔵・春日儀左衛門	11月	横切紙・1通	え4148-17
(書状、金高借り主の箇所他証文認め方御伺いなどに付) *勘返状 (八田)慎蔵→松山町様	12月19日	横切継紙・1通	え4148-18
(諸道具取集め他差出による当暮上納金1000両他ノ金4000両金銭書上)		横切紙・1通	え4148-19
(当地産物江戸荷送りなど伊勢八田家呉服店改革仕法改の書付)		折紙・1通	え4148-20
(角店貸方800両程など貸借金の書付)		横切紙・1通	え4148-21
(書状、当暮上納方家賃并酒造取集金を以て来早春まで30両上納の願書御執成の御頼みに付) *4148-2の下書		折紙・1通	え4148-22
(文政9年12月300両他ノ差引2788両12匁金銭書上)		横切紙・1通	え4148-23
(酒造方取集金不足のため当暮上納方家賃金の内30両上納御執成御頼み願) *(端裏書)「寺町下案写」		横切継紙・1通	え4148-24
(享保11年4月～寛延元年12月1人別金額書き出し)		横切紙・1通	え4148-25
竹村氏手段(西木町屋敷払代1000両他ノ5800両返済方法などの書付)		横切継紙・1通	え4148-26
(享保11年～享保15年1人別金額書き出し)		横切継紙・1通	え4148-27
(慈明和尚帰京の上靈公和尚1000両10年賦借用証文案文差し下しの旨書付)		横切継紙・1通	え4148-28
(書状、忠兵衛へ手紙遣わすも伝わらず当人へ理解の上申し上げに付) (松本)嘉十郎→(八田)慎蔵様御受申上	8月4日	横切継紙・1通	え4148-29
(書状、竹山丁様不在も御話し伺置候次第のみにて宜しき旨申上に付) (岡野)陽之助→竹山丁様	24日	横切継紙・1通	え4148-30
(「住居向縮め之事」など伊勢町八田家改革事項書付)		横切紙・1通	え4148-31
大阪表御立入之振合承り候所大略相識候(大阪米市場の現況書付)		横切継紙・1通	え4148-32
覚(酒造蔵質入之分御預ケ金500両他ノ金4575両及び利金他金銭書上) *(端裏書)「合十口」		横切継紙・1通	え4148-33
(書状、栄八借財御片付のため組合・五人組などへ内証の相談などに付) (松本)嘉十郎→(八田)慎蔵様御受申上	8月4日	横切継紙・1通	え4148-34
(書状、早速御取計のため金子の御様子伺いに付) (岡野)陽之助→(八田)慎蔵様	9日	横切継紙・1通	え4148-35
(2両2分他ノ11両2朱金銭書上)		横切紙・1通	え4148-36

(書状、隠宅の方追而是より遣わすべき旨取り計らいに付) (松本)嘉十郎→(八田)慎蔵様御受申上	5月8日	横切継紙・1通	え4148-37
(書状、御手元御不融通ならば私共一手に取り計らい宜しき旨仰蒙たきに付) (岡野)陽之助→(八田)慎蔵様内用事	15日	横切継紙・1通	え4148-38
(書状、松葉屋より隠宅の方へ遣わしの人御帰りの件如何取り計らい申上に付) (松本)嘉十郎→鉄次郎様	5月8日	横切継紙・1通	え4148-39
(書状、大坂表よりの書状到来の節、御取替金の分御返済願ひなど竹山町より委細御内談にて片付の御伺いに付)		横切継紙・1通	え4148-40
(書状、松山丁より申上候次第深畏縮偏に御勘弁申し上げに付) (八田)慎蔵→嘉十郎様内用	17日	横切継紙・1通	え4148-41
(「善光寺役人江御取替金返済方松本氏江御催促之事」など金銭関連13ヶ条書付)		横切継紙・1通	え4148-42
(去る3月10日～当正月始めまでの竊購入明細書き上げ)		横切紙・1通	え4148-43
覚(見世の板戸4本他メ24本明細書上)	2月23日改	横切紙・1通	え4148-44
馬場氏へ内頼之趣意(朱字)(慎蔵方勝手向き取復元の如く御用勤めの方法御答頼みの書付) *4150の下書		横長半/(下札あり)・1冊	え4149
(慎蔵方勝手向き取復の儀借財取調御緩めに付歎願書) (岡野)陽之助 * (端裏書)「馬場氏江内頼之書面案」	12月	横長半/(下札あり)・1冊	え4150
(八田家御勝手向并店方など立て直し関連書類綴)		綴/(え4167-1～13は一綴)・1綴	え4167
(初代八田孫左衛門宝永6年6月御町年寄勤めなど八田家初代～4代の御用勤め書き出し)	宝永6年午(マ)6月～文化13子年	横長半・1冊	え4167-1
口上覚(八田家勝手向不如意のため返上方調達御執成による家名相統歎願差し上げに付) * (端裏書)「卯十二月廿七日水井忠蔵殿差出」 慎蔵→忠蔵様・儀左衛門様	卯12月	横長半・1冊	え4167-2
口上店願(八田家名相統のため拝借金御元利20ヶ年間御据置き及び年限明元利上納など御評議願) 慎蔵→御親類中様		横長半・1冊	え4167-3
馬場氏へ内頼之趣意(慎蔵方勝手向取復之儀元の如く御用等も勤候様奉頼書)		横長半・1冊	え4167-4
(来丑年より10ヶ年之間格外儉約定・家内儉約守方・暮方等入用之品々取調ヶ条) * (端裏書)「子暮伊勢町取復之義ニ付見込」		横長半・1冊	え4167-5
(伊勢町取復のため内密調・井草方借財之分・入方之調・差向入料之調など書き出し)		横長半・1冊	え4167-6
御礼金滞ニ而拝借ニ相成居候分(亥年金5両他メ金1858両1分銀7匁9分3厘拝借金書上)		横長半・1冊	え4167-7
(御内々御縫申上など八田嘉右衛門御救筋関係書上)		横長半・1冊	え4167-8
再御尋奉申上候(金子廻し方・店融通など店方締筋御工夫願ひに付)		横長半・1冊	え4167-9

1.内方/10.勝手向/1.勝手向立て直し

覚(利潤金300両他ノ差引御利足上納積立金入金208両2分3朱355文金銭書上) 清十→上	11月9日	横長半・1冊	え4167-10
(当暮入用差し障り持山など引当に500両拝借歎願に付御内密申上書)		横長半・1冊	え4167-11
覚(当暮まで八田家店方へ金500両入金の上2000両で産物売買及び呉服太物小売の御仕法願い)		横長半・1冊	え4167-12
(甘艸など国産品大坂表への積み船難船一件取り扱い方に付内々伺書)		横長半・1冊	え4167-13
(八田家御勝手向并店方など立て直し関連書類綴)		綴/(え4168-1~5は一綴)・1綴	え4168
覚(宝永年中よりの才覚金御返済元利85016両3分など御滞金粉書上) 八田孫左衛門	10月	横切継紙・1通	え4168-1
口上覚(八田家初代~4代御用達金才覚金など御用向勤御内々御尋に付) 八田孫左衛門	10月	横切継紙・1通	え4168-2
(御勝手向并店方改革のため当店御定金出し方御尋に付御会所へ御繰合わせ願いの旨申上書) 角店	2月	横切継紙・1通	え4168-3
(慎蔵方拝借上納40年賦願など衰廃の家名相続御執成に付内密歎願下書) *(端裏書)「内密歎願 陽之助」/え4168-5の下書 陽之助	12月	横切継紙・1通	え4168-4
(慎蔵方拝借上納40年賦願など衰廃の家名相続御執成に付内密歎願) *(端裏書)「内密歎願 陽之助」 陽之助	12月	横切継紙・1通	え4168-5
(八田家初代~4代の御用勤・調達金など書き出し綴)		綴/(え4169-1~3は一綴)・1綴	え4169
(八田家の初代~4代御用勤め及び寛延3年財政状況など書き出し)		横長半・1冊	え4169-1
(初代八田孫左衛門宝永6年6月御町年寄勤めなど八田家初代~4代の御用勤め書き出し)	宝永6年午(マ)6月~文政年中	横長半・1冊	え4169-2
(初代八田孫左衛門宝永年中御町年寄勤めなど八田家初代~4代の御用勤・調達金など書き出し)	閏8月12日	横長半・1冊	え4169-3
(御内々御縫申上など八田嘉右衛門御救筋関連書上)	天保12丑年12月	横長半・1冊	え4170-1
御内々(慎蔵方拝借上納45年賦願など取復永統御執成の御頼みに付申上書) 陽之助	12月	横長半・1冊	え4170-2

## 1.11. 儀礼

### 1.11.1. 婚姻・離縁

(寛政5年3月21日山越市之丞殿より引越時の目録綴) *紙背文書使用		綴/(え4132-1~10は一綴)・1綴	え4132
(包紙) *(包紙上書)「寛政五丑年三月廿一日於延引越二付山越市之丞殿より参候目録入」		包紙・1点	え4132-1
(食籠1対、鯛1折、御樽1荷に付目録)		豎紙・1通	え4132-2
(白紙)		豎紙・1通	え4132-3

(食籠1対、寿留め1折、御樽1荷に付目録)		堅紙・1通	え4132-4
覚(御上下代300匹等他献上品書上) 大瀬又右衛門様御 内伊東音右衛門→松本源八様御役人中様	3月21日	折紙・1通	え4132-5
覚(しゐし絹張衣桁他品目書上) 大瀬又右衛門様御内伊 東音右衛門→松本源八様御役人中様	3月19日	横長半・1冊	え4132-6
(こんぶ1折・寿留め1折他に付目録)		堅紙・1通	え4132-7
(白紙)		堅紙・1通	え4132-8
(御おび1筋、末広たとふ紙1折他に付目録)		堅紙・1通	え4132-9
(御上下1具、扇子畳紙1折、鯛1折他に付目録)		堅紙・1通	え4132-10
(宮沢長四郎より梯崎源左衛門への結式目録関係綴)		綴/(え4133- 1~8は一綴)・1 綴	え4133
(包紙) * (包紙上書)「文化六己巳四月廿二日宮沢長四郎殿 より柿崎源左衛門殿江結式目録此方ニ内談之上預置為吹 聴塩鯛一折手樽柿崎源左衛門方江為持差遣候、右者天代少 茂手数不相懸厄介相省候趣意ニ付」		包紙・1点	え4133-1
(書状、宮澤家養方一件他に付) 五十治→(八田)嘉右衛 門様	卯月18日	折紙・1通	え4133-2
(書状、柳町氏と春中御内談の件に付) 柿崎幸左衛門→ 八田嘉右衛門様	4月17日	横切継紙・1通	え4133-3
(包紙) * (包紙上書)「覚 文化六己巳四月廿五日荷物受取目 録」		包紙・1点	え4133-4
覚(長持1棹・櫃1荷受取書)	4月25日	横切紙・1通	え4133-5
(親類書および婚礼当日段取り書上)	卯月吉日	横長半・1冊	え4133-6
(たい1おり・するめ1おり他目録)		堅紙・1通	え4133-7
(白紙)		堅紙・1通	え4133-8
(寛政4子12月長左衛門引越に伴う祝儀目録等綴)		綴/(え4144- 1~4は一綴)・1 綴	え4144
(袋) * (袋表書)「寛政四子十二月長左衛門引越ニ付従木町 到来目録同五丑正月従木町荷物并祝儀目録入置申候」	寛政4(年)子12月	袋・1点	え4144-1
おぼへ(御上下1具など祝儀目録)		堅紙・1通	え4144-2
覚(長持1棹など祝儀目録)	正月24日	折紙・1通	え4144-3
(食籠1荷など祝儀目録)		堅紙・1通	え4144-4
(藤田伝左衛門殿嫡女お千代との堀内五十二殿御縁談 関係綴)		綴/(え4153- 1~32は一 綴)・1綴	え4153
(袋) * (袋上書)「享和三亥二月廿五日此表江辰三郎初而对 面罷越候節藤田伝左衛門殿御子息繁三郎殿一同右時節柿 崎源左衛門一同献立右一件ニ付手帖荒々留書外享和三亥 三月廿七日藤田伝左衛門殿嫡女お千代との堀内五十二殿 へ縁談致世話候付此方へ引請綿内差越一件留書入」		袋・1点	え4153-1
覚(燈明料金5両2分落掌に付) 願行寺(印)→八田孫左衛 門様・八田喜右衛門様	亥12月	横切紙・1通	え4153-2

1.内方/11.儀礼/1.婚姻・離縁

口演(去亥12月差し上げの書付認め直し差し上げに付) 願行寺→御両所様	11月16日	横切継紙・1通	え4153-3
(書状、差合付入来過分の事に付) 望主水→八田孫左衛門殿	6月	横切紙・1通	え4153-4
(唐の馬周・周の管仲他中国古代政治家の覚書)		横切継紙・1通	え4153-5
覚(願行寺念仏料寄付金5両2分落手に付) 願行寺(印)→八田孫左衛門様・八田嘉三郎様	午12月28日	横切紙・1通	え4153-6
覚(三つかみ餅等の調理法書付)		横切紙・1通	え4153-7
(書状、御院主御光臨上向の義御示談申上候始末委細承知に付) 渡辺→八田様玉几下	4月22日	横切紙・1通	え4153-8
(書状、群神山御院主当境近辺御用御席御光陰の愚礼申し上げに付) 渡辺武左衛門→八嘉右衛門様玉案下	4月22日	横切継紙・1通	え4153-9
(書状、借金500両の内150両ないしは200両3月までに返済の上残り分暮れまでに返済などに付) か(嘉右衛門)拜→徳智様・御隣街様	5月15日	横切継紙・1通	え4153-10
(書状、御引合仮証文手塚へ延着及び金銭南鐐にてお渡しの旨承知に付) 瀬下七左衛門→八田嘉右衛門様	6月10日	横切継紙・1通	え4153-11
(文化12亥4月上田御領5ヶ村預り金600両他メ差引31両1分9匁5分金銭書上) *(端裏書)「文政八西四月上田御領五か村甲田差引扣」	文政8(年)西4月	横切継紙・1通	え4153-12
(書状、内用懸の入用多く迷惑のため、御領主御入用勘弁の旨などに付) *(端裏書)「閏四月十一日手塚五加へ遣候下案」 八田嘉右衛門→山極八郎右衛門様・甲田重左衛門様几下	閏4月11日	横切継紙・1通	え4153-13
覚(御和紙・扇子など祝品目録)		横切継紙・1通	え4153-14
(辰三郎らの相談による伝左衛門殿嫡女お千代との堀内五十二殿縁談の引出物・献立・土産など覚書)	享和3(年)亥2月	横切継紙・1通	え4153-15
覚(綿絹・和紙など祝品受取預りに付) 八田嘉右衛門様内嶺村吉兵衛→落合弾蔵様御内矢嶋七郎兵衛様	2月	横切継紙・1通	え4153-16
(書状、祝品目録の通り進上に付) 落合弾蔵様→同犀吉様・御惣容様		横切継紙・1通	え4153-17
(書状、祝品目録にない辰三郎持参の品祝品として差遣わしに付)		横切継紙・1通	え4153-18
(書状、藤田伝左衛門殿嫡女お千代との堀内五十二殿御縁談の御祝いへ御礼申上に付) 八田嘉右衛門智義(花押)→落合弾蔵様貴報	2月26日	横切継紙・1通	え4153-19
親類書(八田嘉右衛門親類書) 八田嘉右衛門→(藤田氏)	3月	横切継紙・1通	え4153-20
(落合弾蔵親類書) 落合弾蔵→藤田伝左衛門様	正月12日	横切継紙・1通	え4153-21
(書状、明け25日吉辰願書差し遣わしに付) 八田嘉右衛門→落合弾蔵様人々御中	正月24日	横切継紙・1通	え4153-22-1
(書状、落合弾蔵三男辰三郎智養子願書差出しの御知らせに付) 八田嘉右衛門→藤田伝左衛門様人々御中	正月24日	横切継紙・1通	え4153-22-2
(書状、藤田伝左衛門殿嫡女お千代との堀内五十二殿方の婚姻相整いの旨及び御祝辞御祝式の委細承知等に付) *(端裏書)「八田嘉右衛門様藤田伝左衛門」 伝左衛門→(八田)嘉右衛門様	正月13日	横切継紙・1通	え4153-23

(書状、御祝いの土産物委細辰三郎より御面談の節御承知下さるべきなどに付) 藤田伝左衛門→八田嘉右衛門様	正月24日	横切継紙・1通	え4153-24
(書状、松平晴三郎改名の件婚姻取調中内々は不敬、2月下旬又は4月時宜次第申し上げなどに付) *(端裏書)「正月十二日藤田氏江遣候書状下案」(八田)嘉右衛門→伝左衛門	正月12日	横切継紙・1通	え4153-25
(書状、藤田伝左衛門殿嫡女と堀内五十二方の婚姻御祝物に関する御内談に付) (八田)嘉右衛門→伝左衛門	正月26日	横切継紙・1通	え4153-26
(書状、藤田伝左衛門殿嫡女と堀内五十二方の婚姻御祝物2月13日に御持参御扣え下されたきなどに付) (八田)嘉右衛門→伝左衛門几下	2月4日	横切継紙・1通	え4153-27
覚(小袖・昆布など結婚祝物数量書き出し)		横切継紙・1通	え4153-28
覚(御樽・真綿など結婚祝物披露書上) 藤田伝左衛門内荒井新助→堀内五十次様御取次中様	12月27日	横切継紙・1通	え4153-29
御内談覚(袋・祝儀の事など藤田伝左衛門殿嫡女と堀内五十二方の婚姻に関する取り決め)		横切継紙・1通	え4153-30
(藤田伝左衛門殿嫡女と堀内五十二方の婚姻引越遅れも年内引越申したく御頼みの書付)		堅切紙・1通	え4153-31
(藤田伝左衛門殿嫡女と堀内五十次方の婚姻御祝い物御披露覚) 藤田伝左衛門内荒井新助→堀内五十次様御取次中様		横長半・1冊	え4153-32
(献立書付関係他綴)		綴/(え4154-1~6は一綴)・1綴	え4154
(大平ほか2月17日献立書付)		横長半/(貼紙あり)・1冊	え4154-1
(大平・口取・さし身ほか献立書付) *香奠目録の紙背文書		横長半・1冊	え4154-2
源五様へ御問合可申事(引出物の事など婚姻・引越に伴う明細書付)		横半半・1冊	え4154-3
(友太郎悴4月7日他日付書上)		横切紙・1通	え4154-4
(表座敷に龍の文鎮ほか部屋別小間物書付) *裏に印あり		横長半・1冊	え4154-5
(3月11日御吸物、大平他献立書付)		横長半・1冊	え4154-6
(彦次郎引越・婚礼関係綴)		綴/(え4155-1~31は一綴)・1綴	え4155
(袋) *(袋上書)「明治八乙亥年三月 彦次郎引越入用之書類」		袋・1点	え4155-1
(鯉5わ・風呂敷1他祝品目録)		折紙・1通	え4155-2
(吸物・膳ほか献立書付)		折紙・1通	え4155-3
(書状、知道殿より進上物披露の上目出度く祝納の御報せに付) 八田競→師岡源兵衛様	5月3日	横切紙・1通	え4155-4
(書状、小袖2枚結納酒肴に添え27日5時に内藤氏へ納めに付酒肴料1円御願いの旨他) 喜助→森太郎様貴下	4月28日	横切紙・1通	え4155-5

1.内方/11.儀礼/1.婚姻・離縁

(書状、宗益殿より結納御祝物宜しく取計に付) 八田競→師岡源兵衛様	5月3日	横切紙・1通	え4155-6
(書状、此方用意宜しく御輿入に付) 八田競→師岡源兵衛様	5月3日	横切紙・1通	え4155-7
(供方4人ほか人足書付)		切紙・1通	え4155-8
(出迎1人ほか人足書付)		切紙・1通	え4155-9
(おふくろ様へ白つむぎ他親類へ遣し物の書付)		横切紙・1通	え4155-10
(書状、伊勢町引越一条に付) *下書		横切継紙・1通	え4155-11
(原町内藤孫右衛門ほか人名書付)		横切継紙・1通	え4155-12
(半次郎ほか人名書付)		横切紙・1通	え4155-13
(書状、拙子養子申込御延引の御頼みに付)	1月23日	横切紙・1通	え4155-14
(書状、内藤氏二男の義鼠屋九右衛門も首肯のため御延引の頼みに付) 子信→伯父様	1月26日	横切継紙・1通	え4155-15
(書状、彦次郎様も御家風に馴染め御共和の様子などに付) (伊藤)源太郎→八田知道様	7月2日	横切継紙・1通	え4155-16
(書状、過般の御挨拶として肴料金千匹・縮緬1反頂戴への御礼に付) 伊藤九右衛門→八田知道様御侍史	7月2日	横切継紙・1通	え4155-17
(上下・小袖ほか物品・井上他人名書上)		横切紙・1通	え4155-18
(親類相談の事ほか五ヶ条書付)	月日	横切紙・1通	え4155-19
記(泰平紙5枚代金60銭請取に付) 長野書肆岩下伴五郎[印]「信州善光寺書坊尚榮堂鳶屋伴五郎」		横切紙・1通	え4155-20
御発日御同伴(源次郎伯父石合三千生ほか同伴者書上)		横切紙・1通	え4155-21
(書状、内藤氏に29日御引越之事御承引、御結納差し送りの儀承知などに付) (伊藤)九右衛門→(松木)董正様	4月11日	横切継紙・1通	え4155-22
(組合三郎・岡屋・仁助他人名書上)		横切継紙・1通	え4155-23
(書状、聳入引出物追而遣わす向早々申し上げなどに付)	5月13日	横切紙・1通	え4155-24
(書状、聳への引出物不都合のため太刀折紙にて差直し、大方馬代として目録にて差し遣わしに付) 則通→謙兵衛様	4月3日	横切紙・1通	え4155-25
記(唐紙測9本分118匁8分他、15両2分1朱、91文金銭書上) 甚兵衛→八田様御内	亥5月	横切紙・1通	え4155-26
(書状、源太郎へ御結納御遣しの書面に鼠屋九右衛門への一封も封じ込めに付) (松木)董正→(八田)知道様	4月23日	横切継紙・1通	え4155-27
記(生酒別改3升代金18匁受取書) 鼠屋源太郎[印]「信州上田原町伊藤鼠源店」→八田知道様	4月27日	横切継紙・1通	え4155-28
記(上鯛2包3朱受取書) 大坂屋喜右衛門[印]「上田原町大喜」→伊藤様	4月29日	横切紙・1通	え4155-29
(小山田2人、松木2人他人足書上)		札・1点	え4155-30



(書状、いろいろ送りの彦四郎様へ御礼、蚕値段上がりなどに付) 村山より坂本→松代八田様		横切紙/(青色野紙/(10行)・1通	え4155-31
(明和3年戊正月25日婚礼の目録 献立書上関係一括)		綴/(え4158-1~8は一綴)・1綴	え4158
(袋) * (袋上書)「立目録 献立 明和三年戊正月廿五日婚礼」		袋・1点	え4158-1
覚(小袖櫃1荷他目録書上) 堀内宗蔵代成田惣助	正月24日	堅紙・1通	え4158-2
覚(雑櫃2・油筒1下女荷物書上) 堀内宗蔵代成田惣助	正月24日	横切紙・1通	え4158-3
(するめ3連・たい1折他に付目録)		堅紙・1通	え4158-4
しん上(御上下1具・御末ひろ1本他に付進上目録)		堅紙・1通	え4158-5
覚(扇子2本八田嘉太郎様へ他献上目録)	12月27日	堅継紙・1通	え4158-6
裏(三方熨斗引渡献立書上)	正月25日	堅継紙・1通	え4158-7
表(吸物他献立書上)		堅継紙・1通	え4158-8
(引盃銚子他献立書上)		堅継紙・1通	え4159
(長左衛門引越・嘉右衛門婚姻関係証)		綴/(え4201-1~14は一綴)・1綴	え4201
(袋) * (袋上書)「寛政四子十二月十一日長左衛門引越一卷覚書入 寛政五丑正月廿五日嘉右衛門婚姻一卷覚書入」	寛政4(年)子12月11日 ~寛政5丑正月25日	袋・1点	え4201-1
覚(御縁女様へ御帯代300疋・御扇子畳紙1折ほか書付) 山越市之丞様御使者松本善八	3月21日	折紙・1通	え4201-2
(30疋伊七など壹人別祝儀金及び春奉公清七共13人ほか御家来中の書付)		折紙・1通	え4201-3
覚(八田長左衛門へ扇子箱1ッ・同人御袋様へ小杉5束ほか祝儀書付)		横長半・1冊	え4201-4
御双方被仰合書(12月11・13・17日伊勢町八田家と木町八田家結納祝儀申し合わせ書)	11月吉辰	横長半・1冊	え4201-5
御双方被仰合覚(正月24日木町縁女荷物伊勢町へ遣わす他25・28日祝儀取り計らい書)	正月吉辰	横長半・1冊	え4201-6
おほへ(御祖父様へ御極わら紙50帖・治左衛門へ御極わら紙50帖ほか祝儀書付)		横切継紙・1通	え4201-7
①(書状、嘉右衛門婚姻へ御祝詞申し上げに付)②八田長左衛門・増田惣右衛門後家・大瀬登・大瀬為治・樋口民衛ほか人名多数書留) ①藤田伝左衛門→八田孫左衛門様・八田嘉右衛門様、②八田孫左衛門	①2月②3月①14日	折紙・1通	え4201-8
(片衣3肩・薄袴2下りなど引出・櫃他の内訳書付)		横長半・1冊	え4201-9
覚(紬綿入2ッ・紬綿入羽織2ッ・紬袷1ッほか衣類26品書付)		折紙・1通	え4201-10
(書状、忝嘉右衛門婚姻の儀25日8つ時御光来に付) →樋口民衛様・友野園八様・松本源八様・樋口伊八様・堀田覚兵衛様・岡野新太郎様・小野四郎三郎様・小林門右衛門様・木町馬場丁ほか寺町女様5人	正月21日	折紙・1通	え4201-11
(民衛様・伊八様・園八様他14人名前書付)		横切紙・1通	え4201-12

おぼへ(父上様・母上様ほかへ御扇子など贈呈品書付)		横切紙・1通	え4201-13
長左衛門引越ニ付諸色覚	子12月	横長半・1冊	え4201-14

## 1.11.2. 葬儀・法事

(精心院様百回忌執行関係袋一括)		袋一括/(え4027-1~5は袋一括)・1点	え4027
(袋) * (袋上書)「精心院様百回御忌七月中相當之所故障有之付来ル十四日夕より十五日朝迄於浄福寺法事改執行ニ付取納入」	安政2乙卯年6月	袋・1点	え4027-1
精心院様百回御忌ニ付御備物到来之覚	安政2乙卯年6月	横長美/(綴じ穴あり)・1冊	え4027-2
精心院様百回御忌七月中相當之故障有之付取越来ル十四日夕より十五日朝迄於浄福寺法事執行ニ付取調帳	安政2乙卯年6月	横長美/(綴じ穴あり)・1冊	え4027-3
覚(八田嘉兵衛様御香具10疋請取に付) 浄福寺納所→八田慎蔵様御使中	6月15日	切紙/(綴じ穴あり)・1通	え4027-4
覚(御布施金2朱他請取に付) 浄福寺納所→八田慎蔵様御内瀧澤藤五郎様	6月14日	横切紙/(綴じ穴あり)・1通	え4027-5
(袋) * (袋上書)「悟達院様御不幸一件并法会諸事書類入」	嘉永元年申年12月9日	袋/(え4035-2~21を一括)・1点	え4035-1
御見舞到来もの覚	申11月28日	横長半・1冊	え4035-2
覚(悟達院七日・百ヶ日、献光院様七回忌法事に付御布施・諸色受取の披露状) * (包紙上書)「券書」 浄福寺納所→八田嘉助様御内丸澤栄八様	(嘉永2年) 正月22日	横切継紙/(包紙入)・1通	え4035-3
(御棺箱寸法などの覚書)	(嘉永元年)	折紙・1通	え4035-4
覚(香典受取につき披露状) 浄福寺納所→八田嘉助様御内玉井傳兵衛様	(嘉永元年) 12月14日	横切継紙・1通	え4035-5
(「博多帯藤作」など一人別香典覚)		横切継紙・1通	え4035-6
覚(香典受取に付披露状) * (包紙上書)「覚」 浄福寺納所→八田嘉助様御内丸沢栄八様	(嘉永2年) 正月13日	横切継紙/(包紙入)・1通	え4035-7
覚(香典受取に付披露状) 浄福寺納所→八田嘉助様御内丸沢栄八様	(嘉永2年) 正月22日	横切継紙・1通	え4035-8
覚(香典受取に付披露状) 浄福寺納所→八田嘉助様御内玉井傳兵衛様	(嘉永元年) 12月14日	横切継紙・1通	え4035-9
忌掛(親族関係)	(嘉永元年)	横切継紙・1通	え4035-10
忌掛(親族関係) * 朱書あり	(嘉永元年)	横切継紙・1通	え4035-11
(御焼香への礼状、下書) 岡嶋□□□□・村田・上村・宗岡	(嘉永)	折紙・1通	え4035-12
(仏事への参加者一覧力) * 合点あり	(嘉永元年)	折紙・1通	え4035-13
(仏事報知一覧力) * 朱書あり	(嘉永元年)	折紙・1通	え4035-14
口上 為知出候ヶ所(悟達院仏事報知に付) * (端裏書)「口上 為知出候ヶ所」	(嘉永元年)	横切継紙・1通	え4035-15

野布施寄院(大英寺御布施20疋など御布施書上)		折紙・1通	え4035-16
口上覚(養父嘉右衛門中風に付看病願) 八田辰三郎→岡嶋庄蔵殿・竹村金吾殿・山寺源太夫殿・磯田音門殿	(嘉永元年カ)12月9日	堅紙・1通	え4035-17
出棺前御焼香(焼香者書上)	(嘉永元年)	折紙・1通	え4035-18
(養父嘉右衛門中風に付看病願下書)	(嘉永元年カ12月9日)	堅紙・1通	え4035-19
(仏事報知一覧か)	(嘉永)	横長半・1冊	え4035-20
返礼書抜(香典返者一覧)	(嘉永2年)	横長半・1冊	え4035-21
(袋) * (袋上書)「玉樹院十七回忌相当ニ付九月廿二日夕より廿三日朝迄於浄福寺法事執行取調書類巻入」		袋/(え4049-2~3を一括)・1点	え4049-1
玉樹院十七回忌相当ニ付九月廿二日夕より廿三日朝迄於浄福寺法事執行取調帳	慶応4辰年9月	横長半・1冊	え4049-2
覚(御布施金1朱ほか受取披露状) 浄福寺納所→八田慎蔵様御内瀧沢藤五郎様	9月21日	横切紙・1通	え4049-3
正倫院七ヶ日五月五日より相当ニ付百ヶ日一同五月四日夕より五日朝まで於浄福寺法事執行諸事取調帳 * (袋上書)「正倫院七ヶ日百ヶ日五月四日より同五日まで於浄福寺法事執行取調一巻入」	明治9年丙子4月	横長半・1冊	え4050
(袋) * (袋上書)「玉樹院実相怒大姉七回相当ニ付九月廿二日夕より廿三日朝まで於浄福寺法事執行取調入」	安政5午年9月	袋/(え4051-2~3は袋一括)・1点	え4051-1
玉樹院実相怒大姉七回忌相当ニ付九月廿二日夕より廿三日朝まで於浄福寺法事執行取調帳	安政5午年9月	横長半・1冊	え4051-2
覚(御布施金50疋ほか受取披露状) * (包紙上書)「覚」 浄福寺納所→八田慎蔵様御内瀧沢藤五郎様	9月22日	横切紙・1通	え4051-3
(袋) * (袋上書)「猷光院様廿七回御忌御相当ニ付三月晦日夕より四月朔日朝まで於浄福寺御法事執行取調帳」	明治2巳年3月	袋/(え4052-2~4は袋一括)・1点	え4052-1
覚(御布施金100疋ほか受取披露状) 浄福寺納所→八田慎蔵様御内御使衆中	3月29日	横切紙・1通	え4052-2
塔婆之事(寺町3人など、前晚94人翌朝35人の人数書付)		横切紙・1通	え4052-3
覚(町方用米売渡し、金100両受取証文) 穀本行司惣代 太左衛門(印)・御町名主惣代名主忠八郎(印)→菊屋傳兵衛殿	天保7年申12月	堅切紙・1通	え4052-4

## 1.11.3. 年中行事帳

(正月3日御流など諸儀礼覚書)		横半半/(帳外れ)・1冊	え4046
-----------------	--	--------------	-------

## 1.11.4. 宴会

(11月1日千秋万歳御膳の次第)		縦継紙・1通	え4081
------------------	--	--------	-------

## 1.11.5. 書状

(書状、年賀御祝儀申し上げたきに付) 坂本幸右衛門重仲(花押)→八田慎蔵様参る人々御中	正月18日	縦紙・1通	え4063
---	-------	-------	-------

## 1.12. 旅

## 1.12.1. 社寺参詣

口上之覚(伊勢参宮及び石清水八幡社参り仕度に付願書) 八田孫左衛門→御町御奉行所	2月	縦紙・1通	え4092
--	----	-------	-------

## 1.12.2. 入湯

(天保11年5月 湯治入用綴)		綴/(え4037-1~10は一綴)・1綴	え4037
(袋) * (袋上書)「上 御湯治御入用取調書 子五月 傳次」	子正月	袋・1点	え4037-1
覚(手拭代1貫248文ほか、金4兩164文金銭書上) 嶋蔵→上	5月25日	横切紙・1通	え4037-2
覚(5月13日酒1升代金124文ほか、金3朱300文金銭書上) 山の湯さかや(印)→松代菊屋傳治様	5月22日	横切紙(灰色宿紙)・1通	え4037-3
(髪結、按摩稼人数及び天候書付)		堅切紙・1通	え4037-4
覚(うに代3匁ほか、金12匁1貫822文書上) 江戸や佐吉	5月9日	横切継紙(茶色宿紙)・1通	え4037-5
覚(油あげ代60文ほか、金1分365文金銭書上) 野田や三助	5月18日	横切継紙(灰色宿紙)・1通	え4037-6
覚(炭2俵2箱代金732文ほか、金1兩3分237文金銭書上) 野沢湯本酒屋五右衛門(印)→松代菊屋傳治様	5月22日	横切継紙(灰色宿紙)・1通	え4037-7
覚(井代3匁7分5厘ほか、金25匁800文金銭書上) 大坂や才助→八田様御内	子5月	横切紙・1通	え4037-8
(内山1貫代金2分1朱金銭書上) 近江屋→八田様御内		小切紙・1通	え4037-9
天保十一年御通帳 野沢温泉麻見太郎→松代増田様	子5月12日	横半半(灰色宿紙)・1冊	え4037-10

## 1.13. 寺社

## 1.13.1. 浄福寺借財関係

(浄福寺瑞峯和尚差引綴)		綴/(え4040-1~15は一綴)・1綴	え4040
(袋) * (端裏貼紙)「浄福寺瑞峯和尚差引書 智泉和尚より証文入封書一通預り右之書類ニ而瑞峯和尚御一往差引相分可申事 外差引一冊添」		袋・1点	え4040-1

借用申金子証文之事(浄福寺代継御礼のため出府入用金差し支えに付金15兩借用、年利1割、返済は文政4年2月) * (端裏貼紙)「文政三辰十二月 金拾五兩 壹割 継目御礼ニ而浄福寺瑞峯和尚」 田中村浄福寺[印「浄福」]、(奥書)壇中世話人與三郎(印)・道右衛門・伊惣太(印)・直右衛門(印)・太左衛門(印)・名右衛門(印)・惣五郎(印)・喜左衛門(印)・新兵衛(印)・喜右衛門(印「政員」)・補助(印)・源兵衛(印「清矩」)・長十郎(印)・長左衛門(印)・庄治郎(印)・利兵衛(印)・全左衛門・彦市・清作・梅治郎・伊惣治・孝右衛門・惣左衛門・源吾・文治郎・小右衛門・政五郎・小兵衛・彦三郎・重三郎→八田嘉右衛門殿	文政3辰年12月	堅継紙/(下札あり)・1通	え4040-2
御借用申金子証文之事(金15兩浄福寺惣代時借に付、返済は国元へ帰り次第) * (端裏書)「文政五午年拾四兩」 信州松代田中村成福寺旦中惣代御借主惣五郎(印)・同同源五兵衛(印「清矩」)・同同喜左衛門(印)→江戸数寄屋川岸丹波屋新助殿	文政5午年6月19日	堅紙・1通	え4040-3
借証(奉公人切米並びに大豆仕入時借5兩受取に付) 浄福寺智泉(印)→伊勢町様御手本	文政8乙酉年3月18日	堅紙・1通	え4040-4
覚(拙僧よんどころ無き入用のため金1兩借用に付取替証文) * (端裏書)「文政七申八月 金壹兩 無扨入料ニ付取替」 浄福寺新盟智泉(印)、(奥書)浄福寺旦中惣代長左衛門(印)・同断源五兵衛(印「清矩」)→当寺惣代米倉源五兵衛殿・有賀長左衛門殿、(奥書)八田嘉右衛門様御内	文政7(年)申8月晦日	堅紙・1通	え4040-5
御借用金証文之事(本山宗用の為新盟和尚壇中惣代1人諸入用金5兩借用に付、文政8年11月中旬利返済) 浄福寺旦中惣代六郎兵衛(印)・同喜左衛門(印)・源五兵衛(印「清矩」・長左衛門)→八田嘉右衛門様御内	文政7申年閏8月19日	堅紙・1通	え4040-6
覚(大林寺出世納金7兩受取証文) 浄福寺[印「浄福」]→伊勢町様御手本	文政8乙酉年3月21日	堅紙・1通	え4040-7
借用申金子之事(よんどころ無き入用のため金5兩借用に付) 浄福寺智泉僧(印)→八田嘉右衛門様	文政8乙酉年10月5日	堅紙・1通	え4040-8
借用申金子証文之事(御公議年礼出府雑用並びに当寺一件謝礼金15兩借用に付) * (端裏書)「文政八酉十二月 公議御年礼ニ付取替 金拾壹兩」 田中村成福寺[印「浄福」]、(奥書)壇中惣代六郎兵衛(印)・同喜左衛門(印)・長左衛門(印)・源五兵衛(印「清矩」)→八田嘉右衛門様	文政8酉年12月	堅継紙・1通	え4040-9
借用金子証文之事(去冬出府関御三利その他入用の為金5兩借用に付) * (端裏書)「文政九戌五月 出府ニ付関御三利其外入用ニ付」 浄福寺[印「浄福」]・六郎兵衛(印)・喜左衛門(印)・源五兵衛(印「清矩」)・長左衛門(印)→八田嘉右衛門様	文政9戌年5月	堅紙・1通	え4040-10
借金証文之事(今井左源太へ惣代より差出金入用のため時借金5兩受取に付) 田中村浄福寺[印「浄福」]→八田嘉右衛門殿	文政12丑年2月	堅紙・1通	え4040-11
覚(金3兩受取に付) 智泉僧(印)→八田御氏様	5月29日	堅切紙・1通	え4040-12
覚(江戸雑用として金30兩受取に付) 浄福寺→八田御氏様	未9月17日	堅紙・1通	え4040-13
覚(金1兩2分紬衣代・金2兩2分借用金の内訳書上) 浄福寺新盟智泉僧	8月27日	堅紙・1通	え4040-14
借符(拙僧よんどころ無き急用のため金4兩借用証文) * (端裏貼紙)「年号無之候へ共文政七申年勘定帳ニ有之」 浄福寺新盟智泉(印)、(奥書)浄福寺旦中惣代長左衛門(印)・同断源五兵衛(印「清矩」)→八田嘉右衛門様	8月27日	堅紙・1通	え4040-15

## 1.13.2. 菩提寺浄福寺

(浄福寺関係綴)		綴/(え4041-1 ～10は一綴)・1 綴	え4041
覚(金8両2朱銭160文のうち金6両受取に付)＊(端裏貼紙)「帳面江書出無之分」 浄福寺[印「浄福」]→伊勢町様御使中	3月2日	横切継紙・1通	え4041-1
覚(金1両受取に付) 智泉僧(印)→(八田)嘉右衛門様	未正月14日	横切継紙・1通	え4041-2
覚(御葬式巻7両1分ほか差引ノ金8両2朱160文品代書上) 尾右衛門→御世話人中様	3月朔日	横切紙・1通	え4041-3
覚(御朱印入木綿風呂敷包他7品預け証文) 八田嘉右衛門(印墨消)→智泉大和尚	文政5午年2月18日	横切紙・1通	え4041-4
覚(金7両預かりに付)＊(端裏書)「未九月十七日 三両右ニ而渡切 返り切」 八田嘉右衛門(印墨消)→智泉大和尚尊床下	文政5午年7月27日	横切継紙・1通	え4041-5
覚(瑞峯方丈御末期貴僧御出世に付) 八田嘉右衛門印→祖海叟	文政8酉年3月	横切紙・1通	え4041-6
覚(瑞峯方丈御末期御遺金15両遺贈に付) 八田嘉右衛門→活尻長老	文政8酉年3月	横切紙・1通	え4041-7
勸化覚(金1分寺など勸化金覚書)		横切紙・1通	え4041-8
覚(石龍寺へ表謝銭金1両1分他ノ金19両3分2朱500文金銭書上)	文政9(年)2月	横切継紙・1通	え4041-9
覚(大工吉右衛門金1両1分他3筆ノ金10両1分1貫455文金銭書上)		横長半・1冊	え4041-10

## 1.13.3. 埴科郡倉科村福昌寺

(福昌寺大般若料寄附関係綴)		綴/(え4060-1 ～4は一綴)・1 綴	え4060
覚(大般若料寄附金3両請取、村役元へ預け置き、利足を以て永代修行仕るに付) 倉科村福昌寺→八田嘉右衛門	文政13寅年正月	堅切紙・1通	え4060-1
差上申一札之事(御屋敷様より大般若料寄附金3両請取、村役元へ預け置き、利足を以て永代修行仕るに付) 倉科村南組三役人→八田嘉右衛門様御内浦野忠七殿	年号月	堅継紙・1通	え4060-2
覚(大般若料寄附金3両請取、村役元へ預け置き、利足を以て永代修行仕るに付) 倉科村福昌寺[印]→八田嘉右衛門殿	文政13寅年3月	堅切紙・1通	え4060-3
差上申一札之事(御屋敷様より大般若料寄附金3両請取、村役元へ預け置き、利足を以て永代修行仕るに付) 倉科村名主与惣左衛門(印)・同彦三郎(印)・組頭三蔵(印)・同常五郎(印)・長百姓三左衛門(印)・同弥左衛門(印)→八田嘉右衛門様御内浦野忠七殿	文政13寅年3月	堅紙・1通	え4060-4

## 1.13.4. その他

(大神宮御戸帳関連綴)		綴/(え4196-1~6は一綴)・1綴	え4196
(袋) * (袋上書)「御旅家大神宮御戸帳 天真院様江奉願候出来 金井左源太殿御執成箕田喜六方世話頼付書状入」		袋・1点	え4196-1
(書状、他家神号御染筆之義御執成に付御礼預り忝き旨) 金井左源太→八田嘉右衛門様	10月2日	横切継紙・1通	え4196-2
(書状、吉村嘉吉らの書面を以て御内々御請けの栗珍しく大物沢山にて御満悦に付) 清酒→猶与夫子	10月12日	横切紙・1通	え4196-3
(書状、此程御深切に預かり御馳走への御礼他) 青玉→代舌	後如月18日	横切継紙・1通	え4196-4
(書状、献上物分差出相済に付他) [ ]→(八田)嘉右衛門様	10月3日	横切継紙・1通	え4196-5
(書状、他家神前の八帳御掛替遊ばされ、御染筆御内々御寄附に付) 寺内多宮→金井左源太様	10月朔日	横切継紙/(虫損)・1通	え4196-6

## 1.14. 見聞・風説書

(甲州黒駒不良之徒乱入二付出兵鎮圧一件書留)	(慶応4年)閏4月21日	横長半・1冊	え4127
------------------------	--------------	--------	-------

## 1.15. 諸芸

## 1.15.1. 文芸

謹題高川惟文所画先君写真(漢詩)		堅紙・1通	え4106
告己子(漢詩「不管林園羣卉…」) 青斎[印「高津□□」][印「号鷗仙」]	告己子	堅紙・1通	え4107
奉賀(漢詩「仁澤漸民頌雅遍…」) 田道揆再拜[印][印]		堅切紙・1通	え4108
無題(漢詩「志業於今日…」) 青斎[印「高津□□」][印「号鷗仙」]		堅切紙・1通	え4109
霜夜月(漢詩「板橋雪影踏…」) 青斎[印「高津□□」][印「号鷗仙」]	霜夜月	堅切紙・1通	え4110
(包紙) * (包紙上書)「覚」		包紙/(え4089-2~3を一括)・1点	え4089-1
覚(波画御屏風6枚折他御屏風仕様書目下書) * 下書/(端裏貼紙上書)「御屏風仕様書、御目錄下書、御一覽後御下可被成下候、渡辺友右衛門」 八田嘉右衛門		堅紙・1通	え4089-2
覚(波画御屏風6枚折他御屏風仕様書目) 八田嘉右衛門		堅紙・1通	え4089-3

## 1.15.2. 泰全様御在命中山口専始齊先生より御伝達書類綴

(泰全様御在命中山口守始齊先生より御伝達書類綴)		綴/(え4147-1~26は一綴)・1綴	え4147
--------------------------	--	----------------------	-------

1.内方/15.諸芸/2.泰全様御在命中山口守始齊先生より御伝達書類綴

(袋) * (袋上書)「泰全様御在命中山口守始齊先生より御伝達書類入紛乱致問敷事 文政八乙酉六月 知義」		袋・1点	え4147-1
(書状、先祖5代の由緒并亡母位牌所の仏供地などの調査団右衛門へ御頼みに付) 加々井庵守始齊病毫→以親兄座右	10月	折紙・1通	え4147-2
(「作業等空・・・」體文35字及び摩多の書付)		横切継紙・1通	え4147-3
(松風久東行などの唐音書付)		横切継紙・1通	え4147-4
(書状、痢病防止のため赤小豆頂戴願に付) おか川左十郎→八田御氏御母堂殿	12月16日	横切継紙・1通	え4147-5
(「2月23日命申酉命者開白・・・」書付)		横切紙・1通	え4147-6
(「朝百遍昼百遍・・・」書付)		横切紙・1通	え4147-7
(秋実翁伝来口上承知の書付)	8月16日	横切継紙・1通	え4147-8
(延喜年中初めて石井田久保禁裏へ芹献上の旨書付)		横切紙・1通	え4147-9
服中粉葉(吉野くす粉等の飲用方法書付)		横切紙・1通	え4147-10
(書状、御出府の由承知御太儀千万の事に付) 山口善助→八田孫左衛門様	9月24日	横切継紙・1通	え4147-11
(書状、先日被仰聞候文句綴候一字の内余計の所字御除きに付) 愿→(八田)嘉右衛門様	8月12日	横切紙・1通	え4147-12
(木枝葉森に関する書付断簡)		横切紙・1通	え4147-13
(書状、先日仰せの極密の義春なら早春に御頼みなど先ずは内々承知御通しに付)	丙丁	横切継紙・1通	え4147-14
(書状、御約束の伝書入御覧の上その伝来及び学び方申し上げに付) 善助→孫左衛門様	4月7日	横切継紙・1通	え4147-15
(書状、勧学の教え教授及び勧学の書二相大悟御覧に付) 善介→孫左衛門様	4月晦日	横長半・1冊	え4147-16
(「いにしへの・・・」など加甲斐庵守始齊の短歌) 加甲斐庵守始齊		横切紙・1通	え4147-17
(知則花押の書付)		横切紙・1通	え4147-18
五十字文		横切紙・1通	え4147-19
(書状、松平肥後守会津中将源正之卿土津霊神・土御門ノ院の歌論評御覧に付) 善助→孫左衛門様	今日	横切継紙・1通	え4147-20
口演(宜しく仰せ付けられた蒙求の古刻は不明、新刻のみ差出御覧に付)		横切継紙・1通	え4147-21
(書状、光海翁伝来巻御答書に及ばず封の上御返しに付) 加々井庵守始齊→孫左衛門様	8月	横切紙・1通	え4147-22
(書状、姉様瘡の儀綿瓜の水服用に付) 善助→孫左衛門様	9月23日	横切紙・1通	え4147-23
(書状、世を遁れのため加々井庵守始齊としての文通願などに付) 加々井庵戎守始齊(マ)→孫左衛門様	8月尽	横切継紙・1通	え4147-24
(書状、御手紙落手の御礼申し上げに付) 山口善助→八田孫左衛門様不及御答候	閏25日	横切紙・1通	え4147-25
本尊金剛薩埵種子卯外縛二中ヲ立合二大二小開立		横切紙・1通	え4147-26



## 1.16. 書状類

(八田慎蔵関係書状綴)		綴/(え4042-1~48は一綴)・1綴	え4042
(書状、風呂敷包み御下げ願いに付) 富岡→八田様	21日	横切紙・1通	え4042-1
(書状、ビストル代14両2分明朝まで支払に付) 市治→(八田)慎蔵様内分申上置	6月9日	横切紙・1通	え4042-2
(書状、ビストルの様子伺いに付) 市治→(八田)慎蔵様	6月朔日	横切継紙・1通	え4042-3
(書状、手銃について価格品柄など伺いに付) *勘返状 子静邸→習堂先生	1日	横切継紙・1通	え4042-4
(書状、算盤注文に付) (富岡)良右衛門→(八田)慎蔵様	6月朔	横切継紙(灰色宿紙)・1通	え4042-5
(書状、御上近日近在へ罷出たく日限伺いに付) *勘返状 (八田)慎蔵→表柴町様申上	7日	横切継紙・1通	え4042-6
(書状、三分金借用繰り合わせ願いに付) 本之進→歎願用申上	6月10日	横切継紙・1通	え4042-7
(書状、宅の飯米つき方に付) まつ山丁→い勢町様	6月朔日	横切紙・1通	え4042-8
(書状、父親の病状26日頃から中風の氣に付) ひて→御母上様		横切継紙・1通	え4042-9
(書状、会所へ鑑札取り罷出候に付) *勘返状 (八田)慎蔵→潤蔵様当用	2日	横切継紙・1通	え4042-10
(書状、同役相変わらず病人ばかりのため名代願いに付) *勘返状 (八田)慎蔵→清右衛門様	8日	横切継紙・1通	え4042-11
(書状、米1俵少々の間拝借願に付) 治部右衛門→あね上様	11日	横切継紙・1通	え4042-12
(書状、26日返済の80円大小札引替方に付) 表柴丁より→伊勢号様	23日	横切継紙・1通	え4042-13
(書状、兄幸右衛門28日4ツ時死去に付) 井上村坂本丑之輔→松代二而八田慎蔵様不幸	7月28日	横切紙・1通	え4042-14
(書状、当国絵図・道中記拝借願に付) 芳三郎→(八田)慎蔵様	7月7日	横切継紙・1通	え4042-15
(書状、御人員調書認め直しに付) 惣兵衛→申上	7月1日	横切紙・1通	え4042-16
(書状、明日正金100金御入料に付) 表柴丁より→伊勢町様	5月8日	横切継紙・1通	え4042-17
(書状、10歳の五男病死御届けに付)	5月20日	横切紙・1通	え4042-18
(書状、薩藩応接一条認め方に付) 良右衛門→(八田)慎蔵様		横切継紙・1通	え4042-19
(書状、姉妹共払暁より発駕に付) 与右衛門→八田様	10(月)6日	横切継紙・1通	え4042-20
(書状、今夕上堂のところ他約束に付) (松木)源八→御封申上	14日	横切紙・1通	え4042-21
(書状、佩刀修復に付) (八田)慎蔵→源兵衛様	5月17日	横切継紙・1通	え4042-22

## 1.内方/16.書状類

(書状、御内談のため会所へ出張に付) 清右衛門→(八田)慎蔵様	24日	横切継紙・1通	え4042-23
(書状、金2両2分拝借の内1両正金による借用願に付) (落合)本之進→伊勢町様願用	4月5日	横切継紙・1通	え4042-24
(書状、家内申聞云々の儀御探情の段奉謝るに付)	9日	横切継紙・1通	え4042-25
覚(手紙1通・金子入れ箱1ツ落手に付) (落合)本之進→伊勢町様	4月朔日	横切紙・1通	え4042-26
(書状、大豆代料現金にて遣わす約束のため、金子繰り合わせ願いに付) (落合)本之進→口上願用申上	3月28日	横切紙・1通	え4042-27
(書状、金子繰り合わせ願いに付) (落合)本之進→口上願用	4月朔日	横切紙・1通	え4042-28
(明24日7ツ時郡方役所への召喚状) 岡野弥右衛門→八田慎蔵様	3月23日	横切継紙・1通	え4042-29
(書状、塩尻への添簡案御内々御廻しに付) (幡場)潤蔵→(八田)慎蔵様	5月朔日	横切継紙・1通	え4042-30
(書状、御勞煩の程に付) (八田)喜兵衛→(八田)慎蔵様	3月24日	横切紙・1通	え4042-31
(明24日7ツ時郡方役所への召喚状) 岡野弥右衛門→八田喜兵衛様	3月23日	横切紙・1通	え4042-32
(新貨幣鑄造以後、御渡金札及び諸上納金の取扱に付達) 行政官	3月	横切継紙・1通	え4042-33
(書状、両三日のうちに出席願ひ及び桑取り締まり方に付) (富岡)良右衛門→(八田)慎蔵様	3月25日	横切継紙(灰色宿紙)・1通	え4042-34
(貨幣3250万両製造仰せの内今般御製造貨幣分量書上)		横切継紙・1通	え4042-35
(書状、役替えにより結構な御肴頂戴に付) 源兵衛→伊勢町様	6月12日	横切継紙・1通	え4042-36
(書状、竹子など父病氣見舞いの品頂戴に付) 坂本丑之輔→八田慎蔵様尊報	5月20日	横切継紙・1通	え4042-37
(書状、甲府へ出立之義に付) ちやう→御返事申上	14日	横切継紙・1通	え4042-38
(書状、近年心痛のみにて中旬頃迄には出勤仕りたきに付) 齋助→(八田)慎蔵様御請申上	5月3日	横切継紙・1通	え4042-39
(書状、今晚の次第に寄り1人清七貴殿先まで御遣わしに付) 柴丁ヨリ→御報答	14日	横切継紙・1通	え4042-40
(書状、明日予期無き義何とか繰り廻しに付) (富岡)良右衛門→(八田)慎蔵様	5月18日	横切紙・1通	え4042-41
(書状、経筒代金14両2分金札に付) 表柴丁→伊勢早様	5月朔日	横切継紙・1通	え4042-42
(産物方同人弟へ代替わり等に付申上書)	6月20日	横切継紙・1通	え4042-43
(中牧村産物改所別紙の通取り調べに付) 弥右衛門→一路様・為之進様・十郎兵衛様・茂右衛門様	6月20日	横切紙・1通	え4042-44
(御納め方25日まで猶予願) 清三→伊勢早様	5月22日	横切継紙・1通	え4042-45
(書状、ヒストル3挺・玉200代金14両2分買上願いに付) 市治→(八田)慎蔵様	5月22日	横切紙・1通	え4042-46
(書状、清七松本から昨日までも帰らず、一寸御様子奉伺るに付) 清右衛門→(八田)慎蔵様	7月14日	横切継紙・1通	え4042-47

(書状、御箱預かり返上に付) 表柴丁より→伊勢早様 (書簡類綴)	朔日	横切紙・1通	え4042-48
(袋) * (袋上書)「書簡類」		綴/(え4114-1~40は一綴)・1綴	え4114
(大殿旧抱屋敷へ御入の折、献上物及び嶋縮など拝領物御請の委細書付)		袋・1点	え4114-1
(書状、木町喜兵衛殿御参会での御尋に付) →御内披キ可被成下候	2月14日	横切継紙・1通	え4114-2
(書状、半治死去後名跡難渋のため旧家御取立願に付) * 下書/(端裏書)「天保二年卯二月十四日温山老へ遣候下案」	(天保2卯2月14日)	横切継紙・1通	え4114-3
(書状、岩村田一件解決御安心などに付) 竹山町拝→伊勢町様	臘月24日	横切継紙・1通	え4114-4
口達書取(御勝手方不如意のため、糸方等の金子繰廻し及び繰廻し不足の際上納に付) 北沢源次兵衛→八田嘉右衛門殿・八田喜兵衛殿・八田辰三郎殿	(文政9)戌11月25日	横切継紙・1通	え4114-5
(書状、京都会席附写差上の件・不用の二楽亭の額御送り願いなどに付) 柳甫(花押)→八田嘉右衛門様	5月30日	横切紙・1通	え4114-6
(書状、守景と金1両2分にて梅の小幅2品御引取などに付) 池田寛蔵→八田嘉右衛門梧右	3日	横切継紙・1通	え4114-7
演説(御紹介の書簡のため、拝顔仕りたき旨) 台名寛蔵	8月11日	横切継紙・1通	え4114-8
(書状、清次町高金上納難渋のため外の手段下され候よういたしたきに付) 花岡善左衛門→八田嘉孫左衛門様	10月6日	横切継紙・1通	え4114-9
(「殿上人宗行…」の漢詩鑑定書付) * (奥書)「覚書 □□」		横切継紙・1通	え4114-10
(「し、み之義ハどろ砂交り之場所江御聴シ可被遊候」書付)		横切紙・1通	え4114-11
(書状、才覚金操合不足のため御差操願などに付) 宮坂作左衛門→八田嘉助様尊下	2月25日	横切継紙・1通	え4114-12
(書状、借入金150両返済方法に付) * 勘返状 (八田)嘉助→(水井)忠蔵様	12月14日	横切継紙・1通	え4114-13
(書状、江府表上田様よりの御返報到着も御戻しの件に付)		横切紙・1通	え4114-14
(書状、彼地普請方其外土地の次第お尋ねも滞無き趣に付) 和七→市兵衛様	7月26日	折紙・1通	え4114-15
御詫一札之事(酒造世話方御勤めも勘定出来兼ね延引に付) 喜左衛門→(八田)傳兵衛		横切継紙・1通	え4114-16
(書状、青山様御子様御卒去も御兩人引き続き御吟味などに付) 傳兵衛→市兵衛様	7月4日	横切継紙・1通	え4114-17
(書状、和七へ談置候事御承知に付) 上田十郎兵衛→和合院様尊酬	12月24日	横切継紙・1通	え4114-18
(書状、御内用のため中嶋三右衛門様と御面会の件などに付) 本郷喜福寺→八田嘉右衛門様	12月28日	横切継紙・1通	え4114-19

## 1.内方/16.書状類

(書状、中嶋三右衛門様来月初旬出府中、御逢いください候ようなどに付) 八田嘉右衛門→喜福寺方丈様侍者御中	正月9日	横切継紙・1通	え4114-21
(書状、妻と離縁和談の件親類などへ申談の御頼み等に付) (関田)庄助→(八田)嘉右衛門様	正月27日	横切継紙・1通	え4114-22
(取計金取片付け方不知の御勘弁願など書付) (関田)庄助	正月	横切継紙・1通	え4114-23
(書状、御令子様御事御片付の取り計らい等申し上げに付) *(端裏書)「下案」 八田嘉右衛門→和合院様	2月朔日	横切継紙・1通	え4114-24
(書状、木町八田喜兵衛方不用心のため家名存続の御意見伺願に付)		横切紙・1通	え4114-25
文政十亥年十月七日付ニ江府より到来別条写(琉球国及び支配の嶋々における霧雨・大雨による不作飢餓状況申上書写) 松平豊後守内小野仙兵衛	(文政10亥)9月19日	横切継紙・1通	え4114-26
寛(金3両借用に付) *(端裏貼紙)「寅七月十三日濟方歟金三両岡川太一郎殿」 岡川太一郎(印)→八田嘉右衛門殿	文政元寅年7月	横切紙・1通	え4114-27
(「問云たいゆう二ツ有神二而置ゆうはいかん」等問答書) 森由助忠(水鳥型の花押)→八田鉄之助殿	文政8酉年9月3日辰刻伝授	折紙・1通	え4114-28
(書状、添状における御謝儀段々減少の件御勘考の上御取り計らい願に付) 本之進→小山田様内用御賢覧	8月20日	横切継紙・1通	え4114-29
(書状、下札落手に付) 本之進→座間百人様	8月10日	横切紙・1通	え4114-30
(書状、大小捌差し上げ・御刀宜しき旨など申し上げに付) 本所弥彦之丞→松木源八様	10月14日	横切継紙・1通	え4114-31
寛(応舉筆人物懸物1幅など代金4両受取書) 江戸神田文葉重兵衛(印)→八田様勝之助様	卯10月27日	横切紙・1通	え4114-32
(書状、御地出火に伴う類焼のため材木板など必要次第御連絡の旨に付) 工藤源太郎美晴(花押)→八田孫左衛門様・八田嘉右衛門様人々御中	6月19日	折紙・1通	え4114-33
寛(旦那発起無尽掛不足分36両2分取集出金に付) 矢沢将監内市川恒左衛門(印)→八田嘉右衛門様	文化12亥年12月8日	横切紙・1通	え4114-34
(書状、善光寺引受初の規定書今井磯右衛門調印の件逐一申し上げざる由御用捨などに付) 浅山仁兵衛・高田茂左衛門→中嶋三右衛門貴答	12月晦日	横切継紙・1通	え4114-35
(書状、大和屋無尽損金による会合への出席及び頼母子講出金の願に付) 常田善之助→中三右衛門様	12月朔日	横切継紙・1通	え4114-36
(書状、27日450両上納などの為替の件などに付) 十八屋虎之助→幾久屋傳兵衛様・清十様	大晦日	横切継紙・1通	え4114-37
(書状、御当地出火に伴う類焼のため見舞いとして御茶碗進上に付) 深堀庄兵衛(花押)→八田孫左衛門参人御中	6月20日	折紙・1通	え4114-38
(書状、中嶋様御頼母子講会合の際金子10両出金願に付) 常田→笠井様	12月朔日	横切継紙・1通	え4114-39
(書状、見舞いとして竹1太進上及び御用の品必要次第ご連絡に付) 藤田徳左衛門(花押)→八田孫左衛門・八田嘉右衛門人々御中	6月19日	折紙・1通	え4114-40
(書状、改年の挨拶及び御祈祷修行の上御札守・大御膳目録進上に付) 常泉院寛秀→八田嘉右衛門様人々御中	正月吉日	折紙・1通	え4136-14

(書状、歳末の御祝として御肴代金500疋御恵投への御礼に付) 阿藤通碩→八田嘉右衛門様	12月28日	横切継紙・1通	え4136-17
(書状、歳暮御祝として山鳥1羽、小杉5把進上に付) 堀内楯一郎→八田嘉右衛門様参人々御中	12月29日	横切継紙・1通	え4136-18
(書状、暮年御祝儀として御肴代銀1斤御送りへの御礼に付) 由助→(八田)嘉助様	12月28日	横切紙・1通	え4136-19
(書状、御歳暮の御祝儀として金300疋御恵贈への御礼に付) 玄田元伯→八田嘉右衛門様		横切継紙・1通	え4136-20
(書状、御歳暮品々への御礼申し上げに付) 友三→(八田)嘉右衛門様	12月27日	横切継紙・1通	え4136-21
覚(未年御初穂青銅20疋神納に付) 廣田御師→八田嘉右衛門様御使		切紙・1通	え4136-22
(書状、御歳暮の御祝として御肴1折拝受の御礼に付) 縫殿進→(八田)嘉右衛門様	12月27日	横切紙・1通	え4136-23
(書状、御祝儀として1種拝受の御礼に付) 祝福→(八田)嘉右衛門様	12月27日	横切紙・1通	え4136-24
(歳末の御祝儀として御肴代20疋拝受に付礼状) 大草仲岱→八田嘉右衛門様	12月28日	横切紙・1通	え4136-25
覚(御神酒料・御灯明油料神備として拝受に付) 廣田御師→八田嘉右衛門様御使		横切紙・1通	え4136-26
(書状、歳末の御祝として御肴代銀5斤拝受への御礼に付) 中原民→八田嘉右衛門様	12月28日	横切紙・1通	え4136-27
(書状、御歳暮祝儀として金500疋拝受の御礼に付) 助右衛門→(八田)嘉右衛門様	12月29日	横切紙・1通	え4136-36
(書状、歳末の御祝儀として母方より御菓子箱拝受の御礼などに付) →御請 嘉茅重	12月29日	横切紙・1通	え4136-37
(書状、主人方へ御歳暮拝受の御礼に付) *(端裏書)「伊勢町君 寺町」 友三→(八田)嘉右衛門様	12月28日	横切紙・1通	え4136-38
(書状、歳暮祝儀として贈りの2品拝受に付) 和合院[印][印]→(八田)嘉右衛門様	12月29日	横切紙・1通	え4136-39

## 1.17. 諸書類

### 1.17.1. 天保8年正月中よりの来簡綴

(天保8年正月中よりの来簡綴)		綴/(え4206-1~42は一綴)・1綴	え4206
(袋) *(袋上書)「天保八酉歳正月中来状書類 元方」		袋・1点	え4206-1
以書取奉申上候(1人25俵の積もり雪明次第早速作立万端心懸出精仕りたきとの本年作方見込み申上書) 喜左衛門	西正月	横切継紙・1通	え4206-2
(書状、暖気の気候・諸色高直・不景気等当表の状況及び産物掛助御厄介の旨他) 与一右衛門→(八田)嘉右衛門様・(八田)嘉助様	正月24日	横切継紙・1通	え4206-3
(書状、大瀬御老母死去の節見舞いの餽菓呈上に付) 堀内楯一郎泰禮(花押)→八田嘉右衛門様	正月10日	折紙・1通	え4206-4

1.内方/17.諸書類/1.天保8年正月中よりの来簡綴

(書状、未だ罷り来ざる召使源吾差し越し下さるよう御頼みに付) 喜右衛門→(八田)嘉助様	正月12日	横切継紙・1通	え4206-5
(書状、御近親様御不幸他へ結講成る御兩種頂戴の御礼申し上げに付) 重之助→(八田)嘉助様尊酬	正月13日	横切継紙・1通	え4206-6
(書状、袖方御中借250両請取の旨申し上げに付) 重之助→(八田)嘉助様	正月21日	横切継紙・1通	え4206-7
覚(白米2斗8升売渡代金3両2朱銭188文請取書) 紙屋町藤屋戸佐久(印「信松代紙屋町藤屋」)→伊勢屋菊屋傳兵衛殿	天保8酉年正月16日	横切紙・1通	え4206-8
(小幡公の御様子伺書) 七左衛門→(八田)嘉助様	正月14日	横切紙・1通	え4206-9
別紙申上候(母への御厚情に対する御礼申し上げの御取成願)	正月5日	横切紙・1通	え4206-10
(書状、年頭御祝詞伺たく御取成願いに付) 惣作→八田嘉右衛門様	正月5日	横切継紙・1通	え4206-11
申年中勤懈怠覚		横切継紙・1通	え4206-12
(書状、年始御祝詞の旨申し上げに付) 二宮熊太郎→八田嘉右衛門人々御中	正月2日	折紙・1通	え4206-13
(書状、御茶碗今日遣わし下されたき旨) 大沢→八田様当用	21日	横切紙・1通	え4206-14
(書状、年頭御祝詞申し上げたきに付) 松林太泉→八田嘉右衛門様・八田嘉助様	正月朔日	横切継紙・1通	え4206-15
(書状、年始の御祝辞に付) 堀内楯一郎泰禮(花押)→八田嘉助様人々御中	正月5日	折紙・1通	え4206-16
(書状、年頭挨拶および鶏卵1箱御恵みの御礼に付) 百人→(八田)嘉右衛門様	正月7日	横切継紙・1通	え4206-17
口上(先日御内意認め差し上げ奉るに付) 高井善右衛門→八田嘉助様	正月20日	横切継紙・1通	え4206-18
覚(山崎万助他計13名高井善右衛門親類書上) 高井善右衛門→八田嘉助様	西正月20日	横切継紙・1通	え4206-19
(書状、鳥渡上納残り分近日上納の旨他御答に付) あら物や友吉→菊勝様御答書		横切紙・1通	え4206-20
荒神町抱屋敷家賃并小作(荒神町抱屋敷家賃并小作の金額及び支払方法書き出し) *後欠		横切紙・1通	え4206-21
(書状、年頭の御祝詞申し上げたきに付) 近藤六左衛門□(馬偏に央)□(穴冠に亏)(花押)→八田嘉右衛門様参人々御中	正月4日	折紙・1通	え4206-22
(書状、年頭の御祝詞申し上げたく愚礼捧るに付) 近藤淳輔宗尚(花押)→八田嘉右衛門様参人々御中	正月4日	折紙・1通	え4206-23
(助左衛門金3分2朱など表間口12間半・年貢メ金5両2分銭1貫278文金銭書上)		横切紙・1通	え4206-24
(家賃金5両余り・坪数172坪余りの書付)		横切紙・1通	え4206-25
(書状、年始の御祝詞および年頭の御祝義御肴1折進上に付) 堀内楯一郎泰禮(花押)→八田嘉右衛門様参人々御中	正月5日	折紙・1通	え4206-26
(毎度飛脚御留下さるよう御願いの書付) * (奥裏封表上書)「別書」		横切紙・1通	え4206-27

(書状、御越年御祈祷の上御礼守大膳供目録進上に付) 常泉院寛秀(花押)→八田嘉右衛門様人々御中	正月吉日	折紙・1通	え4206-28
(書状、木町での御不幸察し御悔み申し上げに付) 嘉膳→(八田)嘉右衛門様	正月12日	横切紙・1通	え4206-29
(書状、越年の際御休意成し下さるなど御祝詞申し上げに付) 山越嘉膳→八田嘉助様人々御中	正月9日	横切紙・1通	え4206-30
(書状、御迎歳の際御休意成し下さるなど御祝詞申し上げに付) 近藤淳輔宗尚(花押)→八田嘉助様参ル人々御中	正月4日	折紙・1通	え4206-31
(書状、江府の御品等御恵贈の御礼など申し上げに付) 弥右衛門→(八田)嘉右衛門様貴酬	正月16日	横切紙・1通	え4206-32
(書状、御茶碗20日下さる件挨拶なく御詮議の旨に付) 久慈→(八田)嘉助様上置	正月23日	横切紙・1通	え4206-33
(書状、江戸口の越後酒内々と、のへ下され度に付) 陽之助→(八田)嘉助様	正月28日	横切紙・1通	え4206-34
(書状、材木御送り賃銭として中借り金2両御渡しに付) 守之丞→(八田)嘉右衛門様・嘉助様	正月26日	横切紙・1通	え4206-35
(書状、年始の御祝詞申し上げに付) 源兵衛→(八田)嘉助様	正月5日	横切紙・1通	え4206-36
(書状、拝顔の節御願いの袖手違い御詫び承引願ひなどに付) 寿一郎→伊せ町様玉机下	正月19日	横切紙・1通	え4206-37
(8日夕・9日朝本膳等書付)		横切紙・1通	え4206-38
(8日夕本膳70名・9日朝本膳98名等書付)		横切紙・1通	え4206-39
(豆腐1丁・わさび5本など食材19品書付)		折紙・1通	え4206-40
覚(こんにやく250枚代金670文など代金請求書) →いせ屋殿		横切紙・1通	え4206-41
覚(こんにやく・ひじきなど代金請求書下書き) *え4206-42の下書		横切紙・1通	え4206-42

## 1.17.2. 天保 11 子年切手関係綴

(天保11子年金子借用関係綴)		綴/(え4190-1~10は一綴)・1綴	え4190
(袋) * (袋上書)「天保十一子年 切手入」	12月	袋・1点	え4190-1
覚(金5両他メ金17両2分19匁5分7厘金銭書上)		横切紙・1通	え4190-2
(書状、長途恙無く御下向成し下され、御祓・御土産頂戴ありがたきに付) 小善蔵→(八田)嘉助様	12月8日	横切紙・1通	え4190-3
覚(中沢村栄十郎発起無尽去亥年御懸金元利金15両請取書) 桐沢貞蔵(印)→斎藤曾右衛門様	天保11子年12月18日	横切紙・1通	え4190-4
覚(茂右衛門御預け金当月利分金2両2分受取書) 片桐重之助(印)→八田嘉助殿	天保11子年12月16日	横切紙・1通	え4190-5
(皆神山和合院口入金ほか数年来不沙汰取立一件に付申上書)	2月	横切紙・1通	え4190-6

覚(金50両他ノ差引正金54両1分1朱3匁8厘金銭書上)		横切継紙・1通	え4190-7
(書状、源五兵衛への無尽差引金間違いに付別紙の通り相極め御覧の旨ほか) (関田)守之丞参上→(八田)嘉助様	12月27日	横切継紙・1通	え4190-8
(書状、片桐氏を以て御無心の金子3両2分受取に付) 白川寛蔵(印)→八田嘉助様	子11月25日	横切紙・1通	え4190-9
(書状、片桐氏に内々頼みの金子承知くされ、別紙印書差上げに付) (白川)寛蔵(印)→(八田)嘉助様印書入	12月25日	横切紙・1通	え4190-10

## 1.17.3. 嘉永5子年10月取調要用書状綴

(嘉永5子年10月取調要用書状綴)		綴/(え4166-1~68は一綴)・1綴	え4166
(袋) * (袋上書)「嘉永五子年十月取調 要用書状入」		袋・1点	え4166-1
(拝借金150両証文引替に付申上書) 喜兵衛→申上	10月23日	横切紙・1通	え4166-2
(書状、十八屋為替金200両印書廻り次第納めさせる旨などに付) 周蔵→(八田)嘉助様申上	2月14日	横切継紙・1通	え4166-3
(書状、才木一件厚き御執成の旨委細承知に付) 大石新右衛門→八田嘉右衛門様人々御中	1月5日	横切継紙・1通	え4166-4
(書状、清十申し聞かせの金高迎もでき兼ねる旨) 忠蔵→喜兵衛様	11月24日	横切継紙・1通	え4166-5
虎之巻日取極秘		横切継紙・1通	え4166-6
覚(未年十八屋分駄賃御預り金2分など金銭書上) 中麻奈善兵衛→八田嘉助様御内	丑3月	横切継紙・1通	え4166-7
覚(並白43匁3分代金他ノ1両2分銀7匁4分6厘金銭書上)	6月23日	小切紙・1通	え4166-8
覚(取替金68匁余差引残金2両2朱余金銭書上)		小切紙・1通	え4166-9
覚(赤台代金20匁1分5厘他ノ4品金3分1朱金銭書上) 本町いせ次[印]→寫太様	4月24日	横切紙・1通	え4166-10
(江州大溝分部様献上国産の源五郎鮎の飯鮎の食し方書付)		横切紙・1通	え4166-11
口上(鮎の飯鮎委細は別紙に付)	15日	横切紙・1通	え4166-12
覚(丑12月元金200両ほか2口ノ金438両余預かり金引き残金325両3分8匁5分取調書上)	寅12月迄調	横切継紙・1通	え4166-13
(書状、江戸表より書状到来し当月5日十八屋より金5両参り御礼申し上げに付) 北山→八田様	2月16日	横切継紙・1通	え4166-14
(書状、病中の尋ねにより生臭物見繕のため早朝御取計などに付) 山寺源太夫→八田嘉助様	12月8日夜9時過	横切継紙・1通	え4166-15
(書状、御茶送付に付江都表御屋敷まで御茶料御指し向き御頼みの旨) 河村宗順→八田嘉助様参人々御中	8月	横切継紙・1通	え4166-16
(書状、当3月中取替金200両ほか去暮取替金元利とも未返済のため、来る晦日まで返済願に付) * (端裏書)「(朱書)「丑十二月式百両残春中式百両之分 角店」」 水井忠蔵→八田嘉助様	11月27日	横切継紙・1通	え4166-17



(書状、上田屋良助・新五郎龍紋上下地1疋代銀131匁滞りに付) * (端裏書)「口上書取、湯田中村六右衛門越後表江罷越候ニ付組合七五郎三月十六日罷出候事、(朱書)「湯田中村六右衛門受合品もの御請」	11月	横切継紙・1通	え4166-18
(書状、発起無尽来る23日晚会合に付) 重三郎→(八田)嘉右衛門様	朧月18日	横切継紙・1通	え4166-19
(八田鉄次郎儒書素読のため来月朔日4時登城の旨達書)	11月朔日	横切紙・1通	え4166-20
(書状、湯田中六右衛門取り扱い窺いに付) 松沢文右衛門→八田嘉助様	2月15日	横切継紙/(虫損甚大)・1通	え4166-21
(書状、文内取替金の儀弟殿より俊太夫に問合の別紙到来に付) →内用御懇披可被成下候	6月9日	横切紙・1通	え4166-22
(書状、八田氏への取替金都合2分2朱御頼みに付) 大嶋→岩下様	林鐘記日	横切継紙・1通	え4166-23
覚(金子落手、過分金2両1分3朱返上に付) 友作→(八田)嘉助様	丑9月15日	横切継紙・1通	え4166-24
(書状、小川弥一郎一件のため鹿島屋江戸表へ出店伺いに付) 山寺源太夫→八田嘉助殿	4月7日	横切継紙・1通	え4166-25
覚(十八屋虎之助から菊屋伊兵衛への為替金200両上納請取手形など御回し御取り計らいに付) 周蔵→(八田)嘉助様	2月14日	横切継紙・1通	え4166-26
覚(竹村熊三郎殿よりの為替金13両受取書) 加藤喜三郎(印)→片桐重之助殿	丑5月20日	横切継紙・1通	え4166-27
(書状、鹿野無尽村方不都合の儀出来のため貴君への御願い承知に付) 源蔵→(八田)嘉助様	12月14日	横切継紙・1通	え4166-28
(御切米19俵2斗8升7合5勺代金5両1分2朱余りの書付)		小切紙・1通	え4166-29
(初穂料青銅20疋・扇子1箱拝受礼状) * (端裏書)「八田嘉右衛門様奉謝 和合院法橋拜」 宥謙(花押)→(八田)嘉右衛門様参ル人々御中	正月8日	横切継紙・1通	え4166-30
(書状、和合院先住法印17回忌来る23日夕から24日朝まで執行の案内に付) 和合院→八田嘉右衛門様	8月18日	横切継紙・1通	え4166-31
(縦2尺1寸横2尺8寸の棚箱図面) 久松丁よし	正月6日	横切継紙・1通	え4166-32
(書状、明16日昼時過ぎ勘定所へ御出での旨) 矢野倉惣之進・菊池孝助→八田嘉右衛門様	閏4月15日	横切紙・1通	え4166-33
(書状、今日祭礼にて桑原龍洞院産物差し上げに付) 寶昌寺→上八田嘉右衛門様	8月22日	横切紙・1通	え4166-34
(書状、悔やみの儀如何の物に候哉御内々願ひ奉りたき旨伺いに付) 周蔵拜→い勢町様	18日	横切紙・1通	え4166-35
(時候挨拶状) 道済→御主仁様へ	極月22日	横切紙・1通	え4166-36
易乾三夕御辞曰 道佐以より→御母公さまへ	極月22日認	横切継紙・1通	え4166-37
口上(カノフさふ急に九泉へ帰り候由御知らせに付)	帰暮19日	横切継紙・1通	え4166-38
(書状、去る冬中御内借り大延引の件令嗣へ御謝などに付) 中邨→八田雅君	仲春26日	横切継紙・1通	え4166-39

覚(深美へ菓子代200文ほかメ善光寺参詣入用金1両2朱14匁8分金銭書上)	9月29日	横切継紙・1通	え4166-40
口上(拙夫17日月代歩行伺の通り御差図に付) (ママ) いあひ 拜→伊勢街様	臘月22日	横切継紙・1通	え4166-41
(奥州米ロシア交易の上召し捕らえの松前町人高田屋金兵衛に関する書付)		横切紙・1通	え4166-42
(鬼無里山伐薪木流木の損失一件江戸出府入用などに付申上書) * (端裏書)「卯十二月十三日中島様[ ](綴込み判読不能)下案遣可申候」 (八田)嘉右衛門→三右衛門様	12月13日	横切継紙・1通	え4166-43
(和歌「住よしの濱のまさこをふむたつひさしきあとをとむる成けり」)		横切紙・1通	え4166-44
口上覚(預かり金の内関田守之丞口入にて借用金の返済取り計らいに付) * (端裏書)「辰八月十六日御当番岡島莊藏様江同苗喜兵衛を以差出ス」 八田嘉右衛門	8月	横切継紙・1通	え4166-45
(鬼無里山伐薪木流木の損失一件江戸出府入用などに付申上書下書) * (端裏書)「十二月十七日差遣候下案□□(綴込み判読不能)増右衛門加書も有之」/え4166-43の下書 (八田)嘉右衛門→三右衛門様	12月13日	横切継紙・1通	え4166-46
(楽焼由来に付祖父よりの抜書留)		横切紙・1通	え4166-47
(和歌詩文、「志賀の山越へ・・・」) 上布施村徳苅喜傳治		横切継紙・1通	え4166-48
(書状、過刻願いの御奇薬30粒御持合、又薬用のため5・6粒貰いに付) 仲右衛門→(八田)嘉助様	正月26日	横切継紙・1通	え4166-49
口上(直之丞様中之条役所へ善光寺表一件出訴の願書差し出しに付) 戸倉油屋にて平兵衛→浦野忠七様	11月14日	折紙・1通	え4166-50
(書状、赤倉温泉取続出来兼ね、此の末の見込み申し聞かされるに付)		横切継紙・1通	え4166-51
覚(質地代金2800両など質地作徳の書付)		横切継紙・1通	え4166-52
(書状、御頼母敷懸出金調達でき兼ね余儀なく訴訟に付) * (端裏書)「与右衛門君へ遣候書取」 →与右衛門君	12月21日	横切継紙・1通	え4166-53
(書状、直之進質流れ地奥印故障一件済方相成り候様致したくに付) →様→様	8月28日	横切継紙・1通	え4166-54
(頸城郡上田村高田御支配郷土格宮崎甚助ら4月13日此の表へ訪問代金書付)		横切継紙・1通	え4166-55
(高田塩問屋信州へ塩差送り代金滞り一件のため佐々木九郎右衛門ら4月13日罷り越しに関する書付)		横切継紙・1通	え4166-56
(書状、旧冬27日御救い漏れの人別歎願致す者有り次第申し出に付) 寺内多宮→八田嘉右衛門様	正月5日	横切紙・1通	え4166-57
(作徳滞残金869両3分合2000両献金証書御引取の評議に付書付)		横切継紙・1通	え4166-58
(書状、飯山一件再願の様子如何に付) か、升徳左衛門→浦野忠七様要用	5月11日	横切継紙・1通	え4166-59
覚(今町から善光寺まで塩送付につき呟目方、宿々駄賃その他入用メ1貫247文金銭書上)	4月14日 写置申候	横切継紙・1通	え4166-60
覚(江府十八屋虎之助より佐久間修理様へ御渡しの送金5両受取書) 菊屋傳兵衛「印」(□に喜)八田信州松代菊傳]]→北山安世様	寅正月	横切紙・1通	え4166-61

覚(興津頼母敷発起無尽半口加入来年割取受取金13両3分の内利分引き残金1両1分3朱7匁5厘金銭書上) 与一右衛門→(八田)嘉助様	丑12月28日	横切継紙・1通	え4166-62
覚(当丑利金30両落手に付) 金光忠兵衛(印)→八田嘉助殿	天保12年辛丑12月除日	横切紙・1通	え4166-63
覚(元金100両丑1割1分利金11両受取書) 堀内与一右衛門(印)→八田嘉助殿	天保12丑年12月	横切紙・1通	え4166-64
覚(仰せ蒙りの殿様御役御祝儀献上金1両1分受取書) 名主伴之助(印)→伊勢町傳兵衛殿	寅2月22日	横切紙・1通	え4166-65
(書状数封御届け願) 周蔵	2月14日	横切紙・1通	え4166-66
覚(井伊(伊賀)屋太兵衛為替金1000両上納のため御納戸へ納め同所受取証文2通取り計らいに付申上書) 周蔵→喜兵衛様・嘉助様	2月朔日	横切継紙・1通	え4166-67
(書状、井賀屋太兵衛為替金1000両別紙申し上げ宜しく願ひ上げなどに付) 佐竹周蔵→八田嘉助様	2月朔日	横切継紙・1通	え4166-68

## 1.17.4. 嘉永7年入用の書類綴

(嘉永7年入用の書類綴)		綴/(え4152-1~8は一綴)・1綴	え4152
(袋) * (袋上書)「嘉永七申寅年十月調入用之書類」		袋・1点	え4152-1
(書状、好名の商人松代へ出張白糸買取の話又々申し遣わしなどに付) * (端裏書)「廻状」 (松本)嘉十郎・(八田)嘉助・(八田)辰三郎→(水井)忠蔵様・湯左衛門・喜兵衛様	正月19日	横切紙・1通	え4152-2
(書状、御役勤御免及び隠居願に伴い御見廻り附届け御用捨などに付) →御覧儀御火中可被下候	1月19日	横切継紙・1通	え4152-3
覚(天保7年元金100両他文政12年から弘化元年までの利金ノ228両3分余り金銭書上) (小林)唯蔵→(八田)嘉助様	弘化3午年11月	横切継紙・1通	え4152-4
(書状、竹山丁御請合の一条委細承知の旨など尊答申し上げに付) (小林)唯蔵→(八田)嘉助様尊答	霜月24日	横切継紙・1通	え4152-5
御請(孫太郎御目見参加の御礼謝に付) (小林)唯蔵	24日	横切紙・1通	え4152-6
(小役金5両3分銀9匁他ノ30両1分銀6匁6分金銭書上)		横切紙・1通	え4152-7
(御礼金拝借方金76両2分銀2匁9分1厘などの返済方法書付)		横切紙・1通	え4152-8

## 1.17.5. 安政3丙辰年12月晦日より到来書状綴

(安政3丙辰年12月晦日より到来書状綴)		綴/(え4053-1~29は一綴)・1綴	え4053
(袋) * (袋上書)「安政三丙辰年十二月晦日より到来要用書筒入」	安政3丙辰年	袋・1点	え4053-1
(書状、年内御懇情の御礼並びに先達の同姓病氣願ひについての御礼などに付)	12月29日	横切継紙・1通	え4053-2

1.内方/17.諸書類/5.安政3丙辰年12月晦日より到来書状綴

(書状、御無尽掛金御催促に付)	29日	横切継紙・1通	え4053-3
(書状、柴町無尽御掛戻しについて柴町へ御廻しなられ無ければ、此者に御渡し下されたきに付) (磯田)音門→(八田)慎蔵様	12月29日	切継紙・1通	え4053-4
熱気内ニ伏し居故之事(書状、体調不良、唐船沢山持渡す他に付) *下書	正月11日	横切継紙・1通	え4053-5
(書状、御願い申上げた金子1両何分御かり申し上げたくに付) しめより→(八田)慎蔵殿・おこふ殿		折紙・1通	え4053-6
(書状、別紙証文御一判願に付) 松山丁→伊勢町様印書入	30日	切紙・1通	え4053-7
(書状、先刻の書拝見後、御勘考御書入願い奉るに付) *勘返状 上ノ(八田)慎蔵→忠治様	29日	切継紙・1通	え4053-8
(書状、孫七宿や案内にて罷出に付) (八田)嘉助→(八田)慎蔵様申上	22日早朝	横切継紙/(虫損)・1通	え4053-9
(書状、松本様へ池村公の御供で上り、大失敬申し上げなどに付) (八田)嘉助→(八田)慎蔵様	正月17日	横切継紙・1通	え4053-10
(書状、今朝高来の上頂戴物に付御礼) 渡浪→口上	正月15日	切継紙・1通	え4053-11
(書状、杏仁代金180両余り御渡しのに付) 嘉蔵→(八田)慎蔵様	11月9日	横切紙・1通	え4053-12
辰年中勤懈怠覚(煩いなど懈怠理由及び日数書上) 八田慎蔵(印)	已正月	横切継紙・1通	え4053-13
(書状、内話にて孫七は善光寺参りと申し居る他に付) 嘉蔵→御内受上	[ ](虫損)日	横切継紙/(虫損)・1通	え4053-14
勤書覚(皆勤に付) *裏書きに日数記載あり 八田本之進(印)	已正月	横切紙・1通	え4053-15
(書状、御在城により年頭御礼有るに付) *勘返状 (八田)慎蔵→寺町様	13日	横切継紙・1通	え4053-16
(書状、御状の様子段々御勘考致す所、御家の興亡に懸かり候事故、参上致し度に付) (八田)鉄治郎→御兄上様	正月22日夜9ッ時認	横切継紙・1通	え4053-17
(書状、正月12日および13日の体調不良から快復までの経過)	正月12日13日	横切継紙・1通	え4053-18
(書状、昨夜帰宅仕り、四つ時過ぎ起こされ、飛脚友右衛門大坂表を当15日出立にて罷帰るに付) 嘉十郎→(八田)慎蔵様差懸申上	正月25日	横切継紙・1通	え4053-19
(書状、甚右衛門儀は7日出立し八日堂より北向観音参詣し、善光寺へ罷り越す趣に付) (八田)鉄治郎	正月8日	横切継紙・1通	え4053-20
(書状、餅屋にても14日男子出生し、母子共壮健の旨並びに無尽掛金などの事に付)		横切継紙・1通	え4053-21
(書状、別紙申し上げた通り拙者も御宅の存亡に懸かり候事故、何とか参上致し度に付)		横切継紙/・1通	え4053-22
(書状、甚右衛門八日堂出張の儀も差し止め遣わせまじき等に付) (八田)鉄治郎→御兄上様	正月6日認	横切継紙・1通	え4053-23
(書状、書物の儀私近々出立のため留守中御手元に差置く様頼むなどに付) (八田)嘉助→(八田)慎蔵様御請申上	19日	横切継紙・1通	え4053-24

舌代(願置く候この者に希い上げ奉るに付) 片羽拝→伊勢早様	29日	切紙・1通	え4053-25
(書状、今晚御城の御日待見物の場合宜しく取り計らいに付) 伊左衛門→(八田)慎蔵様当用	11日	横切継紙・1通	え4053-26
(書状、新春挨拶ならびに明11日風邪にて罷り出兼ねるに付) 柳沢一郎→八田慎蔵様玉床下	正月10日	横切紙・1通	え4053-27
(書状、年始御祝詞申たきに付) (小林)唯蔵→(八田)慎蔵様参人之御中	正月10日	横切継紙/(虫損甚大)・1通	え4053-28
覚(当辰年利足金5両2分1匁2分請取に付) 片桐庫之助(印)→八田慎蔵様御取次中様	安政3辰年12月	切紙・1通	え4053-29

## 1.17.6. 安政4年正月下旬よりの到来要用書状綴

(安政4年正月下旬より到来要用書状綴)		綴/(え4043-1~46は一綴)・1綴	え4043
(袋) * (袋上書)「安政四丁巳年正月下旬より到来之要用書簡入」 義井堂		袋・1点	え4043-1
(書状、栄八も参りくれ面会致し同人の申条も至極よろしきに付) (松本)嘉十郎→(八田)慎蔵様[ ](綴込み判読不能)上	5日	横切継紙・1通	え4043-2
(書状、炭孫殿一条御用向早速今日出向仕るべきところ不快に付) 金兵衛→佐□(綴込み判読不能)様	2月21日	横切継紙・1通	え4043-3
(書状、孫七一条今朝一責して早速落城及ぶに付) (松本)嘉十郎→(八田)慎蔵様	18日	横切紙・1通	え4043-4
(書状、一器量のところ申し上げたきに付) (松本)嘉十郎→いせ町様	17日	横切紙・1通	え4043-5
(書状、御一軸三村公に御見させなさる旨承知に付) 玄又→(八田)慎蔵様	24日	横切紙・1通	え4043-6
(書状、莊三郎申す趣にては、安中様より御領分の材木他所へ御売払いはかたく留置きの由に付) (松本)嘉十郎→夫々御役	28日	横切継紙・1通	え4043-7
(書状、昨晚押し込み大騒がせのため詫びに付) 翠篁→義井君	念一	横切紙/(虫損)・1通	え4043-8
(書状、御親類御寄合に付) (松本)嘉十郎→(八田)慎蔵様	19日	横切継紙/(虫損)・1通	え4043-9
(書状、今夕7ツ時より御光臨に付) (松本)嘉十郎→喜兵衛様	2月18日	横切紙/(虫損)・1通	え4043-10
(書状、炭孫儀只今又々罷り越すに付) 松本嘉十郎→(八田)慎蔵様[ ](綴込み判読不能)上		横切紙/(虫損)・1通	え4043-11
(書状、もし御安御延しにもなれば矢謙へ御同伴申すべきに付) * 勘返状 翠篁→義井君	19日	横切紙/(虫損)・1通	え4043-12
(書状、先夜は大酔仕り誠に申し訳御座なきに付) 熊三郎→(八田)慎蔵様	2月23日	横切継紙・1通	え4043-13
(書状、証文替等のこと強いて申すとも右は書入も無きことに付) (松本)嘉十郎→(八田)慎蔵様	19日	横切継紙・1通	え4043-14
(書状、22日・23日涼照院・涼悟院法事執行の御案内に付) 義八郎→(八田)慎蔵様	2月19日	横切紙・1通	え4043-15

1.内方/17.諸書類/6.安政4年正月下旬よりの到来要用書状綴

(書状、金子の儀尚又仰せを蒙り申し訳御座なく御勘弁願いに付) 興右衛門→(八田)慎蔵様	正月27日	横切紙・1通	え4043-16
(書状、炭孫殿方へ先刻申遣わし候事如何御勘考に付) *勘返状 慎蔵→□□(綴込み判読不能)様□□(綴込み判読不能)入	2月17日	横切紙/(虫損)・1通	え4043-17
(書状、小諸藩が材木を江戸へ相廻すも材木下直に付) *勘返状 松本嘉十郎→八(八田)慎蔵様□□(綴込み判読不能)申上	正月26日	横切紙/(虫損)・1通	え4043-18
(書状、参上時御内語の風間村庄三郎工風木品等に付) (八田)鉄治郎→御兄上様	極月11日	横切継紙/(虫損)・1通	え4043-19
(書状、年始御祝詞申上度に付) 炭屋彦五郎→菊屋傳兵衛様・塩屋太三郎様・藤屋戸佐久様	正月2日	横切紙・1通	え4043-20
(書状、荒神町冥加金私方へ只今持参に付) (八田)喜兵衛→(八田)慎蔵様	28日	横切紙・1通	え4043-21
(書状、材木の切り出し村々へ申付け、木挽・附送りの人馬まで皆御用にて致させるに付) (八田)鉄治郎→御兄上様	2月24日	横切継紙・1通	え4043-22
(書状、遊女の儀何とか片付き・平出氏も余り急の事ゆえか何にても持参これなきに付)		横切継紙・1通	え4043-23
(書状、御出産のため種々下さる御礼に関して祖父母にも宜しく申し上げるに付) (八田)鉄治郎→御母上様	2月11日	横切継紙・1通	え4043-24
(書状、茶器等御覧に入れ5・60両程の品もある由に付) (松本)嘉十郎→いせ町様	2月23日	横切紙・1通	え4043-25
(書状、挽き茶持ち合わせの物少々頂戴仕りたきに付) 寺庵→いせ町様	2月23日	横切紙・1通	え4043-26
(書状、貸金証文面取扱方区々のため御勘弁相成たき旨御答えに付) 竹山丁→伊勢町様	2月19日	横切紙・1通	え4043-27
(書状、大いに御馳走有難き仕合わせに付) *後欠 亀作→(八田)慎蔵様几下		横切継紙・1通	え4043-28
(書状、御刀懸拝借願に付) 重太夫→(八田)慎蔵様	2月25日	横切紙・1通	え4043-29
(書状、宮下玄馬殿へ御勘定帳の事にて相寄るに付) 竹山丁下→伊勢町様[ ](綴込み判読不能)申上	3日早朝	横切継紙・1通	え4043-30
(書状、ふとん8枚粗末な物でよいので拝借願に付) 茂右衛門→(八田)慎蔵様	2月25日	横切紙・1通	え4043-31
(書状、佐助・市兵衛よりの書面早速御返し下され度に付) 竹山丁下→伊勢町様[ ](綴込み判読不能)申上	16日	横切紙/(虫損)・1通	え4043-32
(書状、昨夜は深更まで研究のため今日尊顔に付) 喜十郎→(八田)慎蔵様	16日早朝	横切継紙/(虫損)・1通	え4043-33
(書状、今夕の様子伺い度に付) 東顕拝→岡野大兄机下	19日	横切紙・1通	え4043-34
(書状、同人病人のため塚田源吾名代勤め伺いに付) *勘返状 (八田)慎蔵書入申上→(水井)忠蔵様内用申上	2月5日	横切継紙・1通	え4043-35
(書状、荒神町陶器冥加上納残り御都合次第御廻しの旨申し上げに付) (八田)喜兵衛→(八田)慎蔵様	2月6日	横切継紙・1通	え4043-36
(書状、去る辰年杏仁の入料分御払い伺いに付)	6日	横切紙・1通	え4043-37

(書状、何よりの品頂戴有難きに付) 唯蔵→(八田)慎蔵様御請	6日	横切紙・1通	え4043-38
(書状、伊勢町にても親類寄合の上決極に相成る様に付) 竹山丁下より→いせ町様認差上候御口中	2月[ ]	横切継紙/(虫損)・1通	え4043-39
(書状、今晚頃御発足然るべくに付) 馬場丁→尊酬	18日	横切紙・1通	え4043-40
(書状、尊顔申し上げ度事出来に付) (松本)嘉十郎→(八田)慎蔵様[ ](綴込み判読不能)上	17日	横切継紙/(虫損)・1通	え4043-41
(書状、昨夜は炭孫方に居り不敬の段御寛恕に付) *勘返状 (八田)慎蔵→松山丁様	21日	横切継紙・1通	え4043-42
(書状、重吉婦家の節兼ねて話の通り、前夜も私へ彼是無法虚言申募り等に付) (八田)鉄治郎→御兄上様	2月21日	横切継紙・1通	え4043-43
(書状、松本様よりの材木の儀三郎左衛門も含みにてその先小諸殿引受致すに付) (八田)鉄治郎→兄上様	18日	横切継紙・1通	え4043-44
(書状、材木の義先ずもって安心の折り柄、今朝安中表へ差し遣わすに付) (八田)鉄治郎→兄上様	20日	横切継紙・1通	え4043-45
(書状、只今当地に着し、今日御拝領のためお出で時刻伺いに付) 兄唯蔵→(八田)慎蔵様貴下	5日	横切紙・1通	え4043-46

## 1.17.7. 安政4年3月中よりの到来要用書簡綴

(安政4丁巳歳3月中より到来要用書簡綴)		綴/(え4028-1~27は一綴)・1綴	え4028
(袋) * (袋上書)「安政四丁巳歳3月中より到来要用書簡入義井堂澹暮」		袋・1点	え4028-1
(書状、兼ねて御約束申し上げ置いた白瀧へ今日早昼飯にて御登山成され候様に仕りたきに付) (松本)東→(八田)慎蔵様	4月6日	横切継紙・1通	え4028-2
口上(只今斎藤様高来のため、御供いたす御約束仕るに付) 木町→いせ町様	4日	切継紙・1通	え4028-3
(書状、生ねき種20把など相調え、先ずは御植え付け願ひ上げ奉るに付) * (端裏書)「文魁堂」 斎藤拜→八田君几下	8日	横切紙・1通	え4028-4
①口上覚(私抱屋敷へ御立寄の御儀当時勝手向き不練り合ひにて、差し支えも御座有るべき哉内々伺い奉るに付)、②(書状、八田嘉右衛門抱屋敷の申し立て伺い奉るに付)、③(書状、八田嘉右衛門の抱屋敷について、申し立ての通り相心得候様に付) ①八田嘉右衛門→興津権右衛門様、②(興津)権右衛門、③興津権右衛門	①閏11月24日②閏11月③12月9日	横切継紙・1通	え4028-5
(書状、先日中仰せ蒙った書物について、今日昼後には罷り帰るため、それまでに差し上げたく願ひに付) 玉翠→澹庵様御請御直様	28日	横切紙・1通	え4028-6
(書状、その節御内話の儀桜尾へ申し聞かせ置き、且つ望月太夫9時少々過ぎ御登山のため、追々御下向の旨など申し上げに付) 玉翠→澹庵様御上	4日	横切紙・1通	え4028-7
(書状、御大切の御飛書留め置き、則ち返上仕り、御落手願ひ上げるに付) 敬之丞→(八田)慎蔵様	4月9日	横切継紙・1通	え4028-8

## 1.内方/17.諸書類/7.安政4年正月下旬よりの到来要用書状綴

(書状、先日参堂の節から長々拝借の御書物、返上仕り御落掌成し下さるべきに付) 莊助→八田御袋様申上	3月17日	横切継紙・1通	え4028-9
(書状、御用の儀御座候に付、明日4つ時登城仕るべき旨奉書到来御知らせの旨) 弥次郎→(八田)慎蔵様	4月11日	切紙・1通	え4028-10
(書状、柄沢氏へその後度々催促致すも御日延に付) □□(虫損)→(八田)慎蔵様	4月5日	横切継紙・1通	え4028-11
(書状、御入用の楞伽經と申す仏書長国寺に有るにより、詮議仕り差し上げる様命令を蒙るも、用事有るにより早速出来兼ねるに付) 莊助→(八田)慎蔵様奉復	11日	横切継紙・1通	え4028-12
(書状、今日御下げ成し下された古銀は未の南鐐であれば奴方劣り、猶御はかり拝借奴方相改め度に付) 玉翠→澹庵様申上		折紙・1通	え4028-13
舌代(一文字屋葉種代金当暮払い方差支えのため当暮面下げ拝借願いに付)		横切紙・1通	え4028-14
(書状、木綿荷冥加御免願書の伺い可否御知らせの御催促下さるようお願いに付) 寺庵→いせ町様	4月17日	横切継紙・1通	え4028-15
十一月廿一日御茶御口切(茶道具・御料理献立など書上)	11月21日	横切継紙/(虫損)・1通	え4028-16
(木綿ちり綿など数量及び代金書上)		切継紙/(虫損)・1通	え4028-17
(書状、差し出しの糸市に関する別紙御熟覧御勘考成し下され様に付) (八田)喜兵衛→(水井)忠蔵様	2月27日	横切継紙・1通	え4028-18
大ふく茶湯(茶道具など書上) 曝軒→(八田)嘉右衛門様	正月15日	横切継紙・1通	え4028-19
(書状、段々仰せを蒙る一条について、御目通りの上申し上げるべきところ、今以て出られず、御高免を願うに付) 興右衛門→(八田)慎蔵様	正月29日	横切継紙/(虫損甚大)・1通	え4028-20
口上(佐右衛門方より木町八田と申来たるも、尊君へ間違いの由に付) 第三郎→(八田)慎蔵様	3月	切継紙・1通	え4028-21
(書状、馬場氏へ御願御座候一条御取り上げなど御申し越し下さるべきに付他)		横切継紙・1通	え4028-22
(書状、尊君長歌御所望に付) 伊左衛門→(八田)慎蔵様	16日	横切継紙/(虫損甚大)・1通	え4028-23
(亥10月24日茶席出席者並びに茶湯道具など書付) *(端裏書)「十一月十四日松曲氏より申来た候」	亥10月24日	横切継紙・1通	え4028-24
(書状、先達中も御尋の事早速催促片付仕候様仕るべく、御答え迄早々申し上げに付) →御答	3月23日	横切継紙・1通	え4028-25
(書状、平出氏返状滞居り、書状認め親父に見させ書面御遣わし下さるようお願い奉るに付他) (八田)鉄治郎→御兄上様	4月5日	横切継紙・1通	え4028-26
(書状、孫七御国元へ参ること松本氏迷惑のため御用場へ参らせるべきか御尋ねに付他) (松本)嘉十郎→(八田)慎蔵様御取下	3月13日	横切継紙・1通	え4028-27



## 1.17.8. 安政6年4月よりの来簡綴

(安政6年4月より来簡綴)		綴/(え4047-1~24は一綴)・1綴	え4047
(袋) * (袋上書)「安政六未年四月より之来簡入」 澹庵		袋・1点	え4047-1
(書状、横浜表にて領分の産物差出の件教示願等に付)	(安政6年)	横切継紙・1通	え4047-2
(書状、大坂表栄八貸し残し100両ほど損毛気の毒などに付)	(安政6年)	横切継紙・1通	え4047-3
(書状、新堀堀割場所見積り違いのため人足増し不行届きに付不埒仰付られる旨他) (八田) 莊助→(八田) 慎蔵様内事	(安政6年)5月26日	横切継紙・1通	え4047-4
(書状、樋口氏7両預りの件申上) 権左衛門→大蔵様	(安政6年)4月11日	横切継紙・1通	え4047-5
(書状、借財に付金主方立腹、金主方へは利分勘弁旨他)	(安政6年)	横切継紙・1通	え4047-6
(書状、借財これ以上増金出来兼ね、役所でも願人困り等に付) 松山柴丁→過刻之拝答	(安政6年)20日	横切継紙・1通	え4047-7
(書状、大坂津の国屋反七印形引き合い願に付) * 勘返状 (八田) 慎蔵→覚之進様	(安政6年)4月24日	横切継紙・1通	え4047-8
(書状、300疋落手に付) 松山丁→いせ町様金子添	(安政6年)4月5日	小切継紙・1通	え4047-9
(書状、田町御金の儀は宮沢ではなく田町へ依頼に付) 松山丁→伊勢町様内々御親披	(安政6年)	横切継紙・1通	え4047-10
御借用金証文之事(酒造金差支えに付松沢宗四郎口入により200両拝借証文) 伊勢町伝兵衛・抱屋敷役代市兵衛→水井忠蔵様御内	嘉永5子年10月	横切継紙・1通	え4047-11
(書状、反七押印のため孫七証文持参に付) 忠衛門→いせ丁様	4月12日	横切紙・1通	え4047-12
①(書状、杏人など持ち合わせ等申し上げに付) ②(書状、忠孝にて鍵屋半左衛門の元間屋相続などに付) * (端裏書)「信州松代傳(「傳」○で囲う)菊屋伝兵衛様 ○(○の中は符丁)」 ①鍵屋半兵衛→菊屋傳兵衛様参る人々)御中、②鍵屋半べ→菊屋傳兵衛様参る人々参る(マ)	4月28日出	横切継紙・1通	え4047-13
(書状、両所へ御見舞の際御持参物同姓とも申談等に付) 忠治→(八田) 慎蔵様御内答	6月19日	横切継紙・1通	え4047-14
御差引覚(銭への両替願)	5月4日	横切継紙・1通	え4047-15
(西側店の書物三月御貸付願)		横切継紙・1通	え4047-16
(甲州南部縮緬引受の件問合書)		小切継紙・1通	え4047-17
(書状、かにひら迫使差贈り承知下さる様願いに付)		小切継紙・1通	え4047-18
(書状、家族の病状報告、刀鑑定の儀迫って遣わし等に付) (八田) 鉄治郎→御兄上様	6月6日	横切継紙・1通	え4047-19
(書状、草双紙貸借願などに付)		小切紙・1通	え4047-20
(書状、本家親父祖母へ無言のため万端延引に付)		小切紙・1通	え4047-21
(書状、大戸へ蔵書差し遣わし御贈り願いに付) (八田) 鉄次郎→御母上様	6月5日	横切継紙・1通	え4047-22

## 1.内方/17.諸書類/8.安政6年4月よりの来簡綴

(書状、痔痛のため店方不行届きの件詫などに付) 白山彦五郎知彰(花押)→松本嘉十郎様	4月22日	横切継紙・1通	え4047-23
(書状、孫七一条へ友七方然るべき取り計らいの委細御承引に付) 岡本松兵衛恩順(花押)・増田孝兵衛将順(花押)→松(松本)嘉十郎様	4月23日	横切継紙・1通	え4047-24

## 1.17.9. 安政7年正月よりの来簡綴

(安政7年正月よりの来簡綴)		綴/(え4034-1~10は一綴)・1綴	え4034
(袋) * (袋上書)「安政七庚申年正月より之来簡入」		袋・1点	え4034-1
(書状、喜助の頼み聞き取り、出向願に付) 金井鉄次郎→松代幾久屋佐助様要内用	3月4日	堅紙・1通	え4034-2
(書状、青磁手桶15両では相談出来しがたき等に付) * (端裏書)「松本牧立方より青磁手桶之水さし代料之事申遣候来簡」 小宮牧立→菊屋傳兵衛様・勝之助様人々御中	2月5日	横切継紙・1通	え4034-3
覚(12両拝借の引当として預け品小身3本ほか数17品書上) 松本牧立→菊屋勝之助様	西9月20日	横切継紙・1通	え4034-4
(書状、新八へ甚左衛門死去の御悔状差し出し催促願いなどに付) 鉄次郎→御兄上様	2月16日	横切継紙・1通	え4034-5
(書状、不通用丸印三枚ほど引替願不都合に付) (八田) 莊助御答→(八田) 慎蔵様	14日	横切継紙・1通	え4034-6
(断簡) (関田) 莊助→(八田) 慎蔵様御答		小切紙・1通	え4034-7
(書状、300疋時借に来訪の節風邪で平伏し失礼に付) * 後欠	2月24日	横切紙・1通	え4034-8
(書状、大晦日御下げ金のうち残金御下げ願) 清右衛門→(八田) 慎蔵様	正月16日	横切継紙・1通	え4034-9
(書状、祖母三郎左衛門両人と来月14日江戸表出逢の件などに付) (八田) 鉄次郎→御母様・御兄様	2月23日	横切継紙・1通	え4034-10

## 1.17.10. 文久元年5月～10月までの来簡綴

(文久元年5月から10月まで来簡綴)		綴/(え4205-1~16は一綴)・1綴	え4205
(袋) * (袋上書)「文久元辛酉歳五月中より来簡入 十月中まで 澹庵子静」		袋・1点	え4205-1
(書状、過日殿様御小休の節御出迎えに罷り出ずに付) 鉄次郎→御兄上様	6月6日	横切継紙・1通	え4205-2
(和宮様中山道御下向御休泊宿場割りに付廻状) 中山道板橋宿問屋新左衛門→蕨宿[ ]御同役中	(文久元年)西8月13日夜	横切継紙・1通	え4205-3
(書状、今日塩崎山田氏来会この1苞つつ両家へ差し上げるに付) 山寺源太夫→八田慎蔵様 内用二苞添	9月19日	横切紙・1通	え4205-4
(書状、下屋敷の女蚕糸取りの鍋を糸屋から借用も引き上げられ差し困りの旨) 松山丁→い勢町様	6月25日	横切継紙・1通	え4205-5

(書状、殿様当23日宿方御小休に付当年は引っ込みもできず、且つ献上物も成るだけ手輕に致したき旨) 鉄次郎→御兄上様	5月7日	横切継紙・1通	え4205-6
(書状、与兵衛一条御様子伺いたき旨他) 慶左衛門・承之助→慎蔵様 差向	8月6日	横切継紙・1通	え4205-7
(書状、徳左昨日呼び出し、和田一条種々尋ねに付) 莊助→慎蔵様 御答	9月16日	横切継紙・1通	え4205-8
(書状、先晩嘆願一条伊勢街様へ願い上げ奉り候ところ未だ相廻らず由に付) 本之進→松山丁様 願用御直披	10月2日	横切紙・1通	え4205-9
(書状、おとよ一条当惑に存じ、その後松山丁へも参り相談仕るに付) 本之進→御答申上	5月9日	横切継紙・1通	え4205-10
(書状、松山町より1分金取替借用の儀水井様へ仰せ遣わされ借用に付) 本之進→伊勢町様 願用御直披	9月29日	横切継紙・1通	え4205-11
(対馬浅海浦に不法停泊していた露西亜艦船の取り計らい方に付申上書) 宗対馬	5月27日	横切継紙・1通	え4205-12
(書状、先刻時下御尋ね何よりの品に付) *(端裏書)「口上」	6月25日	横切紙・1通	え4205-13
御休泊付(北国街道鼠宿から中山道板橋宿まで休泊書付)		横切継紙・1通	え4205-14
(書状、拝借の品今日返上に付御入手下さるべき旨他) 啓十郎→慎蔵様	10月4日	横切継紙・1通	え4205-15
(書状、お波へ迎える者を差し出し、御馳走成し下さるなど御礼の旨他) 六左衛門→慎蔵様 貫下	9月5日	横切継紙・1通	え4205-16

## 1.17.11. 文久元年 10月～12月の来簡綴

(文久元年10月～12月の来簡綴)		綴/(え4191-1～6は一綴)・1綴	え4191
(袋) *(袋上書)「文久元辛酉歳十月中よりの来簡入 臘月念九日まで 義井堂澹庵」		袋・1点	え4191-1
(書状、御内話一条不都合の義にて御勘弁成され、返済方向々へ御頼み申し入れたき旨にほか) (八田)嘉兵衛→(八田)慎蔵様内要用	28日	横切継紙・1通	え4191-2
(書状、当年の御割分2両2分差上げに付御落手くださるべき旨ほか) *勘返状 (八田)慎蔵→小山田様式両式分添	12月念1日	横切継紙・1通	え4191-3
(書状、市兵衛の願書案の儀拝見の上十分事を尽くし御案の通りで致し方なき旨ほか) 莊助→(八田)慎蔵様	12月23日	横切継紙・1通	え4191-4
(書状、和宮様御下降に付御普請・伝馬役の旨他) *え4191-6の下書		横切継紙・1通	え4191-5
(書状、和宮様下降に付領内人足徴発の旨他) *(端裏書)「本紙」 (八田)鉄次郎→御兄上様	10月5日	横切継紙・1通	え4191-6

## 1.17.12. 慶応2年9月中よりの書簡綴

(慶應2寅歳9月中よりの書簡綴)		綴/(え4143-1~43は一綴)・1綴	え4143
(袋) * (袋上書)「慶應二寅歳九月中よりの書簡入 澹庵子静」		袋・1点	え4143-1
(書状、会所の方御人少なく御出勤願いに付) 斎助→(八田)慎蔵様	10月5日	横切継紙・1通	え4143-2
(書状、9月中冥加金取立の分上納に付御落手の旨) * 勘返状 (八田)慎蔵→唯之進様金子入	10月20日	横切継紙・1通	え4143-3
(書状、坂本氏産物1条の委細承知に付) 龍蔵→(八田)慎蔵様貴下	8月4日	横切継紙・1通	え4143-4
(書状、玄曠院3回忌の御香代として30疋仏前へ御備に對する御礼に付) * (端裏書)「檀中内へ之返事」		横切紙・1通	え4143-5
(書状、御病人様御下痢など症状清熱の割薬を服用し御養生などに付)		横切紙・1通	え4143-6
(書状、御病人様御安否伺いまで和菓子御見舞の上御大切に御加養などに付)		横切紙・1通	え4143-7
八月朔日周防守殿布衣以上江御達(長州勢により諸將敗軍へ御軍政御変革などの旨申渡し)		横切継紙・1通	え4143-8
(書状、木綿鑑札の儀申し上げに付) 表柴丁→慎蔵様	9月15日	横切継紙・1通	え4143-9
(書状、過日御光来の御礼並びに小兒名琴に御極め承知などに付) 慎蔵→丑之助様御復	8月24日	折紙・1通	え4143-10
(書状、先16日の大雨により当御支配所他領へ雑穀津留との仰せなど不穩成る時節御地の近辺御安事に付) 坂本より→八田様尊下	8月24日	横切継紙・1通	え4143-11
(書状、小兒名前琴と決定の旨御承知などに付) 坂本丑之輔拜→八田慎蔵様尊下	8月24日	横切継紙・1通	え4143-12
(書状、御明細の儀、今日明日御都合次第別紙一本御添え成沢殿方へ在中の善吾方へ遣わしに付) 柔兵衛→慎蔵様	28日	横切継紙・1通	え4143-13
(書状、この品御見舞いの印まで御尊覧入り奉るなどに付) 清蔵→慎蔵様	9月28日	横切継紙・1通	え4143-14
(書状、五十司様御呼び立て御差し控える様御達しの上取計の積もり承知に付) 柔兵衛→慎蔵様□□(綴込み判読不能)	28日	横切継紙・1通	え4143-15
口上覚(私義伊勢町抱屋敷に差置いた伊兵衛義、居宅・土蔵とも焼失により恐れ入り差し控えに付) 八田慎蔵→成沢勘左衛門様		横切紙・1通	え4143-16
(書状、只今成沢殿方へ罷り出で御明細書遣わされるに付) 柔兵衛→慎蔵様	25日	横切紙・1通	え4143-17
(書状、去る8月中冥加金別紙の通り上納の際御預かり願いに付) * 勘返状 慎蔵→唯之進様金子入	9月23日	横切紙・1通	え4143-18
(書状、御厄介の御見分願ひ格別の御配慮にて御承引下されるに付) * (端裏書)「皆の川 不二無音」 八田慎蔵→布袋屋	9月	折紙・1通	え4143-19

(書状、お秀未だ全快ならず、小児も乳も追々多く相成り快方に向かいつつあるなどに付)	9月	折紙・1通	え4143-20
(書状、浮説のみにて実否分からず、長防御討追の近日形勢伺いに付) 慎蔵→亀治様	9月19日	横切継紙・1通	え4143-21
(書状、お秀並びに小児長々と御厄介種々御手配下さり、母子共に無事到着のお礼に付) 幸右衛門→慎蔵様台下	11月11日	横切継紙・1通	え4143-22
(書状、私差し控え何の御沙汰も無き故御内々問合せ願いに付) *勘返状 慎蔵→忠治様御内々申上	10月2日	横切紙・1通	え4143-23
(書状、御惣容様御災難への麦粉御見舞い伺いに付) 三賀本九拜→八田賢主人尊下		横切継紙・1通	え4143-24
(書状、差し控えに及ばざる旨、その意を得るべきに付) 磯田音門→八田慎蔵殿	10月4日	横切紙・1通	え4143-25
(書状、私流行の風邪及び戸の間に右手指挟み怪我のため会所休みに付) 五十司→慎蔵様	10月23日	横切継紙・1通	え4143-26
(菊通宝下書)		札・1点	え4143-27
(書状、治部右衛門より水井へ金子繰り合わせ願いに付) 松山丁→伊勢町様	10月25日	横切継紙・1通	え4143-28
(書状、この程父栄八の御厚情有り難く御饞別に預り誠に恐れ入るに付) 丸沢新八→八田新蔵様御取次中様	10月22日	横切紙・1通	え4143-29
(書状、御家内様御恵み下さる御礼並びに病人快方など申し上げに付) 父より→お秀との御もとへ	10月21日	横切継紙・1通	え4143-30
(書状、熱さまし服用から転薬仕り、この両3日気分宜しきなど病人の様子申し上げに付) 幸右衛門→慎蔵様尊下	10月21日	横切継紙・1通	え4143-31
(書状、お琴・小児とも症状治し兼ね4・5日延引の旨御承知に付) 慎蔵→丑之助様	11月9日	横切継紙・1通	え4143-32
(書状、この程中御見廻りの所御見舞いの品頂戴仕り大謝奉るに付) 矢野茂→八田新蔵様	10月2日	横切継紙・1通	え4143-33
口上(奥山先生只今より御来駕願いに付) *勘返状 慎蔵→松山丁様	27日	横切紙・1通	え4143-34
(書状、お秀快方次第帰宅願い並びに和宮様去る月26・7日頃御生害等の妄言などに付) 坂本丑之輔拜→八田慎蔵様尊下	菊月仲回日	横切継紙・1通	え4143-35
(書状、母子の病状伺い及び少々も快方次第帰宅仰せ付け願いなどに付) 坂本丑之助→八田慎蔵様貴下	9月24日	横切継紙・1通	え4143-36
(書状、御前様もいまた体調が優れざるとの事、御案事申し上げるに付) 母より→おひてとの御もとへ	菊月末の4日	横切継紙・1通	え4143-37
口上(この御書状1通坂本宿より御差留大延引の件御高免願いに付) いせ屋八作→八田様御取次衆中様	8月23日	横切継紙・1通	え4143-38
(書状、江府の風俗変革仕る様子種々見分の上申し上げに付) 立又→慎蔵様	8月16日	横切継紙・1通	え4143-39
(書状、当年春より虚説吹聴のため金子入手できず、金方手段仕りたく安中へ参る旨承知くださる様願いに付) 哲次郎→御兄上様	8月11日	横切継紙・1通	え4143-40

## 1.内方/17.諸書類/12.慶応2年9月中よりの書簡綴

(書状、御多忙の御中ながら朝の御尋ね御受申し上げるに付) 喜兵衛→慎蔵様	9月朔日	横切継紙・1通	え4143-41
(書状、国中粗葉少々呈上に付) 半蔵→慎蔵様	9月朔	横切紙・1通	え4143-42
(書状、私儀昨夜9ッ時当表へ着次次次郎兵衛参り鳥渡しの旨承引下さるべきに付) 佐助→旦那様	8月25日朝	横切継紙・1通	え4143-43

## 1.17.13. 慶応2年11月中よりの来簡綴

(慶應2寅歳11月中よりの来簡綴)		綴/(え4187-1~76は一綴)・1綴	え4187
(袋) * (袋上書)「慶應二寅歳十一月中よりの来簡入澹庵子静」		袋・1点	え4187-1
(書状、愚家不幸の節丁寧の御音信へ拝謝御礼の旨等申し上げに付) 坂本拝	蠟月念3日	横切継紙・1通	え4187-2
(書状、松木御伯父病気による死去御悔やみの旨に付) 坂本丑之輔(花押)→八田慎蔵様	12月23日	横切紙・1通	え4187-3
(書状、龍阿弥陀経法書瞥見の上、字体至極宜しきもの拝借仕りたき旨などに付) 源八→御対申上		横切紙・1通	え4187-4
(書状、中町仲右衛門冥加金上納27両・2ヶ月利分32匁4分落掌など拝答に付) 富岡良右衛門→八田慎蔵様	12月7日	横切紙・1通	え4187-5
(書状、橋商売の者へ御貸出に付取立金御返し願ひ) 唯之進→慎蔵様	11月16日	横切紙・1通	え4187-6
(書状、当月産物方冥加取立の分上納に付落手の旨) (八田)慎蔵→唯之進様別紙入	11月17日	横切継紙・1通	え4187-7
江戸火事(本町・石町別条御座無きなどの江戸火事被害状況書付)		横切紙・1通	え4187-8
(23日御光来願) * 勘返状 慎蔵→師岡様参上	21日	横切継紙・1通	え4187-9
(書状、今晚袋町の儀御訴詔申し上げたき旨などに付) 伊左衛門→(八田)慎蔵様差上置候	20日	横切継紙・1通	え4187-10
(書状、御内政様病気による死去御悔やみの旨)		横切紙・1通	え4187-11
(書状、妻病気による死去および出棺の日時御知らせに付) 井上村坂本幸左衛門→松代八田慎蔵様	11月24日	横切紙・1通	え4187-12
(書状、御厚志の段へ多謝御礼の旨) 雪峰→子静君		横切紙・1通	え4187-13
(書状、明3日寄合開催通達の旨) 坂本斎助→産物会所御詰合中様	12月2日	横切紙・1通	え4187-14
(書状、御手紙の趣委細畏まり、百金差し上げの旨) * 勘返状	11月29日	横切紙・1通	え4187-15
(書状、差し懸かり御金入用に付御取立金御廻し願ひたき旨) 唯之進→慎蔵様	11月29日	横切継紙・1通	え4187-16
(「一昨日…」の書状断簡)		横切紙・1通	え4187-17
(書状、上田一条沙汰如何や御答えに付) 源八→伊勢町様御答申上	12月17日	横切継紙・1通	え4187-18
覚(御初穂10疋御預り書) 紺屋町直作	12月15日	横切紙・1通	え4187-19

(書状、御会所の方繰り合わせ出席仕りたきなどに付) 清蔵九拝→慎蔵様	臘17日	横切継紙・1通	え4187-20
(書状、無尽帳会合日以前遣しの旨五十司殿へ御問合 下されたきに付) 松山丁→いせ町様	12月17日	横切継紙・1通	え4187-21
(書状、明19日郡方御役所へ出張の通知仰せに付) 宮 沢善治・青柳丈左衛門→八田慎蔵様・八田喜兵衛様	12月18日	横切紙・1通	え4187-22
(書状、御全家御起居の後御疎意に付寒中見舞いの旨) 治郎右衛門→慎蔵様	12月9日	横切紙・1通	え4187-23
(書状、宇和島之産中1ツ頂戴の旨申し上げに付) 子贊 拝→い勢町盟兄	臘月16日	横切継紙・1通	え4187-24
(書状、会所御取立金31両1分1朱余外残り2両1分御廻 し成し下され請取に付) 唯之進→慎蔵様	12月16日	横切紙・1通	え4187-25
(書状、松木様死去御愁傷により麦粉進上に付) 坂本 幸右衛門(花押)→八田慎蔵様	12月12日	折紙・1通	え4187-26
(書状、坂本氏より人御出遊ばされ、御米が高いの酒が 高いの話ばかりで誠にはずかしきなど母上の近 況報告に付)		横切紙・1通	え4187-27
(書状、御裏長屋出火土蔵も焼候由御騒ぎの件見舞に 付)	10月27日夜	横切継紙・1通	え4187-28
(書状、北方一件様子分かり次第申し上げ、遠方の儀御 様子次第平右衛門差出しなどに付) 啓十郎→慎蔵様 鉄治郎様	12月10日	横切継紙・1通	え4187-29
(書状、徳左衛門歎願書の草稿御加削願いに付) 喜兵 衛→(八田)慎蔵様内用	10月29日	横切継紙・1通	え4187-30
(書状、去る頃は不慮の御災難にて御心痛み、取り計ら い御推上申し上げ奉るなどに付) 坂本丑之助→八田 慎蔵様尊下	霜月4日	横切継紙・1通	え4187-31
(書状、昨夕より風行込に付今日出勤見合わせたき願 いの旨) 小野唯之進→八田慎蔵様	11月14日	横切継紙・1通	え4187-32
(書状、伊勢町藤左衛門生糸改冥加の件手帳付け落ち による等閑の旨答えに付) 五十司→慎蔵様	10月25日	横切継紙・1通	え4187-33
(書状、佐藤為之進宅へ御出張の通知に付) 青柳丈左 衛門→御用筋八田慎蔵様	11月21日	横切継紙・1通	え4187-34
(書状、病人のため金5円御内借嘆願に付) 源八→伊勢 町様内事	11月23日	横切継紙・1通	え4187-35
(書状、小林氏へ書状差し遣わし願いの旨) 増沢慶治 →八田慎蔵様	12月8日	横切継紙・1通	え4187-36
(書状、大岡村出入の者産物取締役回勤に付貸し刀拝 借伺書) 松山丁→伊勢町様	12月12日	横切継紙・1通	え4187-37
(書状、御武運長久御安全の旨御祈祷並びに御初穂神 納に付) 諏訪宮擬税定(花押)→八田慎右衛門様人々御 中	12月11日	折紙・1通	え4187-38
覚(丑年分利分金5両2分1匁2分受取書) 片桐庫之助 (印)→八田慎蔵様御役人中様	慶応2寅年12月	横切紙・1通	え4187-39
覚(寅御利分2両2分請取書) 竹花勘兵衛(印)→八田慎蔵 殿	12月晦日	横切紙・1通	え4187-40

1.内方/17.諸書類/13.慶応2年11月中よりの来簡綴

口上(本之進様の5両落手願いに付) 承之助→慎蔵様申上	大晦日	横切紙・1通	え4187-41
(書状、本之進儀繰り合わせ差し上げ申すべきに付) 承之助→(八田)慎蔵様御答	30日	横切紙・1通	え4187-42
(書状、勤書然るべき御取計の御願いなどに付)		横切紙・1通	え4187-43
(書状、御嘶しの勤書揃い次第御廻し下されたく父へ頼みに付) 五十司→慎蔵様	18日	横切紙・1通	え4187-44
(書状、無尽懸金御廻し頂戴に付) 与兵衛→御請	大晦日	横切紙・1通	え4187-45
(書状、御中借金繰合せ御渡しに付後刻私宅へ御来駕願いの旨) 莊治→御請	29日	横切紙・1通	え4187-46
(書状、駒村佐十郎への返済金6両落手に付) 富之進	12月29日	横切紙・1通	え4187-47
覚(駒村佐十郎へ返済金6両受取書) 池田富之進(印)→八田慎蔵殿	慶応2寅年12月29日	横切紙・1通	え4187-48
(書状、御歳暮の品差し上げ御受納成し下ださるようなど申し上げに付) 栄八→八田新蔵様御取次中様	12月16日	横切紙・1通	え4187-49
(書状、鉄銚子1封拝借仰せ付け成し下さるべきに付) 伊左衛門→申上当用	14日	横切紙・1通	え4187-50
(書状、右問の一件再応掛合も不調により来春又々掛合の旨) 啓十郎→慎蔵様	12月26日	横切紙・1通	え4187-51
(書状、認め直しの証文上田表へ飛脚による御差し立てに付) 水野清右衛門→八田慎蔵様	12月24日	横切紙・1通	え4187-52
(書状、水井氏病氣も引き続き駒村佐十郎よりの御預金返済御廻し願いに付) 池田富之進→八田慎蔵様	12月26日	横切紙・1通	え4187-53
(書状、白米・玉子・菓子など1包御祝の趣御惣容様へ呈上に付) 幸右衛門→慎蔵様台下	12月25日	横切紙・1通	え4187-54
(書状、別紙両通の取調冥加金差し上げ願いに付) *勘返状/(端後筆)「慥落手仕候、以上」(八田)慎蔵→良右衛門様・潤蔵様	餘日	横切紙・1通	え4187-55
(忠魂護国家の書付断簡)		横切紙・1通	え4187-56
(書状、寺町勘蔵の儀生糸改冥加金来月までに拝借願いに付) *勘返状 (八田)慎蔵様→唯之進様当用	正月5日	横切紙・1通	え4187-57
(書状、結構の御恵み蒙りに対する御厚礼の旨奏上に付) 源八→御受申上	正月7日	横切紙・1通	え4187-58
(書状、水清への5円御預りに付切手受取差し上げの旨) 承之助→慎蔵様	正月8日	横切紙・1通	え4187-59
(書状、10日夕より法会営みに付御来駕の旨他) 幸右衛門→慎蔵様	正月5日	横切紙・1通	え4187-60
(書状、継会の次第昨夜初めて様子承知などに付) 承之助→(八田)慎蔵様御答申上	12月28日	横切紙・1通	え4187-61
(書状、金子持参200金差し上げに付) 慎蔵→清右衛門金子入書入御報	臘2念7日	横切紙・1通	え4187-62
(書状、悴へ結構の御葉下さるなどの御礼に付) 内経→口演	12月20日	横切紙・1通	え4187-63
(書状、源太郎他両所へ御遣わすべき品御尋ねに付) *勘返状 伊勢町御受→源八	師走24(日)	横切紙・1通	え4187-64



(直に差し上げの旨書付) 水野清右衛門→八田慎蔵様	24日	横切継紙・1通	え4187-65
(書状、無尽御懸金の儀今年大岡村の者取番に付金子御繰廻し渡し願いの旨) 与兵衛→慎蔵様	12月24日	横切紙・1通	え4187-66
(書状、上田より御借入金50両証文差上げ早々御取計の旨) 水野清右衛門→八田慎蔵様	12月24日	横切継紙・1通	え4187-67
(書状、会所御取立金41両3分銀5匁2分1厘御廻し落手の旨) 唯之進→慎蔵様	12月	横切紙・1通	え4187-68
(書状、会所にも蚕種紙出来の趣御内々承知に付) 周蔵→慎蔵様	7月9日	横切継紙・1通	え4187-69
(書状、黒印の方一判突方何の通り御差図の旨) 丸山龍蔵→八田慎蔵様	6月20日	横切継紙・1通	え4187-70
(書状、元利御手許の方にて御内弁の旨伺いに付) *勘返状 八田慎蔵→丸山龍蔵様	2月22日	横切継紙・1通	え4187-71
(書状、油紋鑑札冥加7月願の半分減上納御渡成し下されたきに付) 唯之進→慎蔵様	晦日	横切紙・1通	え4187-72
(書状、昨年蚕種紙改不納の件に付) *勘返状 慎蔵→周蔵様	3月17日	横切紙・1通	え4187-73
(書状、嘉例により御祈祷御祓大麻並びに御祝儀土産を添え神前へ進上に付) 廣田筑後正陽(花押)→八田慎蔵殿人々御中	9月吉日	折紙・1通	え4187-74
極御内々奉歎願候(養父孫兵衛病氣のため御本陣役除役も兼帯町年寄役継続に付)	10月	横長半・1冊	え4187-75
(書状、道具度々御借入に付荒目鯉2本御廻しの旨) 宇敷元之丞→八田慎蔵様	12月23日	横切紙・1通	え4187-76

## 1.17.14. 慶応3年正月よりの来書簡綴

(慶応3年正月よりの来書簡綴)		綴/(え4116-1~50は一綴)・1綴	え4116
(袋) * (袋上書)「慶応三卯歳正月より来簡入 澹庵子静」		袋・1点	え4116-1
(書状、見舞い佐武氏へ宜しく御鶴声希奉るに付) 子賢拝→(八田)慎蔵様	極月末8日	横切継紙・1通	え4116-2
(書状、小生も旧年只今引籠もり罷り在るなどに付)		横切継紙・1通	え4116-3
(書状、千曲川鮭恵贈の礼および三種進上に付) 廣田筑後→八田慎蔵様	正月15日	横切継紙・1通	え4116-4
(書状、御初穂料金100疋・御神馬料金100匹神納いたし、神前において祈祷執行に付) 廣田筑後正(花押)→八田慎蔵様	正月15日	折紙・1通	え4116-5
覚(御祓・御神馬御祓・小御神楽など神納書拔)		横切継紙・1通	え4116-6
(書状、年頭の祝詞に付) 近藤興之助助善(花押)・近藤六左衛門弘敬(花押)→八田慎蔵様参人々御中	正月18日	折紙・1通	え4116-7
(書状、佐藤氏への云々早速願ひ承知下されるに付) 嘉吉→(八田)慎蔵様玉机下	6日	横切紙・1通	え4116-8
(書状、この品両親へ差し上げたたく御覧入れ候に付) (松木)源八→(八田)慎蔵様玉机下	2月8日	横切紙・1通	え4116-9

1.内方/17.諸書類/14.慶応3年正月よりの来書簡綴

(書状、昨日は大勢参り御馳走になりありがたきに付) ちやう→御姉上様御返事	20日	横切継紙・1通	え4116-10
(盆茶碗羽織慎蔵、帷子慎蔵、帯奥様、袖縞綿入叔母、帯 鉄次郎、ふくさおつな・おくめ、半えりおみつなど品 物別名前書き抜き)		横切紙・1通	え4116-11
(書状、赤倉一条代金150両までと和助へも申し談じ置 くに付) *下書/(端裏書)「三月七日」 八田喜兵衛	3月6日	横切紙・1通	え4116-12
(書状、越州への書面差し上げ、文面加筆成し下される に付) (八田)喜兵衛→(八田)慎蔵様書状入	6日	横切紙・1通	え4116-13
(書状、去る寅年生糸改め方御冥加御貸し下げの分ほ か別紙の通り上納に付) *勘返状 (八田)慎蔵→唯之 進様	3月20日	横切紙・1通	え4116-14
(牧内村健作真木30駄代金2両2分ほか関屋村清五郎・ 牧内村勘左衛門・同村助之丞・東条村万作など8口ノ 219駄4束代金18両1分銀3匁2分2厘真木焚木代金書 上)		横切継紙・1通	え4116-15
(無尽掛金10両宛48人寄せ金480両、内手取金330両残 り150両賄金など内訳書上)		横切紙・1通	え4116-16
(書状、旧年は御厚情成し下され有難く年越し仕るに 付) 源之助→伊勢丁様	正月7日	横切継紙・1通	え4116-17
(書状、竹山丁御不幸何とも御愁傷の儀御悔やみ申し 上げなどに付) (坂本)齋助→(八田)慎蔵様	正月20日	横切継紙・1通	え4116-18
(書状、新正の御祝儀申し上げに付) 竹村半蔵→八田慎 蔵様	正月7日	横切紙・1通	え4116-19
(書状、勤出遠方のため御使派遣の御礼に付) 富太→ (八田)慎蔵様玉机下	正月15日	横切継紙・1通	え4116-20
(書状、竹村芳心院一周忌見合わせのため、今日法花供 読仕り頂戴の品霊前に供えに付) 民之助→(八田)慎 蔵様	2月朔(マ)	横切継紙・1通	え4116-21
(金1両銭1貫文ほか6口金銭書き抜き)		横切紙・1通	え4116-22
(書状、毎度この一封御便りの節偏に願い奉るに付) 五右衛門→(八田)慎蔵様	27日	横切紙・1通	え4116-23
(書状、彦之進事明日忌明けの所沙汰無く明朝如何心 得の旨御届願いに付) (八田)競→(八田)慎蔵様	正月27日	横切継紙・1通	え4116-24
(書状、御両院様年回の法事今夕執行に参上しがたく 誠に不本意の段香奠霊前に供えたきに付)	2月4日	横切紙・1通	え4116-25
(書状、御年玉として御覧のうえ宜しき様頼み奉るに 付) 乙治→八田慎蔵様御取次中様		横切紙/(前 欠)・1通	え4116-26
(書状、年頭の御祝儀申し上げに付) 定押片桐乙治→八 (八田)慎蔵様御取次中様	正月2日	横切紙・1通	え4116-27
(書状、諸事山口屋松田花岡などと話し合いしよくよ く心もちい呉候に付) 修二郎→お蝶との	けふ	横切紙/(紙面 断裂)・1通	え4116-28
(書状、諸事山口屋松田花岡などと話し合いしよくよ く心もちい呉候に付) *え4116-28と同一文 修二 郎→お蝶との	けふ	横切継紙・1通	え4116-29

(書状、先年より厄介者病死し取り込みのため今日会所当番出来がたきに付) (八田)五十司→(八田)慎蔵様	2月20日	横切継紙・1通	え4116-30
(書状、病氣により祖母24日死去及び出棺27日の旨諸向へ御通達に付) 豪教助→八田慎蔵様	2月25日	横切紙・1通	え4116-31
(書状、弊家法会の刻霊前へ御恵投の件御礼に付) 坂本丑之助→八田慎蔵様	2月27日	横切継紙・1通	え4116-32
(書状、今日は仏前へ品々いただき御礼申し上げ、節句の節御召し縮緬いただきたくに付) ひて→御母上様・御姉上様人々御本人へ		横切継紙・1通	え4116-33
(書状、年甫御加義申し上げ度扇子・寿留免・干菓子呈進仕るに付) 坂本幸右衛門重(花押)→八田慎蔵様	正月13日	折紙・1通	え4116-34
(書状、蝶生事何れへか頼み置きたく種々鑑考仕るに付) 佐久間修二郎→八田慎蔵様		横切継紙・1通	え4116-35
(書状、上巳の祝儀、見事なる品いただき皆々よろしく御礼申し上げたきに付) 秀より→御母上様・御姉上様	(ママ) 生弥11日	横切継紙・1通	え4116-36
(書状、過日は見事な御雛祝納仕り、不出来の白酒1徳利・草餅1包み御祝請迄に呈進に付) 坂本幸右衛門→八田慎蔵様	3月3日	折紙・1通	え4116-37
(書状、30日より3月朔日迄開催の100ヶ日および1周忌の三経大法会へ尊来願いに付) 坂本幸右衛門→八田慎蔵様	2月25日	横切紙・1通	え4116-38
(書状、去夏光来の節品々注文も有難くも、当年当地は諸品高直にて、米は1俵代金3両2分3朱余、酒は1両に1斗7升余の旨先ず御報せに付) きの国や喜市→大木伊左衛門様	卯2月2日	横切継紙・1通	え4116-39
(書状、父善太左衛門2月晦日老病にて死去の旨御知らせに付) 高井又十郎→八田慎蔵様	3月2日	横切紙・1通	え4116-40
(書状、御歳暮御年玉など見事なる品への御礼および年頭の参堂への謝辞に付) 三賀本→津多様	2月5日	横切継紙・1通	え4116-41
(書状、年頭の祝詞を申し上げるに付) 坂本幸右衛門重(花押)→八田慎蔵様人々御中	2月5日	折紙・1通	え4116-42
長州侯より芸州侯江被相廻同侯より奏上之写(防長征伐について皇国のため公武決戦のうえ討ち死にの存意に付) *写 毛利宰相印・毛利少将印・同左京太夫・同讃岐・同淡路印	8月28日	横切継紙・1通	え4116-43
(書状、去月下旬横浜港より出帆致し大坂港へ停泊、安治川筋上陸など大坂・京の状況および長防征伐に付)	10月18日	横切継紙・1通	え4116-44
(書状、松前志摩守・阿部豊後守官位召し放され国許へ出立、公方様御辞職願ひ一両日のうち還御の様子に付) *(端裏書)「十月十四日到来村上氏より之書状写」	10月9日夜認	横切継紙・1通	え4116-45
(書状、上方筋不穩の様子、公方様御太刀金の御采配京都より頂戴し長州征伐の風聞あり誠に薄氷を踏む世の中に付) *(端裏書)「十月八日附同十四日到来村上氏より之書状端裏書之写」	10月8日附～14日到来	横切継紙・1通	え4116-46
(書状、常德寺遠方光臨の節内談の義に付)		横切紙・1通	え4116-47

1.内方/17.諸書類/14.慶応3年正月よりの来書簡綴

(書状、先日引き合いの通り物入りのため、○印の義半減及び衣類5品御減らしに付) 坂本幸五左衛門→八田慎蔵様内玉下	3月11日	横切継紙・1通	え4116-48
(書状、先月浄徳寺へ参り御馳走になり有難きに付) 秀→御母上様人々御本人へ		横切継紙・1通	え4116-49
(書状、貞寿初七日26日夕から27日朝まで法事執行の御案内に付) 久米→(八田)慎蔵様	3月24日	横切継紙・1通	え4116-50

1.17.15. 慶応3年4月中よりの来状綴

(慶應3卯年4月中よりの来状綴)		綴/(え4186-1~74は一綴)・1綴	え4186
(袋) * (袋上書)「慶應三卯年四月中よりの来状入澹庵」		袋・1点	え4186-1
(押掛11口代金8両銀4匁の内差引勘定残金1両銀11匁5分御渡し方取計の旨書付) 龍蔵→唯之進様慎蔵様	7月10日	横切継紙・1通	え4186-2
(書状、繭生糸上田辺売渡し途中穿鑿仕りたき他に付) * (端裏書)「御改方様町同心」 玉井吉十郎→御改方様申上	7月18日夕刻認メ	横切継紙・1通	え4186-3
(書状、山崎彦之進妻死去に付両親妻の嫡子誰を以て御届か尋ね内々願ひ) * 勘返状 慎蔵→繁三郎様惣兵衛様内用		横切継紙・1通	え4186-4
(書状、野子昇堂の仰せ有り難く御請迄早々申し上げに付) 真綱拜→子静大君梧下	22日	横切継紙・1通	え4186-5
(書状、側の人物の義御宅の人承引次第高田表へ1日も早く御出向願ひに付) 喜兵衛→(八田)慎蔵様内用	22日	横切継紙・1通	え4186-6
(書状、仰せの差向御入料支払いに付美濃屋2割5分入金借入御周旋願ひはか) 庄助→いせ町様		横切継紙・1通	え4186-7
(書状、検徴御印2つ・官印1つ落手の旨申し上げに付) 龍助・藤右衛門→龍蔵様	4月29日	横切継紙・1通	え4186-8
(生糸改印押方の書付)		横切継紙・1通	え4186-9
(書状、一昨晚角店より御手紙相届き暑さ余程強く候由も、暑さ薄く凌ぎ良きなど近況報告に付) こふ→旦那様御元へ申上	6月28日	横切継紙・1通	え4186-10
(書状、御風邪御加養の旨など申し上げに付) 文右衛門→慎蔵様	6月1日	横切継紙・1通	え4186-11
(書状、別段申上候通り明夕頃持参願ひたく申し上げに付) * 勘返状 慎蔵→莊助様書入御請申上候	21日	横切継紙・1通	え4186-12
(書状、別紙名面の通の分御取計願ひに付) 市治・源兵衛→慎蔵様	7月11日	横切紙・1通	え4186-13
(書状、別紙草稿御加削願) 喜兵衛→慎蔵様	14日	横切紙・1通	え4186-14
(書状、歎願の金1両2分御借渡しに付) 本之進→御請申上	7月13日	横切紙・1通	え4186-15
(書状、急入用に差支え金2両借用歎願などに付) 本之進→伊勢町様歎願用申上	7月10日	横切継紙・1通	え4186-16
(書状、生糸改冥加金貸し下げの件伺ひに付) 慎蔵→丈左衛門様	6月20日	横切紙・1通	え4186-17

(書状、冥加金より水内村押懸代金の内へ下ヶ遣しの分差引残金上納に付) *勘返状 慎蔵→唯之進様金子入	15日	横切紙・1通	え4186-18
(書状、蚕種師定次細代金引負などのため冥加金上納猶予御承引願いに付) 清蔵→慎蔵様	6月13日	横切継紙・1通	え4186-19
(「小割鉄式百間七拾貫五百式拾目」など鉄・劔の種別数量書上)		横切継紙・1通	え4186-20
(書状、今朝立ちにて産物方へ罷出引き取り願いの旨申し上げに付) 三之丞→慎蔵様	6月9日	横切継紙・1通	え4186-21
(書状、深川産物会所大工入料増御書類御廻し下さる様御願いの旨申し上げに付) 水野清右衛門→八田慎蔵様御書類入	6月10日	横切継紙・1通	え4186-22
(書状、庵末ながら差し上げ並びに御願ひ申上候品々御送りなど申し上げに付)		折紙・1通	え4186-23
口上(鮭御笑味に付) [ ]	5月8日	横切継紙・1通	え4186-24
(書状、過日も参上仕り毎度届けに付) 新蔵→伊勢町様	正月29日	横切継紙・1通	え4186-25
(書状、水井にて家督の御礼目出度く、この程収之助今夕参り候などに付) 松山丁拜→伊勢町様	6月朔日	横切継紙・1通	え4186-26
(書状、常德寺へ御引合の金子50両差し上げ及び受取書差し出し願ひなどに付) 三賀本→八田様	5月7日	横切継紙・1通	え4186-27
(書状、冥加取立分別紙の通り上納に付) *勘返状 慎蔵→唯之進様金子入	3日	横切継紙・1通	え4186-28
(書状、200両の利金8両余り落手に付) 市治・清右衛門→慎蔵様金子入	4月29日	横切継紙・1通	え4186-29
(書状、矢代村杏千仁鑑札願出も取締、先ず御渡し方御見分成立下されたきに付) 市治・清右衛門→(八田)慎蔵様貴答	4月13日	横切継紙・1通	え4186-30
(書状、別紙の趣幾重にも御取扱願ひ奉るに付) 与兵衛→慎蔵様	4月10日	横切継紙・1通	え4186-31
口上認取(昨年御扶持受取5俵不足の件懸合に付) 与兵衛→慎蔵様	4月	横切継紙・1通	え4186-32
(書状、御掛り様より才覚200金調達の旨内談御承引宜しく御執り成し願ひに付) 伊藤得兵衛→松本源八様	12月23日	横切継紙・1通	え4186-33
(書状、持病再発に付会所暫時引き込み養生仕りたく御届願ひ他) 五十司→慎蔵様	25日	横切継紙・1通	え4186-34
(書状、死去の祖母へ御見舞いの品などに対する御礼に付) 堀内教助→八田慎蔵様余人々御中	4月22日	折紙・1通	え4186-35
(書状、先達て不幸の節及び其の後贈り物感謝に付) 疎角(花押)→八田慎蔵様	4月23日	折紙・1通	え4186-36
(書状、海苔差し上げの丁寧な御礼に対する御礼など申し上げに付) * (端裏書)「四月晦日被届候事慎蔵様」半蔵→慎蔵様	4月13日	切紙・1通	え4186-37
(書状、石橋清三郎妹縁組の旨御知らせに付)		切紙/(え4186-37とえ4186-39との間に挟み込み)・1通	え4186-38

(「矢代村会所ニ有之候取立金子証文之事」など書付)		切紙・1通	え4186-39
(佐久間修理関東蟄居御免の仰せに関する飛鳥井家雑掌衆より御留守居への書状到来に付答書写し) *写真田一家来玉川一学	7月27日	切紙・1通	え4186-40
(書状、慎蔵此程の内参ると申し、此次のたより差し上げ宜しく御願ひなど申し上げに付) 波→御姉上様拝上	卯月23日	横切継紙・1通	え4186-41
(書状、正金200両御廻し及びその利金差し上げに付) 清右衛門→(八田)慎蔵様金子添	4月16日	横切継紙・1通	え4186-42
(書状、貯の蔵書による償いないしは御預けにて15金拝借願ひの件、御承知など申し上げに付) 修理→(八田)嘉助様	閏正月5日夜	横切継紙・1通	え4186-43
(赤倉温泉へ参り御兄上様へ質屋の事御話しの旨書付)		横切紙・1通	え4186-44
(書状、御納戸着物貸しなど宜しく皆々様へ御礼に付) ひて→御母上様[ ](綴込み判読不能)		横切継紙・1通	え4186-45
口上(勘左衛門より御息女1人御無心の件真太郎取計に付) 代筆御金次より→八田様	4月7日	横切継紙・1通	え4186-46
(書状、御印書落手に付) 承之助→伊勢町様	4月6日	横切継紙・1通	え4186-47
(別紙落手の旨書付)	4月5日	横切継紙・1通	え4186-48
(書状、当月3日から13日冥加金取立上納に付) *勘返状 (八田)慎蔵→唯之助様金子入	8月朔日	横切継紙・1通	え4186-49
(書状、先月産物方諸冥加取立の分上納に付) *勘返状 (八田)慎蔵→唯之助様金子添	4月9日	横切継紙・1通	え4186-50
(書状、草稿の御譲証文御添削御頼みなどに付) 喜兵衛→御請	26日	横切継紙・1通	え4186-51
(書状、朔日より参上尊命を承りも延引、今晚差し上げなどに付) 北山→八田様申上置	4月	横切継紙・1通	え4186-52
(書状、登山帰宅後、小山田叔母等遠客へ失敬の至りなど双親の近況報告に付) 竹山町→伊勢町様	澁佛前1日	横切継紙・1通	え4186-53
(書状、象山先生京師召され後如何承りたく及び別条借用願ひなどに付) 敬次郎→御兄上様	3月22日	横切継紙・1通	え4186-54
(書状、江戸問屋へ差送るべき木綿改め印にて差し出しの旨御承知の御取計に付) 唯之進→慎蔵様		横切継紙・1通	え4186-55
(書状、王煙堂御帖4本拝借願ひ御請申し上げなどに付) 台下慶四郎拝上→松木先醒両度々御受申上置	7月17日	横切継紙・1通	え4186-56
(書状、御懇書・結構の御真綿沢山頂戴および調達の金子返却の御礼申し上げますに付) 伊藤得兵衛信敏(花押)→八田慎蔵様参人々御中	4月23日	横切継紙・1通	え4186-57
(書状、上田町より去暮御借入の分明後16日御返済に付) 表柴丁拝→伊勢町様	4月14日	横切継紙・1通	え4186-58
(書状、明日御酒下さる趣遠方のため御使遣わしへの御礼申し上げますに付) 斎太→慎蔵様虎皮下	5月14日	横切継紙・1通	え4186-59
(書状、御廻文も万一の場合然るべき御取り計らいに付) 孝平→八田慎蔵様玉几下	5月14日	横切継紙・1通	え4186-60

(書状、御取立金の内25両御内々御時拝借願ひも御都合により15金にて拝借内々歎願に付) 清蔵→(八田)慎蔵様御内披	5月23日	横切継紙・1通	え4186-61
(書状、昨日より腹痛のため今日出勤見合わせたく御様子伺いに付) 莊助→慎蔵様	24日	横切継紙・1通	え4186-62
(書状、御繰廻し一寸御様子伺奉るに付) *勘返状 子静様→関莊様几下	24日	横切継紙・1通	え4186-63
(書状、御主人より赤倉町繁八方へ赤倉一件改めの手紙着き次第御返事御頼みに付) 姫川原富地屋内円右衛門→伊勢町さくや佐助様急キ用書	申5月26日	横切継紙・1通	え4186-64
(書状、会所にて京都一条御覧の上此者へ御渡しに付) 水野清右衛門→八田慎蔵様	5月24日	横切継紙・1通	え4186-65
(書状、私1人の身となり書筆出来難く地方凡例録本全部差し出しに付) 六左衛門→いせ町様	8月朔日	横切継紙・1通	え4186-66
(書状、源兵衛君御養生の件佐々木氏へ御頼みなどに付) 半蔵→慎蔵様	6月19日	横切継紙・1通	え4186-67
(書状、御遠足の御催小子御供仰せの件御高免に付)		横切継紙・1通	え4186-68
(書状、代官町姉上水井へ御立寄願ひに付) 文左衛門→慎蔵様	11日	横切継紙・1通	え4186-69
(書状、下屋敷地所御譲り渡しも下拙住居残り置き of 旨御頼みに付) 下屋敷→佐助様内用	7月17日	横切継紙・1通	え4186-70
(書状、長々拝借の革ノ御文庫返上御落掌成し下さるべきに付) 龍助→(八田)慎蔵様御答	18日	横切継紙・1通	え4186-71
(書状、微妙院50回忌5月12日私宅法事執行の旨) 喜兵衛→慎蔵様	8月9日	横切紙・1通	え4186-72
(書状、路取調の儀御日限取極めの御伺い願ひに付) *勘返状 慎蔵様→文左衛門様内用	21日	横切継紙・1通	え4186-73
(書状、旧禄調達金御利分8両1歩銀5匁頂戴の御礼申し上げたきに付) 伊藤源太郎→八田慎蔵様尊下	4月23日	横切継紙・1通	え4186-74

## 1.17.16. 慶応3年8月よりの来簡綴

(慶応3年8月よりの来簡綴)		綴/(え4113-1~78は一綴)・1綴	え4113
(袋) *(袋上書)「慶応三卯年八月中よりの来簡入 八田子静」 八田子静	慶応3卯年8月	袋・1点	え4113-1
(書状、この度稽古処少々広げるため、材木拝借願御聞き済まし of 所、運送のため車を拝借仕度 to 付) 馬場丁拝→いせ町様	12月13日	横切継紙・1通	え4113-2
(書状、この程もおかけ物参り御頼み申し上げ度 to 付)	2日	折紙・1通	え4113-3
(書状、当卯の生糸冥加金取立帳早速差出すべき to 付) 産物方御役所(印)→内川村産物改所取締役中	11月26日	横切紙・1通	え4113-4
(書状、水井へ7つ時頃より尊来願ひ上げる to 付) (八田)慎蔵→竹山町様	13日	横切紙・1通	え4113-5

1.内方/17.諸書類/16.慶応3年8月よりの来簡綴

(書状、この程取り調べ置いた先月中冥加金御預りの分残金8両2分銀3匁4分2厘御落手申すべきに付) *勘返状 (八田)慎蔵→唯之進様	14日	横切継紙・1通	え4113-6
(書状、御扶持方の内当暮の所にて20俵御前借り願うに付) *勘返状 (八田)慎蔵→清右衛門	12月14日	横切継紙・1通	え4113-7
(書状、長々拝借の御書物返上致す上、申し上げ置いた松記1冊差し上げるに付) (富岡)良右衛門→(八田)慎蔵様	11月29日	横切継紙・1通	え4113-8
(書状、当暮大坂の方へ御返金申すべきにて、当方より御繰り出しに成ることは無きに付) *勘返状 (八田)慎蔵→水野様	29日	横切継紙・1通	え4113-9
(書状、一昨日夜仰せを蒙る師岡様の義、御請と成し下されるに付) 市治→(八田)慎蔵様	11月26日	横切紙・1通	え4113-10
(書状、昨夜40金雪途の中遠路御人成し下され、慥かに落手するに付) (富岡)良右衛門→御受	23日	横切紙・1通	え4113-11
(書状、当秋は作方宜しく酒価も下直の所、都下も少々下値により100疋に付銀12匁位に付) 半蔵→(八田)慎蔵様	10月20日	横切継紙・1通	え4113-12
(書状、真綿綿太縞はこの節にても上筋へ乗り申すべき趣に付) *裏書きに字の手習あり 清右衛門→(八田)慎蔵様	11月3日	横切継紙・1通	え4113-13
(書状、御寄合の義、昼は御差支えに付5日夕方か6日夕方の御様子窺いの旨) 文左衛門→(八田)慎蔵様	11月朔日	横切継紙・1通	え4113-14
(書状、この程中御才覚成し下される金子今日御返済仕るに付) 水野清右衛門→八田慎蔵様	11月6日	横切継紙・1通	え4113-15
(書状、真綱子参る所、浦町より御来話成しくだされたきに付) 子静拝→龍爪様	念9	横切継紙・1通	え4113-16
(書状、この程中御才覚下された金子所々より御借入成し下されるべきに付) 清右衛門→(八田)慎蔵様	10月29日	横切継紙・1通	え4113-17
(書状、暇あるにより参上御清談伺いたきに付) (八田)真総(慎蔵)→子静様拝答	29日	横切紙/(え4113-17とえ4113-19の間に挟み込み)・1通	え4113-18
(書状、金3分御前繰にて借用仕度に付) (落合)本之進→伊勢町様歎願用申上	10月15日	横切継紙・1通	え4113-19
(書状、当月朔日より昨24日までの品々冥加取り立て分別紙の通り上納するに付) *勘返状 (八田)慎蔵→唯之進様	25日	横切継紙・1通	え4113-20
(書状、大塚村答書差し出すに付) 潤蔵→(八田)慎蔵様	9月23日	横切紙・1通	え4113-21
(書状、宮下肥前儀昨夕帰国仕り、今日御奉行所罷り出でる様申すに付) 柳沢一郎→八田慎蔵様	9月19日	横切紙・1通	え4113-22
(書状、今朝宮下罷り出でる処御出府のため、御隣家御差出に相成るに付) 柳沢一郎→八田慎蔵様	19日	横切紙・1通	え4113-23
(書状、愚案の御願書御覧入り、御添筆御頼みなどに付) 斎藤次五右衛門→菊屋佐助様	9月19日	横切継紙・1通	え4113-24
(書状、15両返上により御落手に付) 松山丁→いせ町様	9月20日	横切紙・1通	え4113-25
(書状、願ひ候15両早速御貸し渡しにより落手に付) 松山丁→伊勢町様	19日	横切継紙・1通	え4113-26



口上(私へ申し聞き候風呂敷は角店へ遣わしくれ候ようにと申すに付) 北山→八田様江御品添	15日	折紙・1通	え4113-27
諸運上冥加納高其外取伺書(酒造・水車など諸運上冥加高書上) *雛型 何村誰印→松代御預所役所	卯8月	横切継紙・1通	え4113-28
(書状、御頼み申し上げる所、さつ束御かし遊ばし下されありがたきに付) ちやう→御兄上様申上		横切継紙・1通	え4113-29
(書状、御頼み申し上げ兼候へ共、少々入用ありて金子2分何分にも御借り申し度に付) ちやう→御兄上様御内々申上	7日	横切継紙・1通	え4113-30
(書状、昨日願ひ上げ奉る義、何分宜しく御日延ばし下される様願ひ上げ奉るに付) 柳沢一郎→八田慎蔵様	9月17日	横切継紙・1通	え4113-31
口演(来る会は7月12日両度の会で5両3分の花を入れ落札と相成るため、思し召し無ければ、御沙汰願ひに付) (八田)鉄治郎→申上	11日	横切紙・1通	え4113-32
(書状、今朝は御取立金御調べ下され、急々明朝志垣村広太へ御貸出し仕り度に付) 唯之進→(八田)慎蔵様	9月16日	横切紙・1通	え4113-33
(書状、蚕種外国行改め、冥加取り立て分御廻し申し上げ落手に付) *勘返状 (八田)慎蔵→龍助様・藤右衛門様	25日	横切継紙・1通	え4113-34
(書状、私共と家の間柄は不熟和の所、これ以後双方何事に寄らず一家の間柄和親御取り請け成し下されるに付) * (端裏書)「愚桜」→竹村金吾様	卯8月	横切紙・1通	え4113-35
(書状、今日姫河原より使いの者差し越し、赤倉一件の義願ひ度こと有るに付) (八田)喜兵衛→(八田)慎蔵様	7月21日	横切継紙・1通	え4113-36
(書状、生糸蔵帳の義不都合の次第有るにより、今日別紙の通り村々へ御触達になるに付) 会所中之間→廣助様	8月26日	横切紙・1通	え4113-37
(書状、左様御取極御承知の旨御答に付) 市治→(八田)慎蔵様	9月朔日	横切継紙・1通	え4113-38
(書状、冥加金御預かりの分追々多分のため取り立て金の内金140両上納に付) *勘返状 (八田)慎蔵→唯之進様金百四拾両添	念4日	横切継紙・1通	え4113-39
(書状、請取切手差し上げによる御落手成し下さるべき旨御答に付) 市治→(八田)慎蔵様	8月16日	横切紙・1通	え4113-40
(書状、能々取り調べる所、金調べ落ちのため上納候様御取り計らい願ひ上げに付) →伊藤一学殿		切継紙・1通	え4113-41
(書状、秋葉祭のかざりもの角店などにて御差留候様に付) 松山丁→伊勢町様	8月14日	横切継紙・1通	え4113-42
(書状、蚕種元紙並びに外国行改め冥加受取置き候分御落手に付) *勘返状 (八田)慎蔵→龍助様・藤右衛門様	21日	切継紙・1通	え4113-43
(書状、在地にて揚酒商売致す者年々冥加金上納御免の件内々伺いに付)	13日	横切継紙・1通	え4113-44
(書状、昨夜の御礼並びにその節御約束申し上げに付) 竹山町→伊勢様	8月晦日	横切継紙・1通	え4113-45
(書状、伊藤一学御祝儀今日差出すに付) *勘返状 (八田)慎蔵→市治様印書添	17日	横切継紙・1通	え4113-46

(書状、改冥加別紙取り立ての分御検納に付) *勘返状 (八田)慎蔵→龍助様・藤右衛門様	8月17日	横切紙・1通	え4113-47
覚(伊勢町九蔵分外国行蚕種458枚代金銭永22貫900文 他メ金24両余り金銭書上)	卯8月	横切紙・1通	え4113-48
(書状、北高田村木綿小買御鑑札頂戴仕り度に付) 芳 治→(八田)慎蔵様	8月29日	横切紙・1通	え4113-49
(書状、鼠宿村七右衛門方へ御枕並びに御傘差し上げ 落手に付) 藤太→(八田)慎蔵様	8月28日	横切紙・1通	え4113-50
(書状、小子義時候の疫病にあたり追々重症になるも 、漸く快方に向かうにより、御安慮下されるべきに 付) 金山道齋九拜→八田慎蔵様尊座机下	10月17日	横切紙・1通	え4113-51
(書状、鑑札冥加銭上納の村方何貫程御預かり下され る様御書き入れに付)	9月朔日	横切紙・1通	え4113-52
(書状、差し懸かり御貸下金50両差し上げにより御落 手に付) *勘返状 (八田)慎蔵→唯之進様五拾両入	17日	横切紙・1通	え4113-53
(書状、象山先生より御預かりの唐本など鎌原より私 が借り、先生への書物私へ御引渡に付) 重左衛門→ (八田)慎蔵様	9月22日	横切紙・1通	え4113-54
(書状、北高田村藤牧村答書差出す所、出来いたし御奉 行所へ伺案取調べ差出思し召しも無きに付) (幡 場)潤蔵→(八田)慎蔵様	9月3日	横切紙・1通	え4113-55
(書状、2品余到来に任せ御覧に付) 龍蔵→(八田)慎蔵 様	10月19日	横切紙・1通	え4113-56
(書状、この者へ願ひ上げに付) 潤兵衛→(八田)慎蔵様	10月16日	横切紙・1通	え4113-57
(書状、側の利分18両2分余りの内15両2分余御落掌下 されるべきに付) 清右衛門→伊勢町様金子入	10月晦日	横切紙・1通	え4113-58
(書状、今日先生御方御礼の所、御延引の趣に御相談い たすに付) 馬場丁拜→いせ町様差置	15日	横切紙・1通	え4113-59
(書状、会所において御酒下され、升数共人別の者御書 き抜き、御店の者へ御下げ渡し下される様願ひ度に 付) * (端裏書)「延寶元年十一月二十日庄桐石州歿」	16日	横切紙・1通	え4113-60
(書状、江府御勘定吟味の方へ申す談ずる事遣わし候 に付) 清右衛門→(八田)慎蔵様	10月12日	横切紙・1通	え4113-61
(書状、色部の義も何とか清右衛門へ御話し下される に付) 松山丁→伊勢町様	11月3日	横切紙・1通	え4113-62
(書状、この度御上京のため御供仰せ付けられる所、殊 の外不穩に付) 半蔵→(八田)慎蔵様	11月7日	横切紙・1通	え4113-63
(書状、願ひ奉る金子の義、丸山殿へ御内談仕り、御手 元の分取集め御下げ候様に付) 富岡→八田様	11月23日	横切紙・1通	え4113-64
(書状、御頼み申し上げた金子御貸し下され有難き所、 9日に間違いなく御返し申し上げ度に付) ちやう→ 御兄上様御返事申上		横切紙・1通	え4113-65
(書状、矢代村へ1駄余ある所、幸蔵2箇取交じり2駄に 相成る哉に付) (富岡)良右衛門→(八田)慎蔵様	12月4日	横切紙・1通	え4113-66
(書状、矢代村より生糸改昨朝出役の義願ひ出すに付) (富岡)良右衛門→(八田)慎蔵様差懸り	4日	横切紙・1通	え4113-67

舌代(越州の道具屋参り居刀鍛類望む由、兼ねて払い申すべく存じ居る所、如何共御含み成し下されるに付) 老横田→斎藤君	12月5日	横切継紙・1通	え4113-68
(書状、柴町の方も来る11日御安し方へ遣わすに付) *勘返状 (八田)慎蔵→龍蔵様	6日	横切継紙・1通	え4113-69
(書状、例の御無尽今晚御寄合の所、私懸け分12両2分願ひ奉るに付) *勘返状 (八田)慎蔵→松本御対申上	10日	横切紙・1通	え4113-70
(書状、為替の義、当暮江戸表へ差出す御用金は皆為替に相成るに付) 水野拜→(八田)慎蔵様	12月10日	横切継紙・1通	え4113-71
(書状、御廻しの袴地宜しき様取扱願ひ上げ奉るなどに付) 文左衛門→(八田)慎蔵様御受申上	11日	横切継紙・1通	え4113-72
(書状、仙四郎一条御厚配成し下され御安心出立などに付) 龍蔵→(八田)慎蔵様	12月11日	横切継紙・1通	え4113-73
(書状、打物袋の義明朝遣わしの趣に付) 文左衛門→御受	11日	横切紙・1通	え4113-74
(書状、今日祝物の義仰せ下され、あら町様御出ならば、御相談仕る上取り計らうに付) 文左衛門→(八田)慎蔵様御受	13日	横切紙・1通	え4113-75
九月廿七日美濃守殿御渡書付(軍制改革による知行所の面々軍役金納の達) 鈴木恒太郎庸中・同豊次郎定徳・依田雄太郎直尋	慶応3年丁卯8月14日	横切継紙・1通	え4113-76
(書状、いつも御無沙汰打ち過ぎ手前勝手のみ願候に付) *下書		折紙・1通	え4113-77
(書状、当夏名代をもって正遷宮御奉加御頼み申し上げ金1両御寄附に付) 廣田筑後正[花押]→八田慎蔵様	11月吉日	折紙・1通	え4113-78

## 1.17.17. 慶応4年2月～9月まで来簡一綴

(慶応4年2月～9月まで来簡一綴)		綴/(え4194-1～45は一綴)・1綴	え4194
(袋) * (袋上書)「慶應四著雍執除歳二月中よりの来簡同九月中まで 澹庵子静」 澹庵子静	慶応4著雍執除歳2月～9月	袋・1点	え4194-1
乍恐以書付奉願上候(伊勢町傳兵衛酒造米高500石分鑑札を伊那郡小出村勘左衛門へ譲り渡したきに付願書) 真田信濃守領分信州埴科郡松代伊勢町傳兵衛	明治元辰年11月	縦継紙・1通	え4194-2
(書状、この程神戸氏へ仰せ下され拝借奉る長刀の紐返上に付) *勘返状 慎蔵→水井様	14日	横切継紙・1通	え4194-3
(書状、昨日申し上げの金子取立の内まず85両御落手成し下されるべき旨他) *勘返状 慎蔵→唯之進様	6月11日	横切継紙・1通	え4194-4
(書状、取替金返金山田・嶋田両氏その他など皆済は勿論利足までも無沙汰により当惑仕るなどに付)	6月29日	横切継紙・1通	え4194-5
(書状、結構の御品頂戴有難き旨他) 龍蔵→慎蔵様	8月3日	横切継紙・1通	え4194-6
(書状、越州路戦争の次第は追々御家中も立たれる次第などに付) 龍蔵→慎蔵様	5月7日	横切継紙・1通	え4194-7
(書状、先月取立の品々冥加70両上納仕るに付) *勘返状 慎蔵→唯之進様金子入	24日	横切継紙・1通	え4194-8

1.内方/17.諸書類/17.慶応4年2月～9月まで来簡一綴

(書状、19日長岡落城よりの戦況および御家御本陣現状報告に付) 嘉吉拜→慎蔵様参人々御中	6月12日夜認置	横切継紙・1通	え4194-9
(書状、26日一時賊による長岡城御取りも29日官軍取り返し、など長岡・奥州戦況報告に付)		横切継紙・1通	え4194-10
(書状、冥加金御取立の内50両落手に付) 市治→慎蔵様	7月29日	横切紙・1通	え4194-11
(書状、滋野井侍従殿追々当山の手本陣へ御引き移り、長屋は兵隊そのまま差置かれる旨他) 源八→慎蔵様	11月16日	横切継紙・1通	え4194-12
(書状、御息女様御雇の義御内話に付) 正司→御内用筋(八田)慎蔵様	9月21日	横切継紙・1通	え4194-13
(書状、駿州清水湊にて賊に留守船奪われ薩長の軍艦3艘にて賊軍を敗北させ船を取り返すの旨他) 源八→慎蔵様	10月23日	横切継紙・1通	え4194-14
(書状、監軍藤村四郎様御止宿の所御賄万端御世話下され有難き旨) 小林太一郎→八田慎蔵様	10月17日	横切継紙・1通	え4194-15
(白米8斗・雑用代銀3枚など雑費書上)		横切紙・1通	え4194-16
(書状、上松人数3000人程賊兵へ差し出しなど上松・仙台降参の様子並びに村上の様子は分からざる旨) *写	13日	横切紙・1通	え4194-17
(書状、この度酒造高100石20両上金の儀仰せ付けられるに付) 伊藤源兵衛→八田新蔵様	9月15日	横切継紙・1通	え4194-18
(書状、鎮撫府参謀御達しにより松本源八御護国隊長蒙る旨に付)	辰11月7日	横切継紙・1通	え4194-19
(書状、当5日組の者分隊・護国隊半隊召し連れ盗賊博徒討取仰せ附けられるに付) 源八→栄太郎殿	8月19日	横切継紙・1通	え4194-20
御尋に付御内々書取を以奉申上候(酒造御任せ取り計らい内々御尋ねに付旦那様御手元にて500金御借入願他)		横切紙・1通	え4194-21
(書状、先日差し上げた手紙にても其御地の御様子いかが伺いたき旨他) ふて→御母上様人々申上給へ	2月14日	折紙・1通	え4194-22
(書状、松本省庵今夕罷り越し、払除・料理等の義御指拝成し下されたきに付) 松山丁→伊勢町様	4月15日	横切継紙・1通	え4194-23
覚(金3両落手に付) 八田本之進(印)	辰4月	小切紙・1通	え4194-24
(書状、清水焼の急須・茶碗紹介により思し召しに合う品あれば留め置かれる様にとの旨) 莊助→慎蔵様申上	3月10日認置	横切継紙・1通	え4194-25
(書状、越後馬場村出身の元吉心置きなく貴家で御召使い下されたきに付) 阿藤長八郎→松代菊屋佐助様尊下		横切継紙・1通	え4194-26
(書状、山の湯御見舞後長々逗留し、手丈の段申上帰国致したくも聞き入れなく、漸く帰国の予定立つに付) 坂本宿ニ而間幸七→幾久屋佐助様・喜助様・清七様	6月13日認	横切継紙・1通	え4194-27
①乍恐以書付奉願候(伊勢町傳兵衛所持酒造米高の内100石新馬喰町酒造人喜四郎へ当卯12月より来辰の8月中まで出造渡願い)、②為取替一札之事(出造承知に付所持の酒造株高一部貸渡の旨一札) *下書 ①伊勢町様主傳兵衛・新馬喰町喜四郎、(奥書)伊勢町名主たれ・新馬喰町名主たれ→御奉行所、②→殿		横切継紙・1通	え4194-28

(書状、閏4月中より去月晦日まで取立の冥加金残金御落手下されるべき旨) *勘返状 慎蔵→唯之進様	22日	横切継紙・1通	え4194-29
(書状、長岡落城より数度の戦争に及ぶも24・25・26日と大いに敗軍の次第など戦況報告に付) 亀作→慎蔵様玉机下	8月5日朝	横切継紙・1通	え4194-30
(書状、徳川亀之助・一橋大納言など処遇など戦況並びに療養経過報告)	11月朔日	横切継紙・1通	え4194-31
覚(紺色ケット分1枚受取に付) 小野熊男(印)→師岡源兵衛殿	7月7日	横切継紙・1通	え4194-32
(書状、今晚婚礼整えさせたきに付) 直之進→慎蔵様御口答	閏4月19日	横切継紙・1通	え4194-33
(書状、上州館林辺りにて官軍一戦有るなど戦況報告に付)	3月14日	横切継紙・1通	え4194-34
(書状、御別れ後道中筋殊の外混雑にて、浪士共多分に峠に罷り有るなど、中々通行し難き旨他) 小石原村源左衛門→姫川原塚田様	辰4月27日	横切継紙・1通	え4194-35
(書状、先月中取立の冥加金別紙の通り上納仕るに付) *勘返状 慎蔵→唯之進様金子入	上巳	横切紙・1通	え4194-36
(書状、この度鱈子漬2樽三浦求馬様御名前にて差し出すに付) 泉久門下宗右衛門→菊屋傳兵衛様	2月3日	横切継紙・1通	え4194-37
(書状、肴類御入用の節は今町へ仰せ付けられたきに付) 泉久門下→菊屋傳兵衛様		横切紙・1通	え4194-38
(書状、甲府の方へおくり候金子の事今だ参らず、手紙御願いに付) ちやう→御兄上様御返事	10日	横切継紙・1通	え4194-39
(書状、札束小森へも遣わすも、忙しき由にて札束出向き申さざる旨他) ちやう→御兄上様申上		横切継紙・1通	え4194-40
(書状、愚兄長々と留守にて中野表より金融のみ申し越す次第当惑などに付) 坂本丑之助拜→八田慎蔵様	3月3日	横切継紙・1通	え4194-41
(東山道鎮撫御総督府よりの御用向にて、信濃国へ差し向う関東脱走の歩兵500人程探索に付御便り写) *写 御便右名面柏原源五右衛門・田中佐次馬		横切継紙・1通	え4194-42
(書状、御預り申す初2俵余りに下直のため御心配の旨他)	17日	横切継紙・1通	え4194-43
(書状、御娘子御兩人様の内御雇い御奉公上りの儀御内談次第に付) 正司→御用筋慎蔵様	11月10日	横切継紙・1通	え4194-44
(書状、姉妹の内是非に差し出すべき様申し談じ仕るべき旨に付) 渡浪→正司様差置	10月27日	横切継紙・1通	え4194-45

## 1.17.18. 明治2年3月より10月までの来簡綴

(明治2年3月より10月までの来簡綴)		綴/(え4200-1～46は一綴)・1綴	え4200
(袋) *(袋上書)「明治二年己巳三月中より来簡同同年十月中まで 澹庵子静」		袋・1点	え4200-1
(書状、刻金40両ほか計50両御廻しに付) 水野清右衛門→八田慎蔵様	11月17日	横切紙・1通	え4200-2

1.内方/17.諸書類/18.明治2年3月より10月までの来簡綴

(書状、養生法2冊通上に付落手の旨及び秋作不熟在々騒ぎ立ち大家へ押し込み乱妨の旨他) 恭蔵→慎蔵様	9月28日 認置	横切継紙・1通	え4200-3
(書状、八田鉄公諸局の内出仕の義蟻川氏へも取扱方然るべき様申し談などに付) 龍蔵→敬一郎様	10月□□(綴紐にて判読不能)	横切継紙・1通	え4200-4
(書状、産物の義御一新以来種々変革にて一定ならず大いに不都合の旨他) 唯之進→慎蔵様	8月6日	横切継紙・1通	え4200-5
(書状、金100両受取、切手御廻し落掌の旨) *(端裏書)「貴答申上」 清右衛門→慎蔵様	8月11日	横切継紙・1通	え4200-6
(書状、丸山公には是非東京へ出仕の旨他) 良右衛門→慎蔵様	8月16日	横切継紙・1通	え4200-7
(書状、昨日北沢殿よりの別通到来し委細茂助へ承りに付) 龍蔵→良右衛門様・慎蔵様	8月17日	横切継紙・1通	え4200-8
(書状、先般願い置きの参会を当19日中町越前屋において会合仕りたき旨) 北澤→丸山様	8月12日	横切継紙・1通	え4200-9
(書状、天朝の儀種々心配仕り、蟻川様着府にて内願申し上げに付) 新八→鉄次郎様申上	9月16日	横切継紙・1通	え4200-10
(書状、板橋宿まで御着きならば私方へ人御遣わしの旨)		小切紙・1通	え4200-11
(書状、御内命を蒙る一条について極密溶水殿へ伺うの旨) 復一郎→慎蔵様	27日	横切紙・1通	え4200-12
(書状、生糸買入のため松代改めの印及び蚕種地引改めの丸印を飛脚へ御下げ渡し願いに付) 良右衛門→慎蔵様・潤蔵様	7月10日夜認	横切継紙・1通	え4200-13
(書状、種物札10枚御預り利足の儀は1割5分にて繰り回しの旨) 表柴丁より→伊勢早様	8月11日	横切紙・1通	え4200-14
(書状、富岡公より相談の趣にて金20両うち札にて金10両頂戴仕る旨) 齊助→慎蔵様御請	7月9日	横切継紙・1通	え4200-15
覚(御戦功300石御拝領への御祝儀献上青銅24銅請取書) 齊藤善九郎(印)→富岡良右衛門殿	明治2巳年6月	小切紙・1通	え4200-16
(書状、水井公へ御内伝の様子如何に申し上げ候に付) *勘返状 子静出→竹山町様内用申上	2日	横切継紙・1通	え4200-17
(書状、金30両御廻し下され有り難く落手仕るに付) 齊助→慎蔵様御請印書入	7月11日	横切継紙・1通	え4200-18
(書状、生糸蚕種鑑札株税金ほか冥加金など取り調べ上納仕る旨) *勘返状 慎蔵→良右衛門様金子入	8月4日	横切紙・1通	え4200-19
(書状、酒井氏より申し来たので御繰り合わせの上御出席願う旨他) 良右衛門→八田様	23日	横切継紙・1通	え4200-20
(書状、贈りの代金札14両2分落手に付) 市治→慎蔵様拝答	6月9日	横切継紙・1通	え4200-21
(書状、差向き入用出来に付金札19両2朱時借り願い) 良右衛門→慎蔵様差向歎願	8月23日	横切継紙・1通	え4200-22
(書状、差向き入用にて2000両程時借りの旨酒井氏より申し談じに付) 良右衛門→慎蔵様	6月16日	横切継紙・1通	え4200-23
(書状、正月中御用達金500両御下げ金申し上げるに付) 水野清右衛門→八田慎蔵様		横切継紙・1通	え4200-24

(書状、亡父不幸の御遠方から御悔やみへの礼状) 山田庄左衛門顕仁(花押)→八田慎蔵様	5月6日	横切紙・1通	え4200-25
(書状、札と正金の仰せ一寸申し上げに付) 松山丁→いせ町様	5月2日	横切紙・1通	え4200-26
(書状、七日村幸松株鑑札両様受けたく税金10両差し出し御下げ渡し願いに付) 良右衛門→慎蔵様	7月2日	横切継紙・1通	え4200-27
(書状、腰村常左衛門代大麻4駄矢代宿までの駄賃帳持参願いに付) 良右衛門→慎蔵様奉復	22日	横切継紙・1通	え4200-28
(書状、北沢殿無尽御頼み・蚕種生糸商売の者株鑑札御渡し他に付) 齊助→龍蔵様	7月2日	横切継紙・1通	え4200-29
(書状、正金と手形御引替のうち10両の刎金に付) 松山丁→い勢町様内密	11月17日	横切継紙・1通	え4200-30
(書状、お蝶さまこの節不快故当年は無尽には六ヶ敷旨) 幾之助→八田様玉台下	12月20日	横切紙・1通	え4200-31
(書状、御引替の儀是迄の通り相叶わず、別段の御工風の旨) *勘返状 慎蔵→清右衛門様書入御免可被成候	26日	横切継紙・1通	え4200-32
(書状、酒造に付他邦米を以造込み願ひ) *勘返状 慎蔵→御内々申上	29日	横切紙・1通	え4200-33
(書状、五十司様方取り調べの儀少々御猶予成し下されたき旨他)	11月26日	横切継紙・1通	え4200-34
覚(初めて御着城への御祝儀献上青銅10疋受取書) 水井忠治(印)→八田慎蔵殿	慶応2寅年8月	切紙・1通	え4200-35
覚(当寅年始御礼銭青銅10疋受取書) 上村何右衛門(印)→八田慎蔵殿	慶応2寅年	切紙・1通	え4200-36
(書状、酒造は買い上げの穀ではなく酒造家の手にて穀を上げ造り込み致す旨) 松山丁→いせ町様	寅年10月17日	横切継紙・1通	え4200-37
(書状、下筋へ穀買入の儀酒造人共相談しに付)		横切紙・1通	え4200-38
(書状、金100金御下げ願ひ・極上精選の2分金200両引替願ひ他に付) *勘返状 (八田)慎蔵→清右衛門様	25日	横切継紙・1通	え4200-39
(書状、御一新につき伊勢町傳兵衛所持の酒造米高の内500石を筑摩郡神林村吉十郎へ譲渡に付) しろ久居判→塩尻御陣屋御役人中様		折紙・1通	え4200-40
(書状、東京より弾正大巡察のため宿・料理などの取り決めに付) 松山丁→いせ町様内事	8月25日	横切継紙・1通	え4200-41
(書状、賄方その外引受・麻績宿騒ぎ立ちの事に付) →拝復		横切継紙・1通	え4200-42
(書状、巡察に付この度は当方へは寄らず飛驒の方へ至る旨他) 松山丁→い勢町様	8月29日	横切継紙・1通	え4200-43
(書状、御心配なく御出向下さる様何事も私取り計らいに付)		横切紙・1通	え4200-44
(書状、姉上様よりあなた様へ御文相届き候哉、御返事を待ち居りに付) きなより→鉄次郎様申上	10月28日	横切継紙・1通	え4200-45
(書状、神無月5日付の御文相届き有り難く拝見し、その後御無沙汰に付) きなより→御姉上様人々まいる	10月28日	横切継紙・1通	え4200-46

## 1.17.19. 明治4年正月中よりの来簡綴

(明治4辛未年正月中よりの来簡綴)		綴/(え4207-1~59は一綴)・1綴	え4207
(袋) * (袋上書)「明治四辛未年正月中よりの来簡入 義井堂子静」 義井堂子静		袋・1点	え4207-1
(書状、拝借書類三綴返納落掌願いなどに付) 良右衛門	3月10日	横切継紙・1通	え4207-2
(書状、嫡子二三男等印形塚田氏へ申遣わしの件御取計願いに付) 萩原八左衛門→八田慎蔵様	2月朔日	横切継紙・1通	え4207-3
(書状、足痛快方・巡察方尊館御滞留の件など申し上げに付) 五十司→慎蔵様	12月28日	横切継紙・1通	え4207-4
(書状、御藩札200疋返上御落手成し下さるべき旨他) 平三郎→慎蔵様	2月12日	横切継紙・1通	え4207-5
(書状、藩士出金すべき委細割合等の儀承知御尽力の御頼みに付)		横切継紙・1通	え4207-6
(別紙の趣水井氏分御手へ願いの書付) 寺町隠宅→いせ町様	正月29日	横切継紙・1通	え4207-7
(無尽昨12月中の分御会合申し上げたき願の書付) 寺町隠宅		切紙/(え4207-7とえ4207-9の間に挟み込み)・1通	え4207-8
(書状、内願の5両御廻し請取に付) 千里→慎蔵様	2月4日	横切紙・1通	え4207-9
(書状、明後調印の節遠方の御方印形の儀願いに付) 千里→(八田)慎蔵様御直披被成下候様	正月25日	横切継紙・1通	え4207-10
(書状、官札10両差し上げ請取成し下さるべき旨他) 一郎→慎蔵様	正月26日	横切継紙・1通	え4207-11
(萩原氏などの印形預りの旨申上書) 北島元之助→八田慎蔵様	2月3日	横切紙・1通	え4207-12
(書状、御藩中一行上納金の儀に付) 五十司	正月27日	横切継紙・1通	え4207-13
(書状、市中の者竹差留の件御内諭成し下さるよう願に付) 潤蔵→買取様	2月12日	横切継紙・1通	え4207-14
口上(日記写到来差し上げの旨) 寺町→いせ町	16日	横切紙・1通	え4207-15
(書状、注文の筆近日上東京仕入の旨申上に付) 竹山町→伊勢町様	2月16日	横切紙・1通	え4207-16
(書状、いずれ近日参上仕り御請の旨他) 斎助→御請	正月27日	横切紙・1通	え4207-17
(御引替5両預りの旨申上書) 平三郎→(八田)慎蔵様奉復	28日	横切紙・1通	え4207-18
(書状、穀買上げたく至急10両御都合の嘆願の旨他) 千里→慎蔵様内願印書添	2月11日	横切継紙・1通	え4207-19
(書状、別書寺町様より願いの旨) □□□町→御松山丁様	18日	横切紙・1通	え4207-20
(落手の拝借10金詳細の儀御請申し上げる旨申上書) 貞雄→慎蔵様御請	2月18日	横切紙・1通	え4207-21



(書状、此の証文演説御留も返却の旨) 寺町→いせ町様	18日	横切紙・1通	え4207-22
(別紙御覧の後返却に付口上) →口上	8日	横切紙・1通	え4207-23
(書状、御藩中上納金23両2分御預かりも過分に付2朱返上落掌の旨他) 五十司→慎蔵様	2月29日	横切継紙・1通	え4207-24
(世の中を思ひはかりて「旅人の行来なけれハ…」の短歌) 真綱		横切紙・1通	え4207-25
覚(御手紙など落手の旨書上) 八田本之進(印)→御使中	3月10日	横切紙・1通	え4207-26
(書状、6両1分拝借願) 平三郎→(八田)慎蔵様内用	10日	横切紙・1通	え4207-27
(書状、御内借扶持3ヶ月分御印紙にて頂戴願に付) *勘返状 慎蔵→御四人様		横切紙・1通	え4207-28
(書状、100両証文直しの儀委細御書き入れの旨他) *(端裏書)「三月十七日米倉遣候の回状」 新左衛門→慎蔵・平三郎・喜左衛門・俊平・三省・兵助	3月16日	横切継紙・1通	え4207-29
(書状、参着の大坂大東権右衛門面会乞いに付) 良右衛門→慎蔵様	2月30日	横切継紙・1通	え4207-30
覚(御産物方払金50両請取書) のとや富作→御産物方御役所	未3月22日	横切継紙・1通	え4207-31
(書状、昨日産着その外遣わしの品等伺いの旨他) *勘返状 慎蔵→市治様御内々申上	3月4日	横切継紙・1通	え4207-32
(書状、安出産の産着は代料3円余りに付) 源八→御対申上	3月4日	横切継紙・1通	え4207-33
(書状、職務による御笑竹差し上げ御落握の旨) 方太郎→(八田)慎蔵様尊報	正月24日	横切継紙・1通	え4207-34
(書状、塚田氏出金の義近日差し上げの旨他) 直之助→申上	2月14日	横切継紙・1通	え4207-35
(書状、年頭の御祝詞に付) 丸沢新八→御取次中様	正月7日	横切紙・1通	え4207-36
(書状、此分明後日まで御誘引御願などに付) 興逢→御請申上	2月20日	横切紙・1通	え4207-37
(書状、明後15日御名代御参宮めでたく国元へ書状1通御頼み等に付) 清吉拜→慎蔵様	13日	横切紙・1通	え4207-38
(書状、両幅御授却の上落手の旨) 半之丞→慎蔵様	18日	横切紙・1通	え4207-39
(書状、御印形9ッ預り学校にて調印の旨他) 才太郎→八田様御答	2月朔日	横切継紙・1通	え4207-40
(書状、今日米俵売払のため両札・歩札にて5両金御時借願などに付) 専鏡千里→慎蔵様内事	2月4日	横切紙・1通	え4207-41
(書状、唐寅書一幅落掌の旨御報に付) 玄道→(八田)慎蔵様御報	7日	横切紙・1通	え4207-42
(書状、御同苗官札割合初二三納方の旨) 市治→伊勢町様	2月4日	横切紙・1通	え4207-43
(書状、郡内損毛のため五布の蒲団御下げに付) 三郎治・半之丞→八田様	3月22日	横切継紙・1通	え4207-44
(書状、蚕種規則村方甚だ不都合至極に付御出庁嘆願の旨) 良右衛門→慎蔵様	3月19日	横切継紙・1通	え4207-45
(書状、未到着のため歎願書矢会の方差上の旨) 寺町→いせ町様	2月9日	横切継紙・1通	え4207-46

1.内方/17.諸書類/19.明治4年正月中よりの来簡綴

(書状、片田舎御光来伺いに付) 源八→伊勢町様	2月7日	横切紙・1通	え4207-47
(書状、御恵投成し下さる品拝味の上御請の旨他) 良右衛門→慎蔵様	正月24日	横切継紙・1通	え4207-48
(書状、みりん酒2合店の方より願ひ上げたき旨他) 清右衛門→慎蔵様	正月8日	横切継紙・1通	え4207-49
(書状、大幅の義御請に付) 半之丞→(八田)慎蔵様御請	正月元日	横切紙・1通	え4207-50
(書状、陣光輔3幅差上の件御請の旨申上に付) 半之丞→(八田)慎蔵様御□(綴込み判読不能)合可被成下候	4日	横切紙・1通	え4207-51
(書状、去る月差し向き入用筋出来、早速承知の上御返納仕り御礼の旨) 坂本幸右衛門→八田慎蔵様机下	2月12日	横切継紙・1通	え4207-52
(書状、御取立金貸出し及び御懸金調べ願に付) □□[ ]→八田慎蔵様	正月9日	横切継紙・1通	え4207-53
(書状、田鶴助・貞記など学校所印形持参調印の旨) 増彦・富吉→慎蔵様	2月朔日	横切継紙・1通	え4207-54
(書状、過日伺の内々申し上げ候一条明日か明後日か出頭の旨) 良右衛門→慎蔵様	3月2日	横切継紙・1通	え4207-55
(一昨日筆有難き旨書上) 良右衛門→慎蔵様	2日	横切紙・1通	え4207-56
(「白櫻翠柳乱…」の漢詩)		横切紙・1通	え4207-57
(書状、年始の御祝詞申上げたきに付) 近藤六左衛門・同(近藤)興之助→八田慎蔵様	正月2日	横切紙・1通	え4207-58
(書状、野澤3ヶ年護慎免除の後、乱気失敬の次第御仁怒の旨他) 高はし繁三郎→八田慎蔵様御内披	2月28日	横切継紙・1通	え4207-59

1.17.20. 明治5年5月よりの来簡綴

(明治5年5月よりの来簡綴)		綴/(え4203-1~22は一綴)・1綴	え4203
(袋) * (袋上書)「明治五壬申年五月より之来簡入 澹庵子静」		袋・1点	え4203-1
(書状、田畑諸帳面取り調べに付日記帳より書き出し次第委細申し上げの旨)	9月15日	横切継紙・1通	え4203-2
(書状、御兄上様他へよろしく御礼及びこの着物御預けに付) 坂本ひて→八田御姉上様御本人		横切継紙・1通	え4203-3
(書状、手前も盆後より別して悪しく朝から晩まで7,8度起き食事進まずに付) 宅より→おひて殿 金5両添 御元衛	8月3日	横切継紙・1通	え4203-4
(書状、御地吉原様小子の病御心配などへの御礼に付) 坂本拝→八田様	8月11日	横切継紙・1通	え4203-5
(書状、兩人共暮らし方逼迫の体の旨他)	9月21日	横切継紙・1通	え4203-6
(書状、先月の御持長屋焼失へ見舞に付御礼の旨) 坂本九拝→八田様貴下	6月16日	横切継紙・1通	え4203-7
(干鮑50枚代2貫ほか銀9貫2匁受取書) * 前欠 四日市上野屋磯右衛門[印「日本橋四日市上磯」]→上	8月16日	横切紙・1通	え4203-8

(書状、御繁用の御中多勢昇館の件御厚配拝謝の旨他) 坂本幸右衛門→八田慎蔵様貴下	7月2日	横切継紙・1通	え4203-9
(書状、幸右衛門事13日夜はよほど難しき由にて体弱 り病氣昼夜痛みに付) *前欠		横切継紙・1通	え4203-10
覚(金1両借用証文) 八田本之進(印)	申7月4日	横切紙・1通	え4203-11
(書状、幸右衛門死去に付御兄上様御式方様の内御壺 方様御早く御出下さる様願ひ) ひて→御母上様人々 御本人		横切継紙・1通	え4203-12
(書状、幸右衛門儀今朝6ツ時死去の訃報に付) 坂本龜 之助→八田慎蔵様	9月3日	横切紙・1通	え4203-13
(書状、新聞にて1昨22日西国筋不穩に付鎮撫の風聞の 旨他) 竹山町→伊勢町様内密御内披	5月念5日	横切紙・1通	え4203-14
(書状、折柄少々風邪の体にて、家事才右衛門傳右衛門 両人立ち入り相談の旨他) 鐵治郎→御兄上様	9月13日夜	横切継紙・1通	え4203-15
(書状、昨日は大酔不敬至極に付) 良右衛門→八田様御 受	8月3日	横切紙・1通	え4203-16
(書状、御造蔵御年限明けに付家事倅へ相続いたし 御返金を願う旨) 杭瀬下之(色部)義太夫→八田慎三様	8月2日	横切継紙・1通	え4203-17
(書状、去る午年御年賦御割合並びに未年分共御下げ 金願ひに付) 善三郎・甚右衛門→慎蔵様申上	7月12日	横切紙・1通	え4203-18
(書状、注文の筆2種のうち1種200疋の分差し送るに 付) 海老屋定八→関田様	4月3日	横切継紙・1通	え4203-19
(書状、唐筆1包み数十本差し上げに付) 莊助	7日	横切紙・1通	え4203-20
(得膳1本銭220文ほか計720文金銭書上)		横切紙・1通	え4203-21
覚(久光筆5枝1貫500文ほか筆4種計3貫260文受取書) [印「鳩居堂」]→海老屋様	4月3日	横切継紙/(下 げ札あり)・1通	え4203-22

## 1.17.21. 明治5年10月よりの来簡綴

(明治5年10月よりの来簡綴)		綴/(え4197- 1~15は一綴)・ 1綴	え4197
(袋) * (袋上書)「明治五年壬申年十月中より来簡 澹庵子 静」		袋・1点	え4197-1
(大根ねつき3束代金3朱他ノ6両1分3朱金銭書上) 西 寺尾新十郎→八田様御内御役人中様	明治5壬申年10月22日	横切紙・1通	え4197-2
(書状、御年貢初納取立の節一同役人ばかりにて間数 反畝改め、当分役元掛りとなりし事他) 哲治郎→御 兄上様	10月15日	横切継紙・1通	え4197-3
覚(漬物料金1両1分落手に付) 八田本之進(印)	申10月10日	切紙・1通	え4197-4
(金1両3分9匁9分金銭書付) 八田慎蔵	明治5壬申年10月15日	小切紙・1通	え4197-5
(金3分12朱4分5厘金銭書付) 八田	9月27日	小切紙・1通	え4197-6
(書状、鈴木氏一条困り入候事御勘考御願ひ上げも延 引当惑に付) *勘返状 (八田)慎蔵→竹山町様	11日	小切紙・1通	え4197-7

1.内方/17.諸書類/20.明治5年5月よりの来簡綴

(書状、養子の義法会の節御近親出席の上御評決願いたき旨他) 哲治郎→御兄上様	10月10日	横切継紙・1通	え4197-8
覚(白米2斗8升入1俵落手に付) 八田本之進(印)→御使中	申10月10日	切紙・1通	え4197-9
(書状、過日罷出の節借金歎願その後の様子伺いに付) *勘返状 (八田)慎蔵→松山町様	10月11日	横切継紙・1通	え4197-10
(書状、鈴木様より御廻しの25両落手に付) 市治→(八田)慎蔵様	10月14日	横切継紙・1通	え4197-11
扣(画金紙45匁他ノ240匁支払内訳他金銭書上)		横切継紙・1通	え4197-12
覚(白米2斗8升入1俵落手に付) 八田本之進(印)→御使中	申10月30日	切紙・1通	え4197-13
(仙台平1反代金官札11両より差引差し上げ分7両3分金銭勘定書上)		横切紙・1通	え4197-14
(書状、質屋の婚礼に呼ばれしに付朔日までに赤着物借り申したき旨) 坂本ひて→八田御姉上様人々御本へ		横切継紙・1通	え4197-15

1.17.22. 明治5年10月中よりの書状綴

(明治5年10月中よりの書状綴)		綴/(え4179-1~20は一綴)・1綴	え4179
(袋) * (袋上書)「明治五壬申年十月中よりの来状入澹庵子静」		袋・1点	え4179-1
(書状、当五月までの地代面倒なしに済し方申し上げに付) 松山→伊せ町様	14日	横切継紙・1通	え4179-2
(書状、ながなが御不快の御様子にさぞさぞ御心配の事、その方へ一両日の内鉄次郎御参り御承知などに付) 同きな拝→八田御姉上様人々御中	元霜月14日	横切継紙・1通	え4179-3
(書状、金子500両御預り下さる様願いに付) 哲治郎→御兄上様	1月13日	横切継紙・1通	え4179-4
(書状、伝右衛門の中野市中へ見舞い金250両・中野商法社差出金800両など出納の見込み無く、兼ねて願いの250両拝借仕りたきなどに付) 哲治郎→御兄上様	11月9日	横切継紙・1通	え4179-5
(書状、21日までに金200両御時借仕りたく御伝声による願いに付)	11月10日	横切継紙・1通	え4179-6
当十一月可返分(須坂十二屋浅吉より返済金100両他当11月返済金額及び収入金額書上)		折紙・1通	え4179-7
(書状、角店へ手伝いに参る件御承知下され、角店の方宜しく御頼みに付) 知徳→御兄上様	12月2日	横切継紙・1通	え4179-8
(書状、4・5日の内借用証書持参および利足1割5分御申し置き下さる様願いに付) (八田)鉄治郎→御兄上様	11月18日	横切継紙・1通	え4179-9
(書状、昨日願ひ候2分金御引替の段御廻しに付) 鉄蔵→慎蔵様	1月6日	横切紙・1通	え4179-10
(書状、御家内中皆々御出でに付嫁初め女中17・8人座敷にて対応の旨) 同きな→はつ田御母上様御姉上様人々御中	霜月14日	横切継紙・1通	え4179-11

覚(白米2斗8升入りの1俵落手に付) 八田本之進(印)→御使中	申11月20日	横切紙・1通	え4179-12
(書状、養子催促宜しく御頼み下さる様御願いなどに付) (八田)鉄治郎→御兄上様内用書	11月25日	横切継紙・1通	え4179-13
(書状、此書状井ノ上村迄御通達下さる様申し上げに付) 於松本下横田町正行寺→松代伊勢町八田新蔵様尊下要用	霜月6日	横切継紙・1通	え4179-14
覚(白米2斗8升入りの1俵落手に付) 八田本之進(印)→御使中	酉1月8日	横切紙・1通	え4179-15
覚(ゆず30個屋代より松本まで駄賃200文他ノ400文御払い請取下さるべきに付) 矢代宿中井島会所(印)→菊屋傳兵衛殿	11月3日	横切紙・1通	え4179-16
(書状、諸用共延引のため井ノ上坂本氏へまで御達に相成候様御周旋蒙りたきに付) 佐々木正行寺→八田新造様尊下要用	10月7日	横切紙・1通	え4179-17
(書状、過日内願の水上一条御近親様方へ委細御話し下さる様御願いなどに付) *勘返状 雅明→知道様矢失敬以書入御請	11月14日	横切継紙・1通	え4179-18
(書状、御大切の御着物有難く御受け、宜しく御礼御願ひ申し上げなどに付) 坂本ひて→八田姉上様[ ] (綴込み判読不能)	11月14日	横切継紙・1通	え4179-19
(書状、御送りの陶工師六兵衛作急須・茶碗2組の内1組御返し願ひなどに付) 雅明→慎蔵様	11月11日	横切継紙・1通	え4179-20

## 1.17.23. 西 2 月中来簡関係綴

(西2月中来簡関係綴)		綴/(え4048-1~70は一綴)・1綴	え4048
(袋) * (袋上書)「西二月中諸方御到来書状并諸向差出書類元方」 元方		袋・1点	え4048-1
(書状、頭痛に付罷出ず) (八田)喜兵衛→(八田)嘉助様	11月17日	横切紙・1通	え4048-2
(書状、御用に付一兩日中役所等へ出頭願) 大嶋磯右衛門→八田嘉助様	10月26日	横切紙・1通	え4048-3
(書状、御尋も出役後拝顔できず残念などの旨) (大嶋)磯右衛門→(八田)嘉助様	10月20日	横切紙・1通	え4048-4
(書状、難渋のため飯米1俵御差廻し御頼み申したきに付) *勘返状 竹権右衛門→(八田)嘉右衛門様内用事	10月18日	横切継紙・1通	え4048-5
(書状、枇杷の図1枚贈呈などに付) *落款あり 梅兆→山長舎様	霜月12日	横切継紙・1通	え4048-6
(書状、20兩為替証文の通り差上げに付) *勘返状 (八田)嘉助→儀左衛門様	6月12日	堅紙・1通	え4048-7
(書状、御用達土蔵入替へたく土蔵開きに付) (佐竹)周蔵→(八田)嘉助様	11月12日	横切継紙(灰色宿紙)・1通	え4048-8
(書状、御家来へ借入金のことて手紙差し越すよう依頼に付) 喜忠→(八田)嘉助様	12月27日	横切継紙(灰色宿紙)・1通	え4048-9
(書状、いろいろの義に付出張致したくなどに付) (八田)辰三郎→(八田)嘉助様	22日	横切継紙(灰色宿紙)・1通	え4048-10

覚(米・大豆・粃など申年分代金願)		横切継紙(灰色宿紙)・1通	え4048-11
①覚(田畑・染代など上納金受取書)、②覚(金5兩上納金受取書) ①水井忠蔵→与兵衛殿・治助殿、②山崎久右衛門	①天保4巳年11月22日 ②(天保4年)巳4月3日	横切継紙(灰色宿紙)・1通	え4048-12
(書状、買継者尾張より鶴持参、鶴開き配分への感謝などに付) (松木)源八→(八田)辰三郎様	2月4日	横切継紙(灰色宿紙)・1通	え4048-13
書取を以申上候(通船増加のため船乗り規定取極め任せの件伺) 和七・宗弥	正月16日	横切継紙・1通	え4048-14
(敷年銀720匁に定め、かつ規定取極めなど書取伺への返答書) *え4048-14への返答書		小切紙・1通	え4048-15
(書状、土産への礼と昆布代金上納願に付) * (端裏書)「神宮寺挨拶書」(綴込み判読不能)下案 壹通 名判→神宮寺様参人々御中	月	横切継紙・1通	え4048-16
(書状、先年助成の酒などの件伝写願に付) 梅兆→書鳩詞伯足下	2月3日	横切継紙・1通	え4048-17
作方道具調覚 喜左衛門	西正月	横切継紙・1通	え4048-18
覚(杉苗御買入之事等伺書) 喜左衛門	2月	横切紙(灰色宿紙)・1通	え4048-19
覚(筆・墨、紙類など数量書上)		横切継紙(灰色宿紙)・1通	え4048-20
覚(新町屋根板賃7月2日分400文他、金4兩1分2朱余金銭書上) 酒蔵→御買物方		横切継紙・1通	え4048-21
(城詰拝命の旨報告書) 齊藤平太夫→八田嘉右衛門様・八田嘉助様		小切紙(灰色宿紙)・1通	え4048-22
(職人への賄代金8兩3分85文上納報告書)		横切継紙・1通	え4048-23
(田町様へ御礼御伝えの挨拶依頼などに付) はるより→旦那様		横切継紙・1通	え4048-24
覚(作方雇用人別給金付書上) 喜左衛門	西2月	横切紙・1通	え4048-25
(書状、初吉耕作頭取役申付兼ねに付5人の内より選定の旨伺い)	2月2日	横切紙・1通	え4048-26
(書状、改年の御祝詞に付) 柳田右衛門→八田嘉右衛門様・八田嘉助様人々御中	正月2日	横切紙・1通	え4048-27
(書状、取立金未上納の村方より取り集めに付調帳仕立て勘定願) 藤吉→(八田)嘉助様	2月2日	横切継紙・1通	え4048-28
(頼に尊来の可否伺書) (岡野)陽之助→(八田)嘉助様	3日	横切紙・1通	え4048-29
(天保5年12月6兩3分銀5分6厘元利他差引、金6兩2分1匁7分3厘金銭書上)	申11月	横切紙・1通	え4048-30
覚(石州公短冊・掛物箱代手合金受取書) 表柴町長兵衛→菊屋勝之助殿	西2月2日	横切紙・1通	え4048-31
(書状、通帳差上に付) *勘返状 (八田)嘉助→守之丞様		横切継紙・1通	え4048-32
(書状、錢別への御礼などに付) 藤左衛門→(八田)嘉助様	正月22日	横切紙・1通	え4048-33
(書状、酒頂戴への礼などに付) 柴丁上より→勝之助様	2月19日	横切継紙・1通	え4048-34

(書状、年始の御祝詞に付) 森村彦兵衛様→八田嘉右衛門貴答	正月20日	横切紙・1通	え4048-35
(書状、額面注文書の使用樹木の件問合せに付)	2月24日	横切紙・1通	え4048-36
(書状、祝儀の御肴進上に付) 堀内楯一郎泰礼(花押)→八田嘉右衛門様参人々御中	2月22日	横切紙・1通	え4048-37
覚(初吉金2両2分他給金付人足金銭書上)		横切継紙・1通	え4048-38
(祖母病氣に付死去通知状) 小野紋平→八田嘉助様	正月28日	小切紙・1通	え4048-39
(書状、玄米40俵取次、証文は私へ送付願) 春日儀左衛門→八田嘉助様	2月27日	小切継紙・1通	え4048-40
覚(店方多助ほか雇人書上)		横切継紙・1通	え4048-41
書取案詞(酒造方・耕作方など支配人・雇用人への申渡書) *下書		横切継紙・1通	え4048-42
覚(申7月12日取替金2両など金銭書上)		小切紙・1通	え4048-43
(仕入方入用米に古米交ることに付伺書) 米方	2月17日	小切紙・1通	え4048-44
覚(金100両受取、通帳へ付置き引替の旨) 八田嘉助(印)→木町清重	天保8酉年2月10日	小切紙・1通	え4048-45
(書状、不作に付府内など米払底など酒造への影響ほか情勢報告) 烏左衛門→(八田)嘉右衛門様・(八田)嘉助様	正月10日	横切継紙・1通	え4048-46
飯山初拾俵(値段勘定書)		小切継紙・1通	え4048-47
(書状、この者へ130両渡し願) (八田)辰三郎→(八田)嘉助様	2月10日	小切継紙・1通	え4048-48
(挨拶状) *反古		小切紙・1通	え4048-49
(八幡3ヵ村村別石高書上)		小切紙・1通	え4048-50
(嘉左衛門へ引き渡し酒造方勘定御免願などに付) (関田)守之丞→(八田)嘉助様	正月29日	横切継紙・1通	え4048-51
(書状、御賢父春日氏内談の儀延引などに付) (関田)守之丞→(八田)嘉助様	10月9日	横切継紙・1通	え4048-52
(20両時借願書) (八田)辰三郎→(八田)嘉助様	10月9日	小切紙・1通	え4048-53
(書状、送付の案文を以て野中へ申談の旨) (関田)守之丞→(八田)嘉助様	10月12日	横切継紙・1通	え4048-54
(書状、67両2分をこの者へ御渡し願) (八田)喜兵衛→(八田)嘉助様	10月朔日	横切紙・1通	え4048-55
(書状、下案の方は後刻差上などに付) 嘉兵衛→(八田)嘉助様	晦日	横切紙・1通	え4048-56
(書状、むりな手段にて用立に付返済金高利の旨) 大嶋儀右衛門→八田嘉助様	10月6日	横切継紙・1通	え4048-57
(書状、昨夕の持て成しへ感謝など) 梅兆拝→山長舎様机下	霜月7日	小切継紙・1通	え4048-58
(書状、御壽声への謝辞など) *紙背に落款付 梅兆拝→山長舎様足下	11月14日	小切紙・1通	え4048-59
(書状、内談の1俵ほか未だ決着なしに付油断無く催促の旨) 惣之進→(八田)嘉右衛門様	10月19日	小切継紙・1通	え4048-60

1.内方/17.諸書類/23.酉2月中来簡関係綴

(書状、会所へ差出の鶴御配分に付) 権右衛門→(八田)嘉助様貴酬	2月3日	小切紙・1通	え4048-61
(扶持米20俵請取に付書付) (関田)守之丞→(八田)嘉助様	2月4日	横切紙・1通	え4048-62
(書状、会所へ染料上納願に付) 十助→(八田)嘉助様	12月27日	横切継紙・1通	え4048-63
覚(正月分32130人他ノ33191人施行人数書付)		小切継紙・1通	え4048-64
(縫り話しの件急ぎに付内慮伺の旨書付) *4048-65・66の間に「八田嘉助様へ」という切封断簡あり したためへ申上→(八田)嘉助様	12月12日	横切紙・1通	え4048-65
(書状、歳暮の御祝詞及び銀への返答等に付) 源左衛門→(八田)嘉助様尊貴酬	正月16日	横切継紙・1通	え4048-66
覚(文政7年12月元金15両他貸借金元利金勘定帳)	文政7申年12月～文政12丑年2月以降	横長半・1冊	え4048-67
天保八丁酉略暦 江戸暦開板所鱗形屋小兵衛(朱色落款)	(天保8年)	横切紙・1通	え4048-68
(南組名左衛門違作に付借財など難渋のため金子貸与手段の件伺書) 勝之助	2月	横切継紙・1通	え4048-69
(書状、別封森家より差し上げの1封書他に付)		横切継紙・1通	え4048-70

1.17.24. 酉 3 月中諸方御到来状并諸向差出書類綴

(酉3月中諸方御到来状并諸向差出書類綴)		綴/(え4117-1～62は一綴)・1綴	え4117
(袋) * (袋上書)「酉三月中諸方御到来状并諸向差出書類元方」		袋・1点	え4117-1
(大瀬御袋様より御預りの御封書御落手の書付) (八田)嘉助→(八田)嘉右衛門様	正月3日	横切紙・1通	え4117-2
(書状、山崎へ茶器御頼みの願いに付) (岡野)陽之助→(八田)嘉助様内用	3月29日	横切紙・1通	え4117-3
(水井忠蔵よりの1本受取書) 菅沼弥惣右衛門→八田嘉助様	3月29日	横切紙・1通	え4117-4
(旧臘御内々御縫りの件御請に付申上書) 橋本茂左衛門		横切紙・1通	え4117-5
(書状、御示諭のため保科村諏訪明神社家竹内家と保科の郷6ヶ村産神の争論状況申し上げ候様御願い等に付) 梅兆拝→書鳩様御直披覧	卯月2日	横切継紙・1通	え4117-6
覚(御鑑札頂戴人別1415人など人数書付) 左竹	12月27日	横切紙・1通	え4117-7
(書状、忝富永清右衛門婚姻御祝いに対する御礼挨拶の旨に付) 富永諫→八田嘉右衛門様八田嘉助様入々御中	3月7日	横切継紙・1通	え4117-8
(書状、私家嘉年のため御休意の旨年始の御祝詞として申し上げに付) 与兵衛→(八田)嘉右衛門様(八田)嘉助様	正月11日	横切継紙・1通	え4117-9
(書状、酒1樽御繰り合わせ不可能の場合5升差し上げの旨御承引御願いに付) *勘返状 (八田)嘉助→松山丁様		横切継紙・1通	え4117-10



(書状、糸1揚半1兩日中差上願に付) 源左衛門→(八田)嘉助様内用	3月24日	横切紙・1通	え4117-11
覚(立木伐取代銀2朱他メ金6兩1分2朱錢216文金銭書上)		横切継紙・1通	え4117-12
(書状、金6兩1分2朱錢216文落手の旨報告に付) 淨福寺→八田嘉助様	3月2日	横切継紙・1通	え4117-13
(作徳・飯山年賦金を巡る田野口村と岩村田御領村々の争論に関する書付)		横切継紙・1通	え4117-14
(書状、2月28日及び3月3日粥頂戴人数御書上認め御渡しに御頼みに付) 孝助→(八田)嘉右衛門様	3月4日	横切継紙・1通	え4117-15
(書状、差懸り入用のため借入金10両から2兩2分御内借願に付) (岡野)陽之助→(八田)嘉助様	3月6日	横切継紙・1通	え4117-16
御借入金証文之事(借入金10両、10年賦、年利1割2分、引当家屋敷、借用証文雛形) *雛形 借用人たれ親類たれ組合たれ		横切継紙・1通	え4117-17
(御時借の返済金2兩2分受取に付申上書) (岡野)陽之助→(八田)嘉助様金子添	3月10日	横切紙・1通	え4117-18
(田町の改小作入34俵2斗他メ65俵4斗6升の小作米書付)		横切紙・1通	え4117-19
(書状、今日小納戸早引のため明日御鷹の雁上納仕たく申上に付) 拝借掛→八田嘉助様	3月11日	横切継紙・1通	え4117-20
(妹と松平伊賀守御家来桂四郎兵衛縁組の願書断簡) 八田慶助→八田嘉右衛門様・八田嘉助様		横切紙・1通	え4117-21
(書状、引越の餞別に対する御礼申上に付) 与兵衛→(八田)嘉右衛門様・(八田)嘉助様	2月24日	横切紙・1通	え4117-22
(書状、拝命の小納戸詰番として用意次第出府の御知らせに付) 大嶋富作→八田嘉右衛門様・八田嘉助様	3月13日	横切紙・1通	え4117-23
(書状、例年のとおり来たる18日水職講修行の旨御知らせに付) 恵明寺鑑司→八田嘉右衛門様	3月16日	横切紙・1通	え4117-24
口上覚(今年凶作による御救粥不足のため、差し上げ米取り成しの頼みに付) *え4117-31・32関連文書	12月	横切継紙・1通	え4117-25
(書状、当表嘉年のため御休意の旨年始の御祝詞として申上に付) 紀伊国屋利八→八田嘉右衛門様	正月2日	折紙・1通	え4117-26
(書状、箔細工のため差し上げの額面早々御下ケ願に付) 楠庵拜上→山長舎大君玉几下	3月7日	横切紙・1通	え4117-27
覚(大豆3石等書付)	3月	横切継紙・1通	え4117-28
覚(中町平兵衛店南方壁などの注文・西木町弥三郎店床普請願など御伺書) 喜左衛門	3月17日	横切継紙・1通	え4117-29
(書状、此程仰せ蒙り候紙差上願に付) *勘返状 (八田)嘉助→(小野)肇様	3月23日	横切継紙・1通	え4117-30
口上覚(今年凶作による御救粥不足のため差し上げ米願いの旨内々申し上げに付) *え4117-25・32関連文書 八田嘉右衛門	3月	横切継紙・1通	え4117-31
口上覚(今年凶作による御救粥不足のため差し上げ米願いの旨内々申し上げに付) *え4117-31の下書/え4117-25関連文書 八田嘉右衛門	3月	横切継紙・1通	え4117-32

1.内方/17.諸書類/24.酉3月中諸方御到来状并諸向差出書類綴

覚(御免通船1艘借用に付頼一札) * (端裏書)「通船借用人より頼一札此段之志哉○乍去御一船二而も一札受取可申○方可然存候事」 船借用人→船元殿		横切紙・1通	え4117-33
規定書之事(御免通船1艘借用に付) * 下書		横切継紙・1通	え4117-34
通船御拝借規定書之事(通船借用年数3年、規定書合金5両、船式金3月より12月まで1ヶ月銀72匁支払) * 雛形		横切継紙・1通	え4117-35
(書状、御粥頂戴今月限り来月中御入料配布の旨私より通達の件承知に付) 矢野倉惣之丞→八田嘉右衛門様	3月24日	横切継紙・1通	え4117-36
(書状、大坂の騒ぎ大なる事承知などに付) * (端裏書)「嘉助様江」 嘉膳→(八田)嘉助様	3月25日	横切継紙・1通	え4117-37
当時岩村田相場小諸右同断百文ニ付(岩村田小諸相場書付)	酉2月	横切紙・1通	え4117-38
(書状、石州様御筆真偽の件御礼延引など申し上げたきに付) 関田守之丞→竹長傳様几下	6月4日	横切継紙・1通	え4117-39
(書状、石州様御筆の義小林善蔵様へ詳細御命じの件承知などに付) 竹内長傳→関田守之丞様御請	2月26日	横切継紙・1通	え4117-40
(書状、先般御送りの御短冊の件別紙書状で詳細申し上げなどに付) 善蔵→守之丞様	3月3日奉賀	横切継紙・1通	え4117-41
(軸物小林善蔵へ御渡し of 件申上書) 竹内		横切紙・1通	え4117-42
(書状、御一軸之義委細竹内氏書状にて承知に付) 善蔵→守之丞様	3月10日	横切継紙・1通	え4117-43
(書状、石州様の件に付) 深美寿→横山宗和様御包相添	2月27日	横切継紙・1通	え4117-44
(書状、足痛み所のため地所改の義一兩日御用捨願いに付) (関田)守之丞→(八田)嘉助様	3月24日	横切紙・1通	え4117-45
(書状、酒1斗にても5升にても何分御願いに付) (八田)喜兵衛→(八田)嘉助様	24日	横切紙・1通	え4117-46
無扨書取を以御縋奉申上候御事(5ヶ年災難・凶作及び当年の飢饉のため、伊勢町様より6兩拝借など何分取統仕りたきに付願書) 御長屋源五兵衛→方丈様御手元	2月	横切継紙・1通	え4117-47
(書状、先達の御書物出来延引に付) 智拝→(八田)嘉助様	3月24日	横切継紙・1通	え4117-48
(中20足7間等書付)		横切継紙・1通	え4117-49
(力石村瀧右衛門婦村書上) * (端裏書)「力石村瀧右衛門婦村書上八田嘉右衛門」 八田嘉右衛門	3月25日	横切紙・1通	え4117-50
覚(牧内村飯焚給金万吉分金1兩2分他ノ8兩金錢書上)	酉3月	横切継紙・1通	え4117-51
(書状、桜酒出来方宜しく代料高値のため私も御配分願いたく申上に付) (岡野)陽之助→(八田)嘉助様	26日	横切継紙・1通	え4117-52
(書状、清野への年始に付) 片羽隠居→伊勢町様	2月10日	横切紙・1通	え4117-53
(母病死御知らせの書付) 鎌原司馬→八田嘉右衛門様	2月朔日	横切紙・1通	え4117-54
(書状、御暇願い来月末御帰り及び孝三郎来月8日頃出立などに付) □右衛門→(八田)嘉助様御請	3月24日	横切継紙・1通	え4117-55

(作方主役外々余事のため作方専一の心得などに付作方改革申渡下案) * (端裏書)「作方申渡下案」/下案	2月14日	横切継紙・1通	え4117-56
(書状、御写料など銭737文差し上げに付) * 勘返状 (八田)嘉助→小野様銭手	3月25日	横切紙・1通	え4117-57
(書状、見舞いの結構なる品受取に対する御礼申し上げに付) (松本)嘉十郎→(八田)嘉右衛門様差置	2月11日	横切継紙・1通	え4117-58
(書状、大塩平八郎の乱首謀者召捕の書付写差し上げに付) 松山町拜→伊勢町様差上置	3月7日	横切紙・1通	え4117-59
(倅莫三郎妻男子出生の旨御知らせの書付) 八田嘉右衛門→長谷川左馬介	正月21日	横切継紙・1通	え4117-60
(書状、御品頂戴の御礼申し上げ及び大坂一条大騒に付) 源右衛門→(八田)嘉助様	3月19日	横切継紙・1通	え4117-61
(書状、明17日まで忌中も明日浄福寺への御出向御約束の通り仕りたきに付) (関田)守之丞→(八田)嘉右衛門様	正月16日	横切継紙・1通	え4117-62

## 1.17.25. 西 4 月中諸方より到来状并申立書類綴

(西4月中諸方より到来状并申立書類綴)		綴/(え4123-1~61は一綴)・1綴	え4123
(袋) * (袋上書)「西四月中諸方御到来状并諸向より申立書類」 元方		袋・1点	え4123-1
(書状、如悟院1周忌来る29日に付28日より29日迄願行到来されたき旨) 元衛→(八田)嘉右衛門様	3月26日	横切継紙・1通	え4123-2
(書状、扶持の義代判にて請取差し上げの旨申し上げに付) (関田)守之丞→(八田)嘉助様	4月4日	横切紙/(下札あり)・1通	え4123-3
(書状、昨日は尊来下され恐れ入り、相願いの掛け物並びに別条御拜として下され確かに落手仕り御礼に付) 白木拜→八田様貴下	4月5日	横切紙・1通	え4123-4
(書状、今夕御立寄如何か御様子伺い奉るなどに付) * 勘返状 嘉助→松山丁様申上	4月12日	横切継紙・1通	え4123-5
(書状、今夕御酒下さるべく参上の所豊村齡輔同伴仕りたきに付) (松本)嘉十郎→(八田)嘉助様御受申上	4月11日	横切紙・1通	え4123-6
覚(7坪筆半明細書上) 松五郎→八田様御内	4月11日	横切継紙・1通	え4123-7
(書状、過刻申し上げの上納金御調べの上御廻しに付) 喜兵衛→(八田)嘉助様	4月16日	横切紙・1通	え4123-8
(書状、金子様へ御咄の所来月2日御来臨に付) 御同然拜→御向様	3月26日	横切継紙・1通	え4123-9
(書状、只今より御蔵方へ罷越し、外懸かりも御出席故、御用御透き次第出張下されたきに付) 喜兵衛→(八田)嘉助様	4月6日	横切紙・1通	え4123-10
(書状、先日中御願いの義御承引下されたく、値引きなど仰せ付けの事は余り無き義にて宜しく御勘弁下さりたきに付) 甚兵衛→御受申上	3月25日	横切紙・1通	え4123-11
(書状、私方出入りの村方金子滞りにて35両拝借に付) 善左衛門→(八田)嘉右衛門様当用	4月7日	横切継紙・1通	え4123-12

1.内方/17.諸書類/25.西4月中諸方より到来状并申立書類綴

(書状、先頃願い上げの御酒当時あり合わせにて内々1升ばかり御貰いたきに付) 喜平太→(八田)嘉右衛門様	4月朔日	横切紙・1通	え4123-13
(書状、大坂騒動・江戸も米値段1両に1斗5升との旨に付) 梅兆拝→書鳩詞様足下		横切継紙・1通	え4123-14
(書状、今般御法会執行にて御香料として青銅30疋と鹿葉御霊備に付) 堀内楯一郎→八田嘉右衛門様	4月22日	横切紙・1通	え4123-15
(書状、今般御法会執行にて家内まで御焼香申すべきの処多難にて御仁免願いに付) 東禮→知蔵様玉床下	4月22日	横切継紙・1通	え4123-16
(書状、差し支えにて金子手段仰せ下されも御断りに付) *本文墨消し 八田嘉右衛門→良性院様貴報	4月12日	横切継紙・1通	え4123-17
(書状、手元金子差し詰まり困窮にて10円金当10月20日迄拝借願いに付) 良性院→八田嘉右衛門様	4月11日	横切継紙・1通	え4123-18
(書状、御送りの風呂敷落手に付) 賢弥→(八田)嘉助様当用	4月14日	横切紙・1通	え4123-19
(書状、昨日も真田君へ内々参り約束の処今晚様子次第明日未明御手伝い申すべきに付) 梅庵→口上御請	4月10日	横切継紙・1通	え4123-20
(書状、御内談願い上げ、是に能々御座候様内諭の御礼に付) 認入申上→いせ町様	4月20日	横切継紙・1通	え4123-21
(書状、小生御厚息の方片付け方申し上げたきなどに付)		横切継紙・1通	え4123-22
(書状、私分御貰い頼母様より申し来たりにて願い上げに付) (岡野)陽之助→(八田)嘉助様御内用	28日	横切継紙・1通	え4123-23
口上覚(当年西木町長屋拝借人共難渋にて申し立て内談の自家賃金倍金として6両5匁宛上納片付けの義延引下さりたきに付)	4月6日	横切継紙・1通	え4123-24
口演(土蔵より鑑札差し出したきに付) 会所		切紙・1通	え4123-25
(書状、借入にて大悦に付) 丸茂賢弥→八田嘉助様	4月25日	横切紙・1通	え4123-26
覚(膳5人前ほか調度品書上)		横切継紙・1通	え4123-27
(書状、代料附等も仰せ下さるようお願い上げに付) (大沢)久慈→(八田)嘉助様	3月23日	切紙・1通	え4123-28
(書状、来月中御帰国の折御事多く、代料宜しく御調べ下さりたきに付) (八田)嘉助→(山崎)久右衛門様	4月24日	横切紙・1通	え4123-29
(書状、下屋敷にても御出勤の竹村家内お呼びの儀尊大人へ御伺い私へも相談に付) (岡野)陽之助→(八田)嘉助様	4月12日	横切継紙・1通	え4123-30
(書状、先達て願いの為替金証文若殿様御発駕の節迄に御遣しなどに付) 久兵衛→(八田)嘉助様	4月18日	横切継紙・1通	え4123-31
口上覚(酒株御免許の儀43本の処1本他へ譲るにて御奉行所御帳面42本に書き替え心得に付) 酒蔵	天保8酉年4月2日	横切紙・1通	え4123-32
御鯨席(献立書上)		横切紙・1通	え4123-33
覚(西木町丸根境之坪繕の事ほか繕い普請申し上げに付) 喜左衛門	4月	横切継紙・1通	え4123-34
(書状、兼ねて願いの蔵入り御掛物の儀この者に願い上げに付) 大沢久慈→八田嘉助様	4月19日	横切紙・1通	え4123-35

(書状、勝之介子の手にて少々の間金子預かりの御頼みなどに付) →御内覧可候被成下候	4月26日	横切紙・1通	え4123-36
(書状、柴町の儀お立寄り願ひにて御伺いに付) 祖輪拝→御請申上候	26日	横切紙・1通	え4123-37
(書状、柴町の儀御内談申したくに付)		切紙・1通	え4123-38
(書状、御太刀など頂戴にて有り難きに付) 周蔵→(八田)嘉助様御請	4月11日	横切紙・1通	え4123-39
(書状、その節願ひの炭灰貰いたきに付) 賢弥→(八田)嘉助様	14日	横切紙・1通	え4123-40
(病身にて御役勤めがたく願ひの通り仰せ付けの旨御知らせ書上) 岩崎四兵衛→八田嘉助様	4月11日	切紙・1通	え4123-41
覚(本写料代金737文他ノ1貫220文取替えに付)		横切継紙・1通	え4123-42
(書状、昨日願ひの糸折り成し下され有り難きに付) 源左衛門→(八田)嘉助様	3月27日	横切紙・1通	え4123-43
(書状、飯米3斗6升入5俵御廻し下さる旨御礼に付) 友作→(八田)嘉助様	2月19日	横切継紙・1通	え4123-44
覚(絹色上1反代金2匁他惣ノ金2両2分2朱ト78文金銭書上)	4月	横切継紙・1通	え4123-45
(書状、御書物御仕立の儀寿一郎殿御頼みにて貴報下されたきに付) 藤五郎→(八田)嘉助様	3月27日	横切継紙・1通	え4123-46
(書状、引き取りの御約束の所相成りがたく明日は天気次第早く引き取りに付) 守之丞→(八田)嘉助様	4月7日	横切継紙・1通	え4123-47
(書状、なによりの両種御送り下され御礼に付) 與兵衛→(八田)嘉助様	3月23日	横切継紙・1通	え4123-48
(書状、行方不明の太七の代りに役頭中へ酒代金3朱差し遣わしに付) 大谷津市之進→八田嘉右衛門様銀三朱添	4月8日	横切継紙・1通	え4123-49
(書状、妹儀引越婚姻相整い有り難く御肴一折進上に付) 馬場丁→伊勢町様	4月13日	横切継紙・1通	え4123-50
(書状、拝借の品御好みにて貴君へ差し上げ申し上げたくに付) 重蔵→書鳩君	5日	横切継紙・1通	え4123-51
(書状、願ひの5円借り受け安心に付) 元伯→(八田)嘉右衛門様	4月23日	横切紙・1通	え4123-52
(書状、返金一部南鐐のため通用差し支え、引き替え願ひたきに付) *勘返状 失敬御用捨奉願候嘉助→守之丞様内用□(綴込み判読不能)奉願候		横切紙・1通	え4123-53
(書状、御両所様へ口入の儀何分この方へ光来願ひに付) 重蔵→遊廻様		横切紙・1通	え4123-54
覚(長さ1丈4尺横8尺栗5寸板代金28匁4分他ノ52匁4分差し上げに付) 平林村弥曾左衛門→伊勢町喜左衛門様	酉4月	横切紙・1通	え4123-55
(書状、今夕御役所引き取りより尊宅へ遣わす旨請合い同伴参拝有り難きに付) (春日)儀左衛門→(八田)嘉助様	4月11日	横切紙・1通	え4123-56
(書状、今日は若君様・家内竹山丁へ罷越し私ばかりにても御立ち寄り下さるようお願いに付) *勘返状 嘉助・陽之助→松山丁様 御ふくと返し上仕候も御達存事	4月10日	横切継紙・1通	え4123-57

1.内方/17.諸書類/25.西4月中諸方より到来状并申立書類綴

(書状、役所早引けにて引き取り難く、明日罷出たく、差し支えあれば後刻伺うべきに付) (岡野)陽之助→(八田)嘉助様	3月20日	横切紙・1通	え4123-58
覚(御布施金100疋ほか奉納に付) 浄福寺納所[印]→八田嘉右衛門様内長嶋源吾様	4月20日	横切継紙・1通	え4123-59
覚(御済米5升ほか奉納に付) 浄福寺納所[印]→八田嘉右衛門様内長嶋源吾様	4月20日	横切継紙・1通	え4123-60
覚(茶入1つ他諸品書上)		横切継紙/(継が外れて別々に綴じられている)・1通	え4123-61

1.17.26. 西 5 月中諸方御到来書帖及び書取類の綴

(西5月中諸方御到来書帖及び書取類の綴)		綴/(え4160-1~82は一綴)・1綴	え4160
(袋) * (袋上書)「西5月中諸方御到来書帖並書取類 元方」		袋・1点	え4160-1
(書状、御引替証文返上御落手成し下さるに付) 嘉助→重之助様	3月27日	横切継紙・1通	え4160-2
(書状、市日買入元帳御渡し請払帳取り調べに付) 会所→(八田)嘉助様	5月朔日	横切紙・1通	え4160-3
(書状、父民之丞病死の御知らせに付) 大塚孝三郎→八田嘉助様	4月25日	横切紙・1通	え4160-4
(他所もの面会御尋ね別紙の通り差出の可否回答願) 産物会所→(八田)嘉右衛門様(八田)嘉助様	4月29日	横切継紙・1通	え4160-5
(書状、法事一件入用御損金分返上御落手成さるべきに付) 陽之助→(八田)嘉助様大□(綴込みで判読不能) 添	5月17日	横切継紙・1通	え4160-6
(1枚位仕間敷哉の旨書付)		横切紙・1通	え4160-7
(書状、御贈りの挽茶有り難たく謝詞の旨申上に付) 界守塔→伊勢町様		横切紙・1通	え4160-8
(書状、完成の刀有り難く罷り出で御礼の旨申上に付) 喜兵衛→(八田)嘉助様	5月13日	横切継紙・1通	え4160-9
(書状、京都の御品出来次第ご案内の書状認め申たき旨など申上に付) 守之丞→(八田)嘉助様	5月17日	横切紙・1通	え4160-10
(書状、御施行人数訂正及び施行3ヶ月分真木塩書き出しに付) 惣之進→(八田)嘉右衛門様・嘉助様	5月16日	横切継紙・1通	え4160-11
(書状、龜茶等差し上げの品御様子伺に付) 嘉助→松山丁様御懸合御口上奉待候	4月22日	横切継紙・1通	え4160-12
覚(八田喜兵衛他からの香奠受取書) 浄福寺納所[印]→前書各々様御使中様	4月22日	横切継紙・1通	え4160-13
(書状、来月の施行粥是までの通り御取り計らいに付) 春日儀左衛門→八田嘉助様	5月晦日	横切継紙・1通	え4160-14
覚(申11月晦日~西5月10日まで非人共人数調べ、23万3496人書上)	5月10日調	横切紙・1通	え4160-15

(書状、為替証文昨夜御廻し請け取りなどに付) 山崎久右衛門→八田嘉助様	5月2日	横切継紙・1通	え4160-16
口上(御新造様御出での節御約束の品差し上げに付)(松木)束→(八田)嘉助様	4月6日	横切紙・1通	え4160-17
(書状、酒御用意できず御預りの新酒差上申すべきか等伺に付) 松山丁→御受	4月	横切継紙・1通	え4160-18
(書状、尊家へ稷差し上げの件尊大人へ御伺い願に付) 松山丁拝→いせ町様	2月	横切継紙・1通	え4160-19
(書状、贈り物天蓼の御返し持参の上御目に懸かりたく申上に付) 民□→桜山君	皐月2日	横切継紙・1通	え4160-20
(書状、御賢父様御覧次第書物返却願に付) 隠居→(八田)嘉助様	29日	横切紙・1通	え4160-21
(書状、病気のため御奉公忤藤左衛門へ家督引き継ぎの御知らせに付) 興津権右衛門→八田嘉右衛門様・八田嘉助様	5月25日	横切継紙・1通	え4160-22
(書状、受払申上帳取調のため市払の方御取極差し急ぎ願に付) 嘉兵衛→(八田)嘉助様	6月朔日	横切継紙・1通	え4160-23
(書状、久兵衛少々不快のため代わりに御屋敷の様子書面にて伺願いに付) 周蔵→(八田)嘉助様	2月9日	横切継紙・1通	え4160-24
覚(当年立ち枯れ格別のため桑直段書上) 喜右衛門	西5月	横切紙・1通	え4160-25
(書状、今日8ッ頃より恣水園へ御出光願いなどに付)*勘返状 山長舎大君→梅菴さま尊答御口上奉願候	6月朔日	横切紙・1通	え4160-26
(書状、馬具師へ申上候事寺丁の方御延引下さるよう仕りたく申上に付) 熊三郎→(八田)嘉助	26日	横切継紙・1通	え4160-27
(書状、茶盆到来の旨拝顔の上御厚礼申し上げなどに付) 陽之助→(八田)嘉助	3月	横切継紙・1通	え4160-28
(書状、今夕阿藤様御誘引延引もいづれ御誘引仕りたく申し上げに付) 陽之助→(八田)嘉助	13日	横切継紙・1通	え4160-29
覚(古図代金2匁3分1厘など品代書き出し)		横切紙・1通	え4160-30
(書状、私道中滞りなく着府の旨御安意成さるべき旨などに付) 藤助→(八田)嘉右衛門様嘉助様	5月10日	横切継紙・1通	え4160-31
御借用証文之事(借用金6両、返済期限天保8年3月、利足1両1ヶ月銀6分掛) →八田嘉右衛門様御内長崎源吾殿	天保7申年12月	横切紙・1通	え4160-32
覚(借用証文断簡、返済期限来たる7月、引当2斗8升入3俵、利足1両1ヶ月銀6分掛)		横切紙・1通	え4160-33
(別紙到来の上則差し上げの件書付)		横切紙・1通	え4160-34
覚(借用証文断簡、利足1両1ヶ月銀6分掛)		横切紙・1通	え4160-35
(12両為替の趣御閑済取り計らいの書状断簡)		横切紙・1通	え4160-36
(内々奉伺書断簡) 八田嘉右衛門→岡島莊藏様		横切紙・1通	え4160-37
(書状、自書御廻し有り難く拝顔の上御礼に付) 喜兵衛→奉復	5月10日	横切紙・1通	え4160-38
(松代より寺尾村小駄賃112文他ノ89貫580文金銭書上)		横切紙・1通	え4160-39

1.内方/17.諸書類/26.西5月中諸方御到来書帖及び書取類の綴

申上(紺屋町政吉持参の品格段の品にも御座無き場合御下げ仕りたきに付)	3月22日	横切紙・1通	え4160-40
(書状、御貸金元利春中未返済の旨飛脚にて申上に付)		横切紙・1通	え4160-41
霊明院様御法事御案内役		横切紙・1通	え4160-42
(書状、霊明院13回忌法事5月執行の御案内に付) * (端裏書)「拾式日」 八田嘉右衛門→堀内楯一郎様		横切紙・1通	え4160-43
(書状、1朱金10両分外金と御引替願いなどに付) 三左衛門→細方御会所様	23日	横切紙・1通	え4160-44
(書状、御願いの上下頂戴有り難き仕合わせのため御厚礼申し上げに付) 十助→(八田)嘉助様	5月11日	横切紙・1通	え4160-45
(書状、昨年来諸国不融通ゆえ江戸表米売買2斗以内のため取続兼ねなど江戸廻米状況申上に付) 為左衛門→(八田)嘉助様	3月15日大賀	横切紙・1通	え4160-46
(書状、此ものへ頂戴御錢7貫文御渡しに付) 八田嘉右衛門→矢野倉惣之進様	12月29日	横切紙・1通	え4160-47
(書状、大丸文七らによる江戸でも仕入方不埒の者御取締願い申し立て等に付) 産物会所懸	5月	横切紙・1通	え4160-48
覚(人足手間代銀30匁など土手普請積御入料書上) 東寺尾村忠兵衛→八田様御内	5月	横切紙・1通	え4160-49
(大丸文七らによる仕入方不埒の者御取締願い申し立て等へ御答えの書付) * え4160-48の関連文書 会所→(八田)嘉右衛門様・辰三郎様・嘉助様	5月11日	横切紙・1通	え4160-50
(書状、両法帖の日当存外少なく実々当惑仕り御憐慈絶上に付) * (端裏書)「度々申上御面倒恐入候」	4月28日	横切紙・1通	え4160-51
覚(赤倉御抱屋敷御長屋潰れのため御取方付御伺願) 喜左衛門	4月28日	横切紙・1通	え4160-52
(書状、東河原の金蔵と申す者大工手伝いの件他申し上げたきに付) * 勘返状 嘉助→松山丁様	5月8日	横切紙・1通	え4160-53
(書状、産物代為替江府への御印書金高取調2255両1分2朱2匁4分1厘御確認に付) 御金掛→八田嘉兵衛様・八田嘉助様	5月18日	横切紙・1通	え4160-54
(書状、先祖信之公より頂戴の御朱印賜り有り難きに付) 与兵衛→(八田)嘉右衛門様・嘉助様	4月18日	横切紙・1通	え4160-55
(西4月24日立田元伯老へ金5両貸金の印書の書付)		横切紙・1通	え4160-56
(書状、金5両返上も先頃拝借分今少々拝借願いなどに付) 元伯→(八田)嘉右衛門様	5月20日	横切紙・1通	え4160-57
(「図書殿・兵衛殿」など名前並びに樽代金書き出し)		横切紙・1通	え4160-58
(書状、3斗6升入1俵差し上げに付) 守之丞→(八田)嘉助様	5月10日	横切紙・1通	え4160-59
(書状、粥御下しの期間御含内々御洩らし成し下さる様仕度に付) 孝助→(八田)嘉右衛門様	2月26日	横切紙・1通	え4160-60
(書状、当年新穀給わる状況故気の毒至極・悪しき風邪天災恐れ入りに付) 梅兆拜→書鳩詞伯□□床下	5月12日	横切紙・1通	え4160-61
(書状、昨日持参の麦空殿朝飯に間に合わず御免の旨などに付) 松山丁拜→若いせ町様差上置	4月26日	横切紙・1通	え4160-62



(書状、かす漬御ねだり申上たきに付)		横切継紙・1通	え4160-63
(書状、願いの天蓼大悦存じ伊勢町へも下されたく御頼みに付) 民衛→桜山君拝報	4月26日	横切継紙・1通	え4160-64
(書状、馬喰町御扶持の内請取願に付) *勘返状 (八田)嘉助→守之丞様通帳并印書入	5月10日	横切紙・1通	え4160-65
(書状、霊明院様13回忌御法事招待の件参上の上御礼申上に付) (大林寺)祖輪→嘉右衛門様	4月20日	横切紙・1通	え4160-66
(書状、例の水1升御廻し代料差し上げに付) 喜兵衛→(八田)嘉助様銀三匁三分添	5月9日	横切紙・1通	え4160-67
(書状、大丸店文七罷越候段伺いに付) 八田辰三郎→松本源八様	5月4日	横切紙・1通	え4160-68
(書状、昨日御文下され有り難く仰せの通りなどに付) うへより→御おは、うへ殿御返事申上		横切継紙・1通	え4160-69
(書状、5両拝借願いに付) (立田)元伯→(八田)嘉右衛門様	4月23日	横切継紙・1通	え4160-70
(書状、大丸一条下案御添削早速御伺下さる様御勘考などに付) 三右衛門→(八田)嘉助様貴酬	8月	横切継紙・1通	え4160-71
(書状、御差懸り御用の御様子内々伺い願いに付) 松山丁拝→(八田)嘉助様申上	5月23日	横切継紙・1通	え4160-72
(書状、世中騒敷しく心配、山中方病人等出来の由麤食ゆえ存じ候などに付) 嘉膳→(八田)嘉助様	5月7日	横切継紙・1通	え4160-73
(書状、疫病流行など季候悪しく其御地の麦豊熟祈願・国産方忙しく外出も出来ず帰国来月半頃出立などに付) 与一右衛門→(八田)嘉右衛門様	4月25日	横切継紙・1通	え4160-74
(書状、町方町外極難の者へ下さる銭300貫文当座切手による受取禁止の旨承知に付) 矢野倉惣之進・菊池孝助→八田嘉右衛門様	4月11日	横切継紙・1通	え4160-75
覚(去12月中町方町外極難渴きの者へ下さる銭300貫文など、銭307貫文領取書) 八田嘉右衛門→矢野倉惣之進殿・菊池孝助殿	天保8酉年正月	横切継紙・1通	え4160-76
(書状、御調書の通り150俵玄米にて差出の旨御内談に付) *え4160-77~82は関連文書 惣之進→(八田)嘉右衛門様専用	5月11日	横切継紙・1通	え4160-77
(書状、白米43石7升玄米にて差出の有無伺に付) *え4160-77~82は関連文書	11日	横切継紙・1通	え4160-78
覚(正月より3月29日迄白米渡高内訳書き出し) *え4160-77~82は関連文書		横切継紙・1通	え4160-79
(1~3月白米渡高、43石7升書上) *え4160-77~82は関連文書		横切継紙・1通	え4160-80
(書状、御施行米御調書差越し下さるなどに付) *え4160-77~82は関連文書 惣之進・孝助→(八田)嘉右衛門様・嘉助様尊下	5月12日	横切継紙・1通	え4160-81
覚(当正月4日より三月晦日迄の粥施行入料書上) *雛型/え4160-77~82は関連文書 八田嘉右衛門	西5月	横切継紙・1通	え4160-82

## 1.17.27. 西 6 月中諸方よりの到来状・雑書等綴

(西6月中諸方よりの到来状・雑書等綴)		綴/(え4119-1~40は一綴)・1綴	え4119
(袋) * (袋上書)「西六月中諸方御到来状並書類其外雑書類同七月中之分共入 元方」		袋・1点	え4119-1
(書状、先刻申し上げたはいの儀、3・4ヶ所心当たりの所承るに付) 熊三郎→(八田)嘉助様	26日	横切継紙・1通	え4119-2
(書状、御談仕り候御貸し下げ金180両御都合次第御請け取りに付) 彦左衛門→(八田)嘉助様	6月10日	横切紙・1通	え4119-3
(書状、この程少々差支える所、柏崎米にても何分請取たきに付) * 勘返状 (八田)嘉助→守之丞様通帳入	6月9日	横切紙・1通	え4119-4
(書状、数日拝借分の金子改めて御受取成し下さるべきなどに付) 陽之助→(八田)嘉助様金三両添	6月23日	横切紙・1通	え4119-5
(書状、旅宿で請取るべき100両の内、野田屋平助調達出来ず河内屋宗左衛門分他72両余のみ持参に付)		横切継紙・1通	え4119-6
(書状、昨夕罷り出でる御礼申し上げなどに付) 熊三郎→奉復	26日	横切紙・1通	え4119-7
(書状、嘉右衛門様へ願いの御通帳御貸し下され有難きに付) (関田)守之丞→(八田)嘉助様	7月22日	切紙・1通	え4119-8
(書状、御嘶しの守家の御一刀並びに政光の御刀大助拝見願に付) 忠兵衛→(八田)嘉助様	6月24日	横切紙・1通	え4119-9
(書状、竹熊より酒1升2・3合切のところ3・4升遣わし5升入れて下さるようお願いに付) 陽之助→(八田)嘉助様	14日	横切紙・1通	え4119-10
(書状、御借借金40両御日延願いに付) 新地村山崎和吉→松代高井善左衛門様処用御報	7月12日	横切継紙・1通	え4119-11
(書状、佐市の御中借金半分差遣わし、残り半分別才覚にて御貸し渡し願いに付) (八田)喜兵衛→(八田)嘉助様	6月10日	横切紙・1通	え4119-12
(一物珠光の文など茶道具書付)	正月11日	横切継紙・1通	え4119-13
(書状、御内々に御目利き願ひ上げたく、一寸御光来成願いに付) 松山丁拝→若いせ町様内用	2日	横切紙・1通	え4119-14
(書状、暑中見舞い) 七左衛門→(八田)嘉右衛門様・(八田)嘉助様	6月20日	横切継紙・1通	え4119-15
覚(未9月元金30両の分3口利金メ6両1分余り金銭書上)		切紙・1通	え4119-16
御借借金証文之事(金30両御借用仕るに付) * 雛形何所借用主たれ・請人たれ→八田嘉右衛門様御内御役人中様	天保8酉年5月	横切紙・1通	え4119-17
(書状、私の方へ岩下の縁女14日頃到着、岩下へ遣わしの節御駕籠拝借願いに付) 陽之助→(八田)嘉助様内用	12日	横切継紙・1通	え4119-18
(書状、昨日一寸御覧に入れ置き候軸物差し上げ申すに付) 陽之助→(八田)嘉助様	朔日	横切紙・1通	え4119-19

(書状、御送りの印書落手仕る旨御知らせに付) 浄福寺→伊勢町八田嘉助様	7月8日	切紙・1通	え4119-20
口演(勘兵衛子息と明日御茶屋にて俳諧開催如何の旨御返事願に付) 湧泉亭→八田御主君様	6月3日	横切紙・1通	え4119-21
(書状、孫吉不快のため、この品召し上がりになるか存ぜざるも献じるに付) (八田)慶助→(八田)嘉助様	7月6日	横切紙・1通	え4119-22
(書状、差し掛かりまゆ御引当にて100両余り御貸し下げ金願いに付) *勘返状 (八田)嘉助→寺町様用事	6月9日	横切紙・1通	え4119-23
(書状、中元御祝いとして御肴1折進上致すに付) 堀内楸一郎→八田嘉右衛門様参人々御中	7月15日	折紙・1通	え4119-24
(書状、母義病死の旨御知らせに付) 野村善五右衛門→八田嘉右衛門様・八田嘉助様	6月13日	切継紙・1通	え4119-25
(書状、和尚孫右衛門その他印書7通御印書2通手紙3通落手に付) (関田)守之丞→(八田)嘉助様	7月13日	横切継紙・1通	え4119-26
(書状、何卒2両2分拝借仕りたきに付) 寺町佐兵衛→伊勢町様	7月10日	横切紙・1通	え4119-27
寛(穀屋4人分金24両2分3匁9厘など他、差引金13両2分2朱銀6匁4分3厘金銭書上)		横切継紙・1通	え4119-28
(書状、暑中見舞い及び結構な御品頂戴の御礼に付) 太泉→(八田)嘉助様申上	6月25日	横切継紙・1通	え4119-29
(書状、御内々願ひ奉る品明後朝の内茶席まで下し置かれる様願うに付) 一泡庵拝→書鳩様	朔日	横切紙・1通	え4119-30
(書状、御茶箱間違いの由委細御承知に付) 竹花勘兵衛→前観音院様	4月23日	横切紙・1通	え4119-31
(書状、梅庵子の挨拶の事数右衛門の御達声有難く仰せの如く取り計らいなどに付) 梅兆拝→書鳩詞君・山長舎詞君玉机下	晩夏7日	横切継紙・1通	え4119-32
(書状、この両種貰う所、御覧に入れられ、御一笑成し下されるべきに付) 陽之助→(八田)嘉助様	6月4日	横切紙・1通	え4119-33
(書状、彦兵衛より差出した両種御廻しに成し下され、御預かり申し置くに付) (八田)喜兵衛→(八田)嘉助様	6月9日	横切継紙・1通	え4119-34
(書状、昨日7斗2升拝借の分は滞り無く相渡す所、御承知下される様願ひ奉るに付) 友作→(八田)嘉助様	7月3日	横切継紙・1通	え4119-35
(書状、先達て御抱屋敷へ御入りの際、御茶器上箱差出の件この方心当たりも無きに付) 竹花勘兵衛→八田嘉右衛門様	4月22日	横切紙・1通	え4119-36
(書状、この程の御恩へ御礼暑中お見舞い旁申上に付) 嘉膳→(八田)嘉右衛門様・(八田)嘉助様	6月23日	横切継紙・1通	え4119-37
(書状、昨日までに差引勘定済みの処、一向に沙汰無く如何か承りたきに付) 中町より→書鳩君	21日	切継紙・1通	え4119-38
(書状、差し上げた伺書御覧済みの場合、御下げ下されたきに付) 会所→(八田)嘉助様		切紙・1通	え4119-39
(書状、差出された御書上人数書不調法のため今一枚遣わし願ひに付) 孝助→(八田)嘉右衛門様	7月13日	横切紙・1通	え4119-40

## 1.17.28. 西極月中諸方到来状綴

(西極月中諸方到来状綴)		綴/(え4204-1~50は一綴)・1綴	え4204
(袋) * (袋上書)「西極月中諸方到来状 元方」		袋・1点	え4204-1
覚(御目録金2両・御肴1尾・御手紙1通歳暮祝儀受取書) 立田玄道内綿内部[印]→御使中	西12月28日	横切紙・1通	え4204-2
以書面御内々奉伺候(書状、私義是迄取り計らい向き一々不行き届き、追々大借罷り成るに付) * (端裏書)「不用」/朱書草案		横切継紙・1通	え4204-3
覚(御目録附金200疋・御手紙1通預かり書) 阿藤賢逸内松田文庵(印)→御使中	12月28日	横切継紙・1通	え4204-4
(書状、浄福寺和尚在府中入用相増し、金25両取替差し上げる旨他) 孝三郎→(八田)嘉助様	6月25日	横切継紙・1通	え4204-5
覚(青銅50疋受取書) 島田長庵内神田寿甫(印)・堀内桂齊[印]→御使中	極月28日	横切紙・1通	え4204-6
(書状、柳八よりの金20両にても是非拝借仕りたく繰り合わせ願いに付) 喜兵衛→(八田)嘉助様	6月5日	横切継紙・1通	え4204-7
覚(2月22日金1両2分賄代上納の内悪金の分ほか3件金子早速上納に付) 元方→酒蔵方	11月	横切紙・1通	え4204-8
(書状、田中御寺御差引の義勘弁仕り惣代へ御手の方より仰せ述るに付)	10月6日	横切継紙・1通	え4204-9
(書状、醤油方大釜破損に付新規鑄立て代金6両1分程かかり御賢考の旨) * (端裏書)「醤油店之儀申上 元方」元方	12月	横切継紙・1通	え4204-10
覚(醤油方大釜について3石2斗、3尺2寸金6両1分余ほか1点大坂成大極上磨鑄立代金見積書) 上田半田八郎右衛門(印)→松代松井平兵衛様・南原佐十郎様	4月14日	横切紙・1通	え4204-11
(書状、金15両明後13日5ツ時過ぎまで内借り願うに付) 周蔵→(八田)嘉助様	7月11日	横切継紙・1通	え4204-12
(書状、時借りの金5両先月下旬に返済のところ延日仕り、差し上げ奉り落手下されたき旨) 田中邑浄福寺→伊勢丁八田嘉助様	7月7日	横切紙・1通	え4204-13
(書状、江戸表御礼も首尾能く御申し上げに付御祝成し下され有り難き旨) 啓之助→伊勢街様	7日	横切継紙・1通	え4204-14
(書状、茶事遊興に溺れ居り候様御聞きの委細口上にて申し上げに付) * (端裏書)「三右衛門様江及御挨拶候趣意」	何月	横切継紙・1通	え4204-15
覚(御同氏慶助殿より御扶持書入御借用の方へ金1両1分余返金受取書) 守之丞	12月23日	横切紙・1通	え4204-16
(書状、御手元へ差し置く甚右衛門等の書の印書御写し下され度に付) 申上 →一泡御庵主様 当用	12月27日	横切紙・1通	え4204-17
口上覚(私儀先年より不束の申立仕り差扣え関田守之丞をもって何う旨) 八田嘉右衛門→金児丈助様	12月25日	横切紙・1通	え4204-18
(書状、右1軸何方までも御請合に付) 唱→(八田)嘉右衛門様	12月28日	横切継紙・1通	え4204-19

(書状、去々年中恩借返上の儀去年来一統差詰まり別紙有所証文にて御受取成し下さる様に付) 大鋸町→伊勢町様 内用	27日	横切継紙・1通	え4204-20
(書状、今日下がり明日に相成る哉計り難きに付) 伝蔵→(八田)嘉助様	12月27日	横切継紙・1通	え4204-21
(書状、おやす殿御ふち方金4両2朱余御落手成しくださる旨) 介作→(八田)嘉右衛門様 金子鳥目添	12月25日	横切紙・1通	え4204-22
(書状、明日昼頃まで50金御時借御繰り合わせ願うに付) 貞蔵→勝之助様	29日	横切継紙・1通	え4204-23
(書状、御礼金24匁上納御入手の旨) 佐久間拜→伊勢町様	大20日	横切継紙・1通	え4204-24
(書状、歳暮として目録の通り御肴代金500疋頂戴礼状) 藤吉→(八田)嘉右衛門様御請	12月28日	横切継紙・1通	え4204-25
(書状、御斎米・御歳米その外種々御恵み下され御供養に付) 浄福寺→御請	臘晦	横切継紙・1通	え4204-26
覚(無尽御懸金3両2朱預り証文) 長谷川善兵衛→八田嘉助殿	西12月24日	横切紙・1通	え4204-27
(書状、御馳走の御申し上げの茶器類御覧入りたくも、取り調べも出来兼ね其の俣に付) 小嶋牧太→八田嘉右衛門様御取次衆中様	12月19日	横切継紙・1通	え4204-28
覚(金柄大小1通売り渡し代金18両の内金6両請け取り、残金12両は当月請け取りに付) 菊屋勝之助[印]→松本牧太様	西9月20日	横切継紙・1通	え4204-29
(書状、歳晩の祝儀として金1朱忝き無き次第に付) 中村原民→八田嘉右衛門様	12月28日	横切紙・1通	え4204-30
(易占い☰☷の卦象)	天保8丁酉年冬11月18日	横切継紙・1通	え4204-31
(書状、引当の腰物貰いに参上、引き合い金12両にて品物御渡し下されるべきに付) 小島牧太→菊屋勝之助様参人々御中	12月19日発	横切継紙・1通	え4204-32
覚(御神酒料20疋・御燈明油3合など奉納の品神前へ備えに付) 諏訪宮神主→八田嘉右衛門様御使中	11月晦日	横切紙・1通	え4204-33
(書状、木立山御払いの儀金24両なら御聞き済みこれ有る御様子に付) 周蔵→源五郎様用事	11月27日	横切継紙・1通	え4204-34
(書状、昨日御時借り金15両今朝上納の約談に遅れながら差し上げ御落手の旨) 周蔵→(八田)嘉助様 金子入	7月12日	横切紙・1通	え4204-35
(書状、御実父様へ金2両願ひ、差し懸かり金3両入用出来、合金5両時借り願ひ) 長福寺→八田嘉助様	2月15日	横切継紙・1通	え4204-36
(書状、御弘山の儀早々手始め仕りたく、さもなくば上納金などにも迷惑に付) 周蔵→(八田)嘉助様 内用申上	11月27日	横切継紙・1通	え4204-37
(書状、内川長泉寺和尚の御茶拝服の願ひ取り継ぎに付) 願行寺→八田嘉助様	11月20日	横切継紙・1通	え4204-38
覚(入用の儀にて金3両拝借受取書) 八田義三郎→八田嘉助様	11月20日	横切継紙・1通	え4204-39
(書状、酒造蔵売り店売り御差し止めの件傳兵衛へ御尋ねに付)	9月晦日	横切継紙・1通	え4204-40

1.内方/17.諸書類/28.西極月中諸方到来状綴

(書状、去秋中より諸家様御頼みも御断りの由にて昨12日夜中帰国に付) 小林唯蔵・山崎万助	7月13日	横切継紙・1通	え4204-41
(別紙の通り御当番へ差し出しにつき御心得の旨申上書) 唯蔵→(八田)嘉右衛門様	17日	切紙・1通	え4204-42
(今般御才覚を仰せつけられ、当月2日高崎布袋屋半右衛門方へ借入無心申し入れ金子御用弁出来がたき旨書付)		折紙・1通	え4204-43
(書状、当寺旧記御贈り下さるも間違いの由承知奉るに付) 密秀→(八田)嘉助様 御答	7月初8日	横切継紙・1通	え4204-44
(日光道中幸手宿騒動聞き書きなどの書付)		横長半・1冊	え4204-45
(水野殿より金30両借用ほか7月中金銭借用返済など金銭書上)	弘化2巳年7月	横長半・1冊	え4204-46
(書状、金子5円拝借仕りたきに付) *(端裏書)「西三月廿四日返済ニ付印書返ス」 梅庵拝→書鳩様 印書入	正月18日	横切紙・1通	え4204-47
(書状、過刻相願い候金5円有り難く落手に付) 元泊→(八田)嘉右衛門様	正月18日	横切紙・1通	え4204-48
役人心得方口達荒々書取(常々茶の間の儀他計13条の心得書) *(端裏書)「役人江口達写取可被返却候」	巳2月	横切継紙・1通	え4204-49
(書状、品々御請取物御証文案文取調のため持参に付) 関田守之丞→八田嘉助様	11月27日	横切紙・1通	え4204-50

1.17.29.10 月中入用書類綴

(10月中入用書類綴)		綴/(え4188-1~19は一綴)・1綴	え4188
(袋) *(袋上書)「十月中入用書類」		袋・1点	え4188-1
(書状、此程願いの御恩借金3両願いに付) 守之丞→(八田)嘉助様	10月3日	横切継紙・1通	え4188-2
(書状、廉之介頭瘡養生として前髪剃るの旨願い通り仰付られ御知らせの旨) 河原舎人→八田嘉右衛門様・八田嘉助様	10月2日	横切紙・1通	え4188-3
(書状、御茶100疋此ものに御渡し願に付) 由助→(八田)嘉助様	6日	横切紙・1通	え4188-4
(書状、此目貫あまり珍しき品にて御覧に入れたきに付) 周蔵→(八田)嘉助様	9月27日	横切継紙・1通	え4188-5
(書状、来月2日てんがく差し上げたきに付7ツ頃より尊来の旨) 介作→(八田)嘉右衛門様	9月29日	横切継紙・1通	え4188-6
(書状、36両差し上げも差し困り、明日差し戻し御繰り合わせ願に付) 友作→(八田)嘉助様	5月12日	横切継紙・1通	え4188-7
(書状、元敬院一周忌に付来月2日夕より大英寺にて法事執行の旨) 増之助→(八田)嘉右衛門様	9月29日	横切紙・1通	え4188-8
(書状、昨夕は牛堀君御故障の由にて又その内に願い奉りたきに付) 松山丁拝→いせ町様	2日	横切紙・1通	え4188-9
(書状、去る月末より御持病ばかりにて16日快方髭を剃るなど近況報告他)		横切継紙・1通	え4188-10

(書状、先日中仰せ越され候品見付けも不沙汰申し訳なく、先ず仰せに任せ差し上げなどに付) 忠兵衛→(八田)嘉助様	4日	横切紙・1通	え4188-11
(書状、此程拝借の身共熟覧の上先ず御返却などに付) 白井→八田様風呂敷添	10月7日	横切継紙・1通	え4188-12
(書状、快方にも無く昨日又床につき食餌も進まず、香物を好みなど頼母殿の病状に付) 陽之助→(八田)嘉助様内用	29日	横切継紙・1通	え4188-13
(書状、祖母81の年賀祝い見合わせも、近日内祝い仕りたきに付) 桜山→乍序相願候	29日	横切継紙・1通	え4188-14
(書状、早々沢山拝領の御厚志へ御礼に付) 松山丁拝→いせ町様	29日	横切継紙・1通	え4188-15
(書状、残り物猟師の喰料差し上げに付) 岩下拝→八田君	22日	横切継紙・1通	え4188-16
(田町抱え屋敷高メ9石7斗2升内訳書付)		横切継紙・1通	え4188-17
(田町屋敷添・透崎・腰巻の壺人別米数量書付)		横切継紙・1通	え4188-18
(書状、御隣の屋敷上田原持の方借蔵人との屋敷境一件などの儀、御両所様より1人御出張なれ立会調べ致したきに付) 矢嶋六左衛門・矢嶋繁蔵→御苗良右衛門様・御苗平兵衛様要用急	9月27日	横切継紙・1通	え4188-19

## 1.17.30. 松代表より到来書状及び入用書状の綴

(松代表より到来書状及び入用書状の綴)		綴/(え4059-1~52は括紐一括)・1綴	え4059
(包紙) * (包紙上書)「松代表より到来此外ハ裏書ニ而差戻し申候 入用書状共」		包紙/(え4059-1~7は包紙一括)/(虫損)・1点	え4059-1
借入金証文之事(金100両本山より寄附の祠堂金借用証文、年1割5分の利足、引当として持高12石小作入れ95俵) 内藤式部少輔領分佐久郡野沢村金借用主周平・同所受入彦市、(奥書)[ ] (虫損)新町名主善左衛門→長明□(寺カ(虫損))御セ話人御旦中惣代三郎右衛門殿	文化10酉年□□(12月カ虫損)	堅紙/(虫損甚大)・1通	え4059-2
(書状、無尽金子も存外集まりに付) 三右衛門→□□(虫損)様・左十郎様	12月22日	横切継紙/(虫損甚大)・1通	え4059-3
(書状、無尽寄金を辰三郎大嶋一同勝手方へ差し出し首尾能く相済みに付) (八田)嘉右衛門→御両君様	12月22日	横切継紙/(虫損)・1通	え4059-4
(書状、普請の儀岡川氏にて此の方は様子も知れず挨拶も及びがたきに付) □□(虫損)衛門→左十郎様	12月23日	横切継紙/(虫損甚大)・1通	え4059-5
(書状、此の方は是非公訴と存じお任せ申し上げるに付) 書鳩→学道様・旭山様几下	12月28日	横切紙/(虫損)・1通	え4059-6
(書状、本証文差し上げの節丈夫なもの1人差し添え、古証文はそのままにて公訴も仕るに付) 書鳩→学道様・旭山様	12月27日	横切継紙/(虫損)・1通	え4059-7
(包紙)		包紙/(虫損甚大)・1点	え4059-8

1.内方/17.諸書類/30.松代表より到来書状及び入用書状の綴

(書状、年頭の御祝詞申し上げたきに付) 並木清一郎良 (花押)→中嶋三右衛門様貴下	正月7日	折紙/(虫損)・1通	え 4059-9
(書状、年甫の御祝詞申し上げたきに付) 渡辺武左衛門 済(花押)→中嶋三右衛門様参人々御中	正月7日	折紙/(虫損)・1通	え 4059-10
(書状、賤息民次郎御地へ遣わしの節御心添えを成し 下され御礼申し上げに付) 渡辺武左衛門→中嶋三右 衛門	正月7日	横切紙/(虫 損)・1通	え 4059-11
①覚(元金500両の当寅利分50両受取に付)②(元金300 両証文金の内150両受取に付) ①②八田嘉右衛門→并 木(並木カ)清一郎殿・并木(並木カ)七左衛門殿・渡辺武左 衛門殿	①文政元寅年12月② 文政2卯年正月	横切継紙/(虫 損)・1通	え 4059-12
覚(金300両・金25両和合院へ返金、金10両和七へメ金 335両受取に付) 笠井和七	文政2卯年2月	横切紙/(虫 損)・1通	え 4059-13
覚(金150両の内利分金18両受取、明日本證文引き替え の節本切手差し出しに付) 笠井和七(印墨消)→渡辺 武左衛門殿	文政元(年)寅12月28 日	横切紙/(虫 損)・1通	え 4059-14
覚(組合借入並びに渡辺氏取替金元利の内金300両受 け取り、今日本證文差し出しの節引き替えに付) 八 田嘉右衛門(印墨消)→並木清一郎殿・並木七左衛門殿・渡 辺武左衛門殿	文政2卯年正月	横切紙/(虫 損)・1通	え 4059-15
覚(3口利足金116両預け置き、明日本證文引き替えの 節銘々本切手差し出しに付) 八田嘉右衛門内笠井和 七(印墨消)→並木清一郎殿・並木七左衛門殿・渡辺武左衛 門殿	文政元(年)寅12月27 日	横切紙/(虫 損)・1通	え 4059-16
(硯石金2両2分他14品書き)		折紙/(虫損甚 大)・1通	え 4059-17
(書状、委細承知、行き違い無きよう挨拶に及ぶ旨) *(端裏封上書)「□□(虫損)武左衛門・齋藤善九郎 岡川 左一郎様」 □□(虫損)→御両所様	正月15日	横切紙/(虫損 甚大)・1通	え 4059-18
(書状、3人拝借金500両元利返済年延願い並び八田氏 よりの地頭仕送金取り立てに付) 並木清一郎→中嶋 三右衛門様	正月8日	横切継紙・1通	え 4059-19
(書状、印書の儀認め替え落掌に付) →瀬下七兵衛様貴 報	10月26日	横切継紙/(虫 損甚大)・1通	え 4059-20
(書状、證文江戸表より小泉十左衛門に持たせ傳兵衛 岩藏同道にて落手に付) 藤田百助・後閑元吾・後閑藤 右衛門→八田嘉右衛門様	閏11月29日	横切継紙/(虫 損甚大)・1通	え 4059-21
(包紙) * (封紙上書)「岩村田渡辺[ ](武左衛門)(虫損) 松代御藩中八田嘉右衛門様貴下」/(封書端貼紙)「卯二月 十二日返書済」		包紙/(え4059- 22~24は包紙 一括)・1点	え 4059-22
(書状、拝借金先證文通り書き替え年延願い許容に付) 渡辺武左衛門→八田[ ](嘉右衛門様)(虫損)	2月9日	横切継紙/(虫 損甚大)・1通	え 4059-23
(書状、返済の金子不融通のため御憐察の程願うに付) 渡辺武左衛門→八田嘉右衛門様	2月9日	横切紙/(虫 損)・1通	え 4059-24
(書状、紙面の趣逸々承知、即刻罷り出で御答え申し上 げるに付) 望月輔・後閑彦三→岡河左十郎様 御答	12月24日	横切継紙/(虫 損甚大)・1通	え 4059-25
(書状、旦那勝手向の儀御日延願・八田氏無尽懸け戻し などに付) 望月左太夫・後閑彦三→和合院様・岡河左十 郎様	12月晦日	横切継紙/(虫 損)・1通	え 4059-26



(書状、兼々願ひ候金250兩返金当冬延引・分知拝借金50兩の利金返済などに付) 望月左太夫・後閑彦三→和合院様・岡河左十郎様	12月29日	横切継紙/(虫損)・1通	え4059-27
(書状、改春の慶賀のため粗末なる品御祝辞として呈上に付) 望月左太夫・後閑彦三→和合院様・岡(河)左十郎様	正月3日	横切紙・1通	え4059-28
(書状、返金の義当年領内早魃にて米値段下直のため遠からず早々取り立て持参に付) * (封紙上書)「岩村田家中望月輔・後閑彦三 松代御家中 八田嘉右衛門様」 岩村田家中後閑彦三・望月輔→松代御家中八田嘉右衛門様	12月20日	横切継紙・1通	え4059-29
(書状、年始として御祝詞の貴書預り祝納め仕るに付) 後閑彦三・望月左太夫→岡川左十郎様	正月□(3ヵ)(虫損)日	横切継紙・1通	え4059-30
(書状、この方より尊公様の御代として山越韓左衛門様罷り越すに付) 学道拝→旭山様玉床下	正月2日6ツ時	横切継紙・1通	え4059-31
(書状、種々故障のため山越市之丞二男相頼み指し押え願ひに付) 書鳩→旭山様几下	正月3日	横切継紙・1通	え4059-32
(書状、晦日到来貴状拝見の上御帰国の程待ち上げるに付) (八田)嘉右衛門→御両所様几下	正月元旦	横切継紙・1通	え4059-33
(書状、證文延引となり申し訳もなく、即寛藏へ詫び申し御落掌成し下さるべきに付) * (封紙上書)「山極八郎右衛門 八田嘉右衛門様梧右」 山極八郎右衛門→八田嘉右衛門様左右	4月7日	横切継紙/(虫損)・1通	え4059-34
(包紙) * (封紙上書)「山極八郎右衛門 八田嘉右衛門様梧右」		包紙/(え4059-35~37は包紙一括)・1点	え4059-35
(書状、3月中御口入れへの感謝及び先月中返上に付) 山極八郎右衛門→八田嘉右衛門様左右	4月17日	横切継紙・1通	え4059-36
(書状、先日御家内様入湯の後御席宜しく御寄立願ひに付)	17日	横切継紙・1通	え4059-37
(書状、当月申し付け等の仕送りについて、清右衛門證文2通持参の上御渡し金願ひに付) * (封紙上書)「山極八郎右衛門 八田嘉右衛門様左右」 山極次磐→八田嘉右衛門様左右	7月4日	横切継紙・1通	え4059-38
(書状、去年中拝借の金子について不都合の義出来に付返済延年願ひ) * (封紙上書)「岩村田法華堂 松城御家中八田嘉右衛門様」 法華堂→八田嘉右衛門様玉几下	7月	横切継紙・1通	え4059-39
(書状、買物134円群神山主公より落手に付) (八田)嘉右衛門→左十郎様無別条	睦月4日	横切紙・1通	え4059-40
(書状、交代人の義山越氏は二男に決まり、留守中の取り計らい御座無きに付) 三右衛門→左十郎様	正月3日	横切継紙・1通	え4059-41
右奉和(漢詞、「軽得韶光何…」 * (包紙貼紙)「卯二月十二日返書済」/(包紙上書)「金碧拜具 覺道大真人法座下」 屏山人金碧拜学[印](印)		横切紙/(え4059-42~51は括紐一括)・1通	え4059-42
(包紙) 後閑彦三 金五兩添→和合院様用事		包紙/(え4059-43~45は包紙一括)・1点	え4059-43
(書状、内借りの利分のうち金5兩調達し八田氏へ宜しく取繕ひに付) 後閑彦三→和合院様	2月9日	横切継紙・1通	え4059-44
(書状、内借り印證書き替えに付)	2月9日	横切継紙/(虫損甚大)・1通	え4059-45

1.内方/17.諸書類/30.松代表より到来書状及び入用書状の綴

(書状、先達て中主人勝手向きの儀に付) * (封書裏書) 「二月十一日岩田従到来」 後閑彦三・望月左太夫→和合院様	2月9日	横切継紙/(虫損甚大)・1通	え 4059-46
(書状) 望月左太夫・後閑彦三→八田嘉右衛門様		横切継紙/(虫損甚大開披不能)・1通	え 4059-47
(書状) * (封書上書)「野沢並木」(虫損)・並木(虫損)・「(虫損)(渡辺武左衛門) 松代」(虫損)(八田嘉右衛門)様」		横切継紙/(虫損甚大開披不能)・1点	え 4059-48
(書状、主人勝手向きの儀大井平助勝手方へ立入に付) 後閑彦三→笠井和七様	12月28日	横切継紙/(虫損甚大)・1点	え 4059-49
(書状)		横切紙/(虫損甚大開披不能)・1通	え 4059-50
(書状)		横切紙/(虫損甚大開披不能)・1通	え 4059-51
(書状、御起居に付) * (端裏書)「覚道之君」 並木晋右衛門・渡辺民次郎拝→松代和合院様侍史		横切継紙/(虫損甚大開披不能)・1通	え 4059-52

1.18. 吹直金銀引替

(新古金引替出府一件綴)		綴/(え 4146-1~7は一綴)・1綴	え 4146
(袋) * (袋上書)「文政七申年 新古金引替御内用筋二而出府一件留書入 八田知義」	文政7申年	袋・1点	え 4146-1
(書状、新古金引替のための里数費用伊勢町八田家へ25匁支出に関する書状御届け願いに付) * 4146-5と同一 殿村屋店文右衛門→窪田十八様・春日仲左衛門様尊下	(文政8)9月24日	横切継紙・1通	え 4146-2
(書状、新古金引替所里数費用について伊勢町八田家へ25匁支出の承引に付) 殿村佐五平店支配人與平次→八田嘉右衛門様・菊屋傳兵衛様尊下	(文政8)9月24日	横切継紙・1通	え 4146-3
(書状、先刻差し上げの窪田氏手紙御写しの上御返しに付) 大嶋武左衛門→八田嘉右衛門様	10月8日	横切継紙・1通	え 4146-4
(書状、新古金引替のための里数費用伊勢町八田家へ25匁支出に関する書状御届け願いに付) * 4146-2と同一 殿村屋店文右衛門→窪田十八様・春日仲左衛門様尊下	(文政8)9月24日	横切継紙・1通	え 4146-5
(書状、左源太殿から内々咄し最初と相違のため別紙下案差し上げに付)	7月1日	横切継紙・1通	え 4146-6
(書状、八田嘉右衛門出府の上御囲金江戸表引替金来月3000両及び9月2000両差出願いに付) * 下案 大嶋氏		横切継紙・1通	え 4146-7

## 1.19. 泰全院一代一卷綴

(泰全院一代一卷綴)		綴/(え4178-1~60は一綴)・1綴	え4178
(袋) * (袋上書)「泰全様御一代、一宝暦六子年九月廿一日御家督被 仰付候御書付、一右二付御礼被 仰付候御書付、一同年十二月元日御礼三日御流御頂戴之窺書、一同七年御歳元服御改名願之通被 仰付候御書付、一五節句登 城被 仰付候御書付、一宝暦九年二月廿七日会符願之通被 仰付候御書付、一同十一年三月十九日町年寄役被 仰付候御書付、一天明八申年火災之節致手充候付御目録頂戴之御書付、一同七月十九日御手充被 仰付候御書付、一寛政四年二月十五日御役御免被 仰付候御書付、一寛政十年年七月御用金被 仰付候御書付、一享和元年火災之節御手充有之御上より御目録頂戴之御書付、一同二戊二月川浚被蒙 仰候時書付四通、一享和二給人格被蒙 仰候御書付一通」		袋・1点	え4178-1
(包紙) * (包紙上書)「宝暦六丙子九月廿一日泰全様御家督被 仰付候御書付 忝」	宝暦6(年)丙子9月21日	包紙・1点	え4178-2
(八田嘉助悴鉄次郎明21日4ッ時登城の旨書付) 鎌原兵庫→前嶋源蔵殿	9月20日(貼紙奥書後筆)「宝暦六丙子九月」	横切継紙・1通	え4178-3
(嘉助悴八田鉄次郎30人扶持下し置かれるの旨書付) →(八田)嘉助悴八田鉄次郎	宝暦6(年)丙子9月21日	横切紙/(付札あり)・1通	え4178-4
(包紙) * (包紙上書)「宝暦六子年九月泰全様御家督被 仰付候時節引続御礼被 仰上候節前嶋源蔵殿より手紙二通入二」	宝暦6子年9月	包紙・1点	え4178-5
(八田鉄次郎扶持方下し置かれるに付来る28日4ッ時登城の旨書付) 鎌原兵庫→前嶋源蔵殿	9月26日(貼紙奥書後筆)「宝暦六丙子九月廿六日」	横切継紙・1通	え4178-6
(御用番より仰せ越されるに付御用番へ罷り出る旨書付) 前嶋源蔵→八田鉄次郎殿	9月(貼紙奥書後筆)「宝暦六丙子九月」	横切紙・1通	え4178-7
(御切紙が到来に付罷り出る心得の旨書付) 前嶋源蔵→八田鉄次郎殿	9月26日(貼紙奥書後筆)「宝暦六丙子九月廿六日」	横切紙・1通	え4178-8
(包紙) * (包紙上書)「下書」/(貼紙上書「宝暦六丙子九月廿八日御家督御礼諸方御祝儀為御知下案一卷 二ノ二」		包紙・1点	え4178-9
口上覚(私儀当年17歳にて半元服仕りたく御家老中まで宜しく御取り成し願) *下書 八田鉄次郎→御町御奉行所	正月	横切継紙・1通	え4178-10
(「30人扶持下さるに付諸々へ知らせの書状・口上書・手紙品々案書」書付) 八田鉄治郎	宝暦6丙子年9月21日	横切紙・1通	え4178-11
江戸状案書(書状、亡父嘉助願いの30人扶持下し置かれる旨に付) 八田鉄治郎知(花押)→恩田空様御内徳高太郎右衛門様	9月21日	横切継紙・1通	え4178-12
御用入江戸状(書状、亡父嘉助願いの30人扶持下し置かれる旨に付) 八田鉄次郎知(花押)→山上丹蔵様	9月21日	横切紙・1通	え4178-13
御用入江戸状(書状、亡父嘉助願いの30人扶持下し置かれる旨に付) 八田鉄二郎知(花押)→米倉左傳次様	9月21日	横切紙・1通	え4178-14
口上覚(亡父嘉助願いの30人扶持下し置かれ有り難きの旨に付) 八田鉄次郎	9月21日	横切紙・1通	え4178-15

(亡父嘉助願いの30人扶持下し置かれる旨御知らせの書付)	9月21日	横切紙・1通	え4178-16
(亡父嘉助願いの30人扶持下し置かれる旨御知らせの書付)	9月21日	横切継紙・1通	え4178-17
(包紙) * (包紙上書)「宝暦六子泰全様元日御礼三日御流御頂戴御覧書御町奉行所前嶋源蔵殿御当番 三		包紙・1点	え4178-18
口上覚(祖父孫左衛門・亡父嘉助仰渡し年の年頭御礼に付私儀年頭御礼窺い) 八田鐵次郎→御奉行所	12月	横切継紙・1通	え4178-19
(鉄治郎儀元日御礼三日御流に付町奉行所より口上にて仰せ渡される旨書留)		横切紙・1通	え4178-20
(包紙) * (包紙上書)「丑三月二日被仰付候、即御用番様へ源蔵様御同道ニ而御請申上候、宝暦七年丑三月二日 四ノ上」		包紙・1点	え4178-21
(八田次郎明日御礼として罷り出る旨書付) 矢沢帯刀→前嶋源蔵殿	3月2日	横切紙・1通	え4178-22
(包紙) * (包紙上書)「宝暦八年寅十二月九日泰全様御半元服御名孫左衛門与御改名被仰付候御書付」		包紙・1点	え4178-23
(町奉行所前嶋源蔵にて元服申し渡され、御用番へ御請の旨など書付)	宝暦8年寅12月9日	横切紙・1通	え4178-24
(八田鐵次郎元服致し孫左衛門と改名の旨申渡書)	12月9日	横切紙・1通	え4178-25
(八田鐵次郎半元服願いの通り申渡書) * (端裏書)「二月八日泰全様御半元服御願之通被仰付候御書付 四ノ下」→町御奉行中	2月8日	横切紙・1通	え4178-26
(商売の荷物京都道中往来の御会符御免願いなど仰せ付けに付申渡書) * (端裏貼紙)「宝暦九卯二月廿七日会符願書差上候処七月廿二日前嶋源蔵様江被召呼御書付之通被仰付候 五」	宝暦9年卯7月	横切継紙・1通	え4178-27
(孫左衛門町年寄役仰せ付けられ候節の書留) * (端裏貼紙)「宝暦十一巳三月十九日御町年寄被 仰候節諸方配物扣」	宝暦11(年)巳3月19日	横切紙・1通	え4178-28
(包紙) * (包紙上書)「泰全様宝暦十一巳三月十九日町年寄御(マ)被 仰付候書付 六」		包紙・1点	え4178-29
(八田孫左衛門御町年寄役申渡書) →八田孫左衛門	3月19日	横切紙・1通	え4178-30
(包紙) * (包紙上書)「天明八申年火災ニ付御手充拝借孫左衛門方継合上納切手 戊五月請取 七ノ上」		包紙・1点	え4178-31
覚(申年火災の節御手充拝借金13両銀10匁1分8厘御継合上納受取書) 中嶋十之丞(印)→八田孫左衛門殿	寛政元酉年12月	横切紙・1通	え4178-32
(包紙) * (包紙上書)「申年火災之節町方難渋之者江致手当遣候趣被及御聞、酉之五月御目録被下置候御書付 七ノ下」		包紙・1点	え4178-33
(①申年火災の節類焼難渋の者へ手当遣わし心掛け格段に付、御目録300疋下賜の旨褒状、②火災被災者へ鳥目及び飯米の助力書上写し) * ②付札奥書後筆 →①八田孫左衛門	①5月②11月①6日②24日	横切紙・1通	え4178-34
(居宅類焼に付御宛行の内4分の1御手充拝借の旨書付) * (端裏貼紙)「天明八申年七月十九日居宅類焼ニ付御手充拝借被 仰付候御書付 八」→八田孫左衛門	7月19日	横切紙・1通	え4178-35

(包紙) * (包紙上書)「寛政四子二月十五日御町年寄役願之通御免被 仰付候御書附名代嘉右衛門相動同道杭全平左衛門殿御家老中様ハ御奉行金井甚五左衛門様御同道ニ而御請申上候其外ハ杭全氏同道ニ而御請申上候 九」		包紙・1点	え4178-36
(八田孫左衛門近年病身に付町年寄役勤めがたく御免申渡状) →八田孫左衛門	2月15日	横切紙・1通	え4178-37
(包紙) * (包紙上書)「寛政十年七月 金三百兩御用金被 仰付候御書附沓通 十」		包紙・1点	え4178-38
(才覚御用達金300兩仰渡し書)	7月	横切紙・1通	え4178-39
(包紙) * (包紙上書)「享和西元二月廿五日御町奉行前嶋作左衛門様被召呼被成御渡候御書付御目録300疋相添、泰全様申年火災之節相応相暮候者相除百疋ツ、為縄代水引懸候而遣候、其外出入之者或ハ重立候者江ハ相互之音物遣候」		包紙・1点	え4178-40
(去夏火災の節類焼難洪の者へ手書いたし、心掛け一段の事に付、御目録300疋下賜の旨褒状) →八田孫左衛門	2月25日	横切紙・1通	え4178-41
(包紙) * (包紙上書)「享和二戌二月殿様本庄川々浚御手伝被為蒙 仰候付金三百兩差上申度にて十一日口上書扣、御町方御当番前嶋作左衛門殿御非番金井甚五左衛門殿御勝手方恩田空様 十三」		包紙・1点	え4178-42
口上覚(本庄川川浚い御用達金300兩差し上げ並び暫くの間御用達御赦免願いなどに付) 八田孫左衛門	2月	横切紙・1通	え4178-43
口上覚(本庄川川浚い御用達金300兩差し上げ並び暫くの間御用達御赦免願いなどに付) * (端裏書)「享和二戌二月御用達金差上候付口上書扣 二月廿二日口上ニ而両御奉行所江申上候」 八田孫左衛門	2月	横切紙・1通	え4178-44
(包紙) * (包紙上書)「泰全様給人格被仰付候節享和二戌十二月二十五日被 仰付候御書附 十四」		包紙・1点	え4178-45
(格式の御礼は済まずとも差し支えの筋は無きよう内咄しに付口上書) 甚蔵→圓四郎様	12月27日	横切紙・1通	え4178-46
(徳嵩甚蔵殿品々御用向き相勤めに付口上書)		横切紙・1通	え4178-47
(八田孫左衛門儀年頭五節句月並御礼其外万端小役人並の通り申渡書)	12月25日	横切紙・1通	え4178-48
口上覚(御勝手御用役に付出火の節御勘定所へ御詰め可否伺書) 八田孫左衛門	12月25日	横切紙・1通	え4178-49
口上覚(この節大病のため格式の御目見得如何に付伺い) 八田孫左衛門	月日	横切紙・1通	え4178-50
(八田孫左衛門儀向後郡奉行支配に付達し書) →八田孫左衛門	12月25日	横切紙・1通	え4178-51
(八田孫左衛門へ給人格御勝手御用役仰せ付けの旨達書) →八田孫左衛門	12月25日	横切紙・1通	え4178-52
御内話申上候趣(御尋ねに付木町八田家家略書上)	11月	横切紙・1通	え4178-53
口上覚(御内々御尋に付祖父孫左衛門父嘉助当代孫左衛門才覚金調達など御用向務め略歴書上) →八田孫左衛門	10月	横切紙・1通(貼紙あり)	え4178-54

1.内方/19.泰全院一代一卷綴

(包紙) * (包紙上書)「享和二戌三月十九日御用達金先達而差上度旨申上候付御聞濟被成下候、御書附御町方御郡方兼帶ニ付於御蔵金井甚五左衛門殿被成御渡候」/(包紙裏書)「御勝手恩田杢様江御請罷出其外御町方御両所江罷出候」		包紙・1点	え4178-55
(川浚普請御用金300両差し上げに付奇特の旨申し送り状) →町奉行中	3月19日	横切紙・1通	え4178-56
(包紙) * (包紙上書)「戌十一月九日殿様河浚御用相済為御祝儀御酒被下候御覚書 前嶋作左衛門様御渡被成候」		包紙・1点	え4178-57
(川浚普請御用滞り無く相済み祝儀として御酒下さるに付登城の旨達書) →八田孫左衛門	11月9日	横切紙・1通	え4178-58
(八田孫左衛門御目見得、八田長左衛門種借御役・御役成神文の書付)		横切紙・1通	え4178-59
(「享和二戌十二月給人格被仰付候以前御尋ニ付書上候書類入」の書付)		横切紙・1通	え4178-60

1.20. その他

(見出し) * (見出し上書)「依田橋」		小切紙・1通	え4055
(見出し) * (見出し上書)「大場原本」		小切紙・1通	え4056
(中山道ほか宿場絵図)		31.2×63.7・1鋪	え4065
(白紙絹紙2枚) * (包紙上書)「蝶番切 式ツ」		横切紙・2点	え4121
(野中茂右衛門先祖由緒尋書類綴)		綴/(え4137-1~6は一綴)・1綴	え4137
(袋) * (袋上書)「野中茂右衛門由緒之義文政十亥三月長谷川善兵衛殿より被相尋候付取調遣候書類入」		袋・1点	え4137-1
荒神町野中新兵衛先祖代々戒名写(天文12年より文政6年までの戒名一覧)		横切継紙・1通	え4137-2
(書状、野中茂右衛門由緒書き上げ御草稿拝見の上、文言続き宜しきよう御推覧などに付) →御請	22日	切継紙・1通	え4137-3
口上覚(御内々私野中茂右衛門先祖の義御尋ねに付、永禄年中以降の由緒申上書)		横切継紙・1通	え4137-4
口上覚(御内々私野中茂右衛門先祖の義御尋ねに付、永禄年中以降の由緒申上書) * 下書 茂右衛門→長谷川善兵衛様	3月	横切継紙・1通	え4137-5
(天文12年より文政2年までの荒神町野中新兵衛先祖戒名書上)		横切継紙・1通	え4137-6

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

## 2. 店方

### 2.1. 酒造方

#### 2.1.1. 酒蔵・酒店勘定

(酒造方金銭書上他一括)		綴/(え4083-1~9は一綴)・1綴	え4083
(5月8日より晦日まで酒蔵より受取の酒本数の事他書上)	寅7月	横切紙・1通	え4083-1
覚(丑帳面之内借用分金23両3朱230文他差引ノ金6両8厘勘定書上) 喜左衛門→菊屋傳兵衛様	天保13寅年12月	横切継紙/(下札あり)・1通	え4083-2
(元禄10年御改森村板倉甲斐守様御嶺山境書付)		横切紙・1通	え4083-3
(書状、右一条も勘弁申したきなどに付) 喜左衛門拜→輪七様	4月16日	横切継紙・1通	え4083-4
(和七預け金20両他ノ金48両2分2朱金銭書上) *後欠		横切継紙/(下札あり)・1通	え4083-5
覚(竹山町御奉行所御役所金1朱20疋他ノ金3分5貫220文など金銭書上簿)		横長半・1冊	え4083-6
米口入御金高之内七両貳分三朱五貫百壺文過分調方		切紙・1通	え4083-7
御詫一札之事(本丑秋酒造方勘定出来兼ね延引に付) 喜左衛門→(菊屋)傳兵衛様	天保13寅年12月	縦紙・1通	え4083-8
(戊年以後酒造方不勘定の場合差引勘定の断簡) *断簡		縦切紙/(貼紙あり)・1通	え4083-9

#### 2.1.2. 酒造高

(幕府の酒造高減少触に付町触)	8月19日	横切継紙・1通	え4165-1
(酒造減少高請書) いせ町傳兵衛、(奥書)五人組、名主徳兵衛→町奉行所	天明8年申8月	小切紙・1通	え4165-2

#### 2.1.3. 酒造関係綴

(天保7年請取関係綴)		綴/(え4161-1~21は一綴)・1綴	え4161
(袋) *(袋上書)「天保七申年 諸用書取御聞済之書類代金内渡受取切手 元方役場」		袋・1点	え4161-1
(書状、昨夕刻傳兵衛召し出され酒造蔵売り店売り御差し留めのため内々御尋ねに付) *え4161-18・19と同文 八田嘉右衛門	9月晦日	横切継紙・1通	え4161-2
(書状、金子手段の儀差し詰まり御用金御断りに付)		横切継紙・1通	え4161-3

## 2.店方/1.酒造方/3.酒造関係綴

御家来御手充被下方伺(和七ほか御手充伺いに付) 元方	申11月	横切継紙・1通	え4161-4
覚(2月分上白米7升5合ほか8月分までメ上白米1石1斗1升・白米28石6斗2升5合・割12石7斗9升到付)	8月迄	横切継紙・1通	え4161-5
(9月分上白米3斗6升ほか米高書上)		横切継紙・1通	え4161-6
覚(御上分7人メ白米7斗3升5合ほか御内方切積りに付)	8月	横切継紙・1通	え4161-7
口上(大瀧村船元太左衛門方へ通船一条の儀懸け合い、諸荷物米穀運送への差支え有無申し上げに付) *え4161-8~9は関連文書 宗弥	9月2日	横切紙・1通	え4161-8
(書状、大瀧村太左衛門方にて米穀ほか諸品の内船積み差し支えの荷品承知も、一部差支えの誤合い申し上げなどに付) *え4161-8~9は関連文書 宗弥	9月	横切継紙・1通	え4161-9
覚(かんむり10枚他メ390枚代金51匁9分金銭書上) 上 氷鉤村尾吓政七→八田様御内御役人様	9月	横切紙・1通	え4161-10
御伺申上(松本へ荷物賃銭の内宿銭入用など手前払い残金差し出しに付伺書) * (端裏書)「銀三片御聞済」	4月	切紙・1通	え4161-11
(9月14日出立、喜左衛門ほか5名書上)		切紙・1通	え4161-12
覚(神之鉢2組、片木10枚、鯀之子2鉢ほか目出度きに付)	寅12月25日	横切継紙・1通	え4161-13
申上(源吾御給分3兩渡し、残金2分頂戴したく申し立てに付伺い) 勝之助	7月13日	切紙・1通	え4161-14
覚(90人引手間代金2兩1分ほか引き直しに付) 半兵衛 代弥五右衛門・国蔵→八田様御内	4月	横切紙・1通	え4161-15
覚(手間90人金2兩1分ほか書上) *後欠カ		横切紙・1通	え4161-16
酒造方改有酒申上(89石4斗8升6合内訳書上)	申9月11日	横切継紙・1通	え4161-17
(書状、昨夕刻傳兵衛召し出され酒造蔵売り店売り御差し留めのため内々御尋ねに付) *え4161-2・19と同文		横切継紙・1通	え4161-18
(書状、昨夕刻傳兵衛召し出され酒造蔵売り店売り御差し留めのため内々御尋ねに付) *え4161-2・18と同文	9月晦日	横切継紙・1通	え4161-19
御内々申上候(昨夕刻傳兵衛召し出され酒造蔵売り店売り御差し留めのため御尋ねに付) *え4161-2・18・19と関連文書	9月晦日	折紙・1通	え4161-20
御飯米積申上(御上御七方様・御客前御三人様、飯米4升5合ほか飯米書上) 元方	8月	横切継紙・1通	え4161-21



表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

### 3. 町方 / 町年寄

#### 3.1. 控留

##### 3.1.1. 高札・条目写控

(松代藩儉約達「儉約御定」写)	嘉永5(年)壬子4月19日～7月19日	半・1冊	え4044
(火事場提灯の合印御定に付達) 村瀬平四郎	(近世)3月	半・1冊	え4045

#### 3.2. 宗門改

指上申一札之事(八町中吟味のところ切支丹宗旨及び怪しき者無きに付) 信濃国埴科郡松城馬喰町肝煎李右衛門・紙屋町肝煎清兵衛・同町長町人佐右衛門・紺屋町肝煎源兵衛・同町長町人忠右衛門・伊勢町肝煎与右衛門・中町肝煎六太夫・荒神町肝煎長五郎・同町長町人吉左衛門・肴町肝煎五右衛門・同町長町人甚助・鍛冶町肝煎源七・同町長町人喜右衛門・検断伴伊右衛門・御町年寄八田孫左衛門・同断増田徳左衛門・同断杭全九兵衛・同断小池五兵衛→宗門御奉行所大瀬又右衛門様・村田覚兵衛様・樋口弥兵衛様	享保19年寅9月	縦継紙・1通	え4094
---	----------	--------	-------

#### 3.3. 殿様御用

##### 3.3.1. 殿様御入接待

(文政9戊8月15日田町屋敷恣水園へ両殿様御入の節品々入用書類綴)		綴/(え4171-1～15は一綴)・1綴	え4171
(袋) * (袋上書)「文政九戊八月十五日田町屋敷恣水園江両殿様御入二付品々入用書類入」		袋・1点	え4171-1
覚(酒2升玉子30河原利助など酒・玉子・御肴代など人別員数書き出し)		横切継紙・1通	え4171-2
(書状、御両種へ御恵投の御礼申上に付) 河原理助→八田嘉右衛門様	8月17日	横切継紙・1通	え4171-3
(書状、御両種へ御恵贈の件御礼申上に付) 小野肇→八田嘉右衛門様	8月17日	横切継紙・1通	え4171-4
(書状、品々御送りの御礼申上に付) 大谷津栄治→八田嘉右衛門様	8月17日	横切継紙・1通	え4171-5
文政九戊八月十五日田町湧水亭御二殿様御入二付御料理方入用覚	8月	横切継紙・1通	え4171-6
(書状、庵酒持参のまま御目に懸かり御笑留に付) (望月)主水→(八田)嘉右衛門様	14日	横切継紙・1通	え4171-7
(書状、今日の供触により貴様御抱屋敷御立寄に付) 矢野唯美→八田嘉右衛門様内用	8月15日	横切紙・1通	え4171-8

## 3.町方/町年寄/3殿様御用/1殿様御入接待

(書状、今日9時過ぎの供触により大殿様御近所へ御入りに付) 小野肇→八田嘉右衛門様	8月15日	横切紙・1通	え4171-9
(書状、明日皆神山御入りのため御屏風一雙他5枚拝借願などに付) 寒松拝→書鳩様用事	8月14日	横切継紙・1通	え4171-10
(書状、大殿様御野懸先より田町八田嘉右衛門様御抱地へ内々御立寄の心得に付) 河原理助・大日方勘助→八田嘉右衛門様	8月11日	横切紙・1通	え4171-11
(書状、御野懸先より田町八田嘉右衛門様御抱地へ御立寄の際、夜中の場合庭にて焚火の旨心得に付) 小山田采女→大日方勘助殿	8月15日	横切紙・1通	え4171-12
(書状、今日御供向の儀御近習8・9人など例の通り休息所御用意に付) 矢野唯美→八田嘉右衛門様内用	8月15日	横切紙・1通	え4171-13
(書状、御紙面の趣御返事いづれ御面談にて申上に付) 老人拝→大人几下	12日	横切継紙・1通	え4171-14
(書状、火縄100丁献上のため御用意に付) (河原)理助→(八田)嘉右衛門様内用事	8月14日	横切継紙・1通	え4171-15
(御野掛向き関連書状綴)		綴/(え4195-1~12は一綴)・1綴	え4195
(包紙) * (包紙上書)「御入付鹿野牧人より手帖并見習中村恒三郎殿須田翁介殿へ為礼足袋遣候所被致返却候紙面入置申候」		包紙・1点	え4195-1
(書状、御両種貴意をかけられ忝き次第に付) 鹿野牧人→八田嘉右衛門様	4月9日	横切継紙・1通	え4195-2
(書状、近日の内御野掛向きより酒造御通行御覧遊ばされるべきに付) 牧人→(八田)嘉右衛門様内用		横切紙・1通	え4195-3
(書状、その節差し上げた御蕎麦御好みに付) 牧人→(八田)嘉右衛門様内用	3月29日	横切継紙・1通	え4195-4
(足袋1足づつ遣わし別紙の趣挨拶の件書付)		小切紙・1通	え4195-5
(嘉右衛門分和漢三才図絵・御肴1折など献上物書上) * (端裏書)「献上物不用ニ相成書調」		横切継紙・1通	え4195-6
(書状、御野掛向きより御下屋敷へ見習いとして罷り出で、御礼として御丁寧の品忝きに付) 中村恒三郎→八田嘉右衛門様	4月10日	横切継紙・1通	え4195-7
(書状、御野掛向きより御下屋敷へ御見習いとして罷り越しの御礼など申し請け難きに付) 須田翁介→八田嘉右衛門様	4月11日	横切継紙・1通	え4195-8
(書状、その節段々申し上げるも御気の毒致し方なきに付) 代官丁→竹山町様御答口上	3月20日	横切紙・1通	え4195-9
(書状、御殿様御立寄りの事先月25日と定り御機嫌良く御満足と進察仕るに付) 喜福寺→八田嘉右衛門様貴答	4月3日	横切継紙・1通	え4195-10
(唐画掛物・和漢三才図絵など諸品書上)		横切継紙・1通	え4195-11
(書状、此表用向の義も7分通り相調べ両日中には滞りなく荷造り仕るに付) 和七→中嶋三右衛門様御内	2月24日昼	堅紙・1通	え4195-12
(文政9年5月23日湧泉亭御入の節入用書類綴)		綴/(え4199-1~9は一綴)・1綴	え4199

(袋) * (袋上書)「文政丙戌年五月廿三日湧泉亭御入之節 品々入用書類入」/「焼饅頭」の紙背文書使用		袋・1点	え4199-1
文政九戌五月(短冊懸・御刀掛・御褥など調度品、御茶 道具書上)	文政9(年)戌5月	横切継紙・1通	え4199-2
(書状、大殿様今日8ツ時下屋敷へ御立ち寄りに付) 小 野肇→八田嘉右衛門様	5月23日	横切紙・1通	え4199-3
(書状、海野宿まで仰せ越しの一条添書私宅へ御使遣 わし承知に付) 竹内喜助→八田公江□□(綴紐にて判 読不能)	5月21日夜	横切継紙・1通	え4199-4
(玉子100、生干椎茸15、干瓢1把、青昆布2枚ほか食材・ 調味料計34品書上)		横切継紙・1通	え4199-5
覚(紅鳥羽玉餅30・金玉糖25など計4品書上)		横切紙・1通	え4199-6
(書状、明日下屋敷へ御出の様子一寸御内々御知らせ に付) 牧人→(八田)嘉右衛門様	5月22日	横切紙・1通	え4199-7
(書状、この度綿打ち清七様へ当暮れ20金願ひ込み、ま た金10両御願ひ申し上げ度に付) 大和屋三四郎・嘉 兵衛→笠井和七様貴下	5月23日	横切継紙・1通	え4199-8
(30疋横田左金太・20疋御板の間喜八他書上)		小切紙・1通	え4199-9

### 3.4. 町政

覚(紙屋町左太夫屋敷附立書上) * (端裏貼紙上書)「紙 屋町左太夫屋敷附立天明七未年十二月此方へ買取猶又売 払申候此節不用証文」 紙屋町五人組平蔵(印)・友左衛門 (印)・喜惣治(印)→木町善五郎殿	天明7未年12月	横切継紙・1通	え4061
(木町徳左衛門方へ同心町大八同居詰入願ひ・関係綴) * 控 (木町徳左衛門)	文化3寅年6月～文化3 寅年8月	半・1冊	え4082
売渡申畑証文之事(東福寺村御高辻之内畑高1石6升 7合を金10両2分にて売渡しに付) 中町売主松三郎 (印)・東福寺村肝煎主重右衛門(印)・組頭治右衛門(印)・同 喜兵次(印)・長百姓平蔵(印)・同吉大夫(印)→宮下政野左 衛門殿	寛延2年巳12月	堅紙/(虫損)・1 通	え4086
①以上書付願候御事(中町治郎七先月中米穀売買御 触背きの御答赦免願)②以上覚(中町治郎七先月中 米穀売買御触背きの御答赦免願) * ②は①の下書カ	②天明	堅紙・1通	え4103
差上申一札之事(私の心得違いにより御町并役不勤に 付) [ ](虫損)(奥書)「名主忠[ ]」→御町年寄衆中・検 断伴伊右衛門	宝暦14年申3月	堅紙/(虫損)・1 通	え4126
(御仕置き御日柄ほか書留綴)		綴/(え4180- 1～16は一綴)・ 1綴	え4180
(袋) * (袋上書)「御仕置き御日柄 着服物御得意義書留 京都 人数書立 東武右同断 此表御霊屋御順 御屋敷御坪数 御 道中駄賃附 御手伝被為遊御勤御年限 右之外御書留共入」		袋・1点	え4180-1
暖帘又田町連(喜・角・本屋の字の書き方)		横切紙・1通	え4180-2
出雲大社御柱ニ頭たる文字のよし		切紙・1通	え4180-3

## 3.町方/町年寄/4.町政

信州更級郡白介翁事 *「三國傳記第五卷ヨリ写」 将様道人写	天明2年寅初秋10日	横切継紙・1通	え4180-4
(御祭礼之節山車の順番齟齬に付文政元年まで仕来の通り勤めの旨書付) 伊勢町・鍛冶町	11月9日	折紙・1通	え4180-5
覚(御大小鞘新キクキ入鞘上2尺代15匁他代金書上) 三河や金兵衛→水野七郎兵衛様	8月12日	横切継紙・1通	え4180-6
(「正直一生宝」他家訓書付) *(端裏書)「写之」		札・1点	え4180-7
不肖忠正頃日有思得遂屬小文敢奉寄 安藤忠正再拜	文化甲戌季秋	折紙・1通	え4180-8
(九月五日初而御能組及び開口の書付)		折紙・1通	え4180-9
(伊那郡高遠内藤大和守様の来歴及び家臣の書付)		横切継紙・1通	え4180-10
(傳藏家督仰せ付けられも延引に付口上書) *(端裏書)「奉復」	7日	横切継紙・1通	え4180-11
(脇埜町御支配所見正寺村源左衛門他6名の人名書付)		横切継紙・1通	え4180-12
油(正月分油3升八幡宮他油量書上)		横切継紙・1通	え4180-13
(花押10枚入り) *(袋上書)「判形」		小切紙・1通	え4180-14
(書状、御内話の儀別紙の趣に付) (八田)競→(八田)嘉右衛門様	正月11日	横切紙・1通	え4180-15
(上谷町御借入地金1両9匁8分1厘他4貫51文冬納内記金銭書上)		横切紙・1通	え4180-16
(荒神町屋敷の明細及び悪ヲ報仇ほか川柳の書付)		半・1冊	え4181
(死罪可除心得及び御科之差別など書付)		半・1冊	え4182

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

## 4. 松代藩御用

### 4.1. 年貢諸役取立請負・御用米金調達

(御預所御増地内伺之義ニ付御尋申上書) * (端裏書)「(朱書)「五」九月五日 御預所御増地内伺之義ニ付御尋申上扣 御預所郡方」 御預所郡方	9月	横切継紙/(下札あり)・1通	え4164
--	----	----------------	-------

### 4.2. 川船会所

#### 4.2.1. 通船免許

(書状、通船永御許容取計の旨委細承知ほかに付) 万作、寿作→御主人様	6月7日	横長半・1冊	え4128
------------------------------------	------	--------	-------

### 4.3. 融通米世話

(天保7年松代藩家中融通米依頼書簡綴)		綴/(え4025-1~93は一綴)・1綴	え4025
(袋) * (袋上書)「申十一月十二より晦日迄御家中融通米取計ニ付到来状」	(近世)申11月12日晦日迄	袋・1点	え4025-1
(書状、この節飯米払底のため1俵御了簡下されたきに付) 鍬太郎→(八田)嘉右衛門様	(近世)10月19日	横切紙・1通	え4025-2
(書状、代金2分2朱ト151文差し上げるため山寺友吉への飯米1俵この者へ御渡し下されたきに付) 塚本左五兵衛→八田嘉右衛門様	(近世)10月19日	横切紙・1通	え4025-3
(書状、代金2分2朱151文差し上げるため東条方へ飯米1俵御渡し下されたきに付) 源助→(八田)嘉助様	(近世)11月朔日	横切紙・1通	え4025-4
(書状、先刻相頼む品をこの者に御渡し下されたきに付) 貢→(八田)嘉右衛門様	(近世)10月17日	横切紙・1通	え4025-5
(書状、この節食米に困り申すため1俵御頼み申すに付) 春原六左衛門→八田嘉右衛門様	(近世)10月18日	横切紙・1通	え4025-6
(書状、代金2分2朱ト銭151文指し上げるため飯米1俵御渡し下されたきに付) 熊之助→(八田)嘉右衛門様	(近世)10月7日	横切紙・1通	え4025-7
(書状、吉村兵作1俵御工面下さる様御頼みに付) 弥門→(八田)嘉右衛門様	(近世)10月20日	横切紙・1通	え4025-8
(書状、金2分2朱151文差し上げるため善兵衛に飯米御渡し下されたきに付) 藤五郎→(八田)嘉右衛門様	(近世)10月19日	横切紙・1通	え4025-9
(書状、何卒この者に飯米1俵御渡し下されたきに付) 鹿野牧人→八田嘉右衛門様	(近世)10月18日	横切紙・1通	え4025-10
(書状、御払米1俵御世話御頼みに付) 児友作→八(八田)嘉右衛門様	(近世)10月28日	横切紙・1通	え4025-11

4.松代藩御用/3.融通米世話

(書状、御代料御渡しするため同氏善太夫に御融通米1俵下されたきに付) 大目方兵衛→八田嘉右衛門様	(近世)10月29日	横切紙・1通	え4025-12
(書状、都筑重之助に1俵下されたく頼み上げに付) 原田糺	(近世)10月	横切紙・1通	え4025-13
(書状、中村義一郎に1俵下されたく頼み上げに付) 原田糺	(近世)10月	横切紙・1通	え4025-14
口上(御切手返上のため御落掌下されたく頼み上げに付) 治助→(八田)嘉右衛門様	(近世)	横切紙・1通	え4025-15
覚(山崎卓馬分米代金2分2朱151文御渡し下されたきに付) 山口頼今	(近世)	横切紙・1通	え4025-16
(「山崎卓馬 渡辺郡司名」)	(近世)	切紙・1通	え4025-17
覚(玄米2斗8升受取に付) 小野藤平内多惣治	(近世)10月27日	切紙・1通	え4025-18
(書状、玄米1俵この使の者に御渡し下され代金を御受取下れさたく願いに付) 原田糺	(近世)10月	横切紙・1通	え4025-19
(「一、金式分式朱百五拾壹文 山浦兵馬」)	(近世)	切紙・1通	え4025-20
(「白川捨藏(印)」) 白川捨藏(印)	(近世)	切紙・1通	え4025-21
(「八田嘉右衛門様 塩野熊之助 金子入」) 塩野熊之助→八田嘉右衛門様	(近世)	切紙・1通	え4025-22
(「嘉右衛門様 五十馬」) 五十馬→(八田)嘉右衛門様	(近世)	切紙・1通	え4025-23
(「八田嘉右衛門様 倉嶋丈右衛門」) 倉嶋丈右衛門→八田嘉右衛門様	(近世)	切紙・1通	え4025-24
(麻場孝助飯米代金書上)	(近世)	切紙・1通	え4025-25
覚(玄米1俵請取に付) 河野治一兵衛(印)→八田嘉右衛門殿	天保7年申10月15日	横切紙・1通	え4025-26
(書状、参府中村義一郎・同都筑重之助家内の分御払穀頂戴願いに付) 原田糺	(近世)10月22日	横切紙・1通	え4025-27
「八田嘉右衛門様 蟻川政治郎 金子入」 蟻川政治郎→八田嘉右衛門様	(近世)	切紙・1通	え4025-28
「嘉右衛門様 小左衛門 内用」 小左衛門→(八田)嘉右衛門様	(近世)	切紙・1通	え4025-29
覚(玄米2斗8升受取に付) 小野藤平内多惣治(印)	(近世)10月12日	横切紙・1通	え4025-30
(「小野道栄」) 小野道栄	(近世)	切紙・1通	え4025-31
(「仁科松碩」) 仁科松碩	(近世)	切紙・1通	え4025-32
口上(先刻相願置くこと、何分この者に御渡し下されたきに付) 西山祖兵衛	(近世)25日	横切紙・1通	え4025-33
(「嘉右衛門様 左馬介 金子入」) 左馬介→(八田)嘉右衛門様	(近世)	切紙・1通	え4025-34
(「八田嘉右衛門様 塩野熊之介 金子入」) 塩野熊之助→八田嘉右衛門様	(近世)	切紙・1通	え4025-35
覚(玄米1俵受取に付) 石倉嘉太夫(印)→八田嘉右衛門殿	天保7年10月14日	横切紙・1通	え4025-36
(書状、鼠半紙に認めた人別調引合書も御持参下されたきに付) 惣之進→(八田)嘉右衛門様	(近世)10月29日	横切紙・1通	え4025-37

(書状、玄米1俵この者に下されたく頼み上げに付) 保科此右衛門→八田嘉右衛門様	(近世)10月20日	横切紙・1通	え4025-38
(「若輩ニ付親類を以奉願候」書付) 松本賢吾・小納戸勘兵衛	(近世)	切紙・1通	え4025-39
(書状、樋口家家内多勢にて飯米代差支えのため玄米2俵下されたく願いに付) 菅誠太郎→八田嘉右衛門様	(近世)10月22日	横切紙・1通	え4025-40
(書状、融通米御貰申したきに付) 伊藤賢治→八田嘉助様	(近世)10月22日	横切紙・1通	え4025-41
(書状、御願御聞済成し下され金2分3朱御受取下されたきに付) 戸根山民之介→長崎源吾様	(近世)10月15日	横切紙・1通	え4025-42
(「嘉助様 惣右衛門 金子入」) 惣右衛門→(八田)嘉助様	(近世)	切紙・1通	え4025-43
(書状、融通米1俵この者へ御渡し下されたきに付) 竹内増司→八田嘉助様	(近世)10月26日	横切紙・1通	え4025-44
(書状、飯米何分も御願ひ申し上げるに付) 惣右衛門→(八田)嘉助様	(近世)10月13日	横切紙・1通	え4025-45
(書状、難渋のためまず1俵御差廻し御渡し下されたく頼み上げに付) 小左衛門→(八田)嘉右衛門様内用	(近世)10月13日	横切継紙・1通	え4025-46
(書状、難渋のため何卒1俵御渡し下されたく頼み上げに付) 宮下翁輔→八田嘉右衛門様	(近世)10月26日	横切継紙・1通	え4025-47
(書状、先日相願うものをこの者に御渡し下されたきに付) 才治郎→(八田)嘉右衛門様	(近世)26日	横切紙・1通	え4025-48
(書状、御払俵拝戴仕りたきに付) 山浦兵馬→八田嘉右衛門様	(近世)10月17日	横切紙・1通	え4025-49
(書状、差支のため玄米1俵下されたきに付) 弥治郎→(八田)嘉右衛門様	(近世)10月26日	横切紙・1通	え4025-50
(書状、難渋のため御繰り廻し融通米1俵御渡し下されたく頼み上げに付) 落合瀬左衛門→八田嘉右衛門様内用御直段	(近世)10月23日	横切継紙・1通	え4025-51
(書状、此節差支のため飯米1俵相願うに付) 元泊→(八田)嘉右衛門様	(近世)10月16日	横切紙・1通	え4025-52
(書状、私儀長々病気のため御下俵御承知下さり御渡しに付) 東條兵蔵→八田嘉右衛門様	(近世)10月21日	横切紙・1通	え4025-53
(書状、当節飯米差支難渋のため御融通米1俵御貰申したきに付) 堀井喜一郎→八田嘉右衛門様	(近世)10月21日	横切紙・1通	え4025-54
(書状、先日段々御懸合の通り何卒玄米この者に御渡し下されたきに付) 関口助九郎→八田嘉右衛門様	(近世)10月21日	横切紙・1通	え4025-55
(書状、飯米指支えのため1俵御繰り廻し下されたく頼み上げに付) 石倉嘉太夫→八田嘉右衛門様	(近世)10月24日	横切紙・1通	え4025-56
(書状、当節差支のため1俵御売渡下されたく御頼みに付) 一場権左衛門→八田嘉右衛門様	(近世)10月27日	横切紙・1通	え4025-57
(書状、御頼み申し上げの儀承知成し下され、代料2分2朱151文御落手成し下されたきに付) 元立→(八田)嘉助様	(近世)10月27日	横切紙・1通	え4025-58
(書状、家内迷惑のため1俵御承知下されたきに付) 惣之進→(八田)嘉右衛門様	(近世)10月27日	横切継紙・1通	え4025-59

4.松代藩御用/3.融通米世話

(書状、差支難渋のため1俵御貰い申したく願いに付) 竹内晋平→八田嘉右衛門様	(近世)10月26日	横切継紙・1通	え4025-60
(書状、河原岩右衛門借金代金差し上げるので、俵物この者に御渡し下されたく願いに付) 西沢軍治→小田嘉右衛門様	(近世)10月17日	横切紙・1通	え4025-61
口上(御厄介忝なし、代金持たせ差し上げるに付) 山岸巻多→八田嘉右衛門御内御役人中様	(近世)10月17日	横切紙・1通	え4025-62
(書状、米1俵この者へ御渡し下されたく頼みに付) 仲岱→(八田)嘉助様	(近世)10月14日	横切紙・1通	え4025-63
口上覚(飯米御貰い申しこの者へ御渡し下されたきに付) 左馬介→(八田)嘉右衛門様	(近世)10月20日	横切紙・1通	え4025-64
(書状、無心御承知下され代料2分2朱151文御渡しに付) 竹花勘兵衛→八田嘉右衛門様	(近世)10月19日	横切紙・1通	え4025-65
(書状、矢野唯美殿方飯米を今1俵融通可否問合せに付) (八田)喜兵衛→(八田)嘉助様	(近世)10月19日	横切継紙・1通	え4025-66
(書状、相願置く飯米この者に御渡し下されたく願いに付) 新輔→(八田)嘉助様	(近世)10月20日	横切紙・1通	え4025-67
(書状、1俵この者に御渡し下されたく頼みに付) 惣之進→(八田)嘉助様	(近世)10月28日	横切紙・1通	え4025-68
(書状、少々拝借仕りたきに付) 金右衛門→(八田)嘉右衛門様	(近世)10月28日	横切紙・1通	え4025-69
(書状、玄米1俵御渡し願ひ奉るに付) 熊之助→(八田)嘉右衛門様	(近世)10月27日	横切紙・1通	え4025-70
(書状、相願事承知のため取りに上がりたきに付)	(近世)今日	横切紙・1通	え4025-71
(書状、代金切手にて差し上げるため飯米御渡し願ひに付) 西村藤蔵→八田嘉右衛門様	(近世)10月23日	横切紙・1通	え4025-72
(書状、飯米1俵御繰り合わせ渡し下されるに付) 慶助→(八田)嘉助様	(近世)10月23日	横切紙・1通	え4025-73
(書状、御願ひの飯米1俵この者に御渡し下されたく願ひに付) 坂巻金太夫→八田嘉右衛門様	(近世)10月23日	横切紙・1通	え4025-74
(書状、御約束の玄米1俵この者に御渡し下されたきに付) 喜見→(八田)嘉助様	(近世)10月24日	横切継紙・1通	え4025-75
(書状、御払米この者に御渡し下されたく頼みに付) 佐野左治馬→八田嘉右衛門様	(近世)10月23日	横切紙・1通	え4025-76
(書状、玄米1俵この者に御渡し下されたく願ひに付) 倉嶋丈右衛門→八田嘉右衛門様	(近世)10月19日	横切紙・1通	え4025-77
(書状、甚だ難渋のため米1俵申請たく頼みに付) 源蔵→(八田)嘉右衛門様内用	(近世)10月29日	横切紙・1通	え4025-78
(書状、代料差上るため何卒御面倒御差引下されたく願ひに付) 今右衛門→(八田)嘉右衛門様	(近世)29日	横切紙・1通	え4025-79
(書状、金3分差し上げるため願ひ置く飯米を何分頂戴仕りたく願ひに付) 弥三郎→(八田)嘉助様	(近世)11月2日	横切紙・1通	え4025-80
(書状、飯米甚だ差支え迷惑いたすため融通米1俵御貰申したきに付) 伊東賢治→八田嘉助様	(近世)10月29日	横切紙・1通	え4025-81
(書状、飯米差支え甚だ迷惑仕るため融通米1俵御貰申したきに付) 横山正逸→八田嘉右衛門様	(近世)10月29日	横切紙・1通	え4025-82



(書状、宮入圓藏方にて扶持米差支え甚だ難渋のため御融通米1俵御貴申したきに付) 戸根山民之助→八田嘉右衛門様	(近世)10月29日	横切紙・1通	え4025-83
(書状、先刻相願う玄米1俵この者に御渡し下されたく頼みに付) 富之進→(八田)嘉助様	(近世)10月29日	横切紙・1通	え4025-84
(書状、代金2分2朱151文差上げるため玄米2斗8升この者に御渡し下されたく願いに付) 寺澤松三郎→長崎源五郎様	(近世)11月2日	横切紙・1通	え4025-85
(書状、御払米の儀御承知も下されればこの者に御渡し下されたく頼みに付) 兎友作→八(八田)嘉右衛門様	(近世)10月29日	横切紙・1通	え4025-86
(書状、1俵分2分2朱151文差し上げるため飯米御入手下されたく願いに付) 九八郎→喜兵衛様	(近世)11月4日	横切紙・1通	え4025-87
(書状、兼々願ひ奉る通り何分宜しく御願奉りたきに付) 喜兵衛→(八田)嘉助様	(近世)11月4日	横切紙・1通	え4025-88
覚(玄米2斗8升請取に付) 小林喜大夫(印)→八田嘉右衛門様	天保7申年10月	縦紙・1通	え4025-89
(書状、約束の米何分この者に御渡し下されたく御頼みに付)	(近世)10月14日	横切紙・1通	え4025-90
(書状、御厚志の1俵この者に仰せ渡され下されたく頼みに付) 源吾→(八田)嘉右衛門様内要用	(近世)10月14日	縦紙・1通	え4025-91
(書状、私儀夫喰に差支えたため1俵御売渡し下されたく頼みに付) 久保新左衛門→八田嘉右衛門様	(近世)10月17日	縦紙・1通	え4025-92
(書状、御無心の御払米をこの者に御渡しに下されたく頼みに付) 久保新左衛門→八田嘉右衛門様	(近世)18日	縦紙・1通	え4025-93

#### 4.4. 椀類挽物問屋

(松代での椀類その他挽物細工の売り捌き許可および城下町での問屋世話方勤めに付申渡書) * (包紙上書)「文政元寅年九月五日椀問屋被仰付候御書附」/鑑札あり/ (鑑札表書)「椀類挽物問屋札 伊勢町傳兵衛」/ (鑑札裏書)「金井左源太(印) 片岡主計(印)」 →伊勢町傳兵衛	9月5日	横切紙/ (包紙、書状、鑑札は紙縫一括)・1通	え4071
---	------	-------------------------	-------

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

## 5. 会所・商社 / 産物会所

### 5.1. 産業統制

#### 5.1.1. 杏仁

##### 5.1.1.1. 諸書類綴

(入用書簡綴)		綴/(え4163-1~17は一綴)・1綴	え4163
(包紙) * (包紙上書)「入用書簡」		包紙・1点	え4163-1
覚(杏仁代金545両1分2朱買入金差引金218両2分5匁7分9厘余り金銭書上) 菊や傳兵衛・菊や惣兵衛→御産物方御会所	卯8月	横切継紙・1通	え4163-2
(書状、一昨夕松本氏から杏仁一条別紙も注文も行き違いのため返書などに付) 五庵拝→寺町様 御内披奉 □(綴紐判読不能)上候	10月17日	横切継紙・1通	え4163-3
(倉科村音作杏仁9俵納入代金12両1分2朱銀3匁2分1厘御下金差引金3両1分2朱銀3匁2分1厘金銭書上)		横切紙・1通	え4163-4
(書状、小森村両人の買極め内金相渡しについて会所の方偽りの姿不束至極の儀に付) 慎蔵・喜兵衛→豊蔵様・儀左衛門様・周蔵様	10月2日	横切継紙・1通	え4163-5
(書状、稲荷山の者ども彼是不法の取り計らいのため御訴訟仕りたきに付) 喜兵衛・慎蔵→忠蔵様・儀左衛門様	10月26日	横切継紙・1通	え4163-6
(御寄合のため今日も御出張願いたく様子伺いの書付)	26日	小切紙・1通	え4163-7
(書状、明日稲荷山へ村杏仁再改め出役赦免願いに付) 関新右衛門→御産物御会所	10月27日	横切継紙・1通	え4163-8
覚(6人分万右衛門・重兵衛13匁5分ほかメ金1分銭620文金銭書上) 万右衛門(印)→峯村吉兵衛様		横切紙・1通	え4163-9
(晋書1部、スタアー銃1挺など品数書上) * (端裏書)「御品代り」 八田知道		横切紙・1通	え4163-10
(生萱村御持地惣小作地の申年分御年貢諸御役上納皆済など御役代勤め書上) 生萱村御役代惣左衛門(印)→八田孫左衛門様御役代傳兵衛殿	申12月	横切紙・1通	え4163-11
(書状、御恵投の大竈1品にて京焼出来と格別見事の品御礼に付) 三新五右衛門→八(八田)嘉右衛門様貴酬	4月27日	横切継紙・1通	え4163-12
(書状、御地滞留中種々馳走の礼に付) 瑞峯僧→八田嘉右衛門様人々御中	12月5日	横切継紙・1通	え4163-13
(書状、金子4月中8両差し上げ、その後才覚金出来ず、金子出来次第差し上げに付) 源左衛門→丈助様	11月20日	横切継紙・1通	え4163-14
(書状、町田源左衛門へ37枚金子遣わし置く件当惑に付) 丈助→(八田)嘉右衛門様	睦月6日	横切継紙・1通	え4163-15

(書状、祭礼若者共踊り狂言同様実施の要求一件左の趣内々御計成願いのため面談も他行計り難きに付)	8月6日	横切継紙・1通	え4163-16
(今年の祭礼若者共踊り狂言同様実施の要求一件解決に関する書付)		横切継紙・1通	え4163-17

## 5.2. 大坂交易

### 5.2.1. 嘉永期甘草・杏仁等大坂売捌仕法

(書状、吉田村藤助・菊屋栄八兩人上坂の趣炭彦(炭屋彦五郎)・孫七成り行き懸かり合いの御用及び炭彦一件江戸上屋敷小沢彦太夫方へ差し出しなどに付) *(端裏書)「松嘉さま」 近江屋佐兵衛→松本嘉重郎様貴下	8月12日	横切継紙・1通	え4078
---	-------	---------	-------

### 5.2.2. 北国への荷物運送駄賃・取引

覚(羽釜2本御地迄の駄賃金5両の定) 柴山作左衛門(印)「越後国直江津柴山」→信州松代八田金七殿	申年8月19日	堅継紙・1通	え4057
覚(大釜2ツ改めの上請取書) 柴山作左衛門(印)「越後国直江津柴山」→八田孫左衛門殿	申年9月10日	堅切紙・1通	え4058
(寛政12申閏4月半兵衛大坂へ罷越候節調物関係綴)		綴/(え4145-1~30は一綴)・1綴	え4145
(袋) *(袋上書)「寛政十二申閏四月半兵衛大坂江罷越候節調物一卷文通入置申候」	寛政12(年)申閏4月	袋・1点	え4145-1
(書状、倍高成る品運送の義召遣候者へ申し付け品御渡しへの頼みに付) *(端裏書)「申九月七日柴山差越書状下案(印)(印)飛脚者田町恒吉木町孝吉」 八田孫左衛門→柴山作左衛門様 人々御中	9月7日	横切継紙・1通	え4145-2
(書状、大坂表より大釜14箇荷代無事着の旨再び申上、高田表への御送り委細御返書奉待上に付) *(端裏書)「松代行」 柴山作左衛門→八田孫左衛門様	7月晦日	横切継紙・1通	え4145-3
覚(大釜2本小間物12箇通庭蔵舗運送代金2朱銭174文他メ金2朱と銭510文受取に付) 柴山作左衛門[印「越後国柴山直江津」]→八田金七殿	申8月19日	横切継紙・1通	え4145-4
(書状、大坂表より大釜14箇荷代到着の旨八田孫左衛門へ不達の件貴公の手紙により委細承知に付) 柴山作左衛門[印「越後国柴山直江津」]→八田傳兵衛様人々御中	8月7日	横切継紙・1通	え4145-5
覚(指渡し3尺7寸羽釜1本代金860匁他メ銀891匁6分受取に付) 金屋嘉兵衛[印「大坂道頓堀金屋嘉兵衛幸橋北詰」]→八田孫左衛門様	申5月16日	横切継紙・1通	え4145-6
御請一札之事(大釜2荷14人持積駄賃口銭諸懸り物5両にて御渡しに付一札) →八田孫左衛門様御内金七殿	9月4日	横切継紙・1通	え4145-7
相場(御天領米・鰯節など相場書上) 柴山作左衛門[印「越後国柴山直江津」]→八田金七様	8月19日	横切継紙・1通	え4145-8
覚(荷物駄賃銭480文他メ銭620文受取に付) 柴山作左衛門[印「越後国柴山直江津」]→八田源蔵様	申9月	横切継紙・1通	え4145-9

## 5.会所・商社/産物会所/2.大坂交易/2.北国への荷物運送駄賃・取引

(書状、荷物品々善光寺運送及び帰着の御礼申し上げに付) 柴山作左衛門→八田孫左衛門様	9月28日	横切継紙・1通	え4145-10
(書状、荷物品々善光寺運送及び帰着の御礼として御樽肴代方金200疋進上などに付) *(端裏書)「申九月廿六日飛脚源蔵遣ス」 八田孫左衛門→柴山作左衛門様人々御中	9月25日	横切継紙・1通	え4145-11
(書状、大釜2ッ御渡し及び残りの品御預置きの御知らせに付) 柴山作左衛門→八田孫左衛門様御報	9月10日	横切継紙・1通	え4145-12
(書状、此節船積の大釜2ッ運賃高直のため此方少々弁じ申し上げに付) 金屋嘉兵衛[印]「大坂道頓堀金屋嘉兵衛幸橋北詰」→八田孫左衛門様	6月8日	横切継紙・1通	え4145-13
(元利銀105匁他ノ銀193匁金銭書上) 京屋七兵衛[印]→播磨屋九兵衛殿	申5月	横切紙・1通	え4145-14
(書状、右衛門妹久保源左衛門様嫡子九十郎と縁組みの御知らせに付) 鈴木右衛門内荒井惣吉→八田孫左衛門様・八田嘉右衛門様	9月15日	横切紙・1通	え4145-15
(書状、昨夕貴墨届きの委細召仕金七差遣し御差図下さるよう頼みに付) 八田孫左衛門→柴山作左衛門貴報	8月17日	折紙・1通	え4145-16
(書状、大坂表より大釜など14箇運送駄賃是迄の通り御取究の頼みに付) 八田伝兵衛→柴山作左衛門様人々御中	8月14日	折紙・1通	え4145-17
(書状、川上挽抜蕎麦2匁進上に付) 若林武太夫玲直(花押)・出澤喜右衛門向秀(花押)→八田嘉右衛門様		折紙・1通	え4145-18
覚(高田送り2品駄賃1貫900文受取に付) 柳屋七右衛門→八田民弥様	申10月14日	横切紙・1通	え4145-19
覚(唐箕1つなど松代八田孫左衛門への継送り状) 河野や平八良[印]→善光寺後町柳屋七右衛門殿	申9月晦日	横切紙・1通	え4145-20
覚(駄賃2貫400文など受取に付) 牛方幸七[印]→源蔵様	10月5日	横切紙・1通	え4145-21
覚(羽釜1本義石通シ1本など受取に付) 高田河野や平八良[印]→松代八田孫左衛門殿	申9月29日	横切紙・1通	え4145-22
(2貫532文御渡しの書付) *断簡		横切紙・1通	え4145-23
附出覚(高田荷作賃150文・附出シ100文など相場書き出し)		横切紙・1通	え4145-24
覚(銅代金329匁1分受取に付) 桑名屋佐兵衛(印)→半兵衛様	5月16日	横切紙・1通	え4145-25
覚(水こし1枚代金20匁6分4厘金銭書上) かみや治郎兵衛[印]→播磨屋九兵衛様	5月2日	横切紙・1通	え4145-26
覚(青筆1本代銀1匁4分他ノ銀9匁8分金銭書上) →播磨屋九兵衛様	5月13日	横切紙・1通	え4145-27
覚(釜取ノ高1貫360目9分手附銀差引ノ860目9分金銭書上) 金屋嘉兵衛(印)→信州松代八田孫左衛門様・播磨屋九兵衛様	申5月2日	横切継紙・1通	え4145-28
覚(羽釜1つ等ノ11口書上) 桑名屋佐兵衛→半兵衛様	申5月15日	横長半・1冊	え4145-29
覚(羽釜代銀1貫250匁他ノ銀329匁7分4厘金銭書上) くわなや佐兵衛→半兵衛様	さる5月15日	横長半・1冊	え4145-30

## 5.2.3. 炭屋孫七関係書状など綴

(菊屋栄八立替銀子返済関連書状綴)		綴/(え4142-1~9は一綴)・1綴	え4142
(袋) * (袋上書)「諸方書状入 [印「信州松代東店菊傳」]/(袋裏書)(虫損甚大判読不能)」		袋/(虫損甚大)・1点	え4142-1
十一月三日出(当秋書状による取替銀子返済の返答御頼みに付) 小西彦七→菊屋栄八様貴下	11月3日	横切継紙/(虫損甚大)・1通	え4142-2
(書状、去戊年在坂中手代栄八取替銀子返済遅延について今暫くの御勘弁願に付) *え4142-2への返事		横切継紙/(虫損甚大)・1通	え4142-3
(書状、去戊年在坂中手代栄八取替銀子返済遅延について今暫くの御勘弁願に付) *え4142-3の下書		横切継紙/(虫損甚大)・1通	え4142-4
(書状、昨秋立替銀子返済について本状着次第の返事御頼みに付) 小西彦七→菊屋栄八様御衆中様貴下	2月3日	横切継紙/(虫損甚大)・1通	え4142-5
(書状、立替銀子返済遅延について如何に思召しか返答御頼みに付) 小西彦七→菊屋栄八様御店中様貴下	11月朔日	横切継紙/(虫損甚大)・1通	え4142-6
(書状、栄八取替銀子返済延引について詳細は傳兵衛の返書にて御承引願に付) 傳兵衛代(棒線墨消し) 菊屋金兵衛・佐介→小西彦七様	4月17日	横切継紙/(虫損甚大)・1通	え4142-7
(書状、栄八取替銀子返済延引について詳細は傳兵衛の返書にて御承引願に付) *え4142-7の下書		横切継紙/(虫損甚大)・1通	え4142-8
(書状、大坂送りの甘草など仕切代銀炭屋彦七方へ御渡しに付) 傳兵衛→□□(虫損あり)屋弥助様御店中様		横切継紙/(虫損甚大)・1通	え4142-9
(寺領役人よりの文通関係一括)		綴/(え4157-1~40は一綴)・1綴	え4157
(袋) * (袋上書)「寺領役人共より之文通 他見無用」		袋・1点	え4157-1
(書状、別紙兩通吉田兵左衛門・柄澤忠兵衛より御兩所様へ御届に付) 隼人・源右衛門→(八田)嘉助様・(松本)嘉十郎様	12月27日	横切継紙・1通	え4157-2
(書状、院内惣再建寄附の義に付) 柄澤忠蔵・吉田兵左衛門→八田嘉助様・松本嘉十郎様	12月19日	横切継紙・1通	え4157-3
(書状、上人明年公儀御年礼のため上坂願に付) 吉田兵左衛門→八田嘉助様・松本嘉十郎様	12月19日	横切継紙・1通	え4157-4
口上代(柄澤隠居より承りの品御送りに付) 吉田・柄澤→八田様	19日	横切継紙・1通	え4157-5
(書状、兼ねての1条及び浅草御院主様の儀委細は帰国次第拝顔の折申し上げに付) 半兵衛→松本様尊下	8月15日	横切継紙・1通	え4157-6
口上(延引の両品進覧仕り御受納くだされたき事他) 吉村隼人→八田嘉助様	12月25日	横切継紙・1通	え4157-7
(書状、一宮様新橋御屋敷に入り御対顔の件御執成願に付)	7月13日	横切継紙・1通	え4157-8
(書状、武源へ仰せ含めの委細承知仕る他) (柄澤)孝左衛門→(松本)嘉十郎様		横切継紙・1通	え4157-9

(書状、御対顔並びに大坂一条深意くだされ拝謝の事他) (柄澤)忠藏→(松本)嘉十郎様	7月5日	横切継紙・1通	え4157-10
(書状、新春の挨拶、御貸付一条鈴木半兵衛・吉田へ面席の上承知他) 山口治郎兵衛→柄澤孝左衛門様参人々御中	正月15日	横切継紙・1通	え4157-11
(書状、御書面の趣畏まり、浅草安住院より御用の御状差上げも盆中のため伝わらず、岡田氏へ内談の上言上などに付) (鈴木)半兵衛→松本嘉十郎様	7月17日	横切継紙・1通	え4157-12
(書状、当方持山の松茸一籠受納くだされたき事) 柄澤孝左衛門・吉村隼人→八田嘉助様	9月12日	横切継紙・1通	え4157-13
(書状、安芸様始め御方々様御年始御礼の登城済み次第、来年度中上京仕りたきなどに付) 柄澤孝左衛門→八嘉助	11月	横切継紙・1通	え4157-14
(書簡、吉田様へ鈴木半兵衛面席、御貸附の取極め御承知などに付) 山口治郎兵衛→吉村隼人様参ル人々御中	正月25日	折紙・1通	え4157-15
(書状、年頭の御祝詞に付) 柄沢忠藏照優(花押)・吉田兵左衛門義豊(花押)→八田嘉輔様参人々御中	正月	折紙・1通	え4157-16
(書状、事多きため出張無き旨御承引に付) 治之助→(八田)嘉助様	7月21日	横切継紙・1通	え4157-17
(書状、村方より見舞い参るなどに付) (松本)嘉十郎→(八田)嘉助様	7月21日	横切継紙・1通	え4157-18
(別紙竹花殿への書状返却の書付)		切紙・1通	え4157-19
(書状、上人上坂の上普請成就を願う等に付) よし隼(吉村隼人)→まつ嘉(松本嘉十郎)様再々報	7月21日	切紙・1通	え4157-20
(書状、大坂竹屋喜六下向の節一兩人出向候様など承知に付) (吉村)隼人・孝左衛門・源右衛門→(八田)嘉助様・(松本)嘉十郎様	5月12日	横切継紙・1通	え4157-21
(書状、院内向普請1条のため大坂表より竹屋嘉六出府への問合せ返書御頼みに付) (吉村)隼人・源左衛門→(松本)嘉十郎様・(八田)嘉助様	3月21日	横切継紙・1通	え4157-22
(書状、源五左衛門への御内命・小子の御返書承知、善光寺住職隠居願ひ差出し忤の家督相続仕りたきなどに付) 吉隼(吉村隼人)→松嘉(松本嘉十郎)様	2月27日	横切継紙・1通	え4157-23
(京都百万遍知恩寺和尚他より借入金割合金1000両10ヶ年賦拝借上納の書付)	12月10日御渡	横切継紙・1通	え4157-24
覚(霊岸寺他へ書状書上)		横切紙・1通	え4157-25
覚(栗ノ6斗代金1両1分2朱余金銭書上)		横切継紙・1通	え4157-26
(嘉助より炭屋彦五郎へ1通他大坂方等への書状内容書付)		横切継紙・1通	え4157-27
覚(霊端和尚・慈明和尚へ御頼状1通ずつ書上)		横切継紙・1通	え4157-28
(書状、大坂嘉六儀来月中旬御下向などに付) 柄澤孝左衛門→(八田)嘉助様	5月8日	横切継紙・1通	え4157-29
覚(上広判真綿代金3分他ノ真綿代金2両2分金銭書上)		横切継紙・1通	え4157-30
(書状、江府表より差送り並びに吉田兵左衛門よりの書状御入手に付) (吉村)隼人→(松本)嘉十郎様	12月27日	横切継紙・1通	え4157-31

(書簡、此度の御談事向にては上坂第一、境内普請第二など申し上げに付) よし隼(吉村隼人)→松嘉(松本嘉十郎)様	7月21日	横切継紙・1通	え4157-32
(書状、文庫もの江府より差送り御届に付) (吉村)隼人→(八田)嘉助様	12月27日	横切紙・1通	え4157-33
(書状、上人屋敷向普請の義柄沢孝左衛門・吉村隼人出府の折委細承知に付) 吉田兵左衛門→八田嘉助様・松本嘉十郎様	12月19日	横切継紙・1通	え4157-34
(書状、和光寺一件破談申し立てに付) 松本嘉十郎→御内用筋八田嘉助様	7月21日	横切継紙・1通	え4157-35
(書状、在所表惣普請1条のため大坂表御頼談骨折くされ御礼に付) 柄沢忠蔵照優(花押)・吉田兵左衛門義豊(花押)→松本嘉十郎様	正月26日	折紙・1通	え4157-36
(書状、年始御祝詞に付) 柄沢忠蔵照優(花押)・吉田兵左衛門義豊(花押)→松本嘉十郎様	正月26日	折紙・1通	え4157-37
(書状、惣普請1条竹屋喜六御取り持ちなどのため御歳暮の御祝儀として塩1俵差出しに付) 柄沢忠蔵照優(花押)・吉田兵左衛門義豊(花押)→松本嘉十郎様	正月26日	横切継紙・1通	え4157-38
(書状、青山上人などへ早々内話も有るため只今より尊館へ伺いに付) *裏に貼付にて別紙あり (松本)嘉十郎→八嘉(八田嘉助)様[ ](綴込み判読不能)懸上	5月朔日	横切継紙・1通	え4157-39
(書状、昨年中より御頼みの上坂1条御断り、大坂表へ申し訳なきに付) 吉田兵左衛門・柄沢忠蔵→八田嘉助様	11月6日	横切継紙・1通	え4157-40

## 5.3. 江戸での取引

### 5.3.1. 取引

乍恐以書付奉申上候(産物江戸送為替金非常時取扱い方御尋に付書上、売買所当時荷出し者金高調べ覚とも) 当時相休鍵屋伴之助(印墨消)・大丸店買次而已ニ御座候江戸屋利兵衛(印墨消)・柏屋藤助(印)菊屋惣兵衛(印墨消)・菊屋傳兵衛(印墨消)・当時相休増田徳左衛門(印墨消)→御産物方御会所	安政5午年12月	半・1冊	え4096
--	----------	------	-------

## 5.4. 諸書類綴

(小野氏出立関係書類綴)		綴/(え4036-1~11は一綴)・1綴	え4036
(袋) * (袋上書)「午正月廿日小野氏出立付書置候書類入」		袋・1点	え4036-1
(1074両1分10匁4分3厘差引ノ残469両8匁5分8厘金銭書上)		横切継紙・1通	え4036-2
覚(産物品々改・鑑札・祝金他合ノ金3181両3分銀14匁4分2厘金銭書上) 計政副主事	12月晦日	横切継紙(灰色宿紙)・1通	え4036-3
(金721両内訳書上)		横切継紙(灰色宿紙)・1通	え4036-4
(金3181両3分14匁4分2厘差引ノ残金721両金銭書上)		折紙・1通	え4036-5

## 5.会所・商社/産物会所/4.諸書類綴

覚(2月分金55両5分4匁6厘他ノ金3419両4匁6分9厘、他2口ノ4326両3分8匁8分9厘、差引ノ3両7匁6分6厘余金銭書上)		横切継紙(灰色宿紙)・1通	え4036-6
十一日昇殿(上戴人・次の人数・献立書上)		横切紙/(反古紙使用)・1通	え4036-7
(飯島彦兵衛1280両153匁2分6厘ほか金銭書上)		横切継紙・1通	え4036-8
(増田差引残3両2分12匁7分1厘ほか金銭書上)		切紙・1通	え4036-9
(増田徳左衛門140両2分12匁3厘利7両2匁1分ノ147両2分14匁1分3厘ほか人別金銭書上)		横切継紙・1通	え4036-10
(正月1割2分金2500両利300両他ノ金9800両利1386両1分、他ノ10247両1分金銭書上)		横切継紙・1通	え4036-11
(金銭関係綴)		綴/(え4038-1~11は一綴)・1綴	え4038
(袋) * (袋上書)「午六月 下筋書類 富岡」		袋・1点	え4038-1
(書状、破船一条等竹国氏より聞き取り成下され、運送遅腐気米多くご心配ご尽力下さるにつき) * (端裏書)「大里よりの来状」 まつりや→大之輔様御もとへ	6月6日	横切継紙・1通	え4038-2
当時相場(新發田御米、大豆など) 大月屋藤藏		横切紙・1通	え4038-3
覚(七嶋表ほか相場書上)	午5月15日	横切紙・1通	え4038-4
(加賀会所より申遣候小松表相場書上)	5月15日	小切紙・1通	え4038-5
(宝珠ほか当時相場書上) 越前屋友七→茸屋御店	5月15日	横切紙・1通	え4038-6
(宝珠ほか当時相場書上) 越前屋友七→藤井御店	5月16日	横切紙・1通	え4038-7
(書状、御下ケ金御届次第早速出瀉の件御執成願及び御書付頂戴の件御聴添願に付) 五郎治謹拝→富(富岡)良右衛門様申上	6月15日	横切継紙・1通	え4038-8
(一昨十日御買上粉之儀売り払い・舟積などに付申上書) 大之輔→(富岡)良右衛門様申上	6月12日夜認	横切継紙・1通	え4038-9
覚(新潟表よりの賃銭金100両受取書) 寺澤大之輔(印)→新村八重治殿	明治3(年)午6月	横切継紙・1通	え4038-10
(書状、式百金井中之助へ御貸渡し及び印証差上と御引替に御下渡しの歎願に付) 五郎治拝→西條様申上	6月22日	横切継紙・1通	え4038-11
(産物会所御用筋関係書状綴)		綴/(え4162-1~7は一綴)・1綴	え4162
(包紙) * (包紙上書)「御用筋 宮澤善治様・太田藤右衛門様・坂本斎助様 宮原柔兵衛・中村鍊蔵」		包紙・1点	え4162-1
(書状、生糸蚕種紙改め方冥加納め方・それに伴う荷物運送賃銭御会計改めなどに付) * (端裏書)「六月八日達」 中村鍊蔵・宮原柔兵衛→宮澤善治様・太田藤右衛門様・坂本斎助様・小野唯之進様・富岡良右衛門様・八田慎蔵様・幡場潤蔵様	5月29日	横切継紙・1通	え4162-2
(書状、川辺18ヶ村綿商人鑑札昨年同様許可願い等に付) 兵左衛門→近藤御旦那様	閏4月27日	横切継紙・1通	え4162-3



(書状、生糸蚕種紙取り扱い方産物会所掛へ申し越すに付) 一学・嘉兵衛→一路様・為之進様・弥右衛門様・十郎兵衛様・茂右衛門様・友之進様・刑部丞様・太五之丞様・金左衛門様	5月8日	横切継紙・1通	え4162-4
(書状、御領内御産物について当方へ取り込み捌き方一条に付) 野間哲之助→丸山瀧蔵様	閏4月25日	横切継紙・1通	え4162-5
(書状、生糸蚕種紙改め方の儀別紙写しにて領内村々へ触れ達しに付) *追而書あり 西垣誠蔵・長沢半平→磯田音門様・成沢勘左衛門様・佐藤為之進様・岡野弥右衛門様	正月11日	横切継紙・1通	え4162-6
(書状、御会計御裁判所からの生糸蚕種紙取り扱い方の達儀産物会所掛へ申し越し御承知に付) 一学・嘉兵衛→一路様・為之進様	5月21日	横切継紙・1通	え4162-7
(大塚孝三郎殿差引書入及び菊屋惣兵衛為替金関連文書綴)		綴/(え4174-1~13は一綴)・1綴	え4174
(袋) *(袋上書)「大塚孝三郎殿差引書入菊屋惣兵衛為替金」		袋・1点	え4174-1
(書状、上田表より客人参り入用のため尊君様より御内借願たきに付) 藤田専蔵→八田嘉助様内用	4月20日	横切紙・1通	え4174-2
(江府送り荷造賃銀取替之分金120両他金銭書上)		折紙・1通	え4174-3
(書状、菊屋惣兵衛送附代金請取方宜しき様取り計らい等に付) 孝三郎→(八田)嘉助様	4月26日	横切継紙・1通	え4174-4
覚(御下屋敷様メ金22両2朱13文他メ114両2分445文金銭書上)		横切継紙・1通	え4174-5
覚(綿代金御中借の内当節まで上納残金11365両3分銀6匁6厘金銭書上)		横切紙・1通	え4174-6
覚(江府調物代金6両3分6匁5分他差引残り金4両1分1朱5匁8分6厘金銭書上)		横切紙・1通	え4174-7
(午12月12日水井忠蔵殿上納金18両3分他金銭貸書上)		折紙・1通	え4174-8
(金106両2分銀4匁8分8厘他メ差引207両2分6匁1分2厘金銭書上)		折紙・1通	え4174-9
(亥3月8日出荷物1箇代金60両1分10匁2分8厘他メ取組為替金61両3分の請取頼みに付申上書) 孝三郎→(八田)嘉助様	4月	折紙・1通	え4174-10
(戊年内出分高金646両1分銀10匁4分1厘他メ2口金854両2分銀7分5厘など金銭書上)		横長半・1冊	え4174-11
菊屋惣兵衛差引覚 *え4174-12とえ4174-13の間に挿入文書(「覚(2口メ16両受取書)」,作成年代4月23日、作成菊屋惣兵衛)あり		折紙/(貼紙あり)・1通	え4174-12
(白紙)		横長半・1冊	え4174-13
(国産方大坂交易関係書簡綴)		綴/(え4183-1~25は一綴)・1綴	え4183
(書状、太三郎種々御馳走の儀多謝並びに発足の義も3日中に決定、甘草年賦証書高井に御渡し下されたきに付) 高井三九郎→八田慎蔵様貴下	5月9日	横切継紙・1通	え4183-1

(書状、大坂表兵庫殿より金吾殿へ大坂表御用済み当 月中旬御出立の旨仰せ越しに付)		横切紙・1通	え4183-2
(鑑札無き者へ売り渡すまじき旨など甘草売買取扱向 に付申渡書) * (端裏書)「口達□□(虫損)」	9月	横切継紙/(虫 損甚大)・1通	え4183-3
(書状、書面の義いかがか昨夜まで御差し廻し差し支 えのご様子伺い、藤屋の儀も水井様より御沙汰ある や伺いたきに付) (高井)太三郎→(八田)慎造(慎蔵)様 貴下	4日	横切継紙・1通	え4183-4
(書状、田中一条内談のため金兵衛殿山田屋へおいで 下されたき御頼みに付) 高井三九郎→八田慎蔵様貴 下	2月29日	横切継紙・1通	え4183-5
(書状、大坂表一条にて甘草年賦證書下案御伺い、調印 致し大坂表へ差し出したきに付) (高井)三九郎→ (八田)慎蔵様梧下	4月6日	横切継紙・1通	え4183-6
(書状、一昨日夕方兵馬様へ伺い、来月3日御発程、甘草 年賦證書認め大坂表へ差し出しにて下案水井様・松 本様と内談に付) 高井(三九郎)→八田様奉復	2月29日	横切継紙・1通	え4183-7
(書状、塩屋太三郎様より貴札にて先年取替銀子返済 の義炭彦(炭屋彦七)殿同様年賦致すべく委細承知 に付) 小西彦七→菊屋傳兵衛様・御店衆中様参人々御中	7月22日	横切継紙・1通	え4183-8
(書状、年賦證文炭彦(炭屋彦七)方勘定取調べ調印致 すべく日延べいたし、御役人中様へ発程の後印書持 参上坂致したきに付) 高井三九郎→八田慎蔵様玉案 下	2月晦日	横切継紙・1通	え4183-9
(書状、炭屋手代松兵衛へ熟談にて着荷の砌売り払い に付)		横切継紙・1通	え4183-10
(書状、先年栄八在坂中借用の銀子返金に付)		横切継紙・1通	え4183-11
(書状、昨夜金兵衛御出で年賦證文の儀御内談他に付) 三九郎→(八田)慎蔵様梧右	4月8日	横切継紙・1通	え4183-12
(書状、年賦證文太三郎殿へ頼み持参登坂に付) * 下書 八田慎蔵→松本嘉十郎様	4月21日認	横切継紙・1通	え4183-13
覚(銀41貫240匁6分7厘内訳差引残金18両3分2朱余り 請取に付) 炭孫(炭屋孫七)(印)→菊傳(菊屋傳兵衛)殿	丑8月10日	横切継紙・1通	え4183-14
覚(金10両請取に付) 炭孫(炭屋孫七)(印)→菊(菊屋)金 兵衛殿	7月13日	切紙・1通	え4183-15
(書状、昨年中より炭屋方一件の儀ご厚情有り難き他 に付) * 下書		横切継紙・1通	え4183-16
乍恐以書付再御歎願奉申上候(御領産米料大坂表へ取 り計らい値段下落一件片付方再嘆願) * (端裏書)「嘉 永七甲寅年十一月当春中差出し候歎願書御下ケニ付此添 書致し猶又差出し候」 三人→郡御奉行所	寅11月	横切継紙・1通	え4183-17
(書状、佐久間氏・炭彦・谷町御代官所などの儀仰せ下 だしの旨御報せ申し上げに付) * 下書	6月20日	横切継紙・1通	え4183-18
(手代栄八戌年15貫目御借用の儀炭屋御手代懸り孫七 殿ら御懸合い一件口上書) 菊屋傳兵衛名代口上		横切継紙・1通	え4183-19

①年賦銀證文之事(預かり銀210貫目来る寅年より子 年まで35ヶ年賦毎年12月銀6貫目宛返済に付)、②銀 子預り約定證文之事(預かり銀60貫411匁5分1厘、国 産甘草他差し入れ分御売り払い代銀による返済に 付) ①②菊屋傳兵衛・藤屋戸佐久・塩屋太三郎、(奥書)宮 下兵馬・水井忠蔵・松本嘉十郎→炭屋彦五郎殿	①②嘉永6年丑12月	横切継紙・1通	え4183-20
(書状、年賦證書の儀跡より申す事致したく水井様へ 御内談に付) 高井→八田様貴酬	2月晦日	横切継紙・1通	え4183-21
(書状、他所売り差し留めも猶御収納方難しき儀にて、 商人より上田表へ甘草荷差出しなどに付) 米屋栄 八→津国屋友七様	3月8日	横切継紙・1通	え4183-22
(書状、下坂の際炭屋方借屋いたすなど3・4ヶ所御声懸 かりも如何に付) (松本)嘉十郎→(八田)慎蔵様玉床下	4月25日	横切継紙・1通	え4183-23
(書状、高井太三郎京着にて下坂の際、江戸表・炭屋・東 本願寺などの動向申し上げに付) *(端裏朱書)「嘉永 七寅年大坂より到来六月十九日相届く」(松本)嘉十郎→ (八田)慎蔵様倍下	6月5日認メ	横切継紙・1通	え4183-24
(書状、赤柴銅山引受方一条別段内々願いに付) *(端 裏朱書)「此一条別段御内々ニ被成下度奉願上候 慎蔵様 嘉十郎」 嘉十郎→慎蔵様	6月5日昼時	横切継紙・1通	え4183-25

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

## 6. 会所・商社 / 松代商法社

### 6.1. 諸書類綴

(明治5壬申年3月中よりの来簡綴)		綴/(え4176-1~12は一綴)・1綴	え4176
(袋) * (袋上書)「明治五壬申年三月中より来簡入 澹庵」		袋・1点	え4176-1
書状、八幡村継合米借り不埒一条取り計らいなどに付) 承之助→慎蔵様	3月28日	横切紙・1通	え4176-2
證(元産物助成金御貸し出し利分12両銀5匁6分3厘受取書) 元商法方(印)→田中村亀治	申4月2日	横切紙・1通	え4176-3
(書状、馳走礼状並びに病人への配慮につき礼状) 坂本幸右衛門→八田慎蔵様貴下	4月10日	横切紙・1通	え4176-4
乍恐以御書付奉御歎願候(蚕種商売莫大の損失に付、商法社札残金1255両余御下げ願ひ) 木町堀善直治→御産物商法方御役所	明治4末年3月	横切紙・1通	え4176-5
(書状、金3両1分受取に付礼状) 佐久間拝→八田様	22日	横切紙・1通	え4176-6
(書状、駒屋利八越後春日新田にて商法開始に付、藤岡氏所持大曾町の屋敷引当として金子借用願ひ) 子習→伊勢町様	5月朔(日)	横切紙・1通	え4176-7
覚(塩半匁料金1分1朱落手に付) 八田本之進(印)	申4月5日	小切紙・1通	え4176-8
(書状、おひて儀旧臘よりの病氣宜しからずも昇館への御厚配御礼に付) 坂本拝→八田様尊下	3月20日	横切紙・1通	え4176-9
(書状、収之助様一条の様子鈴木様へ御伝声の取り計らい願ひたきに付) 遊亀尾→慎蔵様	3月16日	横切紙・1通	え4176-10
(書状、其許様病状、清七殿への○印、しちや婚礼の再発などに付) 坂本内より→おひて殿御取渡	3月20日	横切紙・1通	え4176-11
口上(絵本・状箱返却礼状)		小切紙・1通	え4176-12

# 既刊目録に見られる八田家文書群の階層構造一覧

凡 例

SF=サブフォンド、S=シリーズ、SS=サブシリーズ、f=ファイル、Sf=サブファイルとする。

SF	S	SS	f	Sf	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10
01	内方(御茶之間)				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	01	系図・親類書			1	2						8		10
		01	由緒			2						8		10
		02	扶持方請取			2								
	02	相続			1	2				6		8		
		01	家督			2						8		
	03	家訓・規定			1	2				6		8		
		01	条目・遺言			1						8		
		02	東条村養父運右衛門殺害候八十吉磔罪一件									8		
		03	勝手向取締(家政立て直し)			1	2							
		04	役代調印規定			1								
		05	帳簿口立規定			1								
		06	店人足規定(奉公人規定)			1								
		07	帳面仕立方				2							
		08	元方・勘定一式				2							
	04	人別改				1								
	05	家族・奉公人(別家・日傭)			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		01	鉄之助内室出産					4						
		02	市兵衛意見書					4						
		03	増田徳左衛門家勝手向き立て直し									8		
		04	本家勝手向立直し										9	
		05	婚姻										9	
		06	鉄之助嫡子									8		
		07	大瀬登へ養女縁組									8		
		08	鉄治郎松村家養子入り									8		
		09	嘉永7年江戸表鉄治郎離縁一条書類綴									8		
		10	鉄治郎金井家養子入り									8		
		11	辰三郎引き取り									8		
		12	八田喜兵衛一件										9	
		13	人名・年齢書上					4						
		14	儀礼						5					
		15	役代						5			8		
		16	店人別規定(奉公人規定)			2								
		17	奉公人請状										9	
		18	奉公人勤向			2						8	9	10
		19	奉公人給金不払一件			2								
		20	奉公人給金出入				3					8		
		21	貸付金									8		
		22	八田鉄之助前髪剃											10
	06	親類					3							
		01	増田徳左衛門家勝手向立て直し				3							
		02	親類不埒示談仲介				3							
	07	親類家勝手向立直し											9	
	08	田村半右衛門書状綴						4						
	09	家政							5					
	10	藩への上納金・才覚金						4	5		7	8	9	10
	11	藩関係									7	8	9	
		01	御目見								7		9	
		02	救恤								7			
		03	勤務										9	
		04	献上										9	
		05	藩士との交際										9	
		06	藩士への縁組への助力										9	
		07	藩主相撲上覧一件										9	
		08	他藩ほかの情報										9	
		09	その他								7			
	12	町関係									7			

SF	S	SS	f	Sf	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10
			01 立入人								7			
			02 上水関係								7			
		13	給人格取立・扶持加増					4	5			8		
		14	土地経営(所有地経営)		1		3			6		8	9	10
			01 持地		1					6		8	9	10
			02 借家(借家・借地経営)							6			9	10
			03 江戸屋敷							6				
			04 持地・抱屋敷絵図		1									
			05 抱屋敷肝煎用留		1									
			06 買取・質取		1					6		8	9	
			07 売渡		1								9	
			08 田畑見廻		1									
			09 田地譲渡							6				
			10 家賃・小作年貢取立		1	2								
			11 小作年貢滞納出入		1	2								
			12 小作方日記		1									
			13 年貢諸役上納		1									10
			14 米・桑売渡		1							8		
			15 家屋敷建築			2								10
			16 下屋敷			2				6				10
			17 抱屋敷引請			2						8		
			18 抱屋敷普請			2								
			19 手作地			2								
			20 田地譲渡取調			2								
			21 質地証文・借用証文				4(SF)							
			22 所持地年貢目録綴										9	
			23 所持地石高取調										9	
			24 土地絵図										9	
			25 小作				4(SF)							
			26 土口村小作(土口村)		2							8	9	
			27 矢代村小作(矢代村)		2						7	8	9	10
			28 生菅村小作		2									
			29 長岡助右衛門小作		2									
			30 古屋敷小作		2									
			31 東寺尾村新堰		2									
			32 居屋敷・土蔵				3					8		
			33 自作・小作貸出				3							
			34 質入							6		8		
			35 小作							6		8		10
			36 根津村									8		
			37 小作米日延									8		
			38 小作証書									8		
			39 赤倉温泉									8		10
			40 鹿沢温泉・山野湯温泉									8		
			41 年貢諸役上納									8		
			42 御安口堤土手									8		
			43 井上村									8		
			44 東寺尾村									8	9	
			45 西寺尾村									8	9	
			46 沓野村									8		
			47 上徳間村									8		
			48 皆神山									8	9	10
			49 牧内村									8	9	
			50 田野口村								7			
			51 後町								7			
			52 清野村								7		9	
			53 東条村								7		9	
			54 平林村								7	8	9	
			55 赤岩村										9	
			56 田中村										9	
			57 河原新田										9	
			58 浦新田										9	

SF	S	SS	f	Sf	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10
		59	木町										9	
		60	西条村										9	10
		61	岩野村新田										9	
		62	会村										9	
		63	東荒町村										9	
		64	中条村										9	
		65	荒町村										9	
		66	御安口村										9	
		67	新御安口村										9	
		68	荒町										9	10
		69	浄行寺										9	
		70	練光寺								7			
		71	地券									8		
		72	所持地年貢皆済明細勘定書綴											10
		73	その他								7			10
	15	小作年貢	滞出入一件			2				6(SS)				
		01	岩村田小作年貢滞一件			2								
		02	飯山小作年貢滞一件			2								
		03	田野口村小作年貢滞一件			2								
		04	中野質地一件			2								
		05	赤倉湯一件			2								
	16	材木方			1	2				6		8		
	17	通船方			1	2						8		
	18	金融			1	2	3		5	6	7	8	9	10
		01	借入金・預り金		1		3		5	6		8	9	10
			01 松代藩御用達金預り運用				3							
		02	貸付金		1	2	3		5	6		8	9	10
		03	他家借財片付		1					6				
		04	無尽		1	2	3(S)		5	6	7	8	9	10
		05	預り金利払			2								10
		06	貸付金調			2								
		07	貸付金返済滞			2								
		08	広田筑後・岩出六右衛門無尽一条			2								
		09	皆神山無尽			2								
		10	家中侍借財勝手向立直し			2								
		11	質地・借金						5					
		12	飯山藩・岩村田藩領小作年貢滞一件						5					
		13	伊勢山田御師廣田筑後一件						5			8		
		14	家中借財勝手向立直							6				
		15	貸借金								7			10
		16	宿方式割増御手充積金									8		
		17	余計金上納									8		
		18	下屋敷御助成金									8		
		19	拝借米									8		
		20	高遠へ御貸金取立方一件											10
	19	飯山領									7	8(SS)	9	10
		01	無尽								7		9	
		02	訴訟								7			
		03	貸付金										9	
		04	質地										9	
		05	本多豊後守婚礼											10
		06	本多豊後守松代城下止宿関係綴											10
		07	芝津村斧右衛門借財片付方一件											10
	20	岩村田領									7	8(SS)	9	10
		01	勝手御用										9	
		02	仕送金										9	
		03	地所改										9	
		04	小作										9	
		05	貸付金										9	
		06	無尽											10
		07	訴訟											10
		08	岩村田差引方調書類綴											10

SF	S	SS	f	Sf	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10
		09	岩村田村法華堂差引勘定一件											10
		21	田野口領										9	10
		22	埴科郡下戸倉村(幕領)										9	
		23	小泉郡根津(旗本知行所)										9	
		24	赤倉温泉										9	
		25	出張		1	2								
			01 出張			2								
		26	金銭・穀物請払		1				5	6	7	8	9	10
			01 店方江下ケ金・上納金		1	2						8		
			02 金銭請取		1	2								
			03 幕方見積		1									
			04 入用		1							8		
			05 買物方日記		1									
			06 金銭出入帳(金銭請払帳)		1									
			07 金銭差引(金銭差引帳)		1							8		10
			08 穀物・諸品請払		1		4(S)					8	9	10
			09 金銭穀物請払取調勘定		1									
			10 請払勘定覚			2								
			11 木町伊勢町差引帳			2								
			12 金銭払方			2				6				
			13 雑穀			2								
			14 売掛金滞			2								
			15 金銭勘定							6				
			16 普請							6			9	
			17 近代税金領収書									8		
			18 近代諸領収書									8		
			19 小切手									8		
			20 株券									8		
	27	賄			1	2			5	6				
			01 賄穀物請払		1									
			02 入用		1									
			03 勝手方日記・控帳		1									
			04 御膳日記		1									
			05 諸品通帳(家計)			2								
			06 諸品請払							6				
	28	勝手向					3					8		10
			01 勝手向立て直し				3					8		10
			02 勝手向取極・諸入用				3							
			03 金銭出入帳				3							
	29	棚卸			1	2								
	30	家計取調												
	31	日記・控留			1									
			01 被仰付書・願書控留		1									
			02 状留		1									
			03 茶之間日記・元方日記・役代日記他		1									
			04 万書留帳		1									
			05 手控		1	2								
			06 殿様湧泉亭御入一条			2								
	32	儀礼(家族)			1	2	3			6	7	8	9	10
			01 為知帳		1	2								
			02 赤飯配		1	2								
			03 出生										9	
			04 元服										9	
			05 献上・進物		1		3					8		
			06 献上・寄付							6				
			07 来訪人名面帳		1									
			08 到来物		1	2	3							
			09 贈答覚帳(贈答)		1						7			
			10 贈答・進物										9	
			11 婚姻・離縁		1	2				6	7		9	10
			12 葬儀・法事		1	2				6	7	8	9	10
			13 先祖供養										9	



SF	S	SS	f	Sf	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10	
		14	大福帳(諸儀礼覚帳)		1										
		15	年中行事帳		1									10	
		16	宴会		1							8		10	
		17	引越為知			2									
		18	祝儀入料			2									
		19	書状[儀礼的書状]				3			6		8		10	
		20	中島三右衛門書状									8			
		21	目録・目録包紙一括									8			
	33	旅			1									10	
		01	社寺参詣		1									10	
		02	入湯		1									10	
	34	寺社(寺社奉加)			1	2			5	6	7	8	9	10	
		01	社寺奉加			2									
		02	浄福地借財関係										9	10	
		03	浄福寺無尽一件										9		
		04	浄福寺祠堂金貸付一件										9		
		05	菩提寺浄福寺一件			2				6					
		06	菩提寺浄福寺									7	8	10	
		07	松代大林寺									8			
		08	松代清瀧山観音堂									8			
		09	松代証蓮寺									8			
		10	湯田中梅翁寺									8			
		11	高野山明泉院									8			
		12	松代興善寺									8			
		13	正法寺一件										9		
		14	松代離山神社									8			
		15	埴科郡倉科村福昌寺											10	
		16	その他								7			10	
	35	家財			1							8			
		01	武器		1	2						8			
		02	衣類・諸道具・絵画他		1	2									
		03	武具・印章等注文				3								
		04	茶道具等売払				3								
		05	諸道具貸出				3								
	36	投資									7				
		01	松代貯積銀行								7				
	37	蔵書			1		3			6					
	38	見聞・風説書			1	2	3			6		8		10	
	39	アメリカ船渡来情報収集						4							
	40	外交・軍事情報							5			8			
	41	諸芸			1	2	3				6	7	8	9	10
		01	文芸		1	2			5(S)			8		10	
		02	茶の湯		1	2						8	9		
		03	学芸				3								
		04	能				3								
		05	柔術				3								
		06	水術				3								
		07	松明製法				3								
		08	手習									8			
		09	占い										9		
		10	泰全様御在命中山口専始斉先生より御伝達書類綴											10	
	42	学校			1		3			6		8			
		01	試験問題				3								
		02	教科書									8			
	43	証書			1										
		01	生糸改会社証記簿		1										
		02	横浜正金銀行創立証書		1										
	44	養蚕					3								
	45	信心					3								
	46	書状類							5		7			10	
	47	諸書類							5			8	9	10	
		01	大瀬弥門縁付関係綴									8			

SF	S	SS	f	Sf	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10
			02 京平岡入日記									8		
			03 雑用書類									8		
			04 岩村田上向筋調帳面綴									8		
			05 文政5年御出張付入用書類									8		
			06 当用書帖									8		
			07 天保7年御向來状綴									8		
			08 嘉永5年中到来の要用書状綴									8		
			09 嘉永7年3月より品々差引書抜									8		
			10 安政2年6月よりの要用来簡綴									8		
			11 安政3年8月以降来簡綴									8		
			12 安政3年～文久元年要用の書類綴									8		
			13 安政4年7月中到来書簡									8		
			14 安政4年11月中到来書簡									8		
			15 紀元2533年6月中よりの来章綴									8		
			16 巳年京都入綴									8		
			17 明治10年2月用書類綴									8		
			18 善光寺一件									8		
			19 澤守禮ほか印書関係										9	
			20 安政3丙辰年正月中よりの参簡										9	
			21 依田市右衛門関係										9	
			22 諸方到来之文通										9	
			23 天保8年正月中よりの来簡綴											10
			24 天保11子年切手関係綴											10
			25 嘉永5子年10月取調要用書状綴											10
			26 嘉永7年入用の書類綴											10
			27 安政3丙辰年12月晦日より到来書状綴											10
			28 安政4年3月中よりの到来要用書簡綴											10
			29 安政4年正月下旬よりの到来要用書状綴											10
			30 安政6年4月よりの来簡綴											10
			31 安政7年正月よりの来簡綴											10
			32 文久元年10月～12月の来簡綴											10
			33 文久元年5月～10月までの来簡綴											10
			34 慶応2年9月中よりの書類綴											10
			35 慶応2年11月中よりの来簡綴											10
			36 慶応3年正月よりの来書簡綴											10
			37 慶応3年4月中よりの来状綴											10
			38 慶応3年8月よりの来簡綴											10
			39 慶応4年2月～9月まで来簡一綴											10
			40 明治2年3月より10月までの来簡綴											10
			41 明治4年正月中よりの来簡綴											10
			42 明治5年5月よりの来簡綴											10
			43 明治5年10月よりの来簡綴											10
			44 明治5年10月中よりの書状綴											10
			45 酉2月中来簡関係綴											10
			46 酉3月中諸方御到来状并諸向差出書類綴											10
			47 酉4月中諸方より到来状并申立書類綴											10
			48 酉5月中諸方御到来書帖及び書取類の綴											10
			49 酉6月中諸方よりの到来状・雑書等綴											10
			50 酉極月中諸方到来状綴											10
			51 10月中入用書類綴											10
			52 松代表より到来書状及び入用書状の綴											10
	48		吹直金銀引替											10
	49		泰全院一代一卷綴											10
	50		その他											10
02	店方				1								9	10
		01	酒造方(酒蔵・酒店)		1	2			5	6	7	8	9	10
			01 酒株・酒造高書上		1		3	4		6		8		
			02 酒造鑑札		1								9	
			03 内方より拝借米金・上納金		1								9	
			04 酒造入用		1								9	
			05 酒蔵より酒店出酒		1									
			06 売渡		1		3							

SF	S	SS	f	Sf	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10
		07	金銀出入帳		1									
		08	取替(立替)		1									
		09	棚卸		1	2							9	
		10	酒蔵・酒道具貸付		1	2								
		11	諸控留		1	2								
		12	蔵書		1									
		13	酒蔵・酒店勘定			2						8		10
		14	酒売掛帳			2								
		15	酒蔵普請			2								
		16	水油			2								
		17	質地証文					4						
		18	酒株・鑑札							6		8		
		19	仕法							6		8		
		20	酒造高									8		10
		21	酒造米貸付									8		
		22	奉公人(使用人)							6		8		
		23	手充							6				
		24	諸品請払							6				
		25	借入金							6		8	9	
		26	一件							6				
		27	道具調							6				
		28	書状							6				
		29	褒賞									8		
		30	酒造関係綴									8		10
		31	酒造関係重要古書類										9	
	02	呉服店			1	2			5		7	8		
		01	売買		1							8		
		02	御会符荷物		1									
		03	棚卸		1									
		04	控留		1									
		05	呉服仕入勘定			2								
		06	古着			2								
	03	油店			1	2				6		8		
		01	内方より拝借金・上納金		1									
		02	金銭請払		1									
		03	棚卸		1									
		04	油・醬油			2								
		05	奉公人(使用人)									8		
	04	醬油店(松井店)			1	2	3			6	7	8	9	
		01	内方より拝借金・上納金		1									
		02	仕入		1									
		03	売渡		1									
		04	売買差引勘定		1									
		05	入用		1								9	
		06	取替(立替)		1									
		07	棚卸		1							8		
		08	道具調		1									
		09	越後赤倉松井店		1									
		10	店立て直し				3					8		
		11	他店立て直し										9	
		12	藩御用				3							
	05	赤倉松井店									7			
	06	質店			1	2				6		8		
		01	内方より拝借金・上納金		1									
		02	入用		1									
		03	取替(立替)		1									
		04	棚卸		1									
		05	控留		1									
	07	その他			1									
	08	陶器方				2	3	4						
	09	甘草方						4						
	10	諸勘定							5					

SF	S	SS	f	Sf	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10
03	町方/町年寄				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	01 控留				1							8		10
		01 高札・条目写控			1							8		10
		02 町年寄用留			1			4						
	02 触留								5					
	03 宗門改								5			8	9	10
	04 諸役・貢税				1							8		
		01 家数・町役書上			1							8		
		02 伝馬役			1							8		
		03 巡見本陣役			1									
		04 明治期貢税取調			1									
		05 御用金										8		
	05 殿様御用				1					6		8		
		01 殿様帰城出迎			1									
		02 殿様御入接待			1									10
	06 救済				1							8		
		01 飢饉			1							8		
		02 火災・水害			1							8		
	07 講				1									
		01 町内無尽講			1									
		02 恵比寿講			1									
	08 町会所					2								
	09 穀行事					2								
	10 御巡見様入用					2								
	11 大庄屋					2								
	12 触書写控						3							
	13 転切支丹類族改						3							
	14 殿様御入						3							
	15 飢饉時米調達						3							
	16 町政									6	7	8	9	10
	17 御取締									6				
	18 御巡見様御用									6		8		
	19 貸借									6		8		
	20 社倉									6				
	21 町内無尽									6				
	22 一件									6				
	23 祭礼											8		
	24 相場											8		
	25 町役金											8		
04	松代藩御用				1	2	3			6		8	9	10
	01 年貢諸役取立請負・御用米金調達				1	2						8		10
	02 御勝手御用役				1		3							
		01 月番表			1									
		02 用留・日記			1									
		03 融通金			1									
	03 産物御用掛				1		3	4				8		
		01 用留			1									
		02 産物取立無尽			1		3							
		03 国産方入用			1									
		04 産物御用掛任命					3	4						
		05 藩より拝借金					3							
	04 手控				1									
	05 御用達金預り運用						3					8		
	06 産物売捌方問屋						3							
		01 褒賞					3							
	07 川船会所						3					8	9	10
		01 通船免許					3					8	9	10
		02 通船貸下					3							
		03 通船取締					3							
		04 会所世話料					3							
		05 金子・田畑屋敷貸下					3					8		
		06 冥加金					3							

SF	S	SS	f	Sf	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10
			07 飯山一件										9	
			08 中野一件										9	
			09 貸付金										9	
			10 諸書類綴									8		
		08	接待用諸道具貸出				3							
		09	御用金・御用米							6				
		10	江戸運送							6				
		11	人足							6				
		12	漬物御用									8		
		13	荷物札差認方									8		
		14	御用米納入										9	
		15	巡見使接待										9	
		16	分量金										9	
		17	荷物差札認方										9	
		18	融通米世話											10
		19	椀類挽物問屋											10
05	会所・商社/糸会所				1(S)	2	3	4	5			8		
	01	藩より拝借金品			1(SS)		3							
	02	諸方より預り金・借入金			1(SS)		3							
	03	会所貸下金			1(SS)		3							
	04	借入金・預り金・貸付金						4	5					
	05	繭中買人仲間・糸元師仲間			1(SS)			4						
	06	糸元師への鑑札給付						4						
	07	糸元師不正取り締まり						4						
	08	糸元師の統制							5					
	09	紬市統制						4						
	10	紬中買人仲間			1(SS)									
	11	糸売買			1(SS)									
	12	買物帳			1(SS)									
	13	取替(立替)			1(SS)									
	14	金銀請払			1(SS)									
	15	日記・用留			1(SS)									
	16	御内用荷			1(SS)									
	17	糸会所締掛任命					3							
	18	糸元師					3							
	19	紬類売捌					3							
	20	上州売り捌き						4				8		
	21	紡会所				2								
	22	木綿行司				2								
	23	諸書類綴						4						
06	会所・商社/産物会所				1(S)		3	4	5	6	7	8	9	10
	01	触順			1(SS)									
	02	拝借金								6			9	
	03	藩より拝借金・上納金			1(SS)		3	4	5					
	04	会所江献上金			1(SS)									
	05	会所貸下金			1(SS)		3					8	9	
	06	会所より貸下げ品・拝借金						4	5					
		01 蚕種紙						4						
		02 拝借金						4						
		03 諸品						4						
	07	産物改			1(SS)									
	08	出役			1(SS)									
	09	鑑札渡			1(SS)									
	10	産物会所鑑札名面				2								
	11	冥加金取立			1(SS)	2								
	12	絹紬類買入			1(SS)									
	13	絹紬類売捌			1(SS)									
	14	絹紬類貸下			1(SS)									
	15	甘草・杏仁大坂取引			1(SS)									
	16	駄送			1(SS)							8		
	17	麻・木綿売買			1(SS)							8		
	18	蚕種・生糸売買			1(SS)									

SF	S	SS	f	Sf	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10
	19 入用				1(SS)	2								
	20 金銭請払				1(SS)							8		
	21 金銭請払取調勘定				1(SS)									
	22 棚卸				1(SS)									
	23 日記・用留				1(SS)									
	24 褒賞				1(SS)								9	
	25 過料				1(SS)									
	26 産物助成講				1(SS)							8		
	27 道具帳				1(SS)									
	28 蔵書				1(SS)									
	29 会所役人心得方・取計方条々						3							
	30 藩江献上金						3							
	31 藩入用品調達						3							
	32 諸方より預り金						3	4				8		
	33 産物会所仕入金融通					2								
	34 産物無尽					2						8		
	35 産業統制						3	4	5			8		10
	01 市役金・店口銭						3							
	01 糸市役金						3							
	02 店口銭						3							
	02 絹紬・木綿布・麻布等他製品商売禁制						3							
	03 諸国より城下入込商人改						3					8		
	04 行司						3							
	05 産物改						3							
	01 木綿会所						3							
	02 縮緬改						3							
	03 産物会所并取締役						3							
	06 鑑札						3		5					
	01 領産取締						3							
	02 絹紬仲買鑑札						3	4						
	03 繭仲買・蚕種商売・糸繭買・唐糸師等の鑑札						3	4	5					
	04 蚕種・生糸鑑札						3	4						
	05 木綿商買・木綿布仲買鑑札						3							
	06 杏干仁商売鑑札						3	4						
	07 甘草仲買鑑札						3	4						
	08 天秤振商売(香具)鑑札						3	4	5					
	09 煙草鑑札						3							
	10 檜商人荷宿并鑑札						3	4	5					
	07 糸商売免許						3							
	08 冥加金						3						9(S)	
	01 絹紬仲買冥加金						3	4						
	02 繭仲買冥加金						3	4						
	03 唐糸師冥加金						3							
	04 木綿師冥加金						3							
	05 品々冥加金						3							
	09 陶器電場						3		5	6				
	10 桑畑						3							
	11 縮緬製造						3							
	13 関係書類綴								5					
	17 蚕種・絹紬							4	5			8		
	01 紬売り代金書上							4	5					
	02 隠糸挽							4	5					
	03 触留								5					
	04 仕法替え								5					
	05 糸繭取引								5					
	06 紬ほか売り代金書上								5					
	07 荷札								5					
	08 冥加金													
	18 甘草							4				8		
	01 取締筋							4						
	02 植え付け							4						
	03 鑑札											8		

SF	S	SS	f	Sf	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10
		19	杏仁					4				8	9(S)	
			01 買入れ					4						
			02 惣勘定					4						
			03 「杏仁御買上ニ付入用之雑書類入」					4						
			04 諸書類綴					4				8		10
		20	杏仁・甘草		2(S)			4	5					
		21	楮					4						
		22	天秤振					4						
		23	蚊帳					4						
		24	明礬					4	5					
		25	白粉					4						
		26	硫黄					4				8		
		27	木綿					4	5			8		
			01 鑑札									8		
		28	麻						5					
		29	葉草							6				
		30	銅山							6				
		31	諸品					4						
		32	その他					4						
			01 鑑札給付					4						
			02 鑑札制作					4						
	36	絹紬類売買					3						9	
		13	絹紬類織立				3							
		14	絹紬類買上				3							
		15	絹紬類売捌				3							
			01 絹紬類専売仕法替				3							
			02 上州吹屋村一件				3							
		16	絹紬類貸下				3							
	37	葉藍			2									
	38	陶器竈			2									
	39	大坂交易					3	4	5	6		8		10
		01	嘉永期甘草・杏仁等大坂売捌仕法				3	4	5					10
			01 大坂交易関係文書書留				3							
			02 甘草相場下落				3							
			03 炭屋孫七手許不繰合一件				3							
			04 大坂表無心一件				3							
			05 御用場									8		
			06 嘉永期甘草・杏仁等大坂売捌仕法									8		
		02	西国産物買入				3							
		03	安政期杏仁大坂売捌仕法				3	4	5					
			01 杏仁買上				3							
			02 杏仁大坂試捌				3							
		04	維新时期京坂交易				3							
		05	西国産諸品買い上げ					4						
		06	北国への荷物運送駄賃・取引					4	5					10
		07	炭屋孫七割済金関係					4						
		08	炭屋彦五郎からの預り金					4						
		09	炭屋孫七関係書状など綴					4	5					10
		10	諸仕切状綴					4						
		11	その他					4						
	40	大坂にて金子調達			2									
	41	京都での取引						4		6				
	42	横浜での取引						4						
		01	才覚金徴集					4						
		02	横浜交易取扱所					4						
	43	近郷での取引						4	5					
	44	江戸での取引						4				8		10
		01	諸品					4	5					
		02	売り捌き代金滞り					4	5			8		
		03	荷物送り状					4						
		04	取引						5			8		10
	45	江戸への荷物運送駄賃・取引							5					

SF	S	SS	f	Sf	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10
	46	その他地域での取引							5					
	47	麻・木綿売買					3							
		01	麻売買				3							
		02	木綿売買				3							
	48	明礬江戸送					3							
	49	蚕種・生糸改井外国交易					3							
	50	検断・調停					3							
		01	不実商い吟味				3							
		02	商い出入調停				3							
	51	入用					3							
		01	諸入用				3							
		02	会所普請・作事入用				3							
	52	勘定					3			6				
	53	会所運営・賄い領収書						4	5					
		01	近代産物会所領収書綴				4							
		02	御用米世話料				4							
		03	荷物駄賃				4							
		04	諸品				4							
		05	通船川岸端地所売り渡し				4							
		06	役人任免・俸禄						5					
		07	用地取得						5					
		08	賄い領収書						5					
		09	相場状						5					
	54	産物会所手控				2								
	55	産物会所勤人別				2								
	56	産物会所仲間給金				2								
	57	川船会所						4	5					
		01	貸付金					4						
		02	廻送荷物の改め					4						
		03	船手の者の願書受付					4						
		04	小作証文					4						
		05	その他					4						
	58	藩内地域の産物会所						4	5					
		01	力石村					4						
		02	内川村					4						
		03	向八幡村					4						
	59	役人任免・俸禄						4				8		
	60	駄送								6				
	61	一件								6				
	62	諸書類綴					3	4	5	6		8		10
		01	東京より来状綴									8		
		02	産物方用事書状									8		
	63	用状					3							
	64	その他					3							
07	会所・商社/松代商法社				1(S)		3	4	5	6	7			9
	01	商法社貸出金			1(SS)									
	02	貸付金の貸与						4						
	03	蚕種・生糸売買			1(SS)									
	04	商社手形・太政官札引換			1(SS)									
	05	入用			1(SS)									
	06	棚卸			1(SS)									
	07	商社引払			1(SS)									
	08	諸書類綴								6				10
	09	商社				2								
	10	書状								6				
08	会所・商社来状一括													9
09	長野県						3							
	01	勧業					3							
		01	蚕種・生糸交易				3							
10	松木家						3							
	01	書簡					3							
11	副区長(第大区小区)									6				



SF	S	SS	f	Sf	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10
12	第六十三国立銀行頭取									6	7	8		
	01 借用											8		
	02 預金											8		
13	電信切手売下所											3		
14	混合文書										7		9	
	01 内方・糸会所混合文書												9	
	02 内方・産物会所混合文書												9	
15	内方・産物会所混合文書							4	5					
	01 「有用之紙屑」							4						
	02 書状・領収書ほか一括							4	5					
	03 白紙・断簡								5					
16	内方・店方・産物会所混在文書									6				
17	その他							4		6	7	8	9	
	01 諸書類綴							4						
	02 真田家郡方当番日記							4						
	03 不明											8		
	04 こより											8		
18	混入文書											8	9	
	01 信濃国佐久郡御馬寄村町田家文書											8		
	01 町田家											8		
	02 収集史料											8		
	02 下総国相馬郡藤代村飯田家文書											8		
	03 不明											8		

『信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録(その1～10)』より作成



## 史料目録 第 107 集

### 信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録（その 10）

印刷発行 平成 30 年 3 月 31 日

発 行 者 人間文化研究機構 国文学研究資料館

編 集 学術資料事業部

〒 190-0014

東京都立川市緑町 10-3

電話 050-5533-2900（代）

印 刷 三鈴印刷株式会社

© 人間文化研究機構 禁無断複写

（本目録は国文学研究資料館史料館の『史料館所蔵史料目録』（第 78 集まで発行）を継続しています。）

（本文用紙は中性紙を使用しています。）

ISBN 978-4-87592-187-5

ISSN 2189-9010



9784875921875

ISBN 978-4-87592-187-5

ISSN 2189-9010